

業績目録 令和6年度

微生物感染症学分野	2
生体組織再生工学分野	4
予防歯科学分野	6
う蝕学分野	10
小児歯科学分野	12
生体歯科補綴学分野	14
顎顔面口腔外科学分野	18
口腔解剖学分野	23
口腔生理学分野	24
口腔生化学分野	25
歯周診断・再建学分野	27
歯科矯正学分野	31
摂食嚥下リハビリテーション学分野	33
硬組織形態学分野	41
口腔病理学分野	45
歯科薬理学分野	47
包括歯科補綴学分野	48
組織再建口腔外科学分野	53
顎顔面放射線学分野	56
歯科麻酔学分野	60
高度口腔機能教育研究センター・歯学教育開発室	64
口腔生命福祉学科	68
歯科臨床教育学/歯科総合診療科	73
顎口腔インプラント治療部	74
医療連携口腔管理治療部	75

微生物感染症学分野

【著 書】

- 1) 寺尾 豊：第3章全体編集．口腔微生物学・免疫学第5版改訂第4刷（川端重忠，小松澤均，大原直也，寺尾 豊 編），第3章ウイルス学全体執筆，医歯薬出版，東京，2025.
- 2) 寺尾 豊：監修．歯科衛生学シリーズ 疾病の成り立ち及び回復過程の促進2 微生物学 第2版改訂第2刷．医歯薬出版，東京，2025.
- 3) 寺尾 豊：歯科衛生士書き込み式学習ノート① 専門基礎科目編 2024 年度版．微生物学・免疫学全体執筆，医歯薬出版，東京，2024.
- 4) 土門久哲：執筆．第3章レトロウイルス科．口腔微生物学・免疫学 第5版改訂第4刷（川端重忠，小松澤均，大原直也，寺尾 豊 編），202-208 頁，医歯薬出版，東京，2025.
- 5) 土門久哲：執筆．II 編 4 章歯周病の細菌学，IV 編 3 章免疫に関連する疾患．歯科衛生学シリーズ 疾病の成り立ち及び回復過程の促進2 微生物学 第2版改訂第2刷．91-100, 190-191 頁，医歯薬出版，東京，2025.

【論 文】

- 1) Yamaguchi, T., Samukawa, N., Matsumoto, S., Shiota, M., Matsumoto, M., Nakao, R., Hirayama, S., Yoshida, Y., Nishiyama, A., Ozeki, Y., Tomita, S.: BCG-derived acellular membrane vesicles elicit antimycobacterial immunity and innate immune memory. *Front. Immunol.* 16(3), 1534615, 2025.
- 2) Takizawa, F., Domon, H., Hirayama, S., Isono, T., Sasagawa, K., Yonezawa, D., Ushida, A., Tsutsuura, S., Miyoshi, T., Mimuro, H., Yoshida, A., Tabeta, K., Terao, Y.: Effective degradation of various bacterial toxins using ozone ultrafine bubble water. *PLOS ONE* 19(7), e0306998, 2024
- 3) Sirisereephap, K., Surboy, MDC., Rosenkranz, AL., Terao, Y., Tabeta, K., Meada, T., Hajishengallis, G., Maekawa, T.: Protocols for collecting mouse PDL cells and bone marrow cells, differentiation, and data analysis. *STAR Protocols* 5(3), 103162, 2024.
- 4) Takahara, M., Hirayama, S., Futamata, H., Nakao, R., Tashiro, Y.: Biofilm-derived membrane vesicles exhibit potent immunomodulatory activity in *Pseudomonas aeruginosa* PAO1. *Microbiol. Immunol.* 68(7), 224-236, 2024.
- 5) Saito, R., Domon, H., Hiyoshi, T., Hirayama, S., Maekawa, T., Takenaka, S., Noiri, Y., Ikeda, A., Hirose,

T., Sunazuka, T., Yutaka T.: A novel 12-membered ring non-antibiotic macrolide EM982 attenuates cytokine production by inhibiting IKK β and I κ B α phosphorylation. *J. Biol. Chem.* 300(6), 107384, 2024.

【研究費獲得】

- 1) 寺尾 豊(代表)：肺炎球菌性肺炎の統合的な検査/予防/治療に向けた開発研究．日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(A)，継続.
- 2) 寺尾 豊(代表)：創薬イノベーションを目指す感染症等の危機管理基盤の構築．新潟大学戦略フラッグシップ研究支援事業，継続.
- 3) 寺尾 豊(分担)：細菌の潜在的病原性をつかさどる分子基盤の解明．日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(B)，継続.
- 4) 寺尾 豊(分担)：AI 技術を用いた膜透過性アプタマーの機能最適化と網羅的薬効評価法の確立．日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(B)，継続.
- 5) 寺尾 豊(分担・事業統括補佐)：未来社会を牽引するグローバルな総合知を備えたフロンティア育成プロジェクト．科学技術振興機構(JST) 次世代研究者挑戦的研究プログラム(Spring)，新規.
- 6) 土門久哲(代表)：好中球老化マーカーの同定と抗加齢研究への挑戦．日本学術振興会研究費基金 挑戦的研究(萌芽)，継続.
- 7) 前川知樹(代表)：老化幹細胞の排除メカニズム解明と疾患治療応用．公益財団法人 アステラス病態代謝研究会 研究助成金，新規
- 8) 前川知樹(代表)：口腔細菌叢再構築による時代共通細菌と因子の同定．日本学術振興会研究費基金 挑戦的研究(萌芽)，新規.
- 9) 前川知樹(代表)：口腔幹細胞ニッチに着目した口腔老化メカニズム解明研究課題．日本学術振興会科学研究費国際共同研究加速基金（海外連携研究），継続.
- 10) 前川知樹(代表)：DEL-1 による口腔組織修復および再生機構の解明．日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(B)，継続.
- 11) 前川知樹(代表)：DEL-1 による口腔の組織修復と再生機構解明．内藤記念科学振興財団 次世代育成支援研究助成金，継続.
- 12) 前川知樹(代表)：口腔幹細胞ニッチに着目した再生能力賦活化機構の解明．持田記念医学薬学振興財団 2023 年度研究助成金．継続
- 13) 前川知樹(分担)：インフラマエイジングによる骨再生ニッチ破綻機構の解明と老化骨組織再生法の開発．日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(A)，新規.

- 14) 前川知樹(分担):実証的研究で明らかにする江戸の歯科学. 日本学術振興会研究費基金 挑戦的研究(萌芽), 新規.
- 15) 前川知樹(分担): 歯周炎併発 BRONJ モデルの作成とその治療法展開. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 新規.
- 16) 前川知樹(分担):マクロファージの表現型に影響する細胞外基質ラミニンの機能解析. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(B), 継続.
- 17) 平山 悟(代表): iTRAQ 解析を基盤とする肺炎球菌侵襲化機構の解明. 公益財団法人発酵研究所 2023 年度若手研究者助成, 継続.
- 18) 平山 悟(代表): iTRAQ-MS/MS 解析を基盤とする新規肺炎球菌ワクチンの開発研究. 日本学術振興会研究費基金 基盤研究(C), 継続.
- 19) 滝澤史雄:肺炎重症化因子のプロテオーム解析を基盤とした老化と肺炎重症化の関連性の探索. 日本学術振興会 特別研究員研究費, 新規.
- 20) 齋藤瑠郁:エコ・リサイクルな創薬イノベーション研究 - 新発想の感染症治療薬の開発研究 -, 新潟大学 未来のライフ・イノベーションを創出するフロンタランナー育成プロジェクト 第 2 期生(未来健康科学高度人材育成フェローシップ)研究費, 継続.
- 21) 安井惟人:“やさしい創薬研究”イノベーション(AIM に着目した肺炎の創薬研究). 新潟大学フェローシップ事業 第 3 期生(未来健康科学高度人材育成フェローシップ)研究費, 継続.
- 22) 遠藤 愛:ポスト長寿社会の研究〜モデル生物実験系の作製と *in vivo* シミュレーション〜. 新潟大学 未来社会を牽引するグローバルな総合知を備えたフロンタランナー育成プロジェクト生(次世代プロジェクト生)研究費, 新規.

【学会発表】

- 1) 齋藤瑠郁, 土門久哲, 竹中彰治, 野杻由一郎:免疫調節による新規歯周炎制御法の開発に向けた非抗菌性マクロライドの探索. 日本歯科保存学会 2024 年度秋季学術大会(第 161 回), 姫路市, 2024 年 11 月 21~22 日.
- 2) 滝澤史雄, 土門久哲, 平山 悟, 磯野俊仁, 笹川花梨, 米澤大輔, 牛田晃臣, 筒浦さとみ, 寺尾 豊:オゾンウルトラファインバブル水の殺菌および細菌毒素不活化作用の解析. 第 97 回日本細菌学会総会, 札幌市, 2024 年 8 月 7~9 日.
- 3) 安井惟人, 平山 悟, 磯野俊仁, 日吉 巧, 土門久哲, 寺尾 豊:肺炎球菌 SufC は自己溶菌によって菌体外へ放出され宿主プラスミノーゲンと結合する. 第 97 回日本細菌学会総会, 札幌市, 2024 年 8

月 7~9 日.

- 4) 平山 悟, 日吉 巧, 安井惟人, 土門久哲, 寺尾 豊:感染時に発現している肺炎球菌プラスミノーゲン結合タンパク質の解析. 第 97 回日本細菌学会総会, 札幌市, 2024 年 8 月 7~9 日.
- 5) 土門久哲, 平山 悟, 磯野俊仁, 齋藤瑠郁, 柳原克紀, 寺尾 豊:肺炎球菌の炎症誘導能に対するリポタンパク質シグナルペプチダーゼの作用解析. 第 97 回日本細菌学会総会, 札幌市, 2024 年 8 月 7~9 日.
- 6) 齋藤瑠郁, 土門久哲, 日吉 巧, 池田朱里, 廣瀬友靖, 砂塚敏明, 寺尾 豊:非抗菌性エリスロマイシン誘導体による免疫調節作用の解析. 第 97 回日本細菌学会総会, 札幌市, 2024 年 8 月 7~9 日.
- 7) 滝澤史雄, 土門久哲, 平山 悟, 多部田康一, 寺尾 豊:ウルトラファインバブル技術を応用した新規消毒液の開発. 令和 6 年度新潟歯学会第 1 回例会, 新潟市, 2024 年 7 月 13 日.

【奨学金等】

- 1) 滝澤史雄:肺炎重症化因子のプロテオーム解析を基盤とした老化と肺炎重症化の関連性の探索. 日本学術振興会 特別研究員 DC2 採択, 新規.
- 2) 齋藤瑠郁:エコ・リサイクルな創薬イノベーション研究 - 新発想の感染症治療薬の開発研究 -, 新潟大学 未来のライフ・イノベーションを創出するフロンタランナー育成プロジェクト 第 2 期生(未来健康科学高度人材育成フェローシップ) 採択, 継続.
- 3) 安井惟人:“やさしい創薬研究”イノベーション(AIM に着目した肺炎の創薬研究). 新潟大学フェローシップ事業 第 3 期生(未来健康科学高度人材育成フェローシップ) 採択, 継続.
- 4) 遠藤 愛:ポスト長寿社会の研究〜モデル生物実験系の作製と *in vivo* シミュレーション〜. 新潟大学 未来社会を牽引するグローバルな総合知を備えたフロンタランナー育成プロジェクト生(次世代プロジェクト生) 採択, 新規.

【公的研究費の審査員】

- 1) 寺尾 豊:科学技術振興機構(JST) 大学発新産業創出 早晩プログラム 審査委員.
- 2) 寺尾 豊:科学技術振興機構(JST) 国際展開プログラム D-Global 審査委員.
- 3) 寺尾 豊:科学技術振興機構(JST) 大学発新産業創出プログラム START 審査委員.
- 4) 寺尾 豊:科学技術振興機構(JST) 大学発新産業創出プログラム SBIR フェーズ 1 審査委員.
- 5) 寺尾 豊:科学技術振興機構(JST) 創発的研究支援事業 審査委員.

- 6) 寺尾 豊：日本医療研究開発機構(AMED) プログラムオフィサーおよび課題審査委員.
- 7) 寺尾 豊：日本学術振興会(JSPS) 基盤研究(A)書面審査委員.
- 8) 寺尾 豊：日本学術振興会(JSPS) 基盤研究(A)合議審査委員.
- 9) 寺尾 豊：日本学術振興会(JSPS) 特別研究員 審査委員.
- 10) 寺尾 豊：日本学術振興会(JSPS) 卓越研究員 審査委員.
- 11) 寺尾 豊：日本学術振興会(JSPS) 国際事業 審査委員.

生体組織再生工学分野

【著 書】

- 1) 泉 健次：第2編 第4章 第4節 ヒト三次元培養口腔がんモデルの開発. オルガノイド研究 ～培養・作製、活用、臨床応用～. 289-295 頁, NTS, 東京, 2024.

【論 文】

- 1) Sercombe L, Igawa K, Izumi K. Radiation evaluation assay using a human three-dimensional oral cancer model for clinical radiation therapy. *Talanta Open*. 9, 2024. <https://doi.org/10.1016/j.talo.2024.100297>
- 2) Aizawa Y, Haga K, Yoshida N, Yortchan W, Takada S, Tanaka R, Naito E, Abé T, Maruyama S, Yamazaki M, Tanuma J, Igawa K, Tomihara K, Togo S, Izumi K. Development and Characterization of a Three-Dimensional Organotypic In Vitro Oral Cancer Model with Four Co-Cultured Cell Types, Including Patient-Derived Cancer-Associated Fibroblasts. *Biomedicine* 12 (10), 2373.2024. <https://doi.org/10.3390/biomedicine12102373>.
- 3) Izumi Yamamoto, Kazuyo Igawa, Natsuko Kondo, Yoshinori Sakurai, Atsushi Fujimura, Kiyofumi Takabatake, Peng Huang, Hiroyuki Michiue, Soichiro Ibaragi, Kenji Izumi. The Early Response After Radiation Therapy on Three-Dimensional Oral Cancer Model Using Patient-Derived Cancer-Associated Fibroblasts. *International Journal of Translational Medicine*. 2025; 5(1):12. <https://doi.org/10.3390/ijtm5010012>
- 4) 青柳裕仁, 木村龍弥, 高 昇将, 金谷 貢：SDGsの達成を目標としたアルジネート印象材の開発. 日本医歯科機器学会誌 (Journal of Japan Society of

Dental Equipments), 29(1) : 49-53 頁, 2024.

【研究費獲得】

- 1) 小林亮太 (研究代表者), 泉 健次：画像イメージングを応用した角膜移植用培養口腔粘膜上皮細胞シートの品質評価法の開発. 令和6年度(新規)日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C)「一般」, 24K15822, 2024.
- 2) 高田 翔 (研究代表者)：口腔粘膜インビトロモデルを用いた化学療法誘発性口内炎に対する治療薬と投与方法探索. 令和6年度(新規)日本学術振興会補助金(研究活動スタート支援), 24K23576, 2024.
- 3) 泉 健次 (研究代表者)：細胞運動能を指標とする間葉系幹細胞の非破壊品質評価法の規格化. 令和6年度(新規)日本学術振興会補助金 基盤研究(B)「一般」, 24K03319, 2024.
- 4) 伊藤加代子 (研究代表者), 泉 健次：エクオールは口腔乾燥症, 味覚障害, 舌痛症の新たな治療法となりうるか? 令和5年度(継続)日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C)「一般」, 22K10310, 2024.
- 5) 齋藤夕子 (原 夕子) (研究代表者), 泉 健次：口腔粘膜上皮細胞と線維芽細胞から成る2層性自家培養口腔粘膜の開発. 令和5年度(継続)日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C)「一般」, 22K10016, 2024.
- 6) 青柳裕仁 (研究代表者), 金谷 貢：メタライズを応用した新規ジルコニア表面改質法の開発. 令和5年度(継続)日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C)「一般」, 21K09975, 2024.
- 7) 田沼順一 (研究代表者), 泉 健次：シングルセルRNA-Seq解析を利用した口腔癌微小環境の分子機構の解明. 令和5年度(継続)日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C)「一般」, 23K09150, 2024.
- 8) 飯田佑輔 (研究代表者), 泉 健次：ライブセルイメージ解析による上皮細胞シートの非破壊品質評価法の確立. 令和6年度 新潟大学 U-go グラント, 2024.
- 9) 飯田佑輔 (研究代表者), 泉 健次：ライブイメージ解析による上皮細胞シート非破壊品質評価法の確立. テルモ財団研究助成. 2024 年
- 10) 相澤有香：口腔癌と正常口腔粘膜共存モデルを用いた, 癌放射線/化学療法における抗癌治療効果ならびに口腔粘膜の発症機序の解明. 未来のライフ・イノベーションを創出するフロントランナー育成プロジェクト, 令和5年度補充採用, 2023-2025.
- 11) 井川和代 (研究代表者), 泉 健次：血管網を有する口腔がん三次元培養モデルを用いた治療効果評価法の検証. 令和6年度(継続)日本学術振興会科

学研究費補助金 基盤研究(C)「一般」, 23K11918, 2024.

- 12) 鈴木絢子 (研究代表者): 足場材コラーゲン分子フッ素化により基底膜成分を付与した高機能化培養口腔粘膜の開発. 令和6年度(新規)日本学術振興会補助金(若手研究), 23K16038, 2024.
- 13) Putri Pramita Larasati: Evaluation of ultra-high dose-rate radiotherapy (FLASH-RT) using a 3D oral cancer in vitro model, and analysis of simultaneous effects of FLASH-RT on normal oral mucosa using a new three-dimensional organotypic in vitro oral cancer model with four co-cultured cell types. 未来のライフ・イノベーションを創出するフロンランナー育成プロジェクト, 令和6年度採用, 2024-2028.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) 泉 健次: 3D cell culture platform technique for normal oral mucosa and oral cancer. Special lecture of Kaohsiung Medical University Hospital OMS, 高雄, 台湾. 2025年3月31日.

【学会発表】

- 1) Kanatani M, Hasegawa K, Aoyagi Y, Taka N, Izumi K: Effect of low-energy electron beam irradiation on contact angle, bond strength and failure mode of composite resin for CAD/CAM crowns. The 7th International Congress of Dental Technology, Osaka, 2025年1月25-26日, Journal of Japanese Academy of Dental Technology (JJADT) (7th International Congress of Dental Technology Program・Abstract) 45 (Special Issue), 58 頁, 2024.
- 2) Yuka Aizawa, Yiwei Ling, Sho Takada, Witsanu Yortchan, Rintaro Tanaka, Ayako Suzuki, Atsushi Uenoyama, Shujiro Okuda, Kei Tomihara, Kenji Izumi: Comparative Analysis of Gene Expression in Cultured Oral Mucosal Epithelial Cell Sheets (COMECS) Manufactured on Substrates with Different Physical Properties. International Collaborative Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment, バンコク, 2024年6月1日. International Collaborative Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment PROGRAM BOOK 110 頁, 2024年
- 3) Witsanu Yortchan, Yuji Yamada, Nagako Yoshida, Sho Takada, Yuka Aizawa, Rintaro Tanaka, Ayako Suzuki, Kenji Izumi: Engineering Epithelial Basement Membrane in a Tissue-Engineered Oral Mucosa: a Preliminary Study. International Collaborative Symposium on Development of Human Resources in

Practical Oral Health and Treatment. バンコク, 2024年6月1日. International Collaborative Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment PROGRAM BOOK 109 頁, 2024年

- 4) 相澤有香, 羽賀健太, 吉羽永子, Yortchan Witsanu, 高田 翔, 田中凜太郎, 内藤絵里子, 井川和代, 富原圭, 泉 健次: 口腔がんを模倣した3次元インビトロモデルの開発とその特徴. 2025年3月20日-22日. 横浜. 第24回日本再生医療学会総会 516 頁. 2025年
- 5) 三沼 蓮, Witsanu Yortchan, 相澤有香, 小林亮太, 泉健次, 飯田佑輔, 山崎達也: 粗視化解析によるヒト培養口腔粘膜上皮細胞シートの新たな非侵襲的品質評価法の開発. 2025年3月20日-22日. 横浜. 第24回日本再生医療学会総会 510 頁. 2025年
- 6) 高田 翔, 内藤絵里子, 相澤有香, Yortchan Witsanu, 田中凜太郎, 荒井良明, 泉 健次: 化学療法誘発性口内炎の病態評価に対する3次元インビトロモデルの有用性について. 2024年度新潟歯学会 第2回例会. 新潟. 2024年11月2日. 令和6年度新潟歯学会第1回例会抄録集 11 頁, 2024年
- 7) 相澤有香, 羽賀健太, 吉羽永子, Yortchan Witsanu, 高田 翔, 田中凜太郎, 内藤絵里子, 阿部達也, 丸山智, 山崎 学, 田沼順一, 富原 圭, 泉 健次: 患者由来がん関連線維芽細胞を含む三次元口腔がんモデルの開発とその特徴解析. 2024年度新潟歯学会 第2回例会. 新潟. 2024年11月2日. 令和6年度新潟歯学会第2回例会抄録集 10 頁, 2024年.
- 8) 青柳裕仁, 高 昇将, 金谷 貢: 化学変性 CNF の微量添加がアルジネート印象材の細部再現性に及ぼす影響. 令和6(2024)年度日本歯科理工学会中部地方会夏期セミナー, 岐阜, 2024年8月24日, 日本歯科理工学会誌 43(Special Issue WINTER), 19 頁, 2024.

【研究会発表】

- 1) 相澤有香, 泉 健次: 患者由来がん関連線維芽細胞を含む三次元口腔がんモデルの開発とその特徴解析. 歯学研究を明るく楽しむ交流会・歯科領域でのAI活用の検討会, 伊豆, 2024年12月1日, 2024.
- 2) 高田 翔, 内藤絵里子, 井川和代, 泉 健次: 口腔がん3次元 in vitro モデルを用いた放射線感受性評価システムの構築. 2023年度 HIMAC 共同利用成果発表会, Online, 2024年6月4日, 2024.

【その他-特許出願・特許取得】

- 1) 泉 健次, 小林亮太, 飯田佑輔, 三沼 蓮: 解析方法、解析装置及びプログラム. 国内特許出願

(出願人：新潟大学) 特願 2024-066110, 2024 年 4 月 16 日.

- 2) 泉 健次, 羽賀健太, 相澤有香, 高田翔: 立体細胞培養体および立体細胞培養体の製造方法. (出願人: 新潟大学) 国際特許出願(PCT/JP2025/004206, 出願日 2025 年 2 月 7 日).

【受賞】

- 1) 相澤有香 2024 年度マルチラボ賞 新潟大学次世代事業 2025 年 3 月 17 日
2) 相澤有香 2024 年度新潟歯学会賞
3) 相澤有香: 口腔癌と正常口腔粘膜共存モデルを用いた, 癌放射線/化学療法における抗癌治療効果ならびに口腔粘膜炎の発症機序の解明. 令和 5 年度博士学生支援プログラムシンポジウム. 最優秀プレゼンテーション賞, 2024 年 3 月 14 日, 2024.

予防歯科学分野

【論文】

- 1) Thwin KM, Takehara S, Lin WT, Ogawa H: Interactive Effects of COVID-19 infection and psychological factors on oral health-related quality of life in Myanmar. *J Oral Rehabil*, 2025. doi: 10.1111/joor.13928.
2) Ramadhani A, Tanaka A, Minagawa K, Takehara S, Yamada T, Sone H, Kaneko N, Nohno K, Ogawa H: Exploring the Changes in Mild Cognitive Impairment Blood-Based Biomarkers after Local Antibiotic Periodontal Treatment in Diabetic Patients: Secondary Analysis of Data from a Randomized Controlled Trial. *Eur J Dent*, in press, 2025.
3) Tun TZ, Karawekpanyawong R, Hoshino T, Pathak B, Okubo H, Thwin KM, Takehara S, Ogawa H: Evidence-based application of teledentistry: a systematic review. *Stoma Edu J*, in press, 2025.
4) Kakuta S, Iwasaki M, Kimura Y, Hiroshimaya T, Park JW, Wada T, Ishimoto Y, Fujisawa M, Okumiya K, Matsubayashi K, Hosokawa R, Ogawa H, Sakamoto R, Ansai T: Association between oral health-related quality of life and physical frailty among community-dwelling older adults: A 2-year longitudinal study. *J Frailty Aging* 14(1):100008, 2025.
5) Takehara S, Ueno M, Yoshihara A, Iwasaki M, Suwama K, Minagawa K, Narita I, Tanaka J, Ogawa H: Weight Loss and Number of Present Teeth in Community-Dwelling Japanese Older Adults: A Cross-Sectional Study in Niigata. *J Oral Rehabil* 52(2):169-180, 2025.

- 6) Tassanapong N, Valenzuela Torres O, Thwin KM, Ogawa H: Psychosocial determinants of oral health related to COVID-19 infection in Myanmar older adults. *Asia Pac J Public Health* 37 (1): 69-77, 2025.
7) Thwin KM, Lin WT, Kaneko N, Takehara S, Ogawa H: Impact of the COVID-19 Pandemic on Oral Health Perception, Hygiene Behaviors, and Oral Health-Related Quality of Life in Myanmar. *J Int Soc Prev Community Dent* 14(6): 479-488, 2024.
8) Tun TZ, Thwin KM, Takehara S, Ogawa H: Oral Diadochokinesis and Potential Associated Factors in Japanese Older Adult Outpatients. *Oral Health Prev Dent* 22:601-608, 2024.
9) Chairunisa F, Widita E, Thwin KM, Takehara S, Nohno K, Hanindriyo L, Miyazaki H, Ogawa H: Ten years' evaluation of periodontal status and its changes among Japanese older adults. *Spec Care Dentist* 44(6):1731-1741, 2024.
10) Takehara S, Karawekpanyawong R, Okubo H, Tun TZ, Ramadhani A, Chairunisa F, Tanaka A, F. Wright FAC, Ogawa H: The 8020 Campaign in Japan: A Policy Analysis. *Asia Pac J Public Health* 37(1):116-125, 2024.
11) Chairunisa F, Ramadhani A, Takehara S, Thwin KM, Tun TZ, Okubo H, Hanindriyo L, Bramantoro T, Ogawa H: Oral health status and oral healthcare system in Indonesia: A narrative review. *J Int Soc Prev Community Dent* 14(5):352-364, 2024.
12) Zheng FM, Adiatman M, Chu CH, Crystal YO, Featherstone JD, Hoang TH, Kim BI, Ogawa H, Pitiphat W, Kadir RA, Wong ML, Zheng S: Recommendations on Topical Fluoride Usage for Caries Management in East Asia. *International Dental Journal* 74(5): 910-916, 2024.
13) Ichikawa Y, Kaneko N, Thwin KM, Senpuku H, Nohno K, Ogawa H: Low salivary IgA levels against PAc (361-386) as a risk factor for root caries in older adults. *Clin Exp Dent Res* 10(4): e495, 2024.
14) Watanabe M, Nohno K, Taka N, Hoshino T, Tamura K, Iwasaki M, Ogawa H: Number of remaining teeth as a predictor of prospective falls in Japanese community-dwelling late older population: a 1-year cohort study. *Niigata Dent. J* 54(1): 9-19, 2024.
15) Thwin KM, Ogawa H, Phantumvanit P, Miyazaki H, Songpaisan Y: Oral health-related quality of life in the Myanmar population: The first national oral health survey 2016-2017. *Community Dent Health* 41: 158-163, 2024.
16) 田中梓, 皆川久美子, Aulia Ramadhani, 大久保光, 濃野要, 竹原祥子, 小川祐司: 2 型糖尿病患者にお

ける歯周治療後の脳梗塞リスク因子 LAB とアディポネクチンの関連性の検討. 口腔衛生学会誌, 印刷中, 2025.

- 17) 青柳裕仁, 木村龍弥, 高 昇将, 金谷 貢: SDGs の達成を目標としたアルジネート印象材の開発. 日本医用歯科機器学会誌(歯機器誌) 29(1): 62-66, 2024.
- 18) 皆川久美子, 葭原明弘, 宮本 茜, 諏訪間加奈, 岩崎正則, 竹原祥子, 小川祐司: 腎機能と自己申告による現在歯数との関連. 口腔衛生学会誌 74(2): 125-134, 2024.

【商業誌】

- 1) 小川祐司: 2024 年 FDI 世界歯科会議報告. 日本歯科評論 84 (12) :174-175, 2024.
- 2) 小川祐司: 2024 FDI Mid-Year Meeting 報告. 日本歯科評論 84 (6) :174-175, 2024.
- 3) 小川祐司: フッ化物応用に関する国内外の動き. 歯科衛生だより 81 : 1-3, 2024.
- 4) 小川祐司: 国際口腔保健シンポジウム報告. 日本歯科医師会雑誌 77 (6) : 54-55, 2024.

【研究費獲得】

- 1) 小川祐司: 糖尿病の心筋梗塞リスクに対する抗菌的歯周治療の有用性に関するランダム化比較試験. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 23K09478, 2024.
- 2) 小川祐司: 8020 達成が超高齢期の NCDs 発症予防、フレイル対応、QOL に及ぼす影響について. 8020 推進財団指定研究補助金, 2024.
- 3) Lisdrianto H, Ogawa H: A Pilot Project for Health Promoting School Initiative in Indonesia using a Multidimensional Approach. The Borrow Foundation, 2024.
- 4) 竹原祥子: 日本の 8020 運動を応用した学校歯科保健活動のインドネシア展開 - ナッジを活用したう蝕予防戦略の構築-. 公益財団法人 平和中島財団 2024 (令和 6) 年度 アジア地域重点学術研究助成, 2024.
- 5) 金子 昇, 濃野 要: 口腔細菌叢のメタゲノム解析による口臭症の病態解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 22K10338, 2024.
- 6) Thwin KM: Development and efficacy assessment of an oral health education program for older adults with depressive symptoms in Myanmar. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究, 24K20102, 2024.
- 7) Thwin KM: Fostering healthy preschool initiatives in Myanmar: A school-centred multidimensional approach. The Borrow Foundation, J24G0163, 2024.

- 8) 高 昇将: 保湿作用と抗菌作用を両立したセルロースナノファイバーを用いた新規義歯安定剤の開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究, 24K19941, 2024.
- 9) 皆川久美子: 唾液検査と質問紙調査を併用した糖尿病患者の歯周病スクリーニング方法の開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究, 24K20099, 2024.
- 10) 星野剛志: 高齢者に対するモバイル端末のテキストメッセージを活用した口腔衛生指導の有効性検証 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究, 23K16218, 2024.
- 11) 星野剛志: 血漿中抗 *Porphyromonas gingivalis* 抗体価は高血圧症の予測因子となりうるか? 日本学術振興会科学研究費補助金 研究活動スタート支援, 22K21009, 2024.
- 12) Chairunisa F: Periodontal Inflammation and Liver Abnormality Among Older Population. Futokukai Foundation, 2024.
- 13) Ramadhani A: The Risk of Dementia in Type 2 Diabetes Mellitus Patients with Periodontitis. Futokukai Foundation, 2024.
- 14) 永島和裕: 糖尿病患者に対するシクロデキストリンを用いた口臭予防の有用性. 新潟大学未来のライフ・イノベーションを創出するフロンタニナー育成プロジェクト, 国立研究開発法人科学技術振興機構(JST) 次世代研究者挑戦的研究プログラム, 2024.
- 15) Valenzuela Torres O: Presence of metabolic syndrome and periodontal inflammation on the surface area of the Japanese elderly. Japan Science and Technology Agency's (JST) Challenging Research Program for Next-Generation Researchers, 2024.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) Ogawa H: What is the optimal oral health for older people? ~towards healthy ageing~. International Oral Health Summit with the theme “Advancements, Innovations and Collaborations: The Future of Dentistry”, Manila, Philippines, February 6, 2025.
- 2) Ogawa H: Ageing and Oral Hypo-function -Future aspects in Asia-. The 16th International Conference of the Asian Academy of Preventive Dentistry, Ho Chi Minh City, Viet Nam, November 19, 2024.
- 3) Ogawa H: Trial of oral health resource development in line with Model List of Essential Medicines includes new section for dental preparations. Joint Congress on Global Health 2024, Okinawa, Japan, November 17, 2024.

- 4) Ogawa H: FDI Tobacco Cessation Project. FDI Congress 2024, Istanbul, Turkey, September 11, 2024.
- 5) Ogawa H: Oral Health for Older People - Achieving Healthy Ageing. 115th Philippine Dental Association Congress, Manila, Philippines, May 17, 2024.
- 6) 小川祐司：健康寿命延伸のための口腔保健 ―海外と日本の知見や取り組み―. 第 73 回日本口腔衛生学会, 盛岡, 2024 年 5 月 12 日.

【学会発表】

- 1) Thwin KM, Lin WT, Takehara S, Ogawa H: Impact of COVID-19 hospitalization and psychological factors on oral health-related quality of life in Myanmar. The 16th International Conference of the Asian Academy of Preventive Dentistry, Ho Chi Minh City, Viet Nam, November 18–19, 2024.
- 2) Thwin KM, Lin WT, Takehara S, Ogawa H: Psychological determinants of oral health-related quality of life: Evidence from Myanmar. The 38th East Japan Regional Conference of the Japan Association for Global Health, Sapporo, Japan, July 6, 2024.
- 3) Okubo H, Soyama Y, Kaneko N, Takehara S, Ogawa H: Periodontal status among Japanese manufacturing industry workers: Benefits of having a family dentist. International Collaborative Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment, Bangkok, Thailand, May 31–June 1, 2024.
- 4) Tassanapong N, Valenzuela Torres O, Thwin KM, Ogawa H: Psychological Factors Associated with Oral Health Status among COVID-19 Affected Older Adults in Myanmar. International Collaborative Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment, Bangkok, Thailand, May 31–June 1, 2024.
- 5) Hanindriyo L, Ogawa H, Dharmawan IR, Puspaputri E, Hardiyanti M, Pramono D, Widita E, Chairunisa F, Siregar FR, Alfian MF, Vidiastri AR: A Pilot Project for Health Promoting School Initiative in Indonesia Using a Multidimensional Approach. International Collaborative Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment, Bangkok, Thailand, May 31–June 1, 2024.
- 6) Ramadhani A, Tanaka A, Minagawa K, Takehara S, Yamada T, Nohno K, Ogawa H: The Relationship Between Periodontal Inflammation and Risk of MCI in Type 2 Diabetic Patient: A Preliminary Study. International Collaborative Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment, Bangkok, Thailand, May 31–June 1, 2024.
- 7) 金谷 貢, 長谷川健二, 山野井敬彦, 青柳裕仁, 高昇将, 泉 健次: 臨床的低エネルギー電子線照射が CAD/CAM 冠用複合レジン接着性におよぼす影響. 第 7 回国際歯科技工学術大会, 大阪, 2025 年 1 月 25–26 日.
- 8) 竹原祥子, 小川祐司: Dental Caries and Chewing Proficiency among Indonesian School Children. 第 39 回国際保健医療学会グローバルヘルス合同大会 2024, 沖縄, 2024 年 11 月 16–17 日.
- 9) 清水栄一, 江上 由里子, 馬場洋子, 高野 友花, 小川 祐司, 竹原 祥子ら: 口腔保健向上のための歯科製品のアフリカにおける国際展開の状況. 第 39 回国際保健医療学会グローバルヘルス合同大会 2024, 沖縄, 2024 年 11 月 16–17 日.
- 10) 永島和裕, 金子 昇, 濃野 要, 小川祐司: 地域在住超高齢者における口腔内のカンジダ菌保有状況. 第 35 回甲信越北陸口腔保健研究会総会・学術大会, 新潟市, 2024 年 10 月 26 日, 口腔衛生会誌, 75(1): 38, 2025.
- 11) 宮本茜, 皆川久美子, 笹嶋真嵩, 浦邊萌絵, 葭原明弘: 新潟県歯みがきスペース環境整備等モデル事業の取り組み. 第 35 回甲信越北陸口腔保健研究会総会・学術大会, 新潟市, 2024 年 10 月 26 日, 口腔衛生会誌, 75(1): 38-39, 2025.
- 12) 大久保 光, 曾山善之, 金子 昇, 竹原祥子, 小川祐司: 製造事業所における勤務形態と歯周状態および糖尿病の関連について. 令和 6 年度新潟歯学会第 1 回例会, 新潟市, 2024 年 7 月 13 日, 新潟歯学会誌 54(2): 98, 2024.
- 13) 角田衣理加, 大島朋子, 小川祐司, 金子 昇, 濃野 要, 野村義明, 花田信弘, 葭原明弘: 高齢者の認知検査に影響を与える因子についての疫学的探索. 第 73 回日本口腔衛生学会・総会, 盛岡市, 2024 年 5 月 10–12 日, 口腔衛生会誌 74(sup): 139, 2024.
- 14) 大久保 光, 曾山善之, 金子 昇, 竹原祥子, 小川祐司: 製造事業所における勤務形態と口腔内状況の関連について. 第 73 回日本口腔衛生学会・総会, 盛岡市, 2024 年 5 月 10–12 日, 口腔衛生会誌 74(sup): 130, 2024.
- 15) Tin TZ, Thwin KM, Takehara S, Minagawa K, Kaneko N, Ogawa H: 日本人高齢者における口腔機能低下とその関連要因. 第 57 回新潟歯学会総会, 新潟市, 2024 年 4 月 13 日, 新潟歯学会誌 54(1): 54, 2024.

【受賞】

- 1) Valenzuela Torres O: Presence of metabolic syndrome and periodontal inflammation on the surface area of the

Japanese elderly. Research poster Award for Niigata University Doctoral Student Support Program Symposium (Next Generation Business Reporting Session), March 17, 2025.

- 2) Thwin KM: Impact of COVID-19 hospitalization and psychological factors on oral health-related quality of life in Myanmar. The 16th International Conference of the Asian Academy of Preventive Dentistry, Lion Award for Preventive Dentistry (Consolation Prize, Senior Category), November 19, 2024.
- 3) Thwin KM: Excellent Paper Award for the Fiscal Year 2023, Niigata University, July, 2024.
- 4) 永島和裕, 金子 昇, 濃野 要, 小川祐司: 地域在住超高齢者における口腔内のカンジダ菌保有状況. 第 35 回甲信越北陸口腔保健研究会学術大会 発表奨励賞, 2024 年 10 月 26 日.

【その他】

- 1) Ogawa H: Lecture on “Phase Down of Dental Amalgam”. Inbound visit program for students from Malaya University (Malaysia), Niigata, February 28, 2025.
- 2) Hoshino T: Lecture on “Oral Functional Status in Asia”. Inbound visit program for students from Malaya University (Malaysia), Niigata, February 27, 2025.
- 3) Ramadhani A: Lecture on “MCI Risk Biomarkers after Periodontal Treatment in T2DM Patients”. Inbound visit program for students from Malaya University (Malaysia), Niigata, February 26, 2025.
- 4) Minagawa K: Lecture on “Child Health Management & Dental Care in Early Childhood”. Inbound visit program for students from Malaya University (Malaysia), Niigata, February 26, 2025.
- 5) Takehara S: Lecture on “Oral Health System in Japan”. Inbound visit program for students from Malaya University (Malaysia), Niigata, February 26, 2025.
- 6) Thwin KM: Lecture on “International Oral Health”. Inbound visit program for students from Malaya University (Malaysia), Niigata, February 25, 2025.
- 7) Hoshino T: Invited Lecture on “Geriatric Oral Care and Research at Niigata University”. Collaborative research project with University of Phayao (Thailand), Thailand, February 21, 2025.
- 8) Takehara S: Oral Health System for Universal Health Coverage in Japan, Kenya Dental Association (Kenya), January 17, 2025
- 9) Takehara S: Oral Health System for Universal Health Coverage in Japan, Lecture at Levy Mwanawasa University (Zambia), January 14, 2025
- 10) Thwin KM: Guest speaker for undergraduate students from Hosei University, Faculty of Sports and Health Studies. December 20, 2024.
- 11) Takehara S: Our challenges toward Healthy Ageing, lecture for postgraduate students at Universitas Gadjah Mada (Indonesia), October 15, 2024.
- 12) Takehara S: Healthcare System and Oral Health Status in Japan, lecture for undergraduate students at Universitas Gadjah Mada (Indonesia), October 14, 2024.
- 13) Ogawa H: Brief tobacco interventions (5As and 5Rs). FDI NDA online workshop (Cook Island), October 12, 2024.
- 14) Ogawa H: Oral Health System for Universal Health Coverage in Japan. THE TRAINING PROJECT ON STRENGTHEN ORAL DISEASE PREVENTION AND CONTROL SERVICES BY UTILIZING THE WHO ESSENTIAL DENTAL PREPARATIONS, July 30, 2024.
- 15) Ogawa H: Brief tobacco interventions (5As and 5Rs). FDI NDA online workshop (Fiji), July 17, 2024.
- 16) Thwin KM: Consultant for future studies in Japan. Education event of the Myanmar Youth and Student Association (MYSA), Japan, June 2, 2024.
- 17) Thwin KM: Evidence-based training: How to appraise a scientific paper. Mae Fah Luang University, School of Anti-aging and Regenerative Medicine, Online Discussion with a MSc student, May 10, 2024.
- 18) 小川祐司: WHO Global Oral Health Meeting を踏まえての国際口腔保健. 深井保健科学研究所 第 23 回コロキウム, 東京, 2024 年 12 月 8 日.
- 19) 小川祐司: FDI (世界歯科医師連盟) と ヘルシーエイジング. 第 22 回フォーラム 8020, 東京. 2024 年 11 月 9 日.
- 20) 小川祐司: グローバルオーラルヘルスプロモーションにおいて 日本のオーラルヘルスプロフェッショナルに求められるもの. 2024 年 JAICOH 総会, 東京, 2024 年 7 月 15 日.
- 21) 小川祐司: 親の虫歯は子どもにうつる?. にいがたケンジュプロジェクト (BSN 新潟放送ゆうなび), 新潟, 2024 年 7 月 11 日.
- 22) 小川祐司: 2030 年に向けてのグローバルオーラルヘルスプロモーション --日本の果たすべき役割とは--. 令和 6 年度高岡市歯科医師会学術講演会, 高岡, 2024 年 6 月 16 日.
- 23) 大久保光: 産業医講話 歯と口の健康習慣. YKK 安全衛生委員会, 黒部市, 2024 年 6 月 4 日.

う蝕学分野

【論文】

- 1) Takahara S, Ohkura N, Yoshiba N, Baldeon-Gutierrez R, Gomez-Kashimoto S, Edanami N, Ida T, Takenaka S, Yoshiba K, Noiri Y: Influence of Tooth Maturity on Healing Outcomes in Regenerative Endodontics. J Dent Res, 2025 (in press).
- 2) Saito R, Domon H, Hiyoshi T, Hirayama S, Maekawa T, Takenaka S, Noiri Y, Ikeda A, Hirose T, Sunazuka T, Yutaka Terao: A novel 12-membered ring non-antibiotic macrolide EM982 attenuates cytokine production by inhibiting IKK β and I κ B α phosphorylation. Journal of Biological Chemistry 300 (6), 107384, 2024
- 3) Maki Sotozono, Ryouhei Takahashi, Takako Ida, Ryoko Nagata, Rui Saito, Niraya Kornsobut, Jutharat Manuschai, Shoji Takenaka, Yuichiro Noiri: Interaction between the human dental microbiome and host gingival model. Microbiota and Host 3(1):e240008, 2024
- 4) Niraya Kornsobut, Shoji Takenaka, Jutharat Manuschai, Maki Sotozono, Ryoko Nagata, Takako Ida, Risako Sato, Rui Saito, Ryouhei Takahashi, Daichi Sato, Yuichiro Noiri: Effects of Tooth Desensitizers on Streptococcus mutans Biofilm Formation Using a Modified Robbins Device Flow Cell System. International Journal of Molecular Sciences 25(19) 10703, 2024
- 5) Niraya Kornsobut, Shoji Takenaka, Maki Sotozono, Ryoko Nagata, Takako Ida, Jutharat Manuschai, Rui Saito, Ryouhei Takahashi, Yuichiro Noiri: Antibiofilm Properties and Demineralization Suppression in Early Enamel Lesions Using Dental Coating Materials. Antibiotics 13(1), 106, 2024
- 6) Manuschai J, Sotozono M, Takenaka S, Kornsobut N, Takahashi R, Saito R, Nagata R, Ida T, Noiri Y: In Vitro Inhibitory Effect of Silver Diamine Fluoride Combined with Potassium Iodide against Mixed-Species Biofilm Formation on Human Root Dentin Antibiotics 13(8); 743, 2024
- 7) Takahara S, Edanami N, Ibn Belal RS, Yoshiba K, Takenaka S, Ohkura N, Yoshiba N, Gomez-Kasimoto S, Noiri Y. An Evaluation of the Biocompatibility and Chemical Properties of Two Bioceramic Root Canal Sealers in a Sealer Extrusion Model of Rat Molars. Journal of Functional Biomaterials. 16(1), 14, 2025
- 8) 大倉直人, Baldeon Gutierrez Rosa Edith, 高原信太郎, Gomez Kasimoto Susan Kiara, 枝並直樹, 井田貴子, 外園真規, 永田量子, 竹中彰治, 吉羽邦彦, 吉羽永子, 野杵由一郎: 歯髄創傷治癒および歯髄再生過程

におけるリン酸トランスポーター(Pit-1)の免疫組織学的解析. 165-173 頁, 日本歯科保存学会雑誌, 2024.

- 9) 高橋 竜平, 外園 真規, 井田 貴子, 永田 量子, Kornsobut Niraya, 齋藤 瑠都, 竹中 彰治, 野杵 由一郎: In situ デンタルバイオフィルムモデルを用いた宿主 バイオフィルム間相互作用の解明. BACTERIAL ADHERENCE & BIOFILM 37, 35-41, 2024

【機関誌・総説論文】

- 1) 野杵由一郎: 歯内療法の現在とこれから 第1回根尖性歯周組織疾患の原因分析, 月間保団連 5: 40-43 頁, 2024.
- 2) 大倉直人、野杵由一郎: 歯内療法の現在とこれから 第2回 歯髄保存療法の意義と実際, 月間保団連 6: 40-43 頁, 2024.
- 3) 野杵由一郎: 歯内療法の現在とこれから 第3回技術革新後の治療の現状, 月間保団連 7: 46-49 頁, 2024.
- 4) 枝並直樹、野杵由一郎: 歯内療法の現在とこれから 第4回失活した根未完成歯に対する新たな治療法, 月間保団連 8: 44-47 頁, 2024.
- 5) 枝並直樹、野杵由一郎: 歯内療法の現在とこれから 第5回歯髄保存療法の成功を左右するケイ酸カルシウム系セメント 月間保団連 9: 39-43 頁, 2024.
- 6) 大倉直人、野杵由一郎: 歯内療法の現在とこれから 第6回 歯髄組織のトランスポーター, 月間保団連 10: 43-47 頁, 2024.

【研究費獲得】

- 1) 大倉直人, 吉羽永子, 吉羽邦彦, 柿原嘉人, 大島勇人: アスコルビン酸輸送単体を介した象牙芽細胞分化を促進させる歯髄再生メカニズムの解明 日本学術振興会科学研究助成基金助成金 基盤研究(C), 19K10147 2022.
- 2) 竹中彰治、茂呂寛、清水詩子、山村昌平、淵脇雄介、野杵由一郎: 在宅高齢者の誤嚥性肺炎リスクを感知する血中抗体価を指標とした携帯型迅速検査の創出. 基盤研究 (B) , 24K02763, 2024.
- 3) 竹中彰治、茂呂寛、清水詩子、野杵由一郎: 認知症に対応し在宅看護を支援する感染バイオマーカーの携帯型迅速検査デバイスの開発. 挑戦的研究 (萌芽) , 24K22229, 2024.
- 4) 永田量子: 磁気ビーズによる口腔ピロリ菌の検出と乳酸菌、多価不飽和脂肪酸による感染予防の検索. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究, 918713, 2023.
- 5) 井田貴子、外園真規、枝並直樹、竹中彰治、野杵由一郎: 緑茶由来成分を用いた炎症制御と口腔バイ

オフィウム接着阻害によるう蝕進行制御の検索. 日本学術振興会科学研究費基金 基盤研究 (C) , 22K09997, 2024.

- 6) 外園真規: 免疫細胞を含む新規歯肉上皮モデルを用いた, 宿主免疫機構とデンタルバイオフィウム細菌叢の相互作用の解明. MSD 生命科学財団 助成金感染症領域, 2024
- 7) 外園真規: In situ デンタルバイオフィウムモデルを用いたプロバイオティクスの評価. 日本学術振興会科学研究費基金 若手研究, 24K19874, 2024
- 8) 齋藤瑠郁: エコ・リサイクルな創薬イノベーション研究 - 新発想の感染症治療薬の開発研究 -, 未来社会を牽引するグローバルな総合知を備えたフロントランナー育成プロジェクト (次世代プロジェクト) 研究費, 継続

【招待講演・シンポジウム】

- 1) 野杵由一郎: 口腔ケアロボットの有用性に関する症例報告, 2024 年度にいがた摂食嚥下障害サポート研究会講演会, 新潟, 2024 年 12 月 14 日.
- 2) 野杵由一郎: AI 時代のう蝕予防管理—変わり行くアプローチと歯科衛生士としての対応—, 日本歯科衛生学会第 19 回学術大会 日本歯科保存学会共同企画, オンデマンド, 2024 年 10 月 15 日~29 日, 日本歯科衛生学会雑誌: 19 (1)59 頁, 2024.
- 3) 外園真規、野杵由一郎: In situ デンタルバイオフィウムモデルを用いたヒトデンタルバイオフィウムの多面的解析, 第 38 回日本バイオフィウム学会学術集会, 大阪, 2024 年 7 月 27 日, 同学術集会プログラム・抄録集: 19 頁, 2024.
- 4) 竹中彰治: 歯とくちの健康づくり講演会, 新潟県燕市北中学校 主催: 新潟県健康づくり財団, 新潟, 2024 年 5 月 22 日, 2024.
- 5) 野杵由一郎: 歯とくちの健康づくり講演会, 新潟県新発田市第一中学校 主催: 新潟県健康づくり財団, 新潟, 2024 年 5 月 29 日, 2024.
- 6) 野杵由一郎: AI 時代・超高齢者時代の保存治療とは!, 徳島大学歯学部同窓会東海支部学術講演会, 名古屋, 2024 年 6 月 16 日, 2024.
- 7) 野杵由一郎: 在宅高齢者の誤嚥性肺炎を独自開発の迅速診断キットと口腔細菌血清抗体価を指標にリスクアセスメントし老化を予知する, 第 24 回日本抗加齢医学会学術大会シンポジウム, 熊本, 2024 年 6 月 1 日, 同学術集会プログラム・抄録集: 158 頁, 2024.

【学会発表】

- 1) Rosa Baldeon-Gutierrez, Naoto Ohkura, Shintaro

Takahara, Susan Gomez-Kasimoto, Takako Ida, Naoki Edanami, Shoji Takenaka, Nagako Yoshiba, Yuichiro Noiri: Wound healing mechanism after pulpotomy in type 2 Diabetes Mellitus Rats. International Collaborative Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment, Bangkok, Thailand, 2024, 31 May-1 June, 2024.

- 2) Susan Gomez Kasimoto, Naoto Ohkura, Rosa Baldeon Gutierrez, Shintaro Takahara, Naoki Edanami, Takako Ida, Shoji Takenaka, Nagako Yoshiba, Yuichiro Noiri: The role of glutamine transporters in the dental pulp and periodontal ligament. International Collaborative Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment, Bangkok, Thailand, 2024, 31 May-1 June, 2024.
- 3) 大倉直人, 吉羽永子, 立川正憲, 中馬吉郎, Rosa Edith Baldeon Gutierrez, 高原信太郎, Susan Gomez Kasimoto, 井田貴子, 枝並直樹, 竹中彰治, 野杵由一郎: 各種受容細胞における P.gingivalis 由来外膜小胞の取り込み動態解析. 日本歯科保存学会 2024 年度秋期学術大会(161 回), 姫路市, 2024 年 11 月 21, 22 日, 日本歯科保存学会学術大会プログラム 150 頁, 2024.
- 4) 扇田彩希, 近藤もも香, 大倉直人, 稲垣舞, 竹中彰治, 橋本彩伽, 万々桜, 日高萌実, 立川正憲: マウス血液脳関門 in vitro モデル細胞における歯周病菌由来膜小胞の内在化過程の可視化. 第 63 回日本薬学会中国四国支部, 岡山市, 2024 年 11 月 16, 17 日, 日本薬学会中国四国支部学術大会プログラム 39 頁, 2024.
- 5) 近藤もも香, 大倉直人, 稲垣舞, 竹中彰治, 日高萌実, 万々桜, 立川正憲: ヒト脳微小血管内皮細胞における歯周病菌 P.gingivalis 由来ナノ粒子の取り込み動態. 第 63 回日本薬学会中国四国支部, 岡山市, 2024 年 11 月 16, 17 日, 日本薬学会中国四国支部学術大会プログラム 42 頁, 2024.
- 6) Rosa Baldeon-Gutierrez, Naoto Ohkura, Nagako Yoshiba, Shintaro Takahara, Susan Gomez-Kasimoto, Naoki Edanami, Takako Ida, Shoji Takenaka, Yuichiro Noiri: TRPV1 and ANO1 involved in the acute pain during orthodontic treatment. The 26th JSCD/KACD Joint Scientific Meeting, Himeji, 2024, November 21-22, 2024.
- 7) 齋藤瑠郁, 土門久哲, 日吉巧, 池田朱里, 廣瀬友靖, 砂塚敏明, 寺尾豊: 非抗菌性エリスロマイシン誘導体による免疫調節作用の解析. 第 97 回日本細菌学会総会, 札幌, 2024 年 8 月 8 日, 日本細菌学雑誌 79 (2): 209 頁, 2024
- 8) 齋藤瑠郁, 土門久哲, 竹中彰治, 野杵由一郎: 免疫

調節による新規歯周炎制御法の開発に向けた非抗菌性マクロライドの探索. 第 161 回日本歯科保存学会 2024 年秋季学術大会, 姫路, 2024 年 11 月 21 日.

- 9) 永田量子, 竹中彰治, 外園真規, 野杵由一郎: デンタルバイオフィームからの *Helicobacter pylori* の分離培養法の確立を目指した研究 (第一報) ポリクローナル抗体結合磁気ビーズ法を用いた *H. pylori* の検出. 第 161 回日本歯科保存学会, 姫路, 2024 年 11 月 21 日~22 日 159 頁.
- 10) 井田貴子, 枝並直樹, 外園真規, 竹中彰治, 野杵由一郎: Epigallocatechin-3-gallate(EGCG)によるマクロファージ極性制御誘導の検討. 第 161 回日本歯科保存学会学術大会, 姫路, 2024 年 11 月 21 日, 日本歯科保存学会学術大会プログラム・抄録集 105 頁, 2024.
- 11) 外園 真規, 高橋 竜平, 井田 貴子, 永田 量子, Niraya Kornsombut, 齋藤 瑠郁, Jutharat Manuschai, 佐藤 大地, 竹中 彰治, 野杵 由一郎: 歯肉上皮モデルが *in situ* デンタルバイオフィーム細菌叢に及ぼす影響. 第 38 回日本バイオフィーム学会学術集会, 大阪, 2024 年 7 月 27 日, 同学術集会プログラム・抄録集: 27 頁, 2024
- 12) Jutharat Manuschai, 外園 真規, 竹中 彰治, Niraya Kornsombut, 高橋 竜平, 齋藤 瑠郁, 永田 量子, 井田 貴子, 野杵 由一郎: The effect of silver diamine fluoride combined with potassium iodide against cariogenic biofilm formation: In vitro. 2024 年度春季大会 (第 160 回), 仙台, 2024 年 5 月 16 日. 第 160 回日本歯科保存学会学術大会プログラム・抄録集 41 頁, 2024
- 13) 外園 真規, 高橋 竜平, 井田 貴子, 永田 量子, Niraya Kornsombut, 齋藤 瑠郁, Jutharat Manuschai, 佐藤 大地, 竹中 彰治, 野杵 由一郎: デンタルバイオフィーム-宿主間の相互作用の解明. 2024 年度秋季学術大会 (第 161 回), 姫路, 2024 年 11 月 21 日, 第 161 回日本歯科保存学会学術大会プログラム・抄録集 44 頁, 2024.
- 14) Niraya Kornsombut, 竹中彰治, 外園真規, Jutharat Manuschai, 野杵由一郎: Antibiofilm properties and demineralization suppression in early enamel lesions using dental coating materials. 第 57 回新潟歯学会総会, 新潟, 2024 年 4 月 13 日, 新潟歯学会雑誌 54(1), 2024, 58 頁, 2024
- 15) Rosa Baldeon-Gutierrez1, 大倉直人, 吉羽永子, 高原信太郎, Susan Gomez-Kasimoto, 枝並直樹, 井田貴子, 竹中彰治, 吉羽邦彦, 野杵由一郎: Wound healing process after pulpotomy in the pulp tissue of Diabetes Mellitus model rats. 第 57 回新潟歯学会第一回例会,

新潟, 2024 年 11 月 2 日, 新潟歯学会雑誌 54(2), 2024, 42 頁, 2024

- 16) 高原信太郎, 大倉直人, 吉羽永子, Rosa Baldeon-Gutierrez1, Susan Gomez-Kasimoto, 枝並直樹, 井田貴子, 竹中彰治, 野杵由一郎: 再生歯内療法モデルラットにおける歯根の成長段階に応じた治療の変化と間葉系幹細胞の挙動との関係性. 第 57 回新潟歯学会第 2 回例会, 新潟, 2024 年 11 月 2 日, 新潟歯学会雑誌 54(2), 2024, 38 頁, 2024

【受賞】

- 1) 大倉直人: Cranial neural crest specific deletion of Alpl (TNAP) via P0-Cre causes abnormal chondrocyte maturation and deficient cranial base growth. UJA 論文賞 2024 奨励賞受賞, 2024 年 5 月 11 日.
- 2) 大倉直人: 歯根形成時における Tissue nonspecific alkaline phosphatase の機能解析. 日本歯科保存学会 2023 年度秋期学術大会 (159 回) カボプランメカ優秀ポスター賞, 2024 年 5 月 16 日.
- 3) 外園真規: 歯肉上皮モデルが *in situ* デンタルバイオフィーム細菌叢に及ぼす影響. 第 38 回日本バイオフィーム学会学術集会, トラベルアワード, 2024 年 7 月 27 日

小児歯科学分野

【著書】

- 1) 早崎治明, 中村由紀: 6 歳 幼若第一大臼歯の齲蝕予防. 第一大臼歯を通して考える (朝田芳信 編), 52-57 頁, 株式会社ヒョーロン・パブリッシャーズ, 東京, 2024.

【論文】

- 1) Hozawa M, Nakamura Y, Sotome T, Nakajima T, Hanasaki M, Sasakawa Y, Tsukuno T, Yonemoto Y, Hayasaki H: Evaluation of oral function using a composite sensor during maximum lip closure and swallowing in normal children and adults. J Oral Rehabil 51(8):1349-1356, 2024.
- 2) Nakamura Y, Nogami Y, Iwase Y, Hozawa M, Sotome T, Saitoh I, Ohuchi A, Hayasaki H: Dental caries prevalence in children during temporary protective care according to type of abuse. BMC Public Health 24(1):1345, 2024.
- 3) Saitoh I, Holi Y, Anayama-Kurosawa M, Tsukuno S, Kiyokawa Y, Terajima M: Space maintenance for early loss of a second deciduous molar using the novel W-type

loop, *Pediatric Dental J* 34(3): 186-190, 2024.

- 4) 倉重圭史, 土岐志麻, 鈴木広幸, 田中克明, 村井雄司, 石通宏行, 柿野聡子, 桑原康生, 近藤有紀, 榊原さや夏, 佐野正之, 鈴木淳司, 中村由紀, 星川聖良, 蓑輪映里佳, 湯浅健司, 菊部洋行, 早崎治明, 朝田芳信, 齊藤正人: 口腔機能発達不全症の管理指導におけるオンライン診療に対する評価. *小児歯科学雑誌* 62(2):44-52, 2024.

【研究費獲得】

- 1) 松原まなみ, 早崎治明, 中村由紀: 早産児の口腔発達支援プログラムの開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 21K10901, 2024.
- 2) 中村由紀, 早崎治明, 松原まなみ, 今村孝: 離乳期以降の摂食機能発達プロセスを口腔の圧形成メカニズムの変移から解明する. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 22K10267, 2024.
- 3) 大島邦子, 早崎治明, 大島勇人: 再植歯の人為的髄床底穿孔と神経伝達シグナル調節による歯髄再生療法. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 23K09411, 2024.
- 4) 朴沢美生: 複合センサを用いた口腔内圧のコントロールと口唇の発達変化の解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 研究活動スタート支援, 23K19683, 2024.
- 5) 朴沢美生: 口腔機能発達支援の確立にむけた、小児の洗口時の口唇閉鎖機能の解明. 公益財団法人富徳会研究者助成金, J24G0161, 2024.
- 6) 築野沙絵子: 小児において食品の種類や摂取方法は捕食時呼吸運動に影響を及ぼす. 日本学術振興会科学研究費補助金 研究活動スタート支援, 24K20076, 2024.

【学会発表】

- 1) Kusashio N, Hasegawa Y, Nakamura Y, Yoneda H, Shiramizu M, Yamamoto T, Ono T : Effects of Asymmetrical Occlusion on Children in the Mixed Dentition Period. Taiwan Academy of Pediatric Dentistry 2024 Annual Conference, Taipei, 2024 年 6 月 29-30 日, 2024.
- 2) Bando R, Saitoh I, Hori Y, Anayama-Kurosawa M, Kiyokawa Y, Tsukuno S, Iwase Y, Kaihara Y, Nakamura Y, Terajima M, Hayasaki H: Space maintenance for early loss of a second deciduous molar using the novel W-type loop. The 13th Biennial Congress of Pediatric Dentistry Association of Asia, 2024 年 10 月 30 日-11 月 1 日, 2024.
- 3) 中村由紀, 野上有紀子, 草塩奈央, 笹川祐輝, 岩瀬

陽子, 齊藤一誠, 早崎治明: 一時保護施設入所児童の口腔清掃習慣と関連する養育環境因子. 第 62 回日本小児歯科学会大会, 横須賀, 2024 年 5 月 16-17 日, *小児歯科学雑誌* 62(大会抄録号):189 頁, 2024.

- 4) 築野沙絵子, 齊藤一誠, 中村由紀, 清川裕貴, 朴沢美生, 五月女哲也, 草塩奈央, 早崎治明: 外傷による上顎右側側切歯の早期喪失に対し人工歯付リングアルーチ型固定式装置を用いて管理した 1 例. 第 62 回日本小児歯科学会大会, 横須賀, 2024 年 5 月 16-17 日, *小児歯科学雑誌* 62(大会抄録号):211 頁, 2024.
- 5) 齊藤一誠, 堀百合彩, 黒澤美絵, 清川裕貴, 築野沙絵子, 岩瀬陽子, 海原康孝, 坂東亮, 中村由紀, 早崎治明: 新規保隙装置 W 型ループを用いスペース管理を行った 1 例. 第 62 回日本小児歯科学会大会, 横須賀, 2024 年 5 月 16-17 日, *小児歯科学雑誌* 62(大会抄録号):222 頁, 2024.
- 6) 磯邊嘉葉, 今村孝, 米本裕貴, 中島努: RGB-D カメラを用いた非接触口唇計測手法の検討・評価. ロボティクス・メカトロニクス 講演会 2024 in Utsunomiya, 栃木, 2024 年 5 月 29 日-6 月 1 日, ロボティクス・メカトロニクス 講演会予稿集 1P2-T03: 1-4 頁, 2024.
- 7) 米本裕貴, 中島努, 中村由紀, 五月女哲也, 高野聖真, 早崎治明: 小児のスプーンと茶碗の協調運動. 第 12 回日本食育学会学術大会, 市川, 2024 年 7 月 7 日, 第 12 回総会・学術大会 講演・学術報告要旨集 1: 55 頁, 2024.
- 8) 近藤淳子, 塚田しげみ, 坂本裕里子, 筒井亜香里, 中村夢衣, 桜井花菜, 朴沢美生, 中村由紀, 早崎治明: 低ホスファターゼ症と診断された兄妹の口腔衛生管理を行った 1 例. 第 19 回日本歯科衛生学会大会, 新潟, 2024 年 9 月 21-23 日, *日本歯科衛生学会雑誌* 19(1):70 頁, 2024.
- 9) 中村夢衣, 近藤淳子, 塚田しげみ, 坂本裕里子, 筒井亜香里, 桜井花菜, 笹川裕輝, 中村由紀, 早崎治明: シロムリス服用中の小児患者に対して口腔内管理を行った一例. 第 19 回日本歯科衛生学会大会, 新潟, 2024 年 9 月 21-23 日, *日本歯科衛生学会雑誌* 19(1):85 頁, 2024.
- 10) 坂本裕里子, 近藤淳子, 塚田しげみ, 筒井亜香里, 中村夢衣, 桜井花菜, 朴沢美生, 中村由紀, 早崎治明: 視覚支援と行動療法を用いて継続的口腔衛生管理を行った自閉スペクトラム症患者の 1 例. 第 19 回日本歯科衛生学会大会, 新潟, 2024 年 9 月 21-23 日, *日本歯科衛生学会雑誌* 19(1):97 頁, 2024.
- 11) 五月女哲也, 中村由紀, 花崎美華, 早崎治明: 高所からの転落により多数歯を喪失した患児の 1 例. 第

42 回日本小児歯科学会北日本地方会大会, 新潟,
2024 年 10 月 13 日, プログラム・抄録集: 33 頁,
2024.

- 12) 佐野拓人, 大島邦子, Angela Quispe-Salcedo, 岡田
康男, 佐藤拓一, 大島勇人: マウス歯の再植時の意
図的穿孔形成がマクロファージの時空間ダイナミ
クスに与える影響. 第 66 回歯科基礎医学会学術大
会, 長崎, 2024 年 11 月 2-4 日, J Oral Biosci Suppl
2024: 246 頁, 2024.
- 13) 金丸博子, 築野沙絵子, 倉田行伸, 山本徹, 田中裕,
岸本直隆: 亜酸化窒素吸入鎮静法が奏功した洞不全
症候群を有する Down 症候群患者の管理経験. 第 41
回日本障害者歯科学会総会および学術大会, 沖縄,
2024 年 12 月 13 日~15 日, プログラム・抄録集:
220 頁, 2024.

【研究会発表】

- 1) 朴沢美生, 中村由紀, 近藤淳子, 花崎美華, 早崎治
明: 低ホスファターゼ症児に長期的口腔内管理を行
った一例. 第 13 回北信越障害者歯科臨床研究会,
新潟, 2024 年 7 月 7 日, プログラム・抄録集: 10
頁, 2024.

生体歯科補綴学分野

【著 書】

- 1) 長澤麻沙子: 支台歯形成. 冠橋義歯補綴学テキスト
(江草宏 他編), 18-22, 永末出版, 東京, 2025.

【論 文】

- 1) Ono Y, Kaku M, Thant L, Iwama H, Arai M, Mizukoshi
M, Dobashi A, Kitami M, Taketo MM, Ohazama A, Saito
I, and Uoshima K: Wnt/beta-catenin Promotes Cementum
Apposition in Periodontal Regeneration. J Dent Res 104:
183-192, 2025.
- 2) Akiba Y, Takaoka Y, Eguchi K, Akiba N, Ko N, Uoshima
K: Metal allergy as a persistent factor for psoriasis. J
Prosthodont Res Online ahead of print, 2025.
- 3) Felszeghy S, Mutluay M, Liukkonen M, Flacco N, Bakr
MM, Rampf S, Schick SG, Mushtaq F, Sittoni-Pino MF,
Ackerman K, Arias-Herrera S, Audsley B, Bágyi K, Bell
S, Bistey T, Byrne S, Carpegna G, Carramolino-Cuéllar E,
da Costa JB, Durham MR, Galán-Gil S, Gerber G,
González-Carrasco D, Gourley K, Hermann P, Huhtela O,
Hytönen H, Kämppi A, Lampe M, López-Roig C,
Marincsák R, Morton D, Nagasawa M, Nagy K, Nagy L,
Øilo M, Orsini C, Palotie U, Pantea M, Pasqualini D,

- Pétercsák A, Pino-Valenzuela D, Quenta-Silva E, Ranauta
A, Rederene G, Riutord-Sbert P, Rodakowska EJ,
Rodríguez-Hopp MP, Saenz-Laguna-Saavedra M,
Suominen AL, Tricio J, Voog-Oras Ü, Wolcott MD, Usta
SN, Lingström P, Shazib MA, Manzanares-Céspedes MC,
Greany TJ, Maggio M, Stolberg R, Gülsün G, Bencharit
S, Quinn B: Benefits and challenges of the integration of
haptics-enhanced virtual reality training within dental
curricula. J Dent Educ Online ahead of print, 2024.
- 4) Felszeghy S, Liukkonen M, Flacco N, Bakr MM, Rampf
S, Schick SG, Sittoni-Pino MF, Ackerman K, Arias-
Herrera S, Audsley B, Bell S, Byrne S, Carpegna G,
Durham MR, Gourley K, Huhtela O, Hytönen H, López-
Roig C, Morton D, Nagasawa M, Orsini C, Pasqualini D,
Ranauta A, Rodríguez-Hopp MP, Suominen AL, Tricio-
Pesce JA, Wolcott M, Shazib MA, Greany TJ, Lampe M,
Maggio M, Bencharit S, Stolberg R, Gül G, Quinn B,
Mutluay M: Establishing the VR-haptic thinkers group:
Insights and progress in dental training technologies.
Saudi Dent J 36(12): 1655-1659, 2024.
 - 5) Nguyen VQ, Akiba Y, Eguchi K, Akiba N, Uoshima K:
Controlling redox state by edaravone at transplantation
site enhances bone regeneration. Biomed Pharmacother
177: 117032, 2024.
 - 6) Liang L, Nagasawa M, Ha V, Lin AJ, Akiba Y, Akiba N,
Yamakami SA, Uoshima K, Ohshima H: Association
between gender and self-assessment skills amongst
Japanese dental students. J Dent Sci J 19(3): 1533-1539,
2024.
 - 7) Otomo K, Omura T, Nozawa Y, Steven J Edwards, Sato Y,
Saito Y, Yagishita S, Uchida H, Watakabe Y, Naitou K,
Yanai R, Sahara N, Takagi S, Katayama R, Iwata Y,
Shiokawa T, Hayakawa Y, Otsuka K, Watanabe-Takano H,
Haneda Y, Fukuhara S, Fujiwara M, Nii T, Meno C,
Takeshita N, Yashiro K, Rosales Rocabado J M, Kaku M,
Yamada T, Oishi Y, Koike H, Cheng Y, Sekine K, Koga J,
Sugiyama K, Kimura K, Karube F, Kim H, Manabe I,
Nemoto T, Tainaka K, Hamada A, Brismar H, and Susaki
E A: descSPIM: an affordable and easy-to-build light-
sheet microscope optimized for tissue clearing techniques.
Nat Commun 15: 4941, 2024.
 - 8) Kitami M, Kaku M, Thant L, and Maeda T: A loss of
primary cilia by a reduction in mTOR signaling correlates
with age-related deteriorations in condylar cartilage.
Geroscience 46: 5995-6007, 2024.
 - 9) 青柳裕仁, 木村龍弥, 高昇将, 金谷貢: SDGs の達成
を目標としたアルジネート印象材の開発. 歯機器誌
29(1): 49-53, 2024.

【商業誌】

- 1) 加来賢: 細胞外マトリックスのプロテオーム解析と歯周組織再生. BIO Clinica 39: 53-56, 2024.

【研究費獲得】

- 1) 加来賢, 小野喜樹, 柿原嘉人, 松本雅記: 細胞外マトリックスが制御する幹細胞分化の解明と歯根膜再生への応用. 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(B), 24K02630, 2024.
- 2) 秋葉陽介, 魚島勝美, 照沼美穂, 水野潤, 泉健次: 規格化ナノ構造チタンによる接着蛋白質を介した組織形成制御可能な生体材料開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 21K09976, 2024.
- 3) 秋葉陽介, 秋葉奈美, 江口香里: 対話型論証による問題発見解決能力涵養を目指した歯科臨床推論演習. 令和 6 年度新潟大学学長教育助成制度, 2024.
- 4) 秋葉陽介, 秋葉奈美, 江口香里: 知識構成型ジグソー法による専門講義科目の能動的学習化. 令和 6 年度新潟大学学長教育助成制度, 2024.
- 5) 秋葉陽介: チタン接着タンパク質の構造解析と分子動力学シミュレーションによるタンパク質のチタン接着機序解明を基点にチタン骨結合機構解明を目指した医工連携研究. 令和 6 年度 U-go グラント, 2024.
- 6) 秋葉奈美, 魚島勝美, 照沼美穂, 秋葉陽介: 抗酸化物質による移植細胞の長期生存, 長期機能発現を可能にする新規骨増生法の開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 23K09272, 2024.
- 7) 長澤麻沙子: 生物学的視点から見たアバットメントスクリュー締付けトルク値の科学的根拠探索. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 23K09271, 2024.
- 8) 長澤麻沙子: 垂直歯根破折の予防と予知性の高い治療法を目指した多施設臨床研究. 令和 6 年度 8020 公募研究事業, 2024.
- 9) 長澤麻沙子: 骨細管ネットワーク再構築がオッセオインテグレーション成立に与える影響. 令和 6 年度口腔インプラント助成金, 2024.
- 10) 青柳裕仁, 金谷貢: メタライズを応用した新規ジルコニア表面改質法の開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 21K09975, 2024.
- 11) 江口香里, 秋葉陽介, 魚島勝美, 照沼美穂: チタン結晶構造制御と VUV 照射による骨結合促進可能なインプラント表面開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 23K09292, 2024.
- 12) 小野喜樹: Wnt/ β -catenin シグナルによるセメント質再生と歯根膜インプラントの開発. 日本学術振興会

科学研究費補助金 研究活動スタート支援, 23K19685, 2024.

- 13) 小野喜樹: 脱細胞化組織と内在性タンパクの補充による新規歯根膜再生法の開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究, 24K19942, 2024.
- 14) 小林水輝: 人工材料と細胞外マトリックスによるハイブリッド再生歯の開発. 新潟大学フェローシップ事業, JPMJFS2114, 2024.
- 15) 高岡由梨那: アトピー性皮膚炎悪化に対する歯科金属アレルギーの関連機序解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究, 23K16062, 2024.
- 16) 高岡由梨那: 歯科金属アレルギーと乾癬の免疫学的共通因子の探索. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究, 21K17061, 2024.
- 17) 横山詩子, 加来賢, 宮川繁: ファロー四徴症に対する自己血管新生を誘導するヒト由来脱細胞化血管グラフトの開発. 国立研究開発法人日本医療研究開発機構, 難治性疾患等実用化研究事業, 2024.
- 18) 柿原嘉人, 加来賢, 三上剛和: 骨芽細胞のI型コラーゲンと基質小胞の分泌経路における Rab タンパク質の機能解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 23K09117, 2024.
- 19) 北見恩美, 加来賢: 歯根膜恒常性維持メカニズムの理解にもとづく予知性の高い自家歯牙移植術の開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 23K09293, 2024.
- 20) 北見公平, 加来賢, 齋藤功: 加齢マウス歯根膜組織の深層プロテオーム解析: 組織応答を担う細胞外環境の変化. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 23K09412, 2024.
- 21) 田口則宏, 長澤敏行, 新田浩, 大澤銀子, 秋葉奈美, 和田尚久, 木内貴弘, 野崎剛徳: 歯学教育及び歯科医師臨床研修において一貫して利用できるオンライン評価システムの開発に関する研究. 厚生労働省科学研究費補助金, 22AC1001, 2024.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) Nagasawa M, Uoshima K, Ogawa H and Inoue M: How to Use VR Machines for Technical Skill Training: A Trial at Niigata University Faculty of Dentistry, Japan. VR-Haptic thinkers meetup, Utah, USA, 2024 Jun 7, 2024.
- 2) 秋葉陽介: How can basic research solve clinical problems? -Dental implant-related research-. Innovative Dentistry Seminar in Okayama University, 岡山, 2025 年 2 月 10 日.
- 3) 秋葉陽介: 歯科金属アレルギー関連疾患とその対応. 令和 6 年東北大学同窓会卒後研修会, 仙台, 2024 年 11 月 10 日.

- 4) 土橋梓, 加来賢: 細胞外マトリックス研究の復権: 個体の運命を支配する「細胞外」の実態を紐解く. 細胞外マトリックスに特化したプロテオーム解析法の開発. 第 97 回日本生化学会大会, 横浜, 2024 年 11 月 6-8 日.
- 5) 加来賢: バイオロジーの cutting edge 網羅的解析の現状と未来. 細胞外マトリックスのプロテオーム解析から組織再生への展開. 第 133 回日本補綴歯科学会学術大会, 千葉, 2024 年 7 月 5-7 日, 同学術集会プログラム・予稿集: 149 頁, 2024.
- 6) 秋葉陽介: 生体模倣のその先へ〜補綴とバイオミメティクス〜. 第 133 回日本補綴歯科学会学術大会, 千葉, 2024 年 7 月 5-7 日, 同学術集会プログラム・予稿集: 117 頁, 2024.
- 7) 秋葉陽介: 歯根破折からの歯の再植・移植, その診断と治療方針. 第 133 回日本補綴歯科学会学術大会, 千葉, 2024 年 7 月 5-7 日, 同学術集会プログラム・予稿集: 131 頁, 2024.

【学会発表】

- 1) Nagasawa M, Akiba N, Uoshima K: Correlation Between Evaluation in Third and Fifth-Year Clinical Basic Training. The 35th South-East Asian Association of Dental Education's Annual Scientific Conference, Kuala Lumpur, Malaysia, 2024 Nov 27, Abstracts & Program e-book: PO-1-03, 2024.
- 2) Zhang T, Nagasawa M, Yamamoto Y, Koide H, Kooanantkul C, Nila T and Uoshima K: Recruitment of remote bone marrow-derived cells to the implant surface immediately after implant installation. The 14th Biennial Congress of the Asian Academy of Prosthodontics, Chiba, Japan, 2024 Jun 6, Abstract & Program book Page 374, 2024.
- 3) Kooanantkul C, Nagasawa M, Zhang T and Uoshima K: Histological observation on periodontal tissue after vertical root fracture repair with 4-META/MMA-TBB resin. The 14th Biennial Congress of the Asian Academy of Prosthodontics, Chiba, Japan, 2024 Jun 6, Abstract & Program book Page 447, 2024.
- 4) Kaku M, Thant L, Dobashi A, Kobayashi M, Hlaing PP, Pwint Phyu, Ono Y, Uoshima K: Extracellular Matrix-Oriented Proteomic Profiling of Human Periodontal Ligament. International Collaborative Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment, Bangkok, Thailand, 2024 May 31-Jun 1, Abstract & Program book Page 97, 2024.
- 5) Nagasawa M, Kooanantkul C, Ono Y, Koide H and Uoshima K: Survival of Vertically Fractured Tooth Roots after Repair Treatments. International Collaborative Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment, Bangkok, Thailand, 2024 May 31-Jun 1, Abstract & Program book Page 74, 2024.
- 6) Dobashi A, Kaku M, Ono Y, Kobayashi M, Hlaing PP, Uoshima K: The impact of Periostin-knockout on the periodontal ligament. International Collaborative Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment, Bangkok, Thailand, 2024 May 31-Jun 1, Abstract & Program book Page 96, 2024.
- 7) Nguyen VQ, Akiba Y, Eguchi K, Akiba N, Uoshima K: Modulation of Oxidative Stress at Transplantation Site Enhances Bone Regeneration. International Collaborative Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment, Bangkok, Thailand, May 31-Jun 1, Abstract & Program book Page 75, 2024.
- 8) Kooanantkul C, Nagasawa M, Zhang T and Uoshima K: Histological observation on periodontal tissue after vertical root fracture repair with 4-META/MMA-TBB resin mixed with CTGF, TGF- β 3, and FGF. International Collaborative Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment, Bangkok, Thailand, 2024 May 31-Jun 1, Abstract & Program book Page 66, 2024.
- 9) Hlaing PP, Kaku M, Dobashi A, Kobayashi M, Ono Y, Uoshima K: Changes in extracellular matrix protein composition and their gene expression profile during osteoblast differentiation. International Collaborative Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment, Bangkok, Thailand, 2024 May 31-Jun 1, Abstract & Program book Page 111, 2024.
- 10) 小林水輝, 土橋梓, 小野喜樹, Hlaing PP, 加来賢: 脱細胞化歯根膜細胞シート上で培養した間葉系幹細胞における網羅的遺伝子発現解析. 第 24 回日本再生医療学会総会学術大会, 横浜, 2025 年 3 月 20-22 日, 同学術集会プログラム・予稿集: 512 頁, 2025.
- 11) Hlaing PP, Thant L, Dobashi A, Kobayashi M, Ono Y, Kaku M: Composition of Bone Extracellular Matrix and Their Age-related Changes. 第 24 回日本再生医療学会総会学術大会, 横浜, 2025 年 3 月 20-22 日, 同学術集会プログラム・予稿集: 558 頁, 2025.
- 12) ロサレス・マルセロ, 江口香里, 加来賢: Quantitative Evaluation of Digital Sculpting for Dental Anatomy Education. 令和 6 年度日本補綴歯科学会関越支部,

- 宇都宮, 2024 年 12 月 15 日, 同学術集会プログラム・予稿集: 17 頁, 2024.
- 13) 江口香里, ロサレス・マルセロ, 秋葉奈美, 秋葉陽介, 加来賢: 採点用ルーブリックを用いた歯型彫刻実習製作物の定量的評価とその教育効果の検討. 令和 6 年度日本補綴歯科学会関越支部, 宇都宮, 2024 年 12 月 15 日, 同学術集会プログラム・予稿集: 16 頁, 2024.
 - 14) 山本悠, 加来賢: 不良補綴装置の脱離と動揺歯の脱落リスクに対して口腔内スキャナーを用いて即時義歯製作を行った症例. 令和 6 年度日本補綴歯科学会関越支部, 宇都宮, 2024 年 12 月 15 日, 同学術集会プログラム・予稿集: 20 頁, 2024.
 - 15) 秋葉陽介, 秋葉奈美, 江口香里: 無構造ナノレベル超平滑チタン表面を使用した血中チタン接着タンパク質探索を基点としたオッセオインテグレーション機構解明. 第 54 回 日本口腔インプラント学会学術大会, 京都, 2024 年 11 月 1-3 日, 同学術集会プログラム・予稿集: 182 頁, 2024.
 - 16) 秋葉陽介, 秋葉奈美, 江口香里: 対話型論証による問題発見解決能力涵養を目指した歯科臨床推論演習. 第 43 回日本歯科医学教育学会, 愛知, 2024 年 9 月 6-7 日, 同学術集会プログラム・予稿集: 85 頁, 2024.
 - 17) 青柳裕仁, 高昇将, 金谷貢: 化学変性 CNF の微量添加がアルジネート印象材の細部再現性に及ぼす影響. 令和 6 年度日本歯科理工学会中部地方会セミナー, 岐阜, 2024 年 8 月 23-24 日, 日本歯科理工学会誌 43 Special Issue WINTER: 19, 2024.
 - 18) 秋葉陽介, 秋葉奈美, 江口香里, 長澤麻沙子, 魚島勝美: 知識構成型ジグソー法による歯冠修復学の能動的学修とその学習効果の検討. 第 133 回日本補綴歯科学会学術大会, 千葉, 2024 年 7 月 5-7 日, 同学術集会プログラム・予稿集: 330 頁, 2024.
 - 19) 秋葉陽介, 秋葉奈美, 江口香里, 長澤麻沙子, 魚島勝美: 対話型論証による問題発見解決能力涵養を目指した歯科臨床推論演習. 第 133 回日本補綴歯科学会学術大会, 千葉, 2024 年 7 月 5-7 日, 同学術集会プログラム・予稿集: 337 頁, 2024.
 - 20) Rosales JMR, Kaku M, Eguchi K, Uoshima K: Quantitative evaluation of digital sculpting for dental anatomy education. 第 133 回日本補綴歯科学会学術大会, 千葉, 2024 年 7 月 5-7 日, 同学術集会プログラム・予稿集: 340 頁, 2024.
 - 21) 江口香里, 加来賢, ロサレス・マルセロ, 秋葉陽介, 秋葉奈美, 魚島勝美: 歯型彫刻実習製作物の定量的評価の検討. 第 133 回日本補綴歯科学会学術大会, 千葉, 2024 年 7 月 5-7 日, 同学術集会プログラム・予稿集: 332 頁, 2024.
 - 22) 山本悠, 加来賢, 魚島勝美: 口腔内スキャナーを用いて旧補綴装置の形態と顎位を即時義歯に反映させた一症例. 第 133 回日本補綴歯科学会学術大会, 千葉, 2024 年 7 月 5-7 日, 同学術集会プログラム・予稿集: 344 頁, 2024.
 - 23) Nguyen VQ, Akiba Y, Eguchi K, Akiba N, Uoshima K. Controlling Redox State at Transplantation Site Enhances Bone Regeneration. 第 133 回日本補綴歯科学会学術大会, 千葉, 2024 年 7 月 5-7 日, 同学術集会プログラム・予稿集: 118 頁, 2024.
 - 24) 小林水輝, 加来賢, 土橋梓, 小野喜樹, Hlaing PP, 魚島勝美: 脱細胞化歯根膜細胞シート上で培養したマウス歯根膜細胞の網羅的遺伝子発現解析. 第 133 回日本補綴歯科学会学術大会, 千葉, 2024 年 7 月 5-7 日, 同学術集会プログラム・予稿集: 306 頁, 2024.
 - 25) Hlaing PP, Kaku M, Dobashi A, Kobayashi M, Ono Y, Uoshima K: Comparative analysis of extracellular matrix proteins and their gene expression profile during osteoblast differentiation. 第 133 回日本補綴歯科学会学術大会, 千葉, 2024 年 7 月 5-7 日, 同学術集会プログラム・予稿集: 394 頁, 2024.
 - 26) 小野喜樹, 加来賢, 土橋梓, 小林水輝, Hlaing PP, 魚島勝美: Wnt/ β catenin シグナルは歯周組織再生過程におけるセメント質の添加を制御する. 第 56 回日本結合組織学会学術大会, 筑波, 2024 年 6 月 15-16 日, 同学術集会プログラム・予稿集: 198 頁, 2024.
 - 27) 土橋梓, 加来賢, 小野喜樹, 小林水輝, Hlaing PP, 魚島勝美: Periostin の欠失が歯周組織の恒常性維持に及ぼす影響の解析. 第 56 回日本結合組織学会学術大会, 筑波, 2024 年 6 月 15-16 日, 同学術集会プログラム・予稿集: 195 頁, 2024.
 - 28) 小林水輝, Thant L, 土橋梓, Hlaing PP, 小野喜樹, 加来賢: マウス骨組織における細胞外マトリックスの網羅的解析とその加齢変化. 第 56 回日本結合組織学会学術大会, 筑波, 2024 年 6 月 15-16 日, 同学術集会プログラム・予稿集: 176 頁, 2024.
 - 29) Hlaing PP, Kaku M, Dobashi A, Kobayashi M, Ono Y, Uoshima K: Comparative analysis of extracellular matrix proteins and their gene expression profile in an osteoblast culture system. 第 56 回日本結合組織学会学術大会, 筑波, 2024 年 6 月 15-16 日, 同学術集会プログラム・予稿集: 173 頁, 2024.
 - 30) 吉羽永子, 前川知樹, 関口清俊, 加来賢, 佐藤友里恵, Rosenkranz Andrea, 前田健康, 吉羽邦彦: インテグリン $\alpha 7$ は THP-1 マクロファージの樹状細胞への分化を制御する. 第 56 回日本結合組織学会学術大会, 筑波, 2024 年 6 月 15-16 日, 同学術集会プログラム・予稿集: 133 頁, 2024.

- 31) Zhang T, Nagasawa M, Yamamoto Y, Koide H, Kooanatkul C, Nila T and Uoshima K: インプラント埋入直後にインプラント表面に遊走する骨髄由来細胞の組織学的観察. 第 57 回新潟歯学会総会, 新潟, 2024 年 4 月 13 日, 同学術集会プログラム・予稿集: 12 頁, 2024.

【研究会発表】

- 1) 加来賢: 細胞外マトリックスのプロテオーム解析から歯周組織再生への展開. 第 10 回あしなが予防医学研究会, 岩手, 2025 年 2 月 8 日.
- 2) 加来賢: 細胞外マトリックスのプロテオーム解析から組織再生への展開. 歯学研究を明るく楽しむ交流会・歯科領域での AI 活用の検討会, 伊東, 2024 年 11 月 30 日-12 月 1 日.
- 3) 秋葉陽介: 酸化還元環境制御による移植細胞機能維持を応用した骨増生法開発. 歯学研究を明るく楽しむ交流会・歯科領域での AI 活用の検討会, 伊東, 2024 年 11 月 30 日-12 月 1 日.
- 4) 小野喜樹, 加来賢: Wnt/ β -catenin シグナルは歯周組織再生過程におけるセメント質の形成を制御する. 第 6 回オーラルサイエンス研究会, 松本, 2024 年 11 月 10 日.
- 5) 加来賢: ECM プロテオミクスによる骨タンパクの網羅的解析とその加齢変化. 第 10 回 MatriCell フォーラム, 東京, 2024 年 9 月 7 日.
- 6) 加来賢: コラーゲン研究からひもとく健康と日本酒学. 令和 6 年度第 1 回日本酒学セミナー, 新潟, 2024 年 7 月 22 日.
- 7) 小野喜樹: Wnt/ β -catenin シグナルは歯周組織再生過程におけるセメント質の添加を制御する. 第 5 回結合組織学会若手セミナー, 筑波, 2024 年 6 月 14 日.
- 8) 土橋梓: Postn-KO マウス歯根膜組織における歯周組織変化について. 第 5 回 結合組織学会若手セミナー, 筑波, 2024 年 6 月 14 日.
- 9) 小林水輝: 脱細胞化歯根膜細胞マトリックスが歯根膜細胞培養に及ぼす影響の網羅的解析. 第 5 回 結合組織学会若手セミナー, 筑波, 2024 年 6 月 14 日.
- 10) 加来賢: 細胞外マトリックス研究を基盤とした組織再生法の開発. 第 2 回 器官再生・幹細胞研究会, 岡山, 2024 年 5 月 25 日.
- 11) 小野喜樹: Wnt/ β -catenin シグナルは歯周組織再生過程におけるセメント質の形成を制御する. 第 2 回器官再生・幹細胞研究会, 岡山, 2024 年 5 月 25 日.
- 12) 土橋梓: Periostin の欠失が歯周組織の恒常性維持に及ぼす影響の解析. 第 2 回 器官再生・幹細胞研究会, 岡山, 2024 年 5 月 25 日.
- 13) 小林水輝: 脱細胞化歯根膜細胞シートによる歯根膜

再生基材の開発を目指す. 第 2 回 器官再生・幹細胞研究会, 岡山, 2024 年 5 月 25 日.

【受賞】

- 1) Akiba Y: Logical thinking training and dental clinical reasoning training. SEAADE Best Oral Presentation, 2024 Nov 26.
- 2) 秋葉陽介: 無構造ナノレベル超平滑チタン表面を使用した血中チタン接着タンパク質探索を基点としたオッセオインテグレーション機構解明. 第 54 回日本口腔インプラント学会学術大会 優秀研究発表賞, 2024 年 11 月 2 日.
- 3) 長澤麻沙子: Educational effects on technical skills of crown preparation using virtual reality and augmented reality devices. 第 15 回日本歯科医学教育学会 国際学会優秀発表奨励賞, 2024 年 9 月 6 日.
- 4) Nguyen VQ: Controlling Redox State at Transplantation Site Enhances Bone Regeneration. 第 133 回日本補綴歯科学会学術大会, 課題口演賞, 2024 年 7 月 6 日.
- 5) 小野喜樹: Wnt/ β -catenin シグナルは歯周組織再生過程におけるセメント質の添加を制御する. 第 5 回結合組織学会若手セミナー優秀発表賞, 2024 年 6 月 14 日.
- 6) 青木直美 (指導教員: 加来賢・江口香里): 日本補綴歯科学会主催 第 6 回 JPS student clinical skills competition 最終選考優秀賞, 2024 年 6 月 2 日.

顎顔面口腔外科学分野

【論文】

- 1) Hirai H, Nishii N, Oikawa Y, Ohsako T, Kugimoto T, Kuroshima T, Tomioka H, Michi Y, Kayamori K, Ikeda T, Harada H : Buccinator muscle invasion is a risk factor for cervical lymph node metastasis in squamous cell carcinoma of the buccal mucosa: A retrospective study. *Oncol Lett* 25:226, 2023. doi: 10.3892/ol.2023.13812.
- 2) Tomioka H, Nishii N, Oikawa Y, Kugimoto T, Kuroshima T, Hirai H, Kayamori K, Kaida A, Miura M, Harada H : Clinicopathological analysis of 134 patients with squamous cell carcinoma of the mandibular gingiva. *Heliyon* 10:e23120, 2024. doi: <https://doi.org/10.1016/j.heliyon.2023.e23120>
- 3) Kobayashi R, Hirai H, Maruyama S, Tanuma JI, Tomihara K : Oral Focal Mucinosi s of the Tongue: Case Report and Review of the Literature. *Cureus*. 26;16(8):e67882, 2024.

- 4) Isono T, Hirayama S, Domon H, Terao Y: Pneumococcus downregulates the molecular weight of the extracellular domain of the epidermal growth factor receptor of alveolar epithelial cells. *Microbiol Immunol.* 68(1), 23-26, 2024. doi: 10.1111/1348-0421.13103
- 5) Sirisereephap K, Tamura H, Lim JH, Surboyo MDC, Isono T, Hiyoshi T, Rosenkranz AL, Sato-Yamada Y, Domon H, Ikeda A, Hirose T, Sunazuka T, Yoshida N, Okada H, Terao Y, Maeda T, Tabeta K, Chavakis T, Hajishengallis G, Maekawa T: A novel macrolide-del-1 axis to regenerate bone in old age. *iScience*, 27(2), 108798, 2024. doi: 10.1016/j.isci.2024.108798
- 6) Domon H, Hirayama S, Isono T, Saito R, Yanagihara K, Terao Y: Lipoprotein signal peptidase-deficient *Streptococcus pneumoniae* exhibits impaired Toll-like receptor 2-stimulatory activity. *Microbiol Immunol*, 68(4), 155-159, 2024. doi: 10.1111/1348-0421.13117.
- 7) Takizawa F, Domon H, Hirayama S, Isono T, Sasagawa K, Yonezawa D, Ushida A, Tsutsuura S, Miyoshi T, Mimuro H, Yoshida A, Tabeta K, Terao Y: Effective degradation of various bacterial toxins using ozone ultrafine bubble water. *PLOS ONE*, 19(7), e0306998, 2024. doi: 10.1371/journal.pone.0306998.
- 8) Hirai H, Kinoshita N, Nishii N, Oikawa Y, Kugimoto T, Kuroshima T, Tomioka H, Michi Y, Sumita Y, Tomihara K, Harada H : Treatment strategies for patients over 80 years of age with oral squamous cell carcinoma. *Surg Oncol* 57:102146, 2024. DOI: 10.1016/j.suronc.2024.102146.
- 9) Aizawa, Y, Haga, K, Yoshida, N, Yortchan, W, Takada, S, Tanaka, R, Naito, E, Abé, T, Maruyama, S, Yamazaki, M, Tanuma, J, Igawa, K, Tomihara, K, Togo, S, Izumi, K. Development and Characterization of a Three-Dimensional Organotypic In Vitro Oral Cancer Model with Four Co-Cultured Cell Types, Including Patient-Derived Cancer-Associated Fibroblasts. *Biomedicines* 2024, 12 (10), 2373. <https://doi.org/10.3390/biomedicines12102373>.
- 10) Yonesi A, Tomihara K, Takatsuka D, Tachinami H, Yamazaki M, Younesi A, Takaichi M, Imaue S, Fujiwara K, Yamada SI, Tanuma JI, Noguchi M. Rapamycin induces phenotypic alterations in oral cancer cells that facilitate antitumor T cell responses. *Biomedicines*. 2024 May 13;12(5):1078. doi: 10.3390/biomedicines12051078.
- 11) Takatsuka D, Tachinami H, Suzuki N, Yamazaki M, Yonesi A, Takaichi M, Imaue S, Yamada SI, Tanuma JI, Noguchi M and Tomihara K: PAK4 inhibition augments anti-tumour effect by immunomodulation in oral squamous cell carcinoma. *Scientific Report*. 2024 Jun 18;14(1):14092. doi: 10.1038/s41598-024-64126-0.
- 12) Takaichi M, Tachinami H, Takatsuka D, Yonesi A, Sakurai K, Muhammad Rasul I, Imaue S, Yamada SI, Muhammad Ruslin, Yamazaki M, Tanuma JI, Noguchi M, Tomihara K: Targeting CD36-mediated lipid metabolism augments antitumor immune responses in oral cancer. *Int J Mol Sci*. 2024 Aug 30;25(17):9438. doi: 10.3390/ijms25179438.
- 13) Gazali M, Ruslin M, Stevanie C, Yusuf AS, Al-Jamaei AAH, Boffano P, Forouzanfar T, Tomihara K: Short-Term Follow-up of Surgical Management Verruca Vulgaris with Modified Estlander Flap: A Case Report and Recent Literature Review. *J Clin Exp Dent*. 2024 Aug 1;16(8):e1033-e1039. doi: 10.4317/jced.61814.
- 14) Yoshida K, Kiyomi A, Kurokawa A, Hoshino N, Saito C, Koga M, Oonuki M, Kanemaru H, Pak K, Tomihara K, Sugiura M. Association between salivary inflammatory mediators and oral mucositis in patients with cancer undergoing chemotherapy. *Support Care Cancer*. 2024 Sep 2;32(9):625. doi: 10.1007/s00520-024-08836-1.
- 15) Yoshida K, Kurokawa A, Hoshino N, Saito C, Koga M, Soga M, Yamashita M, Tanaka K, Ishiyama M, Kanemaru H, Pak K, Tomihara K, Sugiura M. Association of leukopenia in the development of cancer chemotherapy - induced oral mucositis and its severity. *Oral Science International*. 2024, 20:1-7, doi.org/10.1002/osi2.1263.
- 16) Asakura T, Diep TTT, Ueda Y, Yamada A, Tsuzuno T, Takahashi N, Miyata M, Tabeta K, Nagata M, Matsuda K. Analysis of the Effect of Human Type I Collagen-Derived Peptide on Bone Regenerative Capacity and Comparison with Various Collagen Materials In Vivo. *Medicina (Kaunas)*. 2025 Jan 2;61(1):57.
- 17) 上野山敦士, 安島久雄, 池田順行, 大貫尚志, 齋藤太郎, 荒井良明, 西山秀昌, 高木律男 : 両側顎関節の偽痛風が疑われた 1 例. *日顎誌* 36(3) : 20-26, 2024.
- 18) 齋藤夕子, 黒川 亮, 富原 圭 : 口腔内多発血腫を契機に *Helicobacter pylori* 感染に伴う急性特発性血小板減少性紫斑病と診断された 1 例. *日口内誌*.30(2).59-64.2024.
- 19) 齋藤夕子, 黒川 亮, 永井孝宏, 上野山敦士, 池田順行, 児玉泰光, 濃野 要, 富原 圭 : 当科における入

院加療を要した歯科領域の重症炎症症例の臨床的検討. 有病者歯医療 32 (2) :66-71, 2023.

- 20) 吉田謙介, 渡邊真一, 星野直人, 朴 慶純, 飛鷹範明, 金野 昇, 中井昌紀, 安藤智七美, 矢吹剛, 鈴木直人, 勝良剛詞, 富原 圭, 外山聡. 頭頸部放射線療法の口腔粘膜炎症対策における含嗽薬とジメチルイソプロピルアズレン軟膏の併用効果に関する検討-多施設共同事後解析研究-. 日本口腔ケア学会雑誌, 19 : 17-23. 2024

【研究費獲得】

- 1) 新垣元基: 超音波エラストグラフィとドプラ画像による舌癌進展範囲の評価法の確立. 令和 3-6 年度 日本科学振興会科学研究費補助金, 若手研究, 計 2,600 千円. 21K17110.
- 2) 齋藤夕子: 口腔粘膜上皮細胞と線維芽細胞から成る 2 層性自家培養口腔粘膜の開発. 令和 4-6 年度 日本学術振興会科学研究補助金, 基盤研究(C), 計 3,200 千円. 22K10016
- 3) 富原 圭: 腫瘍関連免疫抑制性細胞を標的とした口腔癌に対する新たな免疫学的アプローチの研究, 令和 4-6 年度 日本学術振興会科学研究補助金, 基盤研究(C), 計 4,950 千円.
- 4) 永田昌毅: 培養骨膜細胞の機能性移植基材としてのRGDペプチドおよびDBMの有効性解析. 令和 4-6 年度 日本学術振興会科学研究補助金. 基盤研究(C), 計 4,160 千円 22K10033
- 5) 隅田賢正: 若年性口腔扁平上皮癌組織の mRNA シーケンシングによるドライバー遺伝子の探索. 令和 5-7 年度 日本学術振興会科学研究補助金. 若手, 計 3,500 千円.
- 6) 小林亮太: 骨格筋芽細胞層と結合組織をハイブリッドしたヒト赤唇 3 次元 in vitro モデルの開発 令和 5-6 年度 骨格筋芽細胞層と結合組織をハイブリッドしたヒト赤唇 3 次元 in vitro モデルの開発 研究活動スタート支援, 計 2,220 千円. 23K19684
- 7) 小林亮太: 画像イメージングを応用した角膜移植用培養口腔粘膜上皮細胞シートの品質評価法の開発 令和 6-8 年度 日本学術振興会科学研究補助金, 基盤研究(C), 計 4,680 千円 24K15822
- 8) 木口哲郎: 口腔扁平上皮癌における細胞内細菌叢の同定とその特性解析. 令和 6-9 年度 新潟大学医歯学総合病院臨床研究支援パッケージコンテスト, 計 2,500 千円
- 9) 相澤有香: 令和 6 年度, 新潟大学次世代研究者挑戦的研究支援金, 400 千円.
- 10) Zhang Luqing: 令和 6 年度, 新潟大学次世代研究者挑戦的研究支援金, 200 千円.

- 11) Guo Yihan: 令和 6 年度, 新潟大学次世代研究者挑戦的研究支援金, 200 千円.
- 12) 富原 圭: 令和 6 年度, 国際共同研究加速グラント, 1,000 千円.
- 13) 富原 圭: 令和 6 年度, (公社) 日本口腔外科学会による「アジア諸国の口腔外科研修生」の支援事業費, 4,000 千円.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) 富原 圭: 口腔上皮性異形成(OED)のワーキンググループからの報告, 第 35 回日本口腔臨床病理学会総会・学術大会 ランチョンシンポジウム, 2024 年 8 月 1 日.
- 2) 黒川 亮: 歯科と口腔支持療法の実際と用語について-病院・薬局・歯科連携を目指すにあたり-, 第 17 回日本緩和医療薬学会年会 シンポジウム 8 地域における口腔支持療法に薬剤師としてできること-病院・薬局・歯科連携を目指して-, 2024 年 5 月 25 日.

【学会発表】

- 1) Yuka Aizawa, Yiwei Ling, Sho Takada, Witsanu Yortchan, Rintaro Tanaka, Ayako Suzuki, Atsushi Uenoyama, Shujiro Okuda, Kei Tomihara, Kenji Izumi: Comparative Analysis of Gene Expression in Cultured Oral Mucosal Epithelial Cell Sheets (COMECS) Manufactured on Substrates with Different Physical Properties. International Collaborative Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment, バンコク, 2024 年 6 月 1 日. International Collaborative Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment PROGRAM BOOK 110 頁, 2024 年
- 2) Witsanu Yortchan, Yuji Yamada, Nagako Yoshida, Sho Takada, Yuka Aizawa, Rintaro Tanaka, Ayako Suzuki, Kenji Izumi: Engineering Epithelial Basement Membrane in a Tissue-Engineered Oral Mucosa: a Preliminary Study. International Collaborative Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment. バンコク, 2024 年 6 月 1 日. International Collaborative Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment PROGRAM BOOK 109 頁, 2024 年
- 3) Yu Sonobe, Genki Ito, Kei Tomihara, Miho Terunuma: Novel anticancer Mechanism of Acetyl-CoA Carboxylase Inhibitor TOFA. International Collaborative Symposium on Development of Human Resources in

- Practical Oral Health and Treatment, バンコク, 2024 年 6 月 1 日. International Collaborative Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment PROGRAM BOOK 73 頁, 2024 年
- 4) Kei Tomihara: Treatment strategy for advanced-stage oral cancer. International Collaborative Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment. バンコク, 2024 年 6 月 1 日.
 - 5) Kei Tomihara: Treatment strategy with a checkpoint inhibitor for advanced-stage oral cancer-From Basic to Bedside-. Goethe Symposium 4th Joint Japanese-German CMF Convention, 2024 年 6 月 4 日. Frankfurt, Germany.
 - 6) 隅田 賢正, 平井秀明, 富原圭: 高齢者の口腔扁平上皮癌一次症例に関する臨床統計学的検討, 第 48 回日本頭頸部癌学会総会・学術大会, 浜松, 2024 年 6 月 20-21 日. 第 48 回日本頭頸部癌学会総会・学術大会プログラム抄録集 206 頁, 2024 年.
 - 7) Yu Sonobe, Genki Ito, Kei Tomihara, Miho Terunuma: Inhibition of acetyl-CoA carboxylase 2 suppresses FASN/SREBP-1 expression and proliferation in oral squamous cell carcinoma cells. 48th Federation of European Biochemical Societies Congress, ミラノ, 2024 年 7 月 1 日. 48th FEBS Congress Abstract P-26-050, 2024 年
 - 8) 木口哲郎, 上野山敦士, 齋藤夕子, 隅田賢正, 笠原映, 小林亮太, 平井秀明, 富原 圭: 初診時に多発遠隔転移を認めた口底明細胞癌の 1 例. 第 50 回日本口腔外科学会北日本支部学術集会, 旭川市, 2024 年 7 月 6, 7 日. 第 50 回日本口腔外科学会北日本支部学術集会プログラム抄録集 49 頁, 2024 年.
 - 9) 上野山敦士, 池田順行, 高木律男, 新國 農, 西山秀昌, 富原 圭: 保存的加療により治癒した顎関節に生じた偽痛風の 1 例. 第 37 回一般社団法人日本顎関節学会総会・学術大会, 徳島市, 2024 年 7 月 13-14 日. 第 37 回一般社団法人日本顎関節学会総会・学術大会プログラム集 155 頁, 2024 年.
 - 10) 園辺悠, 伊藤元貴, 富原圭, 照沼美穂: 口腔扁平上皮癌細胞におけるアセチル-CoA カルボキシラーゼ阻害剤 TOFA の新規抗癌機序, 令和 6 年度新潟歯学会第 1 回例会, 新潟, 2024 年 7 月 13 日. 令和 6 年度新潟歯学会第 1 回例会抄録集 10 頁, 2024 年
 - 11) 園辺悠, 伊藤元貴, 照沼美穂: 口腔扁平上皮がん細胞のアセチル-CoA カルボキシラーゼ 2 阻害による脂肪酸合成酵素 FASN 発現減少と細胞増殖抑制効果, 第 64 回新潟生化学懇話会, 新潟, 2024 年 7 月 13 日. 第 64 回新潟生化学懇話会要旨集 42 頁, 2024 年
 - 12) 齋藤夕子, 小林亮太, 高木律男, 富原 圭: 2023 年度 北関東甲信越ブロック 7 県在住一般市民対象の HIV/AIDS に関する意識調査. 第 78 回 NPO 法人日本口腔科学会学術集会, 東京, 2024 年 7 月 19-21 日, 第 78 回 NPO 法人日本口腔科学会学術集会プログラム抄録集 345 頁, 2024 年.
 - 13) 金井爽海, 齋藤夕子, 山崎 学, 新國 農, 林孝文, 田沼順一: 口蓋に生じた神経鞘腫の 1 例: 第 78 回 NPO 法人日本口腔科学会学術集会, 東京都文京区, 2024 年 7 月 20, 21 日. 第 78 回 NPO 法人日本口腔科学会学術集会プログラム抄録集 52 頁, 2024 年.
 - 14) 金井 爽海, 齋藤 夕子, 山崎 学, 新國 農, 富原圭: 口蓋に発生した稀な神経鞘腫の 1 例: 関東形成外科学会 第 116 回新潟地方会, 新潟市, 2024 年 8 月 2 日.
 - 15) 平井秀明, 木口哲郎, 隅田賢正, 齋藤夕子, 羽賀健太, 新國 農, 船山昭典, 富原 圭: 口腔に生じた悪性リンパ腫の早期診断に関する検討. 第 62 回日本癌治療学会学術集会. 福岡 2024 年 10 月 24 日-26 日.
 - 16) 羽賀健太, 相澤有香, 山崎 学, 丸山 智, 阿部達也, 船山昭典, 小林正治, 田沼順一. 3 次元培養技術を用いた口腔がん微小環境モデルの構築. 第 35 回 日本臨床口腔病理学会総会・学術大会. 新潟市. 2024 年 7 月 31 日. 第 35 回 日本臨床口腔病理学会総会・学術大会プログラム・抄録集 69 頁. 2024 年.
 - 17) 相澤有香, 羽賀健太, 吉羽永子, Yortchan Witsanu, 高田 翔, 田中凜太郎, 内藤絵里子, 阿部達也, 丸山智, 山崎 学, 田沼順一, 富原 圭, 泉 健次: 患者由来がん関連線維芽細胞を含む三次元口腔がんモデルの開発とその特徴解析. 2024 年度新潟歯学会 第 2 回例会. 新潟市. 2024 年 11 月 2 日. 令和 6 年度新潟歯学会第 2 回例会抄録集 10 頁, 2024 年.
 - 18) 高田 翔, 内藤絵里子, 相澤有香, Yortchan Witsanu, 田中凜太郎, 荒井良明, 泉 健次: 化学療法誘発性口内炎の病態評価に対する 3 次元インビトロモデルの有用性について. 2024 年度新潟歯学会 第 2 回例会. 新潟市. 2024 年 11 月 2 日. 令和 6 年度新潟歯学会第 1 回例会抄録集 11 頁, 2024 年
 - 19) 磯野俊仁, 上野山敦士, 木口哲郎, 富原 圭: 観血的顎関節受動術後の呼吸管理に苦慮した 1 例. 第 117 回関東形成外科学会新潟地方会, 新潟市, 2024 年 11 月 8 日.
 - 20) 齋藤夕子, 隅田賢正, 上野山敦士, 大石章寛, 平井秀明, 富原 圭: 当科で診断し得た疣贅型黄色腫 11 例の臨床的検討. 第 69 回日本口腔外科学会総会・

学術大会, 横浜, 2024 年 11 月 22-24 日, 第 69 回日本口腔外科学会総会・学術大会プログラム抄録集 696 頁, 2024 年.

- 21) 小林亮太, 平井秀明, 磯野俊仁, 笠原映, 木口哲郎, 隅田賢正, 齋藤夕子, 上野山敦士, 富原 圭: 舌縮小術を施行した Beckwith-Wiedemann 症候群患者 6 例の臨床的検討. 第 69 回日本口腔外科学会総会, 横浜, 2024 年 11 月 22-24 日.
- 22) 上野山敦士, 平井秀明, 齋藤夕子, 隅田賢正, 木口哲郎, 笠原 映, 小林亮太, 金井爽海, 磯野俊仁, 富原 圭: マイコプラズマ感染を契機に発症したと考えられた Stevens-Johnson 症候群の 1 例. 第 69 回公益社団法人日本口腔外科学会総会・学術大会, 横浜市, 2024 年 11 月 22-24 日.
- 23) 相澤有香, 羽賀健太, 吉羽永子, Yortchan Witsanu, 高田 翔, 田中凜太郎, 内藤絵里子, 井川 和代, 富原 圭, 泉 健次: 口腔がんを模倣した 3 次元インビトロモデルの開発とその特徴. 2025 年 3 月 20 日-22 日. 横浜市. 第 24 回日本再生医療学会総会 516 頁. 2025 年
- 24) 三沼 蓮, Witsanu Yortchan, 相澤 有香, 小林 亮太, 泉 健次, 飯田 佑輔, 山崎 達也: 粗視化解析によるヒト培養口腔粘膜上皮細胞シートの新たな非侵襲的品質評価法の開発. 2025 年 3 月 20 日-22 日. 横浜市. 第 24 回日本再生医療学会総会 510 頁. 2025 年
- 25) 山田 葵, 都野隆博, 永田昌毅: ヒト脱灰骨基質の骨再生足場材としての有用性, 横浜市, 2025 年 3 月 20 日-22 日, 第 24 回日本再生医療学会総会抄録集 506 頁, 2025.

【研究発表】

- 1) 磯野俊仁, 上野山敦士, 木口哲郎, 富原 圭: 術後に呼吸不全を認めた陳旧性顎関節脱臼の1例. 第93回新潟口腔外科麻酔科集談会, 新潟市, 2024年11月14日.
- 2) 相澤有香, 患者由来がん関連線維芽細胞を含む三次元口腔がんモデルの開発とその特徴解析. 歯学研究を明るく楽しむ交流会・歯科領域でのAI活用の検討会. 2024年12月1日. 伊豆市. 2024年.
- 3) 齋藤 夕子: 令和 6 年度北関東甲信越ブロックの報告. 第 26 回日本 HIV 歯科医療研究会～北関東甲信越ブロック～, WEB 開催, 2024 年 12 月 12 日.

【主宰学会・講演会, 他】

- 1) Kei Tomihara: Challenges in the diagnosis and treatment of osteosarcoma of the jaws. University Hasanuddin, Faculty of Dentistry, Lecture, Makassar, Indonesia 2024/4/19

- 2) 富原 圭: みんなで共有したい口腔がんの基礎知識. NPO法人日本歯科放射線学会, 第64回学術大会・第20回定例総会, 市民公開講座. 2024年5月26日, 新潟市.
- 3) 富原 圭: 超高齢社会を迎え, 安心・安全な歯科医療に必要な知識. WHITE CROSS ウェビナー. 2024年6月配信
- 4) Kei Tomihara: Anesthesia for Dental Surgery. University Sumatera Faculty of Dentistry, Online lecture, 2024/7/19
- 5) 齋藤 夕子: 北関東甲信越ブロックの報告. HIV 感染症の医療体制整備に関する研究 歯科研究協力者会議, 東京, 2024 年 8 月 3 日.
- 6) 富原 圭: 共有したい安心・安全な歯科医療に役立つ知識. 新潟市歯科医師会北二班講演会, 2024年8月28日.
- 7) 隅田賢正: 歯科治療時の偶発症予防と対応, 感染予防/治療の抗菌薬使用. 睦水会講演会, 新潟市, 2024年11月25日.
- 8) 齋藤夕子: 令和6年度HIV講習会 Web配信, 2025年1月30日, 新潟市

【受賞】

- 1) 黒川亮, 金丸博子, 曾我麻里恵, 山下 萌, 新美奏恵, 田中恵子, 石山茉佑佳, 富原 圭, 吉田謙介, 佐久間英伸, 小林正治: ステロイド療法中に象牙質知覚過敏様疼痛が出現した 20 例についての臨床的検討, 第 33 回日本有病者歯科医療学会, 新潟市, 2024 年 3 月 9-10 日, プログラム 32 頁, 2023. 優秀発表賞
- 2) 相澤有香: 最優秀プレゼンテーション賞, 令和 5 年度博士学生支援プログラムシンポジウム, 2024 年 3 月 14 日.
- 3) 相澤有香, 羽賀健太, 吉羽永子, Yortchan Witsanu, 高田 翔, 田中凜太郎, 内藤絵里子, 阿部達也, 丸山智, 山崎 学, 田沼順一, 富原 圭, 泉 健次: 患者由来がん関連線維芽細胞を含む三次元口腔がんモデルの開発とその特徴解析. 2024 年度新潟歯学会賞.
- 4) Kobayashi R, Hoshikawa E, Saito T, Suebsamarn O, Naito E, Suzuki A, Ishihara S, Haga H, Tomihara K, Izumi K. The EGF/EGFR axis and its downstream signaling pathways regulate the motility and proliferation of cultured oral keratinocytes. FEBS Open Bio. 2023 Aug;13(8):1469-1484. Top Cited Article (among work published between January 1, 2023 and December 31, 2023.)

【その他】

- 1) 相澤有香: 未来のライフ・イノベーションを創出するフロンティア育成プロジェクト, 令和5年度補充採用 令和5年10月1日～令和7年3月31日.

口腔解剖学分野

【論文】

- 1) Ono Y, Kaku M, Thant L, Iwama H, Arai M, Mizukoshi M, Dobashi A, Kitami M, Taketo MM, Ohazama A, Saito I, Uoshima K. Wnt/ β -catenin promotes cementum apposition in periodontal regeneration. *J Dent Res*. 104(2):183-192, 2025
- 2) Kawasaki M, Kawasaki K, Sari FT, Kudo T, Nihara J, Kitamura M, Nagai T, Utama V, Ishida Y, Meguro F, Kesuma A, Fujita A, Nishimura T, Kogure Y, Maruyama S, Tanuma J, Kakiyama Y, Maeda T, Ghafoor S, Khonsari RG, Corre P, Sharpe PT, Cobourne MT, Franco B, Ohazama A. Cell-cell interaction determine cell fate of mesoderm-derived cell in tongue development through Hh signaling. *eLife* 11:13:e85042, 2024.
- 3) Kitamura M, Kudo T, Ichikawa K, Fujita A, Osawa K, Sari FT, Utama V, Kesuma A, I Saito, Nihara J. The role of primary cilia in nasal septum development. *Niigata Dent J*. 54(2):9-14, 2024
- 4) Ruangchan C, Ngamphiw C, Krasaasin A, Intarak N, Tongsima S, Kaewgahya M, Kawasaki K, Mahawong P, Paripurana K, Sookawat B, Jatoorathawichot P, Cox TC, Ohazama A, Cairns JRK, Porntaveetus T, Kantaputra P. Genetic variants in KCTD1 are associated with isolated dental anomalies. *Int J Mol Sci*. 8;25(12):6358, 2024.
- 5) Kantaputra P, Daroontum T, Kitiyamas K, Piyakhunakorn P, Kawasaki K, Sathienkijkanhai A, Wasant P, Vatanavicharn N, Yasanga T, Kaewgahya M, Tongsima S, Cox TC, Arold ST, Ohazama A, Ngamphiw C. PLEC is a novel gene for congenital insensitivity to pain. *Int J Mol Sci*. 9;25(10):5179, 2024.

【著書】

- 1) 大峽 淳: 第2章 1. 顔面と口腔の発生. 口腔組織・発生学 第3版 (前田健康, 網塚憲生, 中村浩彰編), pp12-22, 医歯薬出版, 東京, 2024
- 2) 大峽 淳: 第2章 2. 歯胚の発生. 口腔組織・発生学 第3版 (前田健康, 網塚憲生, 中村浩彰編), pp22-28, 医歯薬出版, 東京, 2024

【研究費獲得】

- 1) 大峽 淳, 川崎真依子, 川崎勝盛: 口蓋形成におけ

る X 染色体の不活性化の検索. 日本学術振興会科学研究費補助金 挑戦的研究(萌芽), 23K18354, 2024.

- 2) 川崎 真依子, 大峽 淳, 川崎勝盛: 歯の形成における DNA 損傷/修復のメカニズムの解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤(C), 23K09434, 2024.
- 3) 丹原 惇, 大峽 淳, 川崎 真依子: 組織幹細胞の恒常性メカニズムの解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤(C), 24K13064, 2024.
- 4) 藤田 瑛, 大峽 淳, 川崎 真依子: 舌小帯の発生機構の解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤(C), 24K13109, 2024.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) Atsushi Ohazama. Oxidative stress in organogenesis, International Collaborative Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment 2024 Bangkok, 31 May-1 June 2024.
- 2) 川崎 真依子. 口蓋形成における X 染色体の不活性化. 第 64 回日本先天異常学会学術集会. 東京, 2024 年 7 月 26～27 日
- 3) 川崎真依子. 顎顔面器官の形態形成メカニズム解明に向けて. 日本大学歯学部大学院セミナー, 東京, 9 月 2 日, 2024

【学会発表】

- 1) 川崎真依子: X 染色体の不活性化から考える顎顔面の器官形成メカニズム. 第6回口腔医科学フロンティア研究会, 札幌, 2024 年 5 月 18～19 日
- 2) Finsa Tisna Sari, Vanessa Utama, Alex Kesuma, Katsushige Kawasaki, Maiko Kawasaki, Takeyasu Maeda, Atsushi Ohazama. Craniofacial development requires microRNAs for inhibiting senescence. International Collaborative Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment 2024 Bangkok, 31 May-1 June 2024.
- 3) 大峽 淳: 器官形成における酸素. 21 世紀を明るく科学する会@2024, 伊豆, 2024 年 6 月 29 日
- 4) 北村 円, 工藤武久, 市川桂弥, 藤田 瑛, 大澤知明, Finsa Tisna Sari, Vanessa Utama, Alex Kesuma, 斉藤功, 丹原惇. 鼻中隔における一次線毛の役割. 新潟歯学会. 第1回例会. 新潟, 2024 年 7 月 13 日
- 5) 川崎勝盛, 川崎真依子, Finsa Tisna Sari, Vanessa Utama, Alex Kesuma, 大峽 淳. 表皮発生における Reptin と一次線毛の関連性について. 峠の会 形態科学セミナー. 2024 年 8 月 1 日～2 日. 新潟
- 6) Fadhllallah PME, Surboy MDC, Kesuma A, Masayoshi K, Rosenkranz A, Maeda T, Kawasaki M, Tomihara K,

Maekawa T. Comparative Analysis of Zoledronic Acid Administration Routes and Periodontitis on The Development and Severity Of Bisphosphonate-Related Osteonecrosis of The Jaw in Mice. 72nd Annual Meeting of Japanese Association for Dental Research, Kagoshima, November 16-17th 2024.

口腔生理学分野

【著 書】

- 1) 岡本圭一郎(分担). 楽しい日本酒学入門 : お酒好きのための教養講義. 新潟大学日本酒学センター編. 河出書房新社, 2025 年 2 月.

【論 文】

- 1) Kajita Piriyaprasath, Mana Hasegawa, Yuya Iwamoto, Rantaro Kamimura, Andi Sitti Hajrah Yusuf, Noritaka Fujii, Kensuke Yamamura, Keiichiro Okamoto. Effects of treadmill running on anxiety- and craniofacial pain-like behaviors with histone H3 acetylation in the brain of mice subjected to social defeat stress. PLOS ONE 20(1) e0318292-e0318292 2025.
- 2) Kajita Piriyaprasath, Yoshito Kakihara, Mana Hasegawa, Yuya Iwamoto, Yoko Hasegawa, Noritaka Fujii, Kensuke Yamamura, Keiichiro Okamoto. Nutritional Strategies for Chronic Craniofacial Pain and Temporomandibular Disorders: Current Clinical and Preclinical Insights. Nutrients 16(17) 2868 2024.
- 3) Kensuke Yamamura, Toward prosthetic treatment that restores the pleasure of tasting food. J Prosthodont Res. 2024;68(3):viii-ix.
- 4) Nozomu Yoshioka, Masayuki Kurose, Hiromi Sano, Dang Minh Tran, Satomi Chiken, Kazuki Tainaka, Kensuke Yamamura, Kenta Kobayashi, Atsushi Nambu, Hirohide Takebayashi. Sensory-motor circuit is a therapeutic target for dystonia musculorum mice, a model of hereditary sensory and autonomic neuropathy 6. Sci Adv. 2024 Jul 6;10(30):eadj9335. Epub 2024 Jul 26.
- 5) Hiroko Fujisawa, Kensuke Yamamura. The Impact of Animal-Assisted Therapy on Changes in Autonomic Nervous Activity in Terminal Cancer Patients. International Medical Journal 31(6) 169-173 2024.
- 6) Tsutsui Y, Chotirungsan T, Pan CR, Kawada S, Magara J, Tsujimura T, Okamoto K, Inoue M. The central neural control of the posterior belly of the digastric muscles during swallowing in rats

American Journal of Physiology-Gastrointestinal and Liver Physiology.328.G277-G288. 2025.

【研究費獲得】

- 1) 山村健介(代表者) 認知症高齢者の包括的な食支援モデルの構築. 日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(B). 22H03375.2022 (継続) .
- 2) 岡本 圭一郎(代表者) トレッドミル走がストレス誘発性の顔面痛を軽減する脳メカニズム 日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C). 23K09391 2023 (継続) .

【学 会】

- 1) Yuya Iwamoto, Kajita Piriyaprasath, Andi Sitti, Hajrah Yusuf, Mana Hasegawa, Yoshito Kakihara, Noritaka Fujii, Kensuke Yamamura, Keiichiro Okamoto. Agmatine improves impaired object recognition behaviors in a mouse model of craniofacial inflammation. 第 102 回日本生理学会総会 (千葉市) 2025 年 3 月 17 日.
- 2) 松尾小百合 森川和政, 熊谷美保, 加藤哲也, 小林琢也, 山村健介, 黒瀬雅之 簡易粘度計装置の開発と実用範囲の検証. 特定非営利活動法人日本咀嚼学会 第 34 回学術大会 (市川市) 2024 年 9 月 14-15 日.
- 3) 岩本 佑耶, 長谷川 真奈, 山村 健介, 藤井 規孝 アグマチンはマウスの咬筋部の持続性炎症が誘発する不安行動を軽減する. 日本補綴歯科学会第 133 回学術大会(千葉市) 2024 年 7 月 5 日.
- 4) 藤澤博子, 熊坂隆行, 山村健介 終末期がん患者における自律神経活動の変化からみた動物介在療法の影響 令和 6 年度新潟歯学会第 1 回例会(新潟市) 2024 年 7 月 13 日.
- 5) 長谷川 真奈, 岡本 圭一郎, 柿原 嘉人 アグマチンが顎顔面痛誘発性の不安行動に及ぼす影響. 第 44 回日本歯科薬物療法学会学術大会(新潟市) 2024 年 7 月 13 日.
- 6) Stephanny Castillo-Quispe, 柿原嘉人, 岡本圭一郎 酒粕の骨代謝への効果. 第 44 回日本歯科薬物療法学会学術大会 (新潟市) 2024 年 7 月 14 日.
- 7) 筒井雄平, Kajita Piriyaprasath, Titi Chotirungsan, 出羽希, 潘長榮, 真柄仁, 辻村恭憲, 岡本圭一郎, 山村健介, 井上 誠 嚥下時における顎二腹筋後腹の関与. 第 57 回 新潟歯学会 総会(新潟市) 2024 年 4 月 13 日.

【研究会発表】

- 1) 岡本圭一郎 米発酵エキスと健康 : 歯学部発の研究内容を紹介します. 令和 6 年度第 4 回日本酒学セミナー (新潟大学) . 2025 年 2 月 17 日.

- 2) 岡本圭一郎 結局酒は百薬の長なのか？ 歯学研究を明るく楽しむ交流会・歯科領域での AI 活用の検討会（伊東市）2024 年 11 月 30 日。

【その他】

- 1) 岡本圭一郎. 古来からの知恵「米麴」のチカラを毎日のごはんに取り入れ、健やかに. ソラミドごはんスカイバイビーズ. 2025 年 1 月 24 日(インターネットメディア報道).
<https://gohan.soramido.com/magazine/komekouji>

口腔生化学分野

【論文】

- 1) Kiyokawa Y, Terajima M, Sato M, Inada E, Hori Y, Bando R, Iwase Y, Kubota N, Murakami T, Tsugane H, Watanabe S, Sonomura T, Terunuma M, Maeda T, Noguchi H, Saitoh I. Scratch-Based Isolation of Primary Cells (SCIP): A Novel Method to Obtain a Large Number of Human Dental Pulp Cells Through One-Step Cultivation. *J Clin Med*. 2024 Nov 22;13(23):7058. doi: 10.3390/jcm13237058.

【著書】

- 1) 照沼美穂：「V 編 生体と薬物」執筆 歯科衛生士国家試験ポイントチェック①人体の構造と機能／歯・口腔の構造と機能／疾病の成り立ち及び回復過程の促進 令和 4 年版出題基準準拠 医歯薬出版 第 1 版第 2 刷，東京，2024。

【研究費獲得】

- 1) 照沼美穂（代表）：口腔感染症から紐解く正中隆起ペリニューロナルネットの機能. 日本学術振興会科学研究費基金 挑戦的研究（萌芽），24K22181.
- 2) 照沼美穂（代表）：歯周病原細菌としての精神疾患発症機構の解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤（B），21H03109.
- 3) 照沼美穂（代表）：新たな不安発症の分子基盤解明のための日丁共同研究. 日本学術振興会科学研究費基金 国際共同研究強化（B），22KK0140.
- 4) 照沼美穂（代表）：新潟大学令和 6 年度科研費応募支援プログラム.
- 5) 照沼美穂（分担）：チタン結晶構造制御と VUV 照射による骨結合促進可能なインプラント表面開発. 日本学術振興会科学研究費基金 基盤（C），23K09292.
- 6) 照沼美穂（分担）：抗酸化物質による移植細胞の長期保存、長期機能発現を可能にする新規骨増生法の

開発. 日本学術振興会科学研究費基金 基盤（C），23K09272.

- 7) 照沼美穂（分担）：抗不安モデルマウスを用いたストレス耐性神経回路の解明. 日本学術振興会科学研究費基金 基盤（C），23K068043.
- 8) 照沼美穂（分担）：新規器官培養法による乳歯由来ヒト iPS 細胞を経由したインスリン分泌細胞形成の誘導. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤（B），23K24535.
- 9) 照沼美穂（分担）：末梢神経損傷により途切れた神経回路の人工シナプスコネクタによる感覚再生への挑戦. 日本学術振興会科学研究費基金 挑戦的研究（萌芽），22K19615.
- 10) 市木貴子（代表）：革新的イメージング技術による脳腸関連メカニズムの解明. JST 戦略的創造研究推進事業 さきがけ「生体多感覚システム」領域，23829130.
- 11) 市木貴子（代表）：消化管におけるアレルギー受容メカニズムの解明. 日本学術振興会科学研究費基金 基盤研究（B），24K02119.
- 12) 市木貴子（代表）：2024 年度第 38 回海外研究者招聘助成. 公益財団法人ブレインサイエンス振興財団
- 13) 市木貴子（分担）：新たな不安発症の分子基盤解明のための日丁共同研究. 日本学術振興会科学研究費基金 国際共同研究強化（B），22KK0140.
- 14) 那須優介（代表）：歯周病原細菌による菌血症がもたらす精神疾患発症機構の解明. 日本学術振興会科学研究費基金 研究活動スタート支援，24K23544.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) 照沼美穂：神経科学や口腔—他臓器連関研究の面白さ，新潟大学歯学部同窓会学術講演，新潟県新潟市，2024 年 4 月 21 日。
- 2) 照沼美穂：「アディクションの克服に向けて」，CINP2024（第 35 回国際神経精神薬理学会世界大会），東京，2024 年 5 月 23-26 日。
- 3) Miho Terunuma: Targeting Lipogenesis as a Potential Strategy for Oral Cancer Treatment. International Collaborative Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment. Thailand, Bangkok, May 31- June 1, 2024.
- 4) 照沼美穂：脂質代謝の制御から見出す新たな抗がん作用機構. 第 66 回歯科基礎医学会学術大会，長崎県長崎市，2024 年 11 月 2-4 日。
- 5) 照沼美穂：学生のリアルな声に基づいた若手支援を考える. 第 97 回日本生化学会大会，神奈川県横浜市，2024 年 11 月 6-8 日。
- 6) 市木貴子：消化管における飲水制御機構の解明. 第

六回三融会・武田神経科学シンポジウム 東京,
2024 年 5 月 11 日.

- 7) 市木貴子, 照沼美穂: イメージング技術を用いた消化管センシング機構の解明. 第 66 回歯科基礎医学学会学術大会, 長崎, 2024 年 11 月 2 日.

【国際学会発表】

- 1) Yusuke Nasu, Koichi Tabeta, Miho Terunuma: Astrocytes as Potential Therapeutic Target for Epilepsy, International Collaborative Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment, Bangkok, Thailand, Jun 1, 2024.
- 2) Yu Sonobe, Genki Ito, Kei Tomihara, Miho Terunuma: Novel anticancer mechanism of acetyl-CoA carboxylase inhibitor TOFA. International Collaborative Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral health and Treatment, Bangkok, Thailand, May 31-June 1, 2024.
- 3) Yu Sonobe, Genki Ito, Kei Tomihara, Miho Terunuma: Inhibition of acetyl-CoA carboxylase 2 suppresses FASN/SREBP-1 expression and cell proliferation in oral squamous cell carcinoma cells. The 48th FEBS Congress. Milano, Italy, June 29 – July 3, 2024.
- 4) Vittani M, Wang X, Lee A, Hiraoka Y, Konno A, Knak P, Kusk P, Nagao M, Asiminas A, Mishima T, Terunuma M, Hirai H, Nedergaard M, Tanaka K, Hirase H. A novel transgenic mouse model for functional tracing of circulation via albumin-tagged fluorescent probes. Neuroscience 2024, Chicago, U.S.A., November 15-19, 2024.

【国内学会発表】

- 1) 那須優介, 岸川咲吏, 照沼美穂: Hippo—YAP 経路によるアストロサイトのグルタミン合成酵素発現制御. 第 54 回日本神経精神薬理学会/第 34 回日本臨床精神神経薬理学会合同大会, 東京, 2024 年 5 月 24 日, プログラムおよび講演抄録集: 50 頁, 2024.
- 2) Castillo-Quispe S., Yoshito Kakihara, Miho Terunuma: Effect of sake lees (sake-kasu) on bone metabolism. 第 44 回日本歯科薬物療法学会, 新潟県新潟市, 2024 年 7 月 14 日.
- 3) 那須優介, 岸川咲吏, 照沼美穂: YAP によるアストロサイトのグルタミン合成酵素発現制御機構. 第 47 回日本神経科学大会/第 67 回日本神経化学学会大会/第 46 回日本生物学的精神医学会合同大会, 福岡, 2024 年 7 月 24-26 日, プログラムおよび講演抄録集: 2096 頁, 2024.
- 4) 飯田和泉, 今野幸太郎, 夏目里恵, 阿部学, 渡辺雅

彦, 崎村建司, 照沼美穂: カイニン酸型グルタミン酸受容体 GluK3 サブユニットの不安における役割とドーパミン受容体との関連. 第 47 回日本神経科学大会/第 67 回日本神経化学学会大会/第 46 回日本生物学的精神医学会合同大会, 福岡, 2024 年 7 月 24-26 日.

- 5) 園辺悠, 伊藤元貴, 富原圭, 照沼美穂: 口腔扁平上皮癌細胞におけるアセチル-CoA カルボキシラーゼ阻害剤 TOFA の新規作用機序. 令和 6 年度新潟歯学会第 1 回例会, 新潟県新潟市, 2024 年 7 月 13 日, 講演抄録集: 6 頁, 2024.

【研究会発表】

- 1) 市木貴子: in vivo イメージングを用いた消化管センシング機構の解明. 21 世紀を明るく科学する会 (2024), 天城, 2024 年 6 月 29 日.
- 2) 市木貴子: In vivo イメージングを用いた消化管センシング機構の解明. 第 64 回新潟生化学懇話会, 新潟, 2024 年 7 月 13 日.
- 3) 那須優介, 多部田康一, 照沼美穂: 歯周病原細菌性菌血症による精神疾患発症機構の解析. 第 64 回新潟生化学懇話会, 新潟, 2024 年 7 月 13 日, プログラムおよび講演抄録集: 43 頁, 2024.
- 4) 園辺悠, 伊藤元貴, 照沼美穂: 口腔扁平上皮がん細胞のアセチル-CoA カルボキシラーゼ 2 阻害による脂肪酸合成酵素 FASN 発現減少と細胞増殖抑制効果. 第 64 回新潟生化学懇話会, 新潟, 2024 年 7 月 13 日, プログラムおよび講演抄録集: 42 頁, 2024.
- 5) Castillo-Quispe S., Yoshito Kakihara, Miho Terunuma: Effect of sake lees (sake-kasu) on bone metabolism. 第 64 回新潟生化学懇話会, 新潟, 2024 年 7 月 13 日.
- 6) 那須優介, 多部田康一, 照沼美穂: 歯周病原細菌性菌血症による脳内・脳機能変化の解析. 第 63 回新潟生化学懇話会, 新潟県新潟市, 2023 年 7 月 22 日.

【その他】

- 1) 照沼美穂: Behavioral analysis of kainate receptor KO mice and the role of GluK3 subunit in anxiety and Targeting Lipogenesis as a Potential Strategy for Oral Cancer Treatment. オルガネラ研究会, 新潟県新潟市, 2024 年 6 月 7 日.
- 2) 市木貴子: In vivo イメージングを用いた消化管センシング機構の解明. 東京大学腎臓内科リサーチカンファレンス, 東京, 2024 年 9 月 4 日.
- 3) 照沼美穂: 歯科の立場から考える認知症や精神疾患の発症機序. 第 6 回オーラルサイエンス研究会, 長野県松本市, 2024 年 11 月 10-11 日.
- 4) 市木貴子: イメージング技術を用いた消化管センシ

ング機構の解明. 歯学研究を明るく楽しむ交流会・
歯科領域での AI 活用の検討会, 天城, 2024 年 11 月
30 日

- 5) 照沼美穂: 神経伝達物質を基軸とした神経科学研究.
東京大学大学院農学生命化学研究科「食嗜好性のメ
カニズム」セミナー, 東京, 2024 年 12 月 11 日.
- 6) Castillo-Quispe S: Study of the effects of sake on bone
metabolism and osteoporosis prevention. VII Meeting
of Peruvian Researchers in Japan - APEJA 2025, Tokyo,
March 28, 2025.

【受 賞】

- 1) 市木貴子: 令和 6 年度新年俸制教員特別報奨, 新潟
大学, 2025 年 3 月 17 日.

歯周診断・再建学分野

【著 書】

- 1) 小林哲夫: 高齢者の特徴と歯周病 3. 高齢者の口
腔内の特徴. 「高齢者の歯周治療ガイドライン 2023」
(特定非営利活動法人 日本歯周病学会 編), 19-
23 頁, 医歯薬出版, 東京, 2024.

【論 文】

- 1) Yan C, Nakajima M, Ikeda-Imafuku M, Yanagawa M,
Hayatsu M, Fukuta T, Shibata S, Mitragotri S, Tabeta K:
Choline and Geranate Ionic Liquid for Subgingival
Biofilm Control. International Journal of Pharmaceutics
662 (2024) 124544, 2024 Sep 5.
- 2) Nakajima M, Kapate N, Clegg JR, Ikeda-Imafuku M, Park
KS, Kumbhojkar N, Suja VC, Prakash S, Wang LLW,
Tabeta K, Mitragotri S: Backpack-carrying macrophage
immunotherapy for periodontitis. Journal of Controlled
Release 377 (2025) 315-323, 2025 Jan 10.
- 3) Yamada-Hara M, Takahashi N, Byun JW, Zeng L, Wang
Z, Tanaka A, Malakoutikhah Z, Hayashi T, Webster NJG,
Raz E, Bertin S: In Vivo Bioluminescence Imaging of
Tumor Progression in the Lewis Lung Carcinoma
Orthotopic Mouse Model – A Comparison Between the
Tail Vein Injection and Intranasal Instillation Methods.
Curr Protoc 4(12): e70071, 2024.
- 4) Minato Y, Aoki-Nonaka Y, Lwin HY, Ando D, Warita Y,
Matsugishi-Nasu A, Hiyoshi T, Takahashi N, Tabeta K:
Allyl isothiocyanate suppressed periodontal tissue
destruction in mice via bacteriostatic and anti-
inflammatory activities against Porphyromonas gingivalis.
Arch Oral Biol Oct 23;169:106118, 2024.

- 5) Takizawa F, Domon H, Hirayama S, Isono T, Sasagawa K,
Yonezawa D, Ushida A, Tsutsuura S, Miyoshi T, Mimuro
H, Yoshida A, Tabeta K, Terao Y: Effective degradation of
various bacterial toxins using ozone ultrafine bubble
water. PLOS ONE 19(7): e0306998, 2024.
- 6) Asakura T, Tran D, Ueda Y, Yamada A, Tsuzuno T,
Takahashi N, Miyata M, Tabeta K, Nagata M, Matsuda K:
Analysis of the effect of human type i collagen-derived
peptide on bone regenerative capacity and comparison
with various collagen materials in vivo.
Medicina(Kaunas) 61(1):57, 2025.
- 7) Motosugi S, Takahashi N, Mineo S, Sato K, Tsuzuno T,
Aoki-Nonaka Y, Nakajima N, Takahashi K, Sato H,
Miyazawa H, Taniguchi K, Terai S, Tabeta K: Enrichment
of Porphyromonas gingivalis in colonic mucosa-
associated microbiota and its enhanced adhesion to
epithelium in colorectal carcinogenesis: Insights from in
vivo and clinical studies. PLoS One 20: e0320383, 2025.
- 8) 高橋直紀: 総説 歯肉上皮バリア機能制御を基軸と
した新規抗歯周病薬開発の基礎的研究. 日歯周誌
66 (4): 1-20, 2024.

【研究費獲得】

- 1) 多部田康一 (研究代表者): MPN 武装細菌による口
腔マイクロバイオームの再構築. 日本学術振興会科
学研究費基金 挑戦的萌芽研究, 23K18357, 2024.
- 2) 多部田康一 (研究代表者): Backpack を応用したセ
ルバインディング DDS の開発—新規歯周治療モデ
リテイ. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研
究(B), 23H03079, 2024.
- 3) 多部田康一 (研究分担者): DEL-1 による口腔組織修
復および再生機構の解明. 日本学術振興会科学研
究費補助金 基盤研究(B), 研究代表者: 前川知樹,
22H03267, 2024.
- 4) 多部田康一 (研究分担者): ウェアラブルデバイスを
用いた咀嚼行動変容と歯周病改善による糖尿病コ
ントロール. 日本学術振興会科学研究費補助金 基
盤研究(B), 研究代表者: 堀 一浩, 21H03129, 2024.
- 5) 高橋直紀 (研究代表者): 嚥下された歯周病原細菌に
よる腸管恒常性破綻機構の解明. 日本学術振興会科
学研究費補助金 基盤研究(C), 22K09961, 2024.
- 6) 高橋直紀 (研究分担者): 口腔細菌叢再構築による時
代共通細菌と因子の同定. 日本学術振興会科学研
究費基金 挑戦的萌芽研究, 研究代表者: 前川知樹,
24K22180, 2024.
- 7) 高橋直紀 (研究分担者): DEL-1 による口腔組織修復
および再生機構の解明. 日本学術振興会科学研
究費補助金 基盤研究(B), 研究代表者: 前川知樹,

- 22H03267, 2024.
- 8) 高橋直紀(研究分担者): ウェアラブルデバイスを用いた咀嚼行動変容と歯周病改善による糖尿病コントロール. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(B), 研究代表者: 堀 一浩, 21H03129, 2024.
- 9) 小林哲夫: 歯周炎による関節リウマチ・慢性腎臓病の共通発症機序の解明ー特異的自己免疫の関与ー. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 24K12928, 2024.
- 10) 野中 由香莉(研究代表者): 選択的ジペプチジルペプチダーゼ阻害薬による糖尿病関連歯周炎に対する創薬研究. 日本学術振興会 科学研究費基金 基盤研究(C), 24K12945, 2024
- 11) 野中 由香莉(研究分担者): 糖非発酵グラム陰性細菌のペプチド代謝機構を標的とした抗菌薬開発. 日本学術振興会 科学研究費基金 基盤研究(C), 24K09765, 2024
- 12) 杉田典子(研究代表者): 歯周炎と死亡率の関連性におけるエネルギー代謝調節遺伝子の役割. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 24K12911, 2024.
- 13) 杉田典子(研究分担者): 口腔および口蓋扁桃マイクロバイオームが慢性腎臓病に及ぼす包括的メカニズムの解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 研究代表者: 葭原 明弘, 22K10337, 2024.
- 14) 中島麻由佳(研究代表者): 唾液腺への特異的な IgA 産生細胞の誘導メカニズムの解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究, 19K18993, 2024.
- 15) 佐藤圭祐(研究代表者): 唾液エクソソームを応用した新規 miRNA による歯周病進行リスク診断. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究, 23K16019, 2024.
- 16) 原実生(研究代表者): 歯周病原細菌による呼吸器上皮バリア機能破綻と肺がん発症機構を解明する. 日本学術振興会 科学研究費補助金 若手研究, 24K19892, 2024.
- 17) 原実生(研究分担者): 口腔幹細胞ニッチに着目した口腔老化メカニズム解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 国際共同研究加速基金(海外連携研究), 研究代表者: 前川知樹, 23KK0160, 2024.
- 18) 保莉崇大(研究代表者): 呼吸器マイクロバイオームの動態に着目した歯周病による COPD 増悪メカニズムの解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究, 23K15185, 2024.
- 19) 松岸 葵(研究代表者): 歯周病が脂質代謝へ及ぼす影響ーTRPV1 チャネルを介したメカニズムの解明ー. 科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金) 若手研究, 24K19893, 2024.
- 20) 都野隆博(研究代表者): 培養骨膜細胞シートにおける部位特異的な細胞特性に着目した高効率化骨再生療法の開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究, 24K19875, 2024.
- 21) 都野隆博(研究分担者): 口腔幹細胞ニッチに着目した口腔老化メカニズム解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 国際共同研究加速基金(海外連携研究), 研究代表者: 前川知樹, 23KK0160, 2024.
- 22) 峯尾修平(研究代表者): 歯肉上皮細胞由来エクソソームを介した歯周炎制御機構の解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究, 23K15996, 2024.
- 23) 笹川花梨(研究代表者): NF- κ B を介した再生ニッチ制御による骨再生迅速化技術の開発. 日本学術振興会 科学研究費基金 研究活動スタート支援, 24K23614, 2024.
- 24) 那須優介(研究代表者): 歯周病原細菌による菌血症がもたらす精神疾患発症機構の解明. 日本学術振興会 科学研究費基金 研究活動スタート支援, 24K23544, 2024.
- 25) 安井惟人: “やさしい創薬研究” イノベーション(AIM に着目した肺炎の創薬研究). 新潟大学未来社会を牽引するグローバルな総合知を備えたフロントランナー育成プロジェクト 2024.
- 26) 遠藤愛: ポスト長寿社会の研究ーモデル生物実験系の作製と in vivo シミュレーションー, 新潟大学未来社会を牽引するグローバルな総合知を備えたフロントランナー育成プロジェクト, 2024.
- 27) 滝澤史雄: 肺炎重症化因子のプロテオーム解析を基盤とした老化と肺炎重症化の関連性の探索, 日本学術振興会 特別研究員 DC2, 2024.
- 28) 湊 裕佳子(研究代表者): ワサビ由来成分による歯周病抑制効果の検討. 令和 6 年度未来社会を牽引するグローバルな総合知を備えたフロントランナー育成プロジェクト(新次世代プロジェクト) 研究費, J24H0003, 2024.
- 29) 柳川万由子(研究代表者): イオン液体(IL)を用いた歯周塗布薬の開発研究. 令和 5 年度新潟大学フェローシップ支援事業研究費, J23H0004, 2024.
- 30) 植田優太(研究代表者): 骨膜細胞移植を基軸とした新規骨再生療法の開発研究. 令和 6 年度新潟大学未来社会を牽引するグローバルな総合知を備えたフロントランナー育成プロジェクト 研究費, J24H0003, 2024.
- 31) Lorena Zegarra(研究代表者): Development of fatty acid-based ionic liquids for periodontal therapy. 公益財団法人 富徳会, 2024 年度海外留学研究者助成, 2024.

【講演・シンポジウム】

- 1) Takahashi N: Special lecture II exploring the oral-gut axis: The role of periodontal pathogens in gastrointestinal diseases. International collaborative symposium on development of human resources in practical oral health and treatment, Pullman Bangkok King Power Hotel Bangkok, Thailand, May 31- June 1, 2024.
- 2) 多部田康一：歯周病と全身の関わり. R6 中越地区歯科医学会, 柏崎, 2024 年 3 月 2 日.
- 3) 高橋直紀：シンポジウム 2 下部消化器 Pathobiont としての歯周病原細菌 *P. gingivalis*. 日本歯科保存学会 2024 年度春季学術大会(第 160 回), 仙台, 2024 年 5 月 17 日.
- 4) 高橋直紀：学術賞受賞記念講演 歯肉上皮バリア機能制御を基軸とした新規抗歯周病薬開発の基礎的研究. 第 67 回春季日本歯周病学会学術大会, 郡山, 2024 年 5 月 25 日.
- 5) 多部田康一：歯周治療の基本と関連背景のアップデート. 日本歯周病学会第 4 回四国地区臨床研修会, 松山, 2024 年 6 月 5 日.
- 6) 多部田康一：歯周治療をゴールに導く歯周治療の基本と関連背景のアップデート. 日本歯周病学会第 6 回東北地区臨床研修会, 青森, 2024 年 9 月 28 日.
- 7) 高橋直紀：アップデートシンポジウム 9 歯周炎と下部消化器疾患－粘膜関連細菌叢に着目した基礎的・臨床的検討－. 第 66 回歯科基礎医学会学術大会, 長崎, 2024 年 11 月 3 日.
- osteoregeneration. The 15th asian pacific society of periodontology meeting, Hanoi, Vietnam, October 17-19, 2024.
- 5) 湊裕佳子, 野中由香莉, 日吉 巧, 松岸 葵, Hnin Yu Lwin, 安藤大樹, 割田悠子, 多部田康一：歯周炎マウスモデルにおけるアリルイソチオシアネートの歯周組織破壊抑制効果の検討. 第 57 回新潟歯学会総会, 新潟, 2024 年 4 月 13 日, プログラムおよび講演抄録集：11 頁, 2024.
- 6) 小林哲夫, 伊藤 聡, 村澤 章, 石川 肇：関節リウマチ患者の腎機能障害と歯周病原細菌感染との関連. 第 68 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 神戸, 2024 年 4 月 20 日, プログラムおよび講演抄録集：11 頁, 2024.
- 7) 柳川万由子, 中島麻由佳, Yan C, Lorena Zegarra, 多部田康一：脂肪酸ベース・イオン液体の抗バイオフィルム能の検討. 日本歯科保存学会 2024 年度春季学術大会 (第 160 回), 仙台, 2024 年 5 月 17 日, プログラムおよび講演抄録集：118 頁, 2024.
- 8) 本杉駿弥, 高橋直紀, 都野隆博, 峯尾修平, Tran Diep, 植田優太, 多部田康一：Porphyromonas gingivalis が AOM/DSS 大腸がんモデルマウスに及ぼす影響とそのメカニズムの解析. 日本歯科保存学会 2024 年度春季学術大会 (第 160 回), 仙台, 2024 年 5 月 17 日, プログラムおよび講演抄録集：119 頁, 2024.
- 9) 中島麻由佳, Yan Chunyang, 柳川万由子, 多部田康一：Metal-Phenolic Networks 操作 Symbiosis 細菌群を用いた細菌叢移植技術の開発研究. 日本歯科保存学会 2024 年度春季学術大会 (第 160 回), 仙台, 2024 年 5 月 17 日, プログラムおよび講演抄録集：120 頁, 2024.
- 10) 那須優介, 岸川咲吏, 照沼美穂: Hippo-YAP 経路によるアストロサイトのグルタミン合成酵素発現制御. 第 54 回日本神経精神薬理学会／第 34 回日本臨床神経精神薬理学会合同大会, 東京, 2024 年 5 月 24 日, プログラムおよび講演抄録集：50 頁, 2024.
- 11) 湊裕佳子, 野中由香莉, 日高興士, 阪本泰光, 日吉巧, 松岸 葵, Hnin Yu Lwin, 安藤大樹, 割田悠子, 多部田康一：ジペプチジルペプチダーゼ阻害薬による歯周病抑制効果の検討. 第 67 回春季日本歯周病学会学術大会, 郡山, 2024 年 5 月 24 日, プログラムおよび講演抄録集：126 頁, 2024.
- 12) Tran Diep, 高橋直紀, 都野隆博, 本杉駿弥, 植田優太, 永田昌毅, 多部田康一：コラーゲン様リコンビナントペプチドがヒト培養骨膜細胞に与える影響の解析. 第 67 回春季日本歯周病学会学術大会, 郡山, 2024 年 5 月 24 日, プログラムおよび講演抄録集：126 頁, 2024.

【学会発表】

- 1) Yan C, Nakajima M, Yanagawa M, Tabeta K: Antibacterial and antibiofilm activities of choline geranate-ionic liquid for periodontal therapy. International collaborative symposium on development of human resources in practical oral health and treatment, Bangkok, Thailand, May 31, 2024.
- 2) Nasu Y, Tabeta K, Terunuma M: Astrocytes as potential therapeutic target for epilepsy. International collaborative symposium on development of human resources in practical oral health and treatment, Bangkok, Thailand, June 1, 2024.
- 3) Tran D, Takahashi N, Tsuzuno T, Motosugi S, Ueda Y, Nagata M, Tabeta K: Recombinant collagen peptide promotes periosteal cell-derived bone regeneration. International collaborative symposium on development of human resources in practical oral health and treatment, Bangkok, Thailand, May 31-June 1, 2024.
- 4) Tran D, Takahashi N, Tsuzuno T, Motosugi S, Ueda Y, Nagata M, Tabeta K: The beneficial effects of recombinant collagen peptide in periosteal cell-derived

- 13) 安藤大樹, 野中由香莉, 松岸 葵, 日吉 巧, Hnin Yu Lwin, 湊裕佳子, 割田悠子, 多部田康一: カチオン性コメペプチドによる *Porphyromonas gingivalis* バイオフィーム阻害効果の検討. 第 67 回春季日本歯周病学会学術大会, 郡山, 2024 年 5 月 24 日, プログラムおよび講演抄録集: 132 頁, 2024.
- 14) 小林哲夫, 伊藤 聡, 杉田典子, 村澤 章, 石川 肇, 多部田康一: 関節リウマチ患者の歯周炎, シトルリン化関連因子, および腎機能の関連性の解析. 第 67 回春季日本歯周病学会学術大会, 郡山, 2024 年 5 月 24 日, プログラムおよび講演抄録集: 135 頁, 2024.
- 15) 保莉崇大, 両角俊哉, 野中由香莉, 濃野 要, 小松康高, 杉原俊太郎, 山本裕子, 宮沢春菜, 鎗田将史, 新井恭子, 佐藤友則, 高橋直紀, 小牧基浩, 多部田康一: 慢性歯周炎患者において SRP が及ぼす生体応答と自立神経活動への影響および Er:YAG レーザー応用の効果—パイロット研究—. 第 67 回春季日本歯周病学会学術大会, 郡山, 2024 年 5 月 24 日, プログラムおよび講演抄録集: 140 頁, 2024.
- 16) 高橋直紀, 多部田康一: セメント質過形成を伴う広汎型重度慢性歯周炎患者に包括的歯周治療を行った一症例. 第 67 回春季日本歯周病学会学術大会, 郡山, 2024 年 5 月 25 日, プログラムおよび講演抄録集: 147 頁, 2024.
- 17) Tran Diep, 高橋直紀, 都野隆博, 本杉駿弥, 植田優太, 永田昌毅, 多部田康一: The favorable role of recombinant collagen peptide in periosteal cell-derived osteoregeneration. 令和 6 年度新潟歯学会第 1 回例会, 新潟, 2024 年 7 月 13 日, プログラムおよび講演抄録集: 12 頁, 2024.
- 18) 那須優介, 岸川咲史, 照沼美穂: YAP によるアストロサイトのグルタミン合成酵素発現制御機構. 第 47 回日本神経科学大会/第 67 回日本神経化学会大会/第 46 回日本生物学的精神医学会合同大会, 福岡, 2024 年 7 月 26 日, プログラムおよび講演抄録集: 2096 頁, 2024.
- 19) 安井惟人, 平山 悟, 磯野俊仁, 日吉 巧, 土門久哲, 寺尾 豊: 肺炎球菌 SufC は自己溶菌によって菌体外へ放出され宿主プラスミノーゲンと結合する. 第 97 回日本細菌学会総会, 札幌, 2024 年 8 月 7~9 日, プログラムおよび講演抄録集: 43 頁, 2024.
- 20) 滝澤史雄, 土門久哲, 平山 悟, 笹川花梨, 米澤大輔, 牛田晃臣, 筒浦さとみ, 寺尾 豊: オゾンウルトラファインバブル水の殺菌および細菌毒素不活化作用の解析. 第 97 回日本細菌学会総会, 札幌, 2024 年 8 月 7~9 日, プログラムおよび講演抄録集: 46 頁, 2024.
- 21) 柳川万由子, 中島麻由佳, Yan Chunyang, Lorena Zegarra, 多部田康一: 脂肪酸ベース・イオン液体の抗バイオフィーム効果. 第 67 回秋季日本歯周病学会学術大会, 札幌, 2024 年 10 月 4 日, プログラムおよび講演抄録集: 138 頁, 2024.
- 22) 植田優太, 高橋直紀, 都野隆博, 永田昌毅, 本杉駿弥, 山田 葵, Tran Diep, 泉 健次, 多部田康一: Optical Coherence Tomography を用いた培養骨膜シートの厚みと骨形成能の関連性の検討. 第 67 回秋季日本歯周病学会学術大会, 札幌, 2024 年 10 月 4 日, プログラムおよび講演抄録集: 151 頁, 2024.
- 23) Lorena Zegarra, 中島麻由佳, 柳川万由子, Yan Chunyang, 多部田康一: コリナーリノール酸イオン液体を用いた歯周治療薬の開発研究. 第 67 回秋季日本歯周病学会学術大会, 札幌, 2024 年 10 月 4 日, プログラムおよび講演抄録集: 153 頁, 2024.
- 24) 割田悠子, 野中由香莉, 日高興士, 阪本泰光, 湊裕佳子, 松岸 葵, Hnin Yu Lwin, 安藤大樹, 多部田康一: 新規ジペプチド化合物の歯周病原細菌に対する抗菌活性の検討. 第 67 回秋季日本歯周病学会学術大会, 札幌, 2024 年 10 月 4 日, プログラムおよび講演抄録集: 153 頁, 2024.
- 25) Yan Chunyang, 中島麻由佳, 池田真由美, 柳川万由子, 多部田康一: Antimicrobial and Antibiofilm Effects of Choline Geranate Ionic Liquid for Periodontal Therapy. 令和 6 年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟, 2024 年 11 月 2 日, プログラムおよび講演抄録集: 12 頁, 2024.
- 26) 安藤大樹, Hnin Yu Lwin, 野中由香莉, 松岸 葵, 湊裕佳子, 割田悠子, 高橋直紀, 多部田康一: フェルラ酸による *Porphyromonas gingivalis* バイオフィーム阻害作用の検討. 令和 6 年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟, 2024 年 11 月 2 日, プログラムおよび講演抄録集: 13 頁, 2024.
- 27) 多部田康一: ヒト培養骨膜細胞シートにおける Optical Coherence Tomography を用いた品質評価方法の検討. 第 24 回日本再生医療学会, 横浜, 2025 年 3 月 20 日, プログラムおよび講演抄録集: 97 頁, 2025.

【受賞】

- 1) 小林哲夫, 伊藤 聡, 村澤 章, 石川 肇: 関節リウマチ患者の腎機能障害と歯周病原細菌感染との関連. 秀逸ポスター賞, 第 68 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 2024 年 4 月 20 日.
- 2) 野中由香莉, 保莉崇大, 松川由実, 佐藤圭祐, 原実生, 竹内麻衣, 高見澤圭, 山崎恭子, 都野隆博, 田村光, 日吉巧, 目黒史也, 干川絵美, 松岸葵, 金子千尋, 峯尾修平, 山下萌, 多部田康一: Five-year

Prognosis and Risk Factor Analysis of Open Flap Debridement for Older People. 優秀論文賞, 第 160 回日本歯科保存学会 2023 年度春季学術大会, 2024 年 5 月 16 日.

- 3) 本杉駿弥: Porphyromonas gingivalis が AOM/DSS 大腸がんモデルマウスに及ぼす影響とそのメカニズムの解析. 保存学会優秀ポスター賞, 日本歯科保存学会 2024 年度春季学術大会 (第 160 回), 仙台, 2024 年 5 月 17 日.
- 4) 都野隆博: シングルセル遺伝子発現解析によるヒト培養骨膜細胞シートの骨形成評価. 歯周組織再生医学優秀発表賞, 第 66 回秋季日本歯周病学会, 2024 年 5 月 24 日.
- 5) 中島麻由佳: Engineering of bioactive nanocomplexes on dental floss for targeted gingival therapy.新潟大学優秀論文表彰, 2024 年 7 月 1 日.
- 6) Tran Diep: The Beneficial Effects of Recombinant Collagen Peptide In Periosteal Cell-Derived Osteoregeneration. APSP poster award, The 15th Asian Pacific Society of Periodontology Meeting, Hanoi, Vietnam, October 17-19, 2024.

【その他】

- 1) Tabeta K: Developing novel modalities for periodontal disease. TIKG 13th Meeting, Makassar, Indonesia, February 25, 2025.
- 2) 多部田康一: 歯周医学: 研究, 臨床におけるエビデンスの理解. 広島大学講義, 広島, 2024 年 1 月 19 日.
- 3) 中島麻由佳: Drug Delivery Systems を応用した新規歯周病治療法の開発—Metal-Phenolic Network による Nanofloss 開発研究—. UJA 論文賞受賞講演, web 開催, 2024 年 5 月 12 日.
- 4) 高橋直紀: 口腔—腸管連関における歯周病原細菌 P. gingivalis の関与とその応用発展. 令和 6 年度歯学研究セミナー, 札幌, 2024 年 7 月 3 日.
- 5) 那須優介, 多部田康一, 照沼美穂: 歯周病原細菌性菌血症による精神疾患発症機構の解析. 第 64 回新潟生化学懇話会, 新潟, 2024 年 7 月 13 日, プログラムおよび講演抄録集: 43 頁, 2024.
- 6) 高橋直紀: 歯周病アップデート 2024—明日の臨床で使える知識と技術—. 六華会富山支部夏季研修セミナー, 富山, 2024 年 9 月 8 日.
- 7) 高橋直紀: ペリオのキホン—明日からの臨床で役立つ知識と技術—. 新潟大学医歯学総合病院 歯科衛生部門研修会, 新潟, 2024 年 10 月 25 日.
- 8) 高橋直紀: シンポジウム 歯周医学アップデート—嚥下された歯周病原細菌と下部消化器疾患—. 歯学研究を明るく楽しむ交流会・歯科領域での AI 活

用の検討会, 静岡県伊豆市天城ホームステッド, 2024 年 11 月 30 日-12 月 1 日.

- 9) Takahashi N: Oral-Gut Connection: Impact of Periodontal Pathogens on Gastrointestinal Diseases. International Class Guest Online Lecture, Indonesia, Hasanuddin University Faculty of Dentistry, November 21, 2024.
- 10) 湊裕佳子: ジペプチジルペプチダーゼ阻害薬による歯周病抑制効果の検討. 歯学研究を明るく楽しむ交流会・歯科領域での AI 活用の検討会, 伊豆, 2024 年 12 月 1 日.
- 11) 柳川万由子: 歯周治療への応用を目指した脂肪酸ペーヌイオン液体の開発研究. 歯学研究を明るく楽しむ交流会・歯科領域での AI 活用の検討会, 静岡, 2024 年 12 月 1 日.
- 12) 両角俊哉, 新井恭子, 鎗田将史, 佐藤友則, 保苅崇大, 北島佳代子: 歯周治療により誘発される菌血症と全身への影響. 歯学 111 春季特集号: 76-79, 2024.

歯科矯正学分野

【論文】

- 1) 大森裕子: 新潟大学における外科的矯正治療の臨床と研究. 甲北信越矯正歯科学会雑誌 32(1): 8-12, 2024.
- 2) Nagasaki T, Kurihara-Okawa K, Okawa J, Nihara J, Takahashi K, Hori K, Fukui T, Ono T, Saito I: Tongue pressure and maxillofacial muscle activities during swallowing in patients with mandibular prognathism. J Oral Rehabil. 51(8):1413-1421. 2024.
- 3) Mimura S, Kurihara-Okawa K, Fukamachi N, Nagasaki T, Hori K, Okawa J, Takeyama M, Ono T, Saito I: Characteristics of masticatory behavior of patients with mandibular prognathism. Maxillofac Plast Reconstr Surg. 47(5), 2025.
- 4) Kitamura M, Kudo T, Ichikawa K, Fujita A, Osawa K, Sari FT, Utama V, Kesuma A, Saito I, Nihara J: The role of primary cilia in nasal septum development. Niigata Dent. J. 54(2): 9-14, 2024.
- 5) Ryo T, Junya K, Yuko O, Kojiro T, Isao S, Mika K and Tetsu M: Fabrication of Apparatus Specialized for Measuring the Elasticity of Perioral Tissues. Materials 17(15), 3654, 2024.
- 6) Kawasaki M, Kawasaki K, Sari FT, Kudo T, Nihara J, Kitamura M, Nagai T, Utama V, Ishida Y, Meguro F, Kesuma A, Fujita A, Nishimura T, Kogure Y, Maruyama S, Tanuma J, Kakiyama Y, Maeda T, Ghafoor S, Khonsari

RG, Corre P, Sharpe PT, Cobourne MT, Franco B, Ohazama A : Cell-cell interaction determine cell fate of mesoderm-derived cell in tongue development through Hh signaling. eLife 11:13:e85042, 2024.

- 7) Zheng Z, Saito D, Hasebe D, Funayama A, Nihara J, Kobayashi T. Three-dimensional evaluation of maxillofacial symmetry improvement following orthognathic surgery in patients with asymmetrical jaw deformities. Oral Maxillofac Surg. 7:29(1):8, 2024.
- 8) Zheng Z, Hasebe D, Suda D, Saito N, Saito D, Nihara J, Nohno K, Saito I, Kobayashi T. Investigation of orthognathic surgery indicators-combination with index of orthognathic functional treatment needs (IOFTN) and maxillofacial morphometric analysis. Oral Maxillofac Surg. 28(3):1189-1196, 2024.

【商業誌】

- 1) 丹原 惇：口唇裂・口蓋裂患者に対する最新治療—3 術前顎矯正. 矯正臨床ジャーナル 2024.
- 2) 大川加奈子：顎顔面形態と咀嚼および嚥下機能との連関. 臨床家のための矯正 YEAR BOOK 2024 (北峯康充 編), 146-149 頁, クインテッセンス出版, 東京, 2024.

【研究費獲得】

- 1) 丹原 惇：組織幹細胞の恒常性メカニズムの解明. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 基盤研究 (C) , 24K13064, 2024
- 2) 大川加奈子：舌圧と口蓋形態を指標とした骨格性開咬症の新たな機能的形態的特徴の解明. 学術研究助成基金助成金 若手研究, 24K20075, 2024
- 3) 工藤武久：分子シャペロンの顎顔面形成における役割の解明. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 若手研究, 24K20025, 2024.
- 4) 新井萌生：加齢を伴う SPARC-KO マウスの歯根膜組織の解析. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究, 24K20054, 2024.
- 5) (延長分) 上村藍太郎：内因性カンナビノイド機構によるグリア機能の調節が関わる痛みの脳内制御機構の解明. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 若手研究, 23K1611, 2023.
- 6) (延長分) 栗原加奈子：舌圧と口唇・頬圧の同時測定による骨格性開咬症の新たな機能的解析法の確立. 学術研究助成基金助成金 若手研究, 20K18662, 2020.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) 上村藍太郎：スケレタルアンカレッジの使用状況を踏まえた有用性と課題. 第 39 回甲北信越矯正歯科学会学術大会, 2024 年 6 月 23 日, 抄録集 : 26 頁, 2024.
- 2) 丹原 惇：口唇裂・口蓋裂治療を俯瞰する矯正歯科医の役割. 口唇裂・口蓋裂認定師申請単位認定セミナー. 第 48 回日本口蓋裂学会総会・学術総会, 名古屋, 2024 年 5 月 31 日, 日口蓋誌 49(2) : 107 頁, 2024.
- 3) 大川加奈子：顎変形症の治療にともなう機能変化およびリハビリテーション. 特定非営利活動法人日本顎変形症学会主催の第 20 回教育研修会 (オンデマンド; e-learning 開催), 東京, 2024 年 5 月 17 日～6 月 28 日, 2024.

【学会発表】

- 1) 市川佳弥, 丹原 惇, 寺田愛希, 井村真美, 宮田昌幸, 若槻華子, 大湊 麗, 児玉泰光, 小林亮太, 新美奏恵, 齋藤大輔, 小林正治, 齋藤 功：片側性唇顎口蓋裂患者における上顎歯列弓形態への PNAM 治療の影響 5 歳時を対象として. 第 48 回日本口蓋裂学会総会・学術総会, 名古屋, 2024 年 5 月 30 日～31 日, 日口蓋誌 49(2) : 138 頁, 2024.
- 2) 大澤知朗, 高橋功次郎, 大森裕子, 丹原 惇：叢生を伴う Angle Class III subdivision 上顎前突症例. 第 39 回甲北信越矯正歯科学会学術大会, 新潟, 2024 年 6 月 23 日, 同学会学術大会プログラム・抄録集 : 45 頁, 2024.
- 3) 大澤知朗, 丹原 惇, 西山秀昌, 高橋功次郎, 大森裕子, 新ちひろ, 齋藤大輔, 富原 圭, 小林正治, 齋藤 功：骨格性下顎前突症患者における下顎骨の偏位様相と上顎咬合平面傾斜との関係について. 第 34 回日本顎変形症学会総会・学術大会, 東京, 2024 年 6 月 27 日～28 日, 日顎変形誌 34(2): 148 頁, 2024.
- 4) マウン・マウン・ミョー, 齋藤大輔, 竹内涼子, 羽賀健太, 長谷部大地, 船山昭典, 丹原 惇, 新美奏恵, 小林正治：Three-dimensional evaluation of cranio-maxillofacial morphological asymmetry in patients with jaw deformities. 第 34 回日本顎変形症学会総会・学術大会, 東京, 2024 年 6 月 27 日～28 日, 日顎変形誌 34(2): 123 頁, 2024.
- 5) 長崎 司, 丹原 惇：上顎左側犬歯の埋伏、過蓋咬合、両側第二大臼歯の鉤状咬合および叢生を伴う Angle Class II 上顎前突症例. 第 39 回甲北信越矯正歯科学会学術大会, 新潟, 2024 年 6 月 23 日, 同学会学術大会プログラム・抄録集 : 46 頁, 2024.

- 6) 吉田智美, 竹山雅規, 網谷季莉子, 工藤武久, 長谷部大地, 小林正治, 齋藤 功: 閉塞性睡眠時無呼吸 (OSA)患者に対する口腔内装置(OA)の長期使用に伴う形態学的変化とその予測について. 第39回甲北信越矯正歯科学会学術大会, 新潟, 2024年6月23日, 同学会学術大会プログラム・抄録集:41頁, 2024.
- 7) 北村 円, 工藤武久, 市川佳弥, 新井萌生, 藤田瑛, 大澤知朗, サリ フィンサ, ヴァネッサ ウタマ, アレックス ケスマ, 齋藤 功, 丹原 惇: 鼻中隔形成における一次繊毛の役割. 令和6年度新潟歯学会第1回例会, 新潟, 2024年7月13日, 新潟歯学会雑誌??(?): ??頁, 2024.
- 8) 竹元 涼, 高橋功次朗, 大森裕子, 小林潤矢, 丹原惇, 川合巳佳, 三俣 哲, 齋藤 功: 口唇周囲軟組織の新たな硬さ計測方法の開発. 令和6年度新潟歯学会第2回例会, 新潟, 2024年11月2日, 新潟歯学会雑誌 54(2): ?頁, 2024.
- 9) 小林潤矢, 竹元 涼, 大森裕子, 高橋功次朗, 齋藤 功, 川合巳佳, 三俣 哲: 歯科矯正治療に用いる口唇周囲組織の弾性率測定装置の開発. 第73回高分子学会年次大会, 仙台, 2024年6月5~7日, 2024.
- 10) 金森廉太郎, 高橋功次朗, 大森裕子, 川合巳佳, 三俣 哲: アルギン酸ゲルビーズから放出されたイオンの電気物性に及ぼす超音波照射の影響. 第73回高分子討論会, 新潟, 2024年9月25日~27日.
- 11) 小林潤矢, 竹元 涼, 高橋功次朗, 大森裕子, 川合巳佳, 三俣 哲: ポリウレタンエラストマーで模倣した口唇周囲皮膚組織の弾性率測定. 第73回高分子討論会, 新潟, 2024年9月25日~27日.

【受賞】

- 1) 大澤知朗, 丹原 惇, 西山秀昌, 高橋功次朗, 大森裕子, 新ちひろ, 齋藤大輔, 富原 圭, 小林正治, 齋藤 功: 骨格性下顎前突症患者における下顎骨の偏位様相と上顎咬合平面傾斜との関係について. 第34回日本顎変形症学会総会・学術大会 優秀ポスター賞, 2024年6月27日~28日.

【その他】

- 1) 岩間 基: マウス臼歯の根尖側セメント質の最表層には無細胞外部線維性セメント質が常に存在する. 新潟歯学会雑誌 54(1): 49頁, 2024.

- 2) 山田 貴大: 下顎偏位を伴う骨格性下顎前突症患者の顎矯正手術後における顎関節形態の変化. 新潟歯学会雑誌 54(2): 27頁, 2024.
- 3) 寺田 愛希: 新潟大学医歯学総合病院においてPNAM治療を行った片側性口唇口蓋裂児における外鼻形態変化の長期的評価と治療効果に影響を与える因子について. 新潟歯学会雑誌 54(2): 29頁, 2024.

摂食嚥下リハビリテーション学分野

【著書】

- 1) 伊藤加代子, 井上 誠: 第3章更年期・老年期3ドライマウス. 外来でみる女性診療 現場の教科書 (寺内公一編), 株式会社診断と治療社, 印刷中.
- 2) 井上 誠: 咀嚼と嚥下の関係. 最新言語聴覚講座 摂食嚥下障害, 16-19頁, 医歯薬出版株式会社, 2025.
- 3) 伊藤加代子, 井上 誠: 第2章6老化による口腔機能の変化①唾液腺と唾液分泌, ②口腔感覚. 歯科衛生士講座 高齢者歯科学 4版 (羽村 章編), 49-52頁, 永末書店, 2025.
- 4) 辻村恭憲: 加齢と摂食嚥下機能. 日本摂食嚥下リハビリテーション学会eラーニング対応 第1分野 摂食嚥下リハビリテーションの全体像 Ver.4, 110-116頁, 医歯薬出版株式会社, 2025.
- 5) 井上 誠: 咀嚼は嚥下を難しくするか. CLINICALREHABILITATION 臨時増刊誤嚥性肺炎とリハビリテーション, 646-649頁, 医歯薬出版株式会社, 東京, 2024.

【論文】

- 1) Satomi Kawada, Titi Chotirungsan, Charng-Rong Pan, Yuhei Tsutsui, Keiichiro Okamoto, Jin Magara, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: Effects of potassium on laryngeal induced swallowing rate in rats. Am J Physiol Gastrointest Liver Physiol Online ahead of print, doi:10.1152/ajpgi.00012. 2025.
- 2) Yuhei Tsutsui, Titi Chotirungsan, Charng-Rong Pan, Satomi Kawada, Nozomi Dewa, Jin Magara, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: The central neural control of the posterior belly of the digastric muscles during swallowing in rats. Am J Physiol Gastrointest Liver Physiol 328(3):G277-G288, doi: 10.1152/ajpgi.00374.2024. 2025.
- 3) Koji Takahashi, Yutaka Watanabe, Takuma Okumura, Yasushi Tamada, Misuzu Sato, Masanori Iwasaki, Maki

- Shirobe, Hirohiko Hirano, Yoshihiro Kugimiya, Masako Kishima, Kayoko Ito, Yasuyuki Iwasa, Yoshihiko Watanabe, Shinsuke Mizutani, Kazuharu Nakagawa, Shigekazu Komoto, Yutaka Yamazaki: Association between Undernutrition and the Number of Molar Occlusions in Older Persons Requiring Care in Long-Term Care Insurance Facilities. *Nutrients* 17(4):630, doi: 10.3390/nu17040630. 2025.
- 4) Mari Nakao-Kato, Aya Takahashi, Jin Magara: Characterization of Beverage Viscosity Based on the International Dysphagia Diet Standardisation Initiative and Its Correspondence to the Japanese Dysphagia Diet 2021. *Nutrients* 17(6):1051. doi: 10.3390/nu17061051. 2025.
 - 5) Akira Okubo, Takanori Tsujimura, Rumi Ueha, Taku Suzuki, Yuhei Tsutsui, Yuta Nakajima, Nobuaki Saka, Anna Sasa, Eri Takei, Jin Magara, Makoto Inoue: Chewing well modulates pharyngeal bolus transit during swallowing in healthy participants. *Dysphagia* 39(6):1112-1124, doi: 10.1007/s00455-024-10689-z. 2024.
 - 6) Chisato Aizawa, Eri Takei, Jin Magara, Yasunobu Saito, Koki Noda, Yukiko Orihara, Mengjie Zhang, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: Enhancing Swallowing Initiation: The Facilitatory Role of Crystalline Oil and Fat. *J Funct Foods* 121:106423, doi:10.1016/j.jff.2024.106423. 2024.
 - 7) Nobuaki Saka, Titi Chotirungsan, Midori Yoshihara, Charng-Rong Pan, Yuhei Tsutsui, Nozomi Dewa, Jin Magara, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: Functional involvement of the sternohyoid muscle in breathing and swallowing in rats. *Am J Physiol Gastrointest Liver Physiol* 327(4):G598-G607, doi: 10.1152/ajpgi.00138.2024. 2024.
 - 8) Hajime Iwamori, Jin Magara, Wakana Onuki, Reiko Ita, Anna Sasa, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: Effect of carbonation and thickening on voluntary swallow in healthy humans. *J Oral Rehabil* 51(10):2043-2051, doi: 10.1111/joor.13793. 2024.
 - 9) Rie Goto, Yuto Ochiai, Eri Takei, Reiko Ita, Kazhihiro Ono, Ryo Takei, Hideaki Washio, Hajime Takahashi, Takanori Tsujimura, Jin Magara, Makoto Inoue: Impact of salivary flow inhibition on masticatory behaviors in healthy individuals. *J Oral Rehabil* 51(9):1759-1769, doi: 10.1111/joor.13764. 2024.
 - 10) Kouta Nagoya, Takanori Tsujimura, Midori Yoshihara, Masahiro Watanabe, Jin Magara, Katsushige Kawasaki, Makoto Inoue: Physiological analyses of swallowing changes due to chronic obstructive pulmonary disease in anesthetized male rats. *Front Physiol* 15:1445336, doi: 10.3389/fphys.2024.1445336. eCollection 2024.
 - 11) Haruka Hino, Taku Suzuki, Kazuya Maekawa, Reiko Ita, Anna Sasa, Sirima Kulvanich, Eri Takei, Jin Magara, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: Effect of bolus property on swallowing dynamics in patients with dysphagia. *J Oral Rehabil* 51(8):1422-1432, doi: 10.1111/joor.13709. 2024.
 - 12) Jin Magara, Reiko Ita, Yuhei Tsutsui, Haruka Sakai, Mengjie Zhang, Makoto Inoue: A case of dysphagia rehabilitation in the chronic stage of lateral medullary syndrome. *Dysphagia* 39(3):534-539, doi: 10.1007/s00455-024-10690-6. 2024.
 - 13) 大西淑美, 伊藤加代子, 相原喜子, 船原まどか, 藤田峰子, 藤村季子, 宮 しほり, 池上由美子: 新型コロナウイルス感染症パンデミックが及ぼす歯科衛生士への影響. *日本口腔ケア学会誌* 印刷中.
 - 14) 岩渕博史, 渡邊 裕, 戸谷収二, 中谷佑哉, 石田孝文, 伊藤加代子: Murata 口腔湿潤計ムーカスを用いた口腔粘膜湿潤度の評価. *歯科薬物療法学会誌* 印刷中.
 - 15) 井上 誠: Editorial. 歯科のことを知ってもらおう, *嚥下医学*, 14(1): 6, 2025.
 - 16) 真柄 仁: 口腔機能低下症とオーラルフレイル. *歯科のことを知ってもらおう, 嚥下医学*, 14(1): 14-19, 2025.
 - 17) 辻村恭憲: 咀嚼と嚥下の機能連関. 歯科のことを知ってもらおう, *嚥下医学*, 14(1): 28-34, 2025.
 - 18) 相澤知里, 真柄 仁, 板 離子, 筒井雄平, 坂井 遥, Zhang Mengjie, 井上 誠: 舌腫瘍術後の再建皮弁形態の変化に伴う摂食嚥下障害に対し舌接触補助床で対応した症例. *新潟歯会誌* 54(1): 29-35, 2024.
 - 19) 細島康宏, 上村博輝, 鈴木浩史, 辻村恭憲, 曾根あずさ, 宮澤 誠, 儀同真由美, 田中 舞, 蒲澤秀門, 小師優子, 小山 諭: 新潟大学医歯学総合病院における NST の活動状況について. *日本臨床栄養学会雑誌* 46:34-37, 2024.
- 【商業誌】**
- 1) 伊藤加代子, 井上 誠: もう「不定愁訴」なんて言わない! —他科に学ぶ更年期外来診療のポイント— 項目 16 ドライマウス・舌の痛み. *産科と婦人科* 92 (2), 印刷中.
 - 2) 辻村恭憲: 咀嚼と嚥下の制御メカニズム, 咀嚼・嚥下機能の評価とトラブルシューティング—窒息・誤嚥性肺炎の危機管理—. *Monthly Book Medical Rehabilitation* No303, 全日本病院出版会, 303:12-17,

2024.

【研究費獲得】

- 1) 井上 誠 (研究代表者), 辻村恭憲 (研究分担者), 真柄 仁 (研究分担者): モデル動物を用いた多面的アプローチによる嚥下障害の病態解明. 2022 年度日本学術振興会科学研究費補助金, 国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(B)), 課題番号 22KK0139, 5,900 千円, 2024.
- 2) 井上 誠 (研究代表者), 辻村恭憲 (研究分担者), 真柄 仁 (研究分担者): 摂食嚥下機能に関わる前帯状皮質の役割. 2022 年度日本学術振興会科学研究費補助金, 挑戦的研究(萌芽), 課題番号 22K19616, 1,800 千円, 2024.
- 3) 井上 誠 (研究分担者): 転写因子 Nrf2 の細胞保護・抗炎症作用に着目した、嚥下障害新規治療法の研究 (研究代表者 香取幸夫). 2022 年度日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究 (B), 課題番号 22H03232, 500 千円, 2024.
- 4) 井上 誠 (研究分担者), 真柄 仁 (研究分担者), 伊藤加代子 (研究分担者): 生体と食品の併行アプローチによる新たな咀嚼嚥下機能の理解 (研究代表者 小野和宏). 2022 年度日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究(C), 課題番号 22K10073, 900 千円, 2024.
- 5) 井上 誠 (研究分担者), 真柄 仁 (研究分担者): 顎・舌の運動と筋量・筋質から咀嚼機能を評価する. 令和 5 年度日本学術振興会科学研究費補助金 (研究代表者 渡邊賢礼). 2023 年度文部科学省科学研究費補助金, 基盤研究(C), 課題番号 23K09513, 150 千円, 2024.
- 6) 井上 誠 (研究分担者), 辻村恭憲 (研究分担者): 拡散テンソル画像を応用した口腔機能改善の神経生理学的解析. 2023 年度日本学術振興会科学研究費補助金 (研究代表者 白石 成), 基盤研究(C), 課題番号 23K09291, 200 千円, 2024.
- 7) 井上 誠 (研究分担者), 辻村恭憲 (研究分担者): 口腔機能に関わる島皮質の役割の解明. 2024 年度日本学術振興会科学研究費補助金 (研究代表者 那小屋公太), 基盤研究(C), 課題番号 24K13002, 200 千円, 2024.
- 8) 辻村恭憲 (研究代表者), 井上 誠 (研究分担者): 嚥下障害における anatomical diagnostic protocol 基盤形成の試み. 2024 年度日本学術振興会科学研究費補助金, 挑戦的研究(萌芽), 課題番号 23K18356, 1,050 千円, 2024.
- 9) 真柄 仁 (研究代表者), 井上 誠 (研究分担者): 舌機能改善プロセスから考える感覚運動統合 -アクティブタッチの探索-. 2022 年度日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究 (C), 課題番号 22K10053, 1,000 千円, 2024.
- 10) 真柄 仁 (研究分担者): 脳可塑性変化に基づく口腔リハビリテーション効果の解析. 2022 年度日本学術振興会科学研究費補助金 (研究代表者 島田明子), 基盤研究 (B), 課題番号 23K24542, 65 千円, 2024.
- 11) 真柄 仁 (研究分担者): レオロジーの異なる炭酸飲料による嚥下機能への刺激効果の解明. 2023 年度日本学術振興会科学研究費補助金 (研究代表者 岩森大), 基盤研究 (C), 課題番号 23K01992, 50 千円, 2024.
- 12) 伊藤加代子 (研究代表者), 井上 誠 (研究分担者), 船山さおり (研究分担者): エクオールは口腔乾燥症, 味覚障害, 舌痛症の新たな治療法となりうるか?. 2022 年度日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究(C), 課題番号 22K10310, 900 千円, 2024.
- 13) 船山さおり (研究代表者), 伊藤加代子 (研究分担者), 井上 誠 (研究分担者): 嗅覚と唾液は自発性異常味覚の苦味を説明できるか?. 2024 年度日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究(C), 課題番号 24K13258, 950 千円, 2024.
- 14) 小貫和佳奈 (研究代表者): 口腔機能低下症患者における咀嚼・嚥下障害の発症と改善機序の解明. 2024 年度日本学術振興会科学研究費補助金, 若手研究, 課題番号 24K19962, 4,680 千円, 2024.
- 15) 小貫和佳奈 (研究分担者): 筋評価が口腔機能低下症の診断に果たす役割: 舌超音波画像特徴量の探索と筋構造の解析. 2024 年度文部科学省科学研究費補助金 (研究代表者 池真樹子) 基盤研究(C), 課題番号 24K13211, 10 千円, 2024.
- 16) 井上 誠: 摂食嚥下障害者用介護用品・食具等の開発に関する研究 (共同研究). にいがた摂食嚥下障害サポート研究会, 230 千円, 2024.
- 17) 井上 誠: 菓子の咀嚼性差の要因検証 (共同研究). 亀田製菓株式会社, 900 千円, 2024.
- 18) 井上 誠: オトガイ下部への筋電気刺激が摂食嚥下関連に与える影響 (共同研究). 株式会社 MTG, 2,766 千円, 2024 (2023 年からの継続).
- 19) 井上 誠: キレート剤を用いて製造した介護食用野菜 (共同研究). 東洋食品研究所, 833 千円, 2024 (2023 年からの継続).
- 20) 井上 誠: 摂食嚥下治療登録医等養成研修に関する受託事業費 (受託事業). 新潟県歯科医師会, 3,180 千円, 2024.
- 21) 井上 誠: 高齢者に適した食品要件を生体機能から考える (研究助成). 東洋食品研究所, 2,000 千円, 2024.

- 22) 井上 誠：唾液分泌低下が魚肉練製品摂食にもたらす影響（研究助成）．一正蒲鉾，600 千円，2024.
- 23) 井上 誠：競争的資金応募支援資金（新潟大学），500 千円，2024.
- 24) 辻村恭憲：競争的資金応募支援資金（新潟大学），500 千円，2024.
- 25) 辻村恭憲：やずや論文支援金，50 千円，2024.
- 26) 真柄 仁：咀嚼嚥下の生体記録からオーラルフレイルの気づきを促進する（助成研究）．第 10 回奨励研究助成，ロッテ財団，3,000 千円，2023-2025（2023 年からの継続）.
- 27) 筒井 雄平：2024 年度日本学術振興会若手研究者海外挑戦プログラム，1,100 千円，2024.
- 28) 笹 杏奈：令和 6 年度新潟大学 U-go グラント，900 千円，2024.
- 29) 笹 杏奈：令和 6 年度新潟大学スイングバイスタートアップ，500 千円，2024.
- 30) 相澤知里：異なる米嚥下調整食品の咀嚼嚥下時における舌筋運動の定量化の試み．2024 年度古泉財団研究費助成金，500 千円，2024.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) Makoto Inoue：Insight for Dysphagia Rehabilitation and Importance of Oral Function. 湖南省嚥下障害学会，湖南省人民医院 馬王堆分院（長沙，中国），2024.8.24.
- 2) Jin Magara: Mission of dentists for interprofessional collaboration in dysphagia rehabilitation. The 30th Annual Meeting of the Japanese Society of Dysphagia Rehabilitation, Asian Session, Fukuoka Convention Center, (Fukuoka, Japan), 2024.8.30-31, Program and abstract book p214, 2024.
- 3) Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: The neural mechanisms of initiation of mechanically evoked swallows. International Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment 2024, Pullman Bangkok King Power Hotel (Bangkok, Thailand), 2024.5.31-6.1. Program book p9, 2024.
- 4) Jin Magara, Wakana Onuki, Reiko Ita, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: Assessment and Management of Oral Hypofunction. International Collaborative Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment, Pullman Bangkok King Power Hotel (Bangkok, Thailand), 2024.5.31-6.1. Program book p17, 2024.
- 5) Makoto Inoue: Importance of oral health and orofacial function in elderly patients with dysphagia. The First Dentistry Joint Conference at Niigata University and Hasanuddin University, Unhas Hotel & Convention (Makassar, Indonesia), 2024.4.19.
- 6) 伊藤加代子：更年期以降の QOL に影響を与える口腔症状への対応．第 30 回日本女性医学学会ワークショップ，ホテル青森（青森県・青森市），2025 年 3 月 1 日．
- 7) 井上 誠：多職種連携のために他職種に知って欲しい嚥下診療における口腔機能と歯科医療（ポスター・コンgresセミナー）．第 48 回日本嚥下医学会総会ならびに学術講演会，神戸国際会議場（兵庫県・神戸市），2025 年 2 月 23 日．抄録集 82 頁，2024.
- 8) 井上 誠：高齢者に求められる口腔リハビリテーションを考える．第 38 回日本口腔リハビリテーション学会学術大会，慈恵会医科大学（東京都・港区），2024 年 12 月 8 日．抄録集 34-35 頁，2024.
- 9) 井上 誠：リハビリ・口腔・栄養の連携の中で作業療法士に求めるもの．第 35 回福島県作業療法学会，ポラリス保健看護学院（福島県・郡山市），2024 年 10 月 27 日．
- 10) 井上 誠：摂食嚥下リハビリテーション発展のための基礎研究．第 30 回日本嚥下リハビリテーション学会学術大会シンポジウム 9 基礎・臨床研究，福岡国際会議場（福岡県・福岡市），2024 年 8 月 30-31 日，第 30 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集 166 頁，2024.
- 11) 辻村恭憲，井上 誠：嚥下誘発におけるカプサイシン感受性神経の関与．第 30 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会，福岡国際会議場（福岡県・福岡市），2024 年 8 月 30-31 日，第 30 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集 166 頁，2024.
- 12) 伊藤加代子：味覚障害の検査．第 44 回日本歯科薬物療法学会学術大会，新潟県民会館（新潟県・新潟市），2024 年 7 月 13-14 日，歯科薬物療法 43(2):180, 2024.
- 13) 伊藤加代子：老年歯科医学教育の実態調査からみえてきたもの 歯学生に対する老年歯科医学の講義および実習の実態．一般社団法人日本老年歯科医学会第 35 回学術大会，札幌コンベンションセンター（北海道・札幌市），2024 年 6 月 28-30 日．
- 14) 井上 誠：人生 100 年時代：人生 100 年時代を健口でおいしく食べるための秘訣～管理栄養士に期待すること～．2024 年度新潟県栄養士会定時総会及び特別講演会．新潟テルサ（新潟県・新潟市），2024 年 6 月 15 日．

【講演・シンポジウム（その他）】

- 1) 井上 誠：歯科発信の高齢者食支援に向けた取り組み．令和 5 年度在宅歯科医療支援事業「基本研修」

講演会, 新潟県歯科医師会館 (リモート), 2025 年 3 月 4 日.

- 2) 井上 誠: 60 周年を迎える新潟大学歯学部のことまでとこれから. 新潟大学歯科矯正学分野同門会, 新潟グランドホテル (新潟県・新潟市), 2024 年 12 月 15 日.
- 3) 真柄 仁: 顎口腔機能を考えた摂食嚥下機能研究. 日本顎口腔機能学会 第 71 回学術大会, 大阪大学歯学部 (大阪府・吹田市), 2024 年 4 月 13 日. 日本顎口腔機能学会 第 71 回学術大会 抄録集 19 頁, 2024.

【学会発表】

- 1) Takanori Tsujimura, Midori Yoshihara, Bradley J Udem, Brendan J Canning, Makoto Inoue: Involvement of P2X receptor in the initiation of swallows in anesthetized rats, Neuroscience 2024, McCormick Place Convention Center (Chicago, USA), 2024.10.5-9.
- 2) Charng-Rong Pan, Titi Chotirungsan, Nozomi Dewa, Yuhei Tsutsui, Jin Magara, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: The sternohyoid muscle function on breathing and swallowing in rats. Neuroscience 2024, McCormick Place Convention Center (Chicago, USA), 2024.10.5-9.
- 3) Jin Magara, Hajime Iwamori, Wakana Onuki, Reiko Ita, Anna Sasa, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: Modulation of voluntary swallow induced by carbonation and thickening in healthy humans. European Society for Swallowing Disorders 2023 14th Annual Congress, University Hospital of Münster, (Münster, Germany), 2024.9.23-27.
- 4) Reiko Ita, Jin Magara, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: Corticomotor excitability change of intrinsic tongue and suprahyoid muscles area following repetitive tongue movement. European Society for Swallowing Disorders 2023 14th Annual Congress, University Hospital of Münster, (Münster, Germany), 2024.9.23-27.
- 5) Satomi Kawada, Titi Chotirungsan, Yuhei Tsutsui, Charng-rong Pan, Midori Yoshihara, Jin Magara, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: Possible mechanisms of potassium ion facilitated swallowing initiation in rats. European Society for Swallowing Disorders 2023 14th Annual Congress, University Hospital of Münster, (Münster, Germany), 2024.9.23-27.
- 6) Ho Yin Leung, Jin Magara, Mengjie Zhang, Chisato Aizawa, Reiko Ita, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: Comparing the effect of various stimulation parameters of neuromuscular electrical stimulation on hyoid movement. The 30th Annual Meeting of the Japanese Society of Dysphagia Rehabilitation, Fukuoka Convention Center, (Fukuoka, Japan), 2024.8.30-31, Program and abstract book p287.
- 7) Reiko Ita, Chisato Aizawa, Jin Magara, Tsujimura Takanori, Makoto Inoue: Effect of repeated tongue pressure generation on corticomotor excitability of intrinsic tongue and suprahyoid muscles. The 30th Annual Meeting of the Japanese Society of Dysphagia Rehabilitation, Fukuoka Convention Center, (Fukuoka, Japan), 2024.8.30-31, Program and abstract book p289.
- 8) Satomi Kawada, Titi Chotirungsan, Yuhei Tsutsui, Charng-rong Pan, Midori Yoshihara, Jin Magara, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: Possible mechanisms of facilitatory effect of potassium ion on swallowing initiation in rat. The 30th Annual Meeting of the Japanese Society of Dysphagia Rehabilitation, Fukuoka Convention Center, (Fukuoka, Japan), 2024.8.30-31, Program and abstract book p290.
- 9) Titi Chotirungsan, Charng-Rong Pan, Nozomi Dewa, Yuhei Tsutsui, Jin Magara, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: Exploring Neuronal Control in the Sternohyoid Muscle of the Rats during Swallowing and Breathing. The 30th Annual Meeting of the Japanese Society of Dysphagia Rehabilitation, Fukuoka Convention Center, (Fukuoka, Japan), 2024.8.30-31.
- 10) Charng-Rong Pan, Titi Chotirungsan, Yuhei Tsutsui, Jin Magara, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: Role of anterior cingulate cortex on the initiation of swallows in anesthetized rats. The 30th Annual Meeting of the Japanese Society of Dysphagia Rehabilitation, Fukuoka Convention Center, (Fukuoka, Japan), 2024.8.30-31, Program and abstract book page292.
- 11) Reiko Ita, Jin Magara, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: The evaluation of electromyographic property of tongue and suprahyoid muscles during isometric tongue pressure generation. International Collaborate Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment, Pullman Bangkok King Power Hotel, (Bangkok, Thailand), 2024.5.31-6.1.
- 12) Satomi Kawada, Titi Chotirungsan, Yuhei Tsutsui, Charng-Rong Pan, Midori Yoshihara, Jin Magara, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: Possible mechanisms of potassium ion induced swallowing facilitation. International Collaborative Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment, Pullman Bangkok King Power Hotel (Bangkok, Thailand), 2024.5.31-6.1.
- 13) Mengjie Zhang, Jin Magara, Reiko Ita, Chisato Aizawa, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: Exploring the

- efficacy of crystalline oil and fat powder in facilitating swallowing under hyposalivation conditions. International Collaborative Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment, Pullman Bangkok King Power Hotel (Bangkok, Thailand), 2024.5.31-6.1.
- 14) Ho Yin Leung, Jin Magara, Zhang Mengjie, Chisato Aizawa, Reiko Ita, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: Comparing the Effect of Various Stimulation Parameters of Neuromuscular Electrical Stimulation on Hyoid Movement. International Collaborative Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment, Pullman Bangkok King Power Hotel (Bangkok, Thailand), 2024.5.31-6.1.
 - 15) 板 離子, 真柄 仁, 井上 誠: 長期的なバルーン拡張法継続が経口摂取の維持に寄与した封入体筋炎の2例. 第48回日本嚥下医学会総会ならびに学術講演会, 神戸国際会議場 (兵庫県・神戸市), 2025年2月21-22日, 第48回日本嚥下医学会総会ならびに学術講演会抄録集167頁, 2025.
 - 16) 前川和也, 坂井 遥, 笹 杏奈, 落合勇人, 真柄 仁, 井上竜一, 梅谷華奈, 辻村恭憲, 井上 誠: キレート剤処理を行った食品の物性と摂食嚥下動態の評価. 第48回日本嚥下医学会総会ならびに学術講演会, 神戸国際会議場 (兵庫県・神戸市), 2025年2月21-22日, 第48回日本嚥下医学会総会ならびに学術講演会抄録集162頁, 2025.
 - 17) Zhang Mengjie, 真柄 仁, 板 離子, 相澤知里, 辻村恭憲, 井上 誠: Evaluation of swallowing characteristics for various medium-chain triglyceride oil and fat materials. 第48回日本嚥下医学会総会ならびに学術講演会, 神戸国際会議場 (兵庫県・神戸市), 2025年2月21-22日, 第48回日本嚥下医学会総会ならびに学術講演会抄録集161頁, 2025.
 - 18) 岩森 大, 石井穂乃果, 真柄 仁, 井上 誠: 炭酸飲料摂取時の味覚刺激および味覚感受性が嚥下筋活動へ及ぼす影響. 第48回日本嚥下医学会総会ならびに学術講演会, 神戸国際会議場 (兵庫県・神戸市), 2025年2月21-22日, 第48回日本嚥下医学会総会ならびに学術講演会抄録集161頁, 2025.
 - 19) Ho Yin Leung, 真柄 仁, Zhang Mengjie, 相澤知里, 板 離子, 辻村恭憲, 井上 誠: Comparing hyoid displacement under various neuromuscular electrical stimulation Parameters. 第48回日本嚥下医学会総会ならびに学術講演会, 神戸国際会議場 (兵庫県・神戸市), 2025年2月21-22日, 第48回日本嚥下医学会総会ならびに学術講演会抄録集159頁, 2025.
 - 20) 相澤知里, 真柄 仁, 板 離子, 辻村恭憲, 井上 誠: 咀嚼嚥下時における舌筋活動パターンの定量的評価. 第48回日本嚥下医学会総会ならびに学術講演会, 神戸国際会議場 (兵庫県・神戸市), 2025年2月21-22日, 第48回日本嚥下医学会総会ならびに学術講演会抄録集158頁, 2025.
 - 21) 柴垣あかり, 真柄 仁, 板 離子, 筒井雄平, 坂井 遥, Mengjie Zhang, 河野 茜, 松香芳三, 井上 誠: 病態変化に応じた代償嚥下法の獲得が経口摂取の維持に有効であったか咽頭がん術後の一例. 第48回日本嚥下医学会総会ならびに学術講演会, 神戸国際会議場 (兵庫県・神戸市), 2025年2月21-22日, 第48回日本嚥下医学会総会ならびに学術講演会抄録集154頁, 2025.
 - 22) 鈴木 拓, 長谷川 博, 秋本哲男, 古志奈緒美, 真柄 仁, 辻村恭憲, 井上 誠: 舌接触補助床の簡易製作法とその臨床応用に関する検討. 第48回日本嚥下医学会総会ならびに学術講演会, 神戸国際会議場 (兵庫県・神戸市), 2025年2月21-22日, 第48回日本嚥下医学会総会ならびに学術講演会抄録集102頁, 2025.
 - 23) 小貫和佳奈, 真柄 仁, 小師優子, 鳥谷部真一, 井上 誠: 病院食での誤嚥・窒息事故防止を目的とした「食種形態アセスメント」の実態調査. 第48回日本嚥下医学会総会ならびに学術講演会, 神戸国際会議場 (兵庫県・神戸市), 2025年2月21-22日, 第48回日本嚥下医学会総会ならびに学術講演会抄録集101頁, 2025.
 - 24) 小貫和佳奈, 板 離子, 真柄 仁, 井上 誠: 口腔機能と体組成および身体機能の関連. 第38回日本口腔リハビリテーション学会学術大会, 東京慈恵医科大学2号館講堂 (東京都・港区), 2024年12月7-8日, 日本口腔リハビリテーション学会雑誌37(1): 49, 2025.
 - 25) 葭澤秀一郎, 河野 茜, 片平治人: 睡眠歯科外来に来院する睡眠時無呼吸症患者的の眠気. 第23回日本睡眠歯科学会総会・学術集会, 徳島大学歯学部大塚講堂 (徳島県・徳島市), 2024年11月3-4日, 第23回日本睡眠歯科学会総会・学術集会抄録集86頁, 2024.
 - 26) 落合勇人, 板 離子, 小貫和佳奈, 前川和也, 相澤知里, 真柄 仁, 辻村恭憲, 井上 誠: 唾液分泌低下及び油脂添加がパンの咀嚼・嚥下運動と食塊物性に与える影響. 令和6年度新潟歯学会第2回例会, 新潟大学歯学部 (新潟県・新潟市), 2024年11月2日, 新潟歯学会雑誌54 (1): 43, 2024.
 - 27) 笹 杏奈, 伊藤加代子, 小貫和佳奈, 辻村恭憲, 真柄 仁, 井上 誠: 摂食嚥下障害児童に外食の

- 機会を提供する「ばりあふりーお食事会」の紹介. 第30回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 福岡国際会議場 (福岡県・福岡市), 2024年8月30-31日, 第30回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集483頁, 2024.
- 28) 前川和也, 坂井 遥, 落合勇人, 真柄 仁, 井上竜一, 梅谷華奈, 辻村恭憲, 井上 誠: キレート剤処理を行った食品の摂食嚥下動態評価. 第30回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 福岡国際会議場 (福岡県・福岡市), 2024年8月30-31日, 第30回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集461頁, 2024.
- 29) 相澤知里, 真柄 仁, 板 離子, 筒井雄平, 坂井遥, Zhang Mengjie, 井上 誠: 舌腫瘍術後の摂食嚥下障害に対してPAPを装着し舌再建皮弁の変化に応じて調整した症例. 第30回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 福岡国際会議場 (福岡県・福岡市), 2024年8月30-31日, 第30回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集385頁, 2024.
- 30) 柴垣あかり, 真柄 仁, 板 離子, 筒井雄平, 河野 茜, 坂井 遥, 松香芳三, 井上 誠: 代償嚥下法の継続によって経口摂取を維持した下咽頭癌術後の一例. 第30回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 福岡国際会議場 (福岡県・福岡市), 2024年8月30-31日, 第30回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集323頁, 2024.
- 31) 真柄 仁, 下柿元智也, 辻村恭憲, 伊藤加代子, 小貫和佳奈, 鈴木健嗣, 井上 誠: 摂食嚥下障害診療支援のための情報共有アプリの設計とその活用予備的報告. 第30回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 福岡国際会議場 (福岡県・福岡市), 2024年8月30-31日, 第30回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集319頁, 2024.
- 32) 小貫和佳奈, 相澤知里, 板 離子, 真柄 仁, 井上 誠: 歯科外来初診患者における口腔機能と身体機能および体組成の関連. 第30回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 福岡国際会議場 (福岡県・福岡市), 2024年8月30-31日, 第30回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集308頁, 2024.
- 33) 相澤知里, 真柄 仁, 板 離子, Zhang Mengjie, Ho Yin Leung, 小貫和佳奈, 辻村恭憲, 井上 誠: 物性の異なる米嚥下調整食品の咀嚼嚥下時における舌筋活動の定量化の試み ―予備的研究一. 第30回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 福岡国際会議場 (福岡県・福岡市), 2024年8月30-31日, 第30回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集304頁, 2024.
- 34) 河野 茜, 井上 誠, 河野正己: 新型コロナは日本居住者の睡眠をどう変えたか - 睡眠調査アプリによる研究 -. 日本睡眠学会第 48 回定期学術集会, パシフィコ横浜ノース (神奈川県・横浜市), 2024年 7 月 18-19 日, 日本睡眠学会第 48 回定期学術集会プログラム抄録集 306 頁, 2024.
- 35) 池浦一樹, 落合勇人, 笹 杏奈, 真柄 仁, 辻村恭憲, 井上 誠: 唾液分泌低下がもたらす種々の食品咀嚼への影響. 令和6年度新潟歯学会第1回例会, 新潟大学歯学部 (新潟県・新潟市), 2024年7月13日. 新潟歯学会雑誌 54 (1): 37, 2024.
- 36) 板 離子, 真柄 仁, 落合勇人, 辻村恭憲, 井上 誠: 舌筋および舌骨上筋の等尺性収縮による舌圧発揮時の筋活動様式の検討. 令和6年度新潟歯学会第1回例会, 新潟大学歯学部 (新潟県・新潟市), 2024年7月13日. 新潟歯学会雑誌 54 (1): 33, 2024.
- 37) 川田里美, Chotirungsan Titi, 筒井雄平, Pan Charng-rong, 吉原 翠, 真柄 仁, 辻村恭憲, 井上 誠: ラットにおけるカリウムイオンの嚥下誘発促進メカニズム. 令和6年度新潟歯学会第1回例会, 新潟大学歯学部 (新潟県・新潟市), 2024年7月13日. 新潟歯学会雑誌 54 (1): 32, 2024.
- 38) 松田有加子, 楠 尊行, 森岡裕貴, 飯田 崇, 真柄 仁, 高橋一也, 島田明子: 高齢低舌圧患者に対する反復的舌トレーニングが中枢および末梢にもたらす変化の検証. 日本補綴歯科学会第133回学術大会, 幕張メッセ (千葉県・千葉市), 2024年7月5-6日, 日本補綴歯科学会第133回学術大会プログラム・抄録集409頁, 2024.
- 39) Titi Chotirungsan, Yuhei Tsutsui, Nouaki Saka, Satomi Kawada, Nozomi Dewa, Taku Suzuki, Jin Magara, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: Modulation of reflex responses of the anterior and posterior bellies of the digastric muscle in freely moving rats. 令和6年度新潟歯学会総会, 新潟大学歯学部 (新潟県・新潟市), 2024年4月13日. 新潟歯学会雑誌 54 (1): 53, 2024.
- 40) 筒井雄平, Piriyaarasath Kajita, Chotirungsan Titi, 出羽希, Charng-Rong Pan, 真柄 仁, 辻村恭憲, 岡本圭一郎, 山村健介, 井上 誠: 嚥下時における顎二腹筋後腹の関与. 令和6年度新潟歯学会総会, 新潟大学歯学部 (新潟県・新潟市), 2024年4月13

日. 新潟歯学会雑誌 54 (1) :52, 2024.

【研究会発表】

- 1) 相澤知里: 舌腫瘍術後の再建皮弁形態変化を伴う摂食嚥下障害に対して舌接触補助床で対応した症例. 第1回全国歯科大学・歯学部 若手歯科医師臨床症例発表会, 日本歯科医師会館 (千代田区, 東京都), 2025年3月30日, 全国歯科大学・歯学部若手歯科医師臨床症例発表会抄録集 9頁, 2025.
- 2) 伊藤加代子: 更年期女性によくみられる口腔の症状とその対応. 唾液ケア研究会, 神奈川歯科大学 (神奈川県・横須賀市), 2024年11月23日.
- 3) 河野 茜, 井上 誠, 小林義昭, 小川 智, 河野正己: 睡眠時誤嚥(Sleep Aspiration)のリスクファクター解析. 第20回新潟睡眠呼吸障害研究会, 新潟医療人育成センター (新潟県・新潟市), 2024年10月5日.

【受賞】

- 1) 相澤知里: 第1回全国歯科大学・歯学部 若手歯科医師臨床症例発表会 優秀賞, 日本歯科医師会, 2025年3月30日.
- 2) 板 離子: 2024年度 日本顎口腔機能学会奨励賞, 日本顎口腔機能学会.

【その他】

- 1) 濱島北斗, 伊藤加代子: 大切な食事介助のこと. 2024年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院 (新潟県・新潟市), 2025年3月27日.
- 2) 河野 茜, 辻村恭憲: 睡眠とからだ. 2024年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院 (新潟県・新潟市), 2025年3月13日.
- 3) 川田里美, 真柄 仁: 口腔ケアを学ぼう!. 2024年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院 (新潟県・新潟市), 2025年2月27日.
- 4) 井上 誠: 嚥下障害患者の嚥下動態に対してのリセットゲルの可能性. ユニテック講演会 (Web), 2025年2月17日.
- 5) 伊藤加代子: 更年期女性によくみられる口腔症状への対応. 大塚製薬社内研修会 (Web), 2025年2月13日.
- 6) 武田安永, 辻村恭憲: 高齢者の栄養. 2024年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院 (新潟県・新潟市), 2025年2月13日.
- 7) 相澤知里, 小貫和佳奈: オーラルフレイルを知ろう!. 2024年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院 (新潟県・新潟市), 2025年1月23日.
- 8) 真柄 仁: 3つの看護場面から取り組む誤嚥性肺炎

予防. 新潟大学医歯学総合病院 西9階病棟看護師勉強会, 新潟大学医歯学総合病院 (新潟県・新潟市), 2025年1月17日.

- 9) 真柄 仁: お口の衰え, オーラルフレイルを予防しよう!. 2024年度 バイタルケア新潟セミナー, バイタルケア新潟介護ショップ (新潟県・新潟市), 2025年1月16日.
- 10) 坂 暢晃, 小貫和佳奈: 地域の病院に学ぶ③. 2024年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院 (新潟県・新潟市), 2025年1月9日.
- 11) 井上 誠: 餅による高齢者の窒息死には認知機能の低下も関係? 雑煮はより注意! 事故を防ぐ食べ方のコツと普段からできる予防法. JNNプライムオンライン (<https://www.fnn.jp/articles/-/805904>), 2024年12月30日.
- 12) 2024年度にいがた摂食嚥下障害サポート研究会講演会, 新潟大学歯学部講堂 (新潟県・新潟市), 2024年12月14日.
- 13) 前川和也, 河野 茜: 「食べる」の訓練について. 2024年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院 (新潟県・新潟市), 2024年12月26日.
- 14) 菊池裕子, 辻村恭憲: 身近に感じる摂食嚥下. 2024年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院 (新潟県・新潟市), 2024年12月12日.
- 15) 板 離子, 笹 杏奈: 「食べる」の仕組み. 2024年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院 (新潟県・新潟市), 2024年11月28日.
- 16) 船山さおり, 坂 暢晃: くちのかわき・味覚障害. 2024年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院 (新潟県・新潟市), 2024年11月14日.
- 17) 新大祭～in 古町ルフル～, 舌 (ぜつ) をはかってみよう!. 2024年11月3日.
- 18) 新大祭紹介, NST スマイルスタジアム, 2024年11月2日.
- 19) 真柄 仁: 摂食嚥下障害一知って, ケアして, 健康長寿を目指そうー. 令和6年度 第3回新潟気軽に省エネくらぶ企画講座, 新潟市亀田市民会館 (新潟県・新潟市), 2024年10月25日.
- 20) 真柄 仁, 前川和也: オーラルフレイルを知ろう!. 2024年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院 (新潟県・新潟市), 2024年10月24日.
- 21) 小貫和佳奈: スタンダード摂食嚥下, コロニーにいがた白岩の里 (新潟県・長岡市), 2024年10月23日.
- 22) 井上 誠, 真柄 仁: 人生100年時代の中で豊かな生活をお口の健康とともに. MySCUE 体験イベント 講演会, イオンモール新潟亀田 (新潟県・新潟市), 2024年10月13日.

- 23) 第 20 回ばりあふりーお食事会. ホテルオークラ新潟, 2024 年 10 月 12 日.
- 24) 武田安永, 小貫和佳奈: 栄養を学ぼう!. 2024 年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院 (新潟県・新潟市), 2024 年 10 月 10 日.
- 25) 前川和也, 坂 暢晃: 大切な食事介助のこと. 2024 年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院 (新潟県・新潟市), 2024 年 9 月 26 日.
- 26) 真柄 仁, 鈴木 拓, 笹 杏奈: ワークショップ⑤ 嚥下記録の面白さを知ろう. 第 13 回顎口腔機能セミナー, ホテル千秋閣 (徳島県・徳島市), 2024 年 9 月 20-22 日.
- 27) 真柄 仁; 留学体験記. 第 13 回顎口腔機能セミナー, ホテル千秋閣 (徳島県・徳島市), 2024 年 9 月 20-22 日.
- 28) 伊藤加代子: 歯科におけるカウンセリングの紹介 Ver.3. 新潟県カウンセリング協会研修会, 新潟市総合福祉会館 (新潟県・新潟市), 2024 年 9 月 15 日.
- 29) 伊藤加代子: ラインケア～より良い組織・チームづくりのためのコミュニケーション～. 東芝ホームテクノ株式会社 (新潟県・新潟市), 2024 年 9 月 13, 19 日.
- 30) 小貫和佳奈, 相澤知里: 口と身体の関係. 2024 年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院 (新潟県・新潟市), 2024 年 9 月 12 日.
- 31) 伊藤加代子: 健康でおいしく・楽しく食べる～唾液と味覚の役割を中心に～. そのき市民学級, 曾野木公民館 (新潟県・新潟市), 2024 年 9 月 10 日.
- 32) 笹 杏奈, 川田里美: 「話す」の訓練とは. 2024 年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院 (新潟県・新潟市), 2024 年 8 月 22 日.
- 33) 水口俊介, 會田英紀, 伊藤加代子, 有友たかね, 大渡凡人, 中根綾子, 原野 望, 竜 正, 小笠原 正, 尾立 光: 老年歯科医学 診療参加型臨床実習マニュアル「口腔機能低下症の検査」. 老年歯科医学, 39(suppl):13-40, 2024 年 8 月 20 日, https://doi.org/10.11259/jsg.39.supplement_13
- 34) 羽尾直仁, 濱島北斗: 地域の病院に学ぶ②. 2024 年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院 (新潟県・新潟市), 2024 年 8 月 8 日.
- 35) 伊藤加代子: 口腔ケアの実際と食事介助の基本. 2024 年度口腔ケア研修会, 新潟県社会福祉協議会, Web 開催, 2024 年 7 月 31 日.
- 36) 辻村恭憲, 河野 茜: 「食べる」の訓練とは. 2024 年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院 (新潟県・新潟市), 2024 年 7 月 25 日.
- 37) 真柄 仁, 小貫和佳奈, 井上 誠: 新潟大学医歯学総合病院歯科外来患者における口腔機能低下症と身体機能の関連評価. フレイル対策二次予防事業等実施報告会, 新潟県医師会館 (新潟県・新潟市), 2024 年 7 月 22 日.
- 38) 伊藤加代子, 板 離子: くちのかわき・味覚障害. 2024 年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院 (新潟県・新潟市), 2024 年 7 月 11 日.
- 39) 船山さおり, 筒井雄平: 口腔ケアを学ぼう!. 2024 年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院 (新潟県・新潟市), 2024 年 6 月 27 日.
- 40) 江川広子, 小貫和佳奈: 地域の病院に学ぶ①. 2024 年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院 (新潟県・新潟市), 2024 年 6 月 13 日.
- 41) 相澤知里: お仕事紹介 File02 歯科医師 高校生・中学生の進路選択に役立つ医療介護栄養のお仕事まるわかり事典. 16-17, 株式会社日本医療企画北信越支社, 2024 年 5 月 31 日.
- 42) 笹 杏奈, 菊池裕子, 伊藤加代子: 「食べる」の仕組み. 2024 年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院 (新潟県・新潟市), 2024 年 5 月 23 日.
- 43) 川田里美: 新潟大学未来社会を牽引するグローバルな総合知を備えたフロンランナー育成プロジェクト (次世代プロジェクト), 2024.
- 44) 筒井雄平: 新潟大学未来社会を牽引するグローバルな総合知を備えたフロンランナー育成プロジェクト (次世代プロジェクト), 2024.
- 45) 濱島北斗: 新潟大学未来社会を牽引するグローバルな総合知を備えたフロンランナー育成プロジェクト (次世代プロジェクト), 2024.
- 46) Ho Yin Leung: 新潟大学未来社会を牽引するグローバルな総合知を備えたフロンランナー育成プロジェクト (次世代プロジェクト), 2024.
- 47) 板 離子: 新潟大学未来社会を牽引するグローバルな総合知を備えたフロンランナー育成プロジェクト (次世代プロジェクト), 2024.
- 48) 出羽 希: 新潟大学未来社会を牽引するグローバルな総合知を備えたフロンランナー育成プロジェクト (次世代プロジェクト), 2024.
- 49) 相澤知里: 新潟大学未来社会を牽引するグローバルな総合知を備えたフロンランナー育成プロジェクト (次世代プロジェクト), 2024.

硬組織形態学分野

【論文】

- 1) Ohshima H, Ono K, Mishima K: Oral biosciences: The annual review 2024. J Oral Biosci 67(1): 100631, 2025.
- 2) Ushiki T, Mochizuki T, Osawa M, Suzuki K, Tsujino T,

- Watanabe T, Mourão CF, Kawase T: Plasma gel matrix as a promising carrier of epigallocatechin gallate for regenerative medicine. *J Funct Biomater* 15(4): 98, 2024.
- 3) Abe M, Kanavati F, Tsuneki M: Evaluation of a deep learning model for metastatic squamous cell carcinoma prediction from whole slide images. *Arch Pathol Lab Med* 148(12): 1344-1351, 2024.
 - 4) Lee DJ, Kim P, Kim HY, Park J, Lee SJ, An H, Heo JS, Lee MJ, Ohshima H, Mizuno S, Takahashi S, Jung HS, Kim SJ: MAST4 regulates stem cell maintenance with DLX3 for epithelial development and amelogenesis. *Exp Mol Med* 56(7): 1606-1619, 2024.
 - 5) Yamamoto S, Yamamoto K, Hirao Y, Yamaguchi K, Nakajima K, Sato M, Kawachi M, Domon M, Goto K, Omori K, Iino N, Shimada H, Aoyagi R, Ei I, Goto S, Goto Y, Gejyo F, Yamamoto T, Narita I: Mass spectrometry-based proteomic analysis of proteins adsorbed by hexadecyl-immobilized cellulose bead column for the treatment of dialysis-related amyloidosis. *Amyloid* 31(2): 105-115, 2024.
 - 6) Kaku N, Kawachi M, Wakui A, Miyazawa M, Imai M, Takahashi N, Sato A, Abe T, Sato H, Kato Y, Okabe R, Naruse Y, Sato N, Asano N, Morohashi M, Sano H, Washio J, Abiko Y, Tanaka K, Takahashi N, Sato T: Molecular microbiological profiling of bottled unsweetened tea beverages: A screening experiment. *J Oral Biosci* 66(3): 628-632, 2024.
 - 7) Moreira MA, Moreira MM, Lomonaco D, Cáceres E, Witek L, Coelho PG, Shimizu E, Quispe-Salcedo A, Feitosa VP: Effects on dentin nanomechanical properties, cell viability and dentin wettability of a novel plant-derived biomodification monomer. *Dent Mater* 40(10): 1584-1590, 2024.
 - 8) Quispe-Salcedo A, Yamazaki T, Ohshima H: Effects of synthetic toll-like receptor 9 ligand molecules on pulpal immunomodulatory response and repair after injuries. *Biomolecules* 14(8): 931, 2024.
 - 9) Zapata-Sifuentes M, Quispe-Salcedo A, Watanabe T, Kawase T, Ohshima H: Effect of leukocyte and platelet-rich plasma on osseointegration after implant placement in mouse maxilla. *Regen Ther* 26: 741-748, 2024.
 - 10) Ikeda Y, Yasuhara R, Tanaka J, Ida-Yonemochi H, Akiyama H, Otsu K, Miyamoto I, Harada H, Yamada H, Fukada T, Irié T: PLAG1 overexpression in salivary gland duct-acinar units results in epithelial tumors with acinar-like features: Tumorization of luminal stem/progenitor cells may result in the development of salivary gland tumors consisting of only luminal cells. *J Oral Biosci* 66(4): 88-97, 2024.
 - 11) Quispe-Salcedo A, Suzuki-Barrera K, Zapata-Sifuentes M, Watanabe T, Kawase T, Ohshima H: Pulpal responses to leukocyte- and platelet-rich plasma treatment in mouse models for immediate and intentionally delayed tooth replantation. *Appl Sci* 14(23): 11358, 2024; <https://doi.org/10.3390/app142311358>.
 - 12) Shimamura K, Nojiri T, Kondo H, Ikeda Y, Yasuhara R, Ida-Yonemochi H, Otsu K, Harada H, Mishima K, Ohshima H, Kobayashi T, Irié T: The potential role of chromodomain helicase DNA-binding protein 3 in defining the cervical width by regulating the early growth stage of the apical papilla during tooth development. *J Oral Biosci*. 67(1): 100604, 2025.
- 【商業誌】**
- 1) 大島勇人, 高見寿子: 顔面表情筋の解剖 (林 礼人 編集: 特集/顔面神経麻痺 診断と治療—初期対応から後遺症治療まで). *PEPARS* 214: 9-17, 2024.
- 【研究費獲得】**
- 1) 大島勇人, Quispe Salcedo Angela, 常木雅之, 依田浩子, 山崎智彦: 樹状細胞・マクロファージ制御による歯髄静的幹細胞/前駆細胞の恒常性維持と活性化. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(B), 23H03078, 2024.
 - 2) 高橋 克, 石守崇好, 時田義人, 大島勇人, 清水律子, 中島貴子: 先天性無歯症患者の欠如歯を再生する新規抗体医薬品の開発, 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 2024 年度/令和 6 年度 創薬ベンチャーエコシステム強化事業/ 創薬ベンチャー, 24019336, 2024.
 - 3) 依田浩子, 大島勇人, 中村卓史: オートファジーによる歯の幹細胞老化制御メカニズムの解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 24K12867, 2024.
 - 4) 大島邦子, 大島勇人, 早崎治明, 佐野拓人: 再植歯の人為的髄床底穿孔と神経伝達シグナル調節による歯髄再生療法の開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 23K09411, 2024.
 - 5) 下村淳子, 森田貴雄, 大島勇人: プロテオミクスによるタンパク質選定と歯の発生段階における発現機能の新解析. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 23K09424, 2024.
 - 6) 武藤徳子, 石井信之, 大島勇人: 歯髄損傷後の修復過程における PD-1/PD-L1 機構を介した免疫制御

機序の解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 24K12937, 2024.

- 7) 興地隆史, 川島伸之, 大島勇人, 野田園子, 藤井真由子: 低酸素特異的転写調節因子 HIF1 α が誘導する歯髄組織特異的硬組織誘導のメカニズム. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 22K09960, 2024.
- 8) 川島伸之, 大島勇人, 興地隆史: 歯髄幹細胞の硬組織形成細胞分化におけるインテグリンシグナルの役割とその臨床応用. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 24K12909, 2024.
- 9) 大島勇人, 佐藤雅彦, 高見寿子: 解剖学モデルの開発. 共同研究, 2024.
- 10) 依田浩子, 大野佑樹: 令和6年度-令和7年度 ロート製薬株式会社 共同研究, 2024.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) 大島勇人: 歯髄の生物学的特性と再生能の観点から歯髄保護を考える〈可逆性・不可逆性歯髄炎の解釈と診断のために〉. 第45回日本歯内療法学会学術大会シンポジウム1「これからの歯髄保護」, 大阪, 2024年7月20-21日.
- 2) 大島勇人: 歯の進化と発生. 第66回歯科基礎医学会学術大会 日本学術会議シンポジウム(市民公開講座)「あごと顔の発生と進化」, 長崎, 2024年11月2-4日. J Oral Biosci Suppl 2024, p.39, 2024.
- 3) 大島勇人: 若手研究者が知っておくべき研究&学術論文作成に必要な動物実験計画・統計学の基礎知識. 第66回歯科基礎医学会学術大会 教育講演(主催: 編集委員会), 長崎, 2024年11月2-4日. J Oral Biosci Suppl 2024, p.86, 2024.
- 4) 大島勇人: 接合上皮の解剖学的特性. 第66回歯科基礎医学会学術大会 メインシンポジウム3「歯周病予防の最前線-接合上皮から考える歯を守るバリア機能」, 長崎, 2024年11月2-4日. J Oral Biosci Suppl 2024, p.90, 2024.

【学会発表】

- 1) Quispe-Salcedo A, Yamazaki T, Ohshima H: In vivo assessment of synthetic toll-like receptor 9 ligand molecules for the treatment of the afflicted dental pulp following tooth replantation in mice. 22nd World Congress on Dental Traumatology, Tokyo, Japan, July 12-15th, 2024.
- 2) Quispe-Salcedo A: Histological approach to the application of platelet-rich plasma in implantology and dental avulsion in animal models (In spanish: Enfoque histológico de la aplicación de plasma rico en plaquetas

en implantología y avulsión dental en modelos animales). 2nd Annual Meeting of the SBIOC-IADR. On-line, December 2024.

- 3) 大島勇人: 人体解剖学実習の取り組み: 新しい解剖術式の開発と学生の主体的な学習を促す学習方略. 第43回日本歯科医学教育学会学術大会, 名古屋, 2024年9月6-7日, 第43回日本歯科医学教育学会学術大会プログラム・抄録集 p80 2024.
- 4) Zapata-Sifuentes Mauricio, Quispe-Salcedo Angela, Watanabe Taisuke, Ohshima Hayato: マウス顎骨へのインプラント埋入後のオッセオインテグレーションへのリンパ球-多血小板血漿 (L-PRP) の効果, 第57回新潟歯学会総会, 新潟, 2024年4月13日, 新潟歯学会誌 54(1): 53-54, 2024.
- 5) 依田浩子, 佐野拓人, 大島勇人: オートファジー不全による歯髄細胞および象牙質形成への影響. 第66回歯科基礎医学会学術大会, 長崎, 2024年11月2-4日. J Oral Biosci Suppl 2024, p.107, 2024.
- 6) 佐野拓人, 大島邦子, Quispe-Salcedo Angela, 岡田康男, 佐藤拓一, 大島勇人: マウス歯の再植時の意図的穿孔形成がマクロファージの時空間ダイナミクスに与える影響. 第66回歯科基礎医学会学術大会, 長崎, 2024年11月2-4日. J Oral Biosci Suppl 2024, p.246, 2024.
- 7) 大島理紗, Quispe-Salcedo Angela, 大島勇人, 川島伸之, 興地隆史: オステオポンチン欠損は mineral trioxide aggregate による直接覆髄後の修復象牙質形成を阻害する. 第66回歯科基礎医学会学術大会, 長崎, 2024年11月2-4日. J Oral Biosci Suppl 2024, p.296, 2024.
- 8) 大島秀介, Quispe-Salcedo Angela, 依田浩子, 植木雄志, 堀井 新, 大島勇人: TetOP-H2B-GFP システムと EdU パルス追跡実験を用いた唾液腺幹細胞の発生および再生時の動態. 第68回日本唾液腺学会学術集会, 東京, 2024年12月7日. 日本唾液腺学会誌 2024 vol.64 p.18, 2024.
- 9) 大野佑樹, 大島秀介, 植木雄志, 堀井 新, 大島勇人, 依田浩子: 唾液腺分化における AMP-activated protein kinase (AMPK) の役割. 第68回日本唾液腺学会学術集会, 東京, 2024年12月7日. 日本唾液腺学会誌 2024 vol.64 p.20, 2024.
- 10) 大津圭史, 池崎晶二郎, 後藤-松元奈緒美, 大島勇人, 中西-松井真弓, 原田英光: エナメル石灰化における V-ATPase a3 アイソフォームを介した分泌リソソームの輸送. 第130回日本解剖学会総会・全国学術集会・第102回日本生理学会大会・第98回日本薬理学会年会合同大会, 千葉, 2025年3月17-19日. プログラム集 2025.

- 11) 依田浩子, 佐野拓人, 大野佑樹, 大島勇人: 歯髄組織の発生・創傷治癒・老化過程におけるオートファジーの役割. 第 130 回日本解剖学会総会・全国学術集会・第 102 回日本生理学会大会・第 98 回日本薬理学会年会合同大会, 千葉, 2025 年 3 月 17-19 日. プログラム集 2025.
 - 12) 大野佑樹, 大島秀介, 植木雄志, 堀井 新, 大島勇人, 依田浩子: 液腺分化における AMP-activated protein kinase (AMPK) の役割. 第 130 回日本解剖学会総会・全国学術集会・第 102 回日本生理学会大会・第 98 回日本薬理学会年会合同大会, 千葉, 2025 年 3 月 17-19 日. プログラム集 2025.
 - 13) Angela Quispe-Salcedo, Kiyoko Suzuki-Barrera, Mauricio Andre Zapata-Sifuentes, 大島勇人: In vivo interaction of osteopontin and immune cells during the pulpal healing process following severe injuries. 第 130 回日本解剖学会総会・全国学術集会・第 102 回日本生理学会大会・第 98 回日本薬理学会年会合同大会, 千葉, 2025 年 3 月 17-19 日. プログラム集 2025.
 - 14) Angela Quispe-Salcedo, Mauricio Andre Zapata-Sifuentes, 山崎智彦, 大島勇人: Effects of immobilized osteopontin on osseointegration after dental implantation into mouse maxillae. 第 25 回日本再生医療学会総会, 横浜, 2025 年 3 月 20-22 日.
- 【その他】
- 1) Ohshima H: Vice Editor-in-Chief, Journal of Oral Biosciences
 - 2) Ohshima H: Section Editor, Regenerative Therapy
 - 3) Ohshima H: Editor-in-Chief, Anatomical Science International
 - 4) Ida-Yonemochi H: Editorial Board, Frontiers in Dental Medicine
 - 5) Ida-Yonemochi H: Managing Editor, Anatomical Science International
 - 6) Tsuneki M: Associate Editor, Technology in Cancer Research & Treatment
 - 7) Tsuneki M: Guest Editor, Diagnostics (Basel)
 - 8) Tsuneki M: Editorial Board, BMC Cancer
 - 9) Takami Hisako, Kobayashi Yuka, Makishi-Takano Sanako, Katsumi Yuji, Sato Noboru, Ohshima Hayato: New anatomical dissection procedure with special reference to the layer-structured facial muscles and fasciae and mouth floor. 第 44 回 峠の会 形態科学セミナー, 阿賀町, 2024 年 8 月 1 日.
 - 10) 依田浩子: 糖代謝調節による歯髄細胞分化制御. 第 44 回 峠の会 形態科学セミナー, 阿賀町, 2024 年 8 月 1 日.
 - 11) Quispe-Salcedo Angela: Evaluation of the pulpal responses of replanted mouse molars to local treatment with L-PRP according to extraoral time. 第 44 回 峠の会 形態科学セミナー, 阿賀町, 2024 年 8 月 1 日.
 - 12) 大島勇人: インプラント臨床に役に立つマクロ解剖学. 日本橋インプラントセンター研修会, 東京, 2024 年 9 月 12 日.
 - 13) 大島勇人: 歯科の再生医療. 第 16 回エナメル質比較発生学懇話会, 妙高, 2024 年 9 月 25-26 日.
 - 14) 原田英光, 大島勇人: (企画) 第 66 回歯科基礎医学会学術大会 メインシンポジウム 3「歯周病予防の最前線-接合上皮から考える歯を守るバリア機能」, 1. 原田英光: 接合上皮から考える歯周病とシンポジウムのねらい; 2. 大島勇人: 接合上皮の解剖学的特性; 3. 山本松男: 接合上皮の発生・創傷治癒・再生のメカニズムと臨床的解釈; 池崎晶二郎, 大津圭史, 原田英光: 接合上皮のバリア機能から考える歯周病発症のリスク; 城戸瑞穂, 吉本怜子, 澤田孟志, 高瑋琦: 歯肉接合上皮のメカノセンサーと歯周病, 長崎, 2024 年 11 月 2-4 日. J Oral Biosci Suppl 2024, p.90, 2024.
 - 15) 大島勇人, 高橋 克: (企画) 第 25 回日本再生医療学会総会, シンポジウム 歯科再生の社会実装へ向けた strategy, 1. 高橋 克, 杉並亜希子: 歯の再生治療薬抗 USAG-1 抗体の社会実装; 2. 高木淳一, 三原恵美子: バイオ医薬の社会実装と AMED BINDS 支援～抗原生産から特殊抗体創出、遺伝子治療ベクター開発まで～; 3. 時田義人: 先天性無歯症の遺伝学; 4. 竹立匡秀, 村上伸也: 脂肪組織由来多系統前駆細胞を用いた歯周組織再生医療の社会実装への取り組み; 5. 喜早ほのか: 歯科再生における産学連携とベンチャー企業の挑戦ートレジェムバイオファーマの役割, 第 25 回日本再生医療学会総会, 横浜, 2025 年 3 月 20-22 日.
 - 16) 原田英光, 大島勇人: (企画) 歯の発生の会・歯科再生会議第 30 回産学連携フォーラム「接合上皮から歯周病予防を考えるー歯を守る最前線」, 幕張, 2025 年 3 月 16 日.
 - 17) Quispe-Salcedo Angela: Biological basis for the use of triple antibiotic paste (3Mix-MP) (In Spanish: Fundamentos biológicos para el uso de la pasta triple antibiótica (3Mix-MP)). Invited lecturer for the Specialization Program in Pediatric Dentistry. Universidad de los Andes, Santiago de Chile, On-line lecture, October, 2024.
 - 18) 大島勇人: 学術論文作成と魅力的なプレゼンテーション法について. 新潟大学医学部保健学科リサーチ・メソッド・アドバンス, 新潟, 2024 年 6 月 22

日.

- 19) 大島勇人: 学術論文作成に必要な効率的な PubMed 文献検索法と画像処理について. 新潟大学医学部保健学科リサーチ・メソッド・アドバンス, 新潟, 2024 年 6 月 22 日.
- 20) 大島勇人: 歯と歯根周囲の組織学・歯根と歯髄腔の解剖学・歯の痛みの生理学. 神奈川歯科大学特別講義, 横須賀, 2024 年 8 月 27 日.
- 21) 依田浩子: エネルギー代謝調節による歯の細胞分化制御. 岩手医科大学大学院特別セミナー, 盛岡, 2024 年 11 月 19 日.
- 22) 大島勇人: 組織学の研究法. 新潟大学医学部保健学科特別講義, 新潟, 2024 年 11 月 29 日.
- 23) 大島勇人: 歯髄の生物学的特性と再生能の観点から歯髄保護を考える. 東京医科歯科大学大学院特別セミナー, 東京, 2025 年 1 月 30 日.

口腔病理学分野

【著 書】

- 1) 田沼順一: 口腔組織・発生学 第 3 版 (前田健康 他編), 187-188 頁, 医歯薬出版, 東京, 2024.
- 2) 田沼順一: 歯学生のための基礎病理学 (田沼順一他編), 187-194 頁, 200-211 頁, 234-248 頁, 医歯薬出版, 東京, 2024.
- 3) 山崎 学: 歯学生のための基礎病理学 (田沼順一他編), 194-200 頁, 医歯薬出版, 東京, 2024.
- 4) 阿部達也: 歯学生のための基礎病理学 (田沼順一他編), 287-289 頁, 医歯薬出版, 東京, 2024.
- 5) 田沼順一: 口腔解剖学 第 3 版 (前田健康 他編), 304-308 頁, 医歯薬出版, 東京, 2025.

【論 文】

- 1) Fujii S, Hasegawa K, Maehara T, Kurppa KJ, Heikinheimo K, Warner KA, Maruyama S, Tajiri Y, Nör JE, Tanuma J, Kawano S, Kiyoshima T: Wnt/ β -catenin-c-kit axis may play a role in adenoid cystic carcinoma prognostication. *Pathology Research and Practice* 254: 155148, 2024.
- 2) Haga K, Funayama A, Yamazaki M, Maruyama S, Hara T, Saito N, Saito D, Sotsuka Y, Hayashi T, Tanuma J, Kobayashi T: Extensive ameloblastic fibroma of the mandible in an elderly woman: A case report and review of the literature. *Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology* 36 (3): 333–340, 2024.
- 3) Kobayashi R, Hirai H, Maruyama S, Tanuma J,

Tomihara K: Oral Focal Mucinosi s of the Tongue: Case Report and Review of the Literature. *Cureus* 16(8): e67882, 2024.

- 4) Takaichi M, Tachinami H, Takatsuka D, Yonesi A, Sakurai K, Rasul MI, Imaue S, Yamada S, Ruslin M, Yamazaki M, Tanuma J, Noguchi M, Tomihara K: Targeting CD36-Mediated Lipid Metabolism by Selective Inhibitor-Augmented Antitumor Immune Responses in Oral Cancer. *International Journal of Molecular Sciences* 25(17): 9438, 2024.
- 5) Kawasaki M, Kawasaki K, Sari FT, Kudo T, Nihara J, Kitamura M, Nagai T, Utama V, Ishida Y, Meguro F, Kesuma A, Fujita A, Nishimura T, Kogure Y, Maruyama S, Tanuma J, Kakihara Y, Maeda T, Ghafoor S, Khonsari RH, Corre P, Sharpe PT, Cobourne M, Franco B, Ohazama A: Cell-cell interaction determines cell fate of mesoderm-derived cell in tongue development through Hh signaling. *eLife* 13: e85042, 2024.
- 6) Akimori Y, Yamazaki M, Maruyama S, Abé T, Tomihara K, Maeda T, Tanuma J: Searching for new early detection markers of oral epithelial dysplasia and oral squamous cell carcinoma using oral liquid-based cytology. *Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology* 36(4): 624-631, 2024.
- 7) Yonesi A, Tomihara T, Takatsuka D, Tachinami H, Yamazaki M, Jadidi ARY, Takaichi M, Imaue S, Fujiwara K, Yamada S, Tanuma J, Noguchi M: Rapamycin induces phenotypic alterations in oral cancer cells that may facilitate antitumor T cell responses. *Biomedicine* 12(5), 1078, 2024.
- 8) Takatsuka D, Tachinami H, Suzuki N, Yamazaki M, Yonesi A, Takaichi M, Imaue S, Yamada S, Tanuma J, Noguchi M, Tomihara K: PAK4 inhibition augments anti-tumour effect by immunomodulation in oral squamous cell carcinoma. *Scientific Reports* 14: 14092, 2024.
- 9) Hayashi K, Takagane K, Itoh G, Kuriyama S, Koyota S, Meguro K, Ling Y, Abé T, Ohashi R, Yashiro M, Mizuno M, Tanaka M: Cell-cell contact-dependent secretion of large-extracellular vesicles from EFNB high cancer cells accelerates peritoneal dissemination. *British Journal of Cancer* 13(6): 982-995, 2024.
- 10) Naito E, Igawa K, Takada S, Haga K, Yortchan W, Suebsamarn O, Kobayashi R, Yamazaki M, Tanuma J, Hamano T, Shimokawa T, Tomihara K, Izumi K: The effect of carbon-ion beam irradiation on three-dimensional in vitro models of normal oral mucosa and oral cancer: development of a novel tool

to evaluate cancer therapy. In Vitro Cellular & Developmental Biology – Animal 60(10): 1184-1199, 2024.

- 11) Abé T, Yamazaki M, Nozumi M, Maruyama S, Takamura K, Ohashi R, Ajioka Y, Tanuma J: Ladinin-1 in actin arcs of oral squamous cell carcinoma is involved in cell migration and epithelial phenotype. Scientific Reports 14: 22778, 2024.
- 12) Aizawa Y, Haga K, Yoshida N, Yortchan W, Takada S, Tanaka R, Naito E, Abé T, Maruyama S, Yamazaki M, Tanuma J, Igawa K, Tomihara K, Togo S, Izumi K: Development and characterization of a three-dimensional organotypic in vitro oral cancer model with four co-cultured cell types, including patient-derived cancer-associated fibroblasts. Biomedicines 12(10), 2373, 2024.
- 13) Kurita H, Uzawa N, Nakayama H, Abe T, Ibaraki S, Ohyama Y, Uchida K, Sato H, Miyabe S, Abé T, Kakimoto N, Kaida A, Sugiura T, Kioi M, Danjo A, Kitamura N, Hasegawa O, Tanaka T, Ueda N, Hasegawa T, Asoda S, Katsuta H, Yanamoto S, Yamada S, Takeda D, Suzuki T, Ohta Y, Kirita T: Japanese clinical practice guidelines for oral cancer, 2023. International Journal of Oral & Maxillofacial Surgery 54(5): 461-476, 2024.
- 14) Kano H, Kato Y, Kobayashi T, Maruyama S: Methotrexate-associated lymphoproliferative disorder causing osteonecrosis of the jaw: a case report. Niigata Dent. J. 54(2): 15-21, 2024.
- 15) Suda D, Funayama A, Niimi K, Sakuma H, Saito D, Hayashi T, Maruyama S, Tanuma J, Kobayashi T: Pancreatic adenocarcinoma diagnosed by metastasis to the mandibular gingiva: A case report. 口腔腫瘍 36(4): 89-95, 2024.

【商業誌】

- 1) 阿部達也: 口腔扁平上皮癌の側方上皮内進展と間質浸潤: 病理学的解析とその相反制御に関わる因子. Medical Science Digest 51(1): 54-55, 2025.
- 2) 丸山 智: 腫瘍細胞が作り出す独自の腫瘍微小環境としての細胞外基質. 月刊「細胞」57(3):162-163, 2025.

【研究費獲得】

- 1) 田沼順一, 阿部達也, 丸山 智, 山崎 学, 林 孝文, 富原 圭, 前田健康: 口腔がんに対する地域医療体制の基盤の構築. 新潟大学 令和4年度 新大学改革プロジェクト事業計画. 2022年4月-2024年3

月.

- 2) 田沼順一: シングルセル RNA-Seq 解析を利用した口腔癌微小環境の分子機構の解明. 日本学術振興会科学研究費補助金. 基盤研究(C), 23K09150, 2023年4月-2025年3月.
- 3) 丸山 智: 細胞外基質環境下で CD73-CXCL10 経路が腫瘍自己制御機構に果たす役割の解明. 日本学術振興会科学研究費補助金. 基盤研究(C), 24K13110, 2024年4月-2027年3月.
- 4) 山崎 学: 死細胞由来の異所性核酸がもたらす口腔がん免疫逃避機構の解明. 日本学術振興会科学研究費補助金. 基盤研究(C), 24K13156, 2024年4月-2027年3月.
- 5) 阿部達也: 口腔・頭頸部扁平上皮癌における RNA 選択的スプライシングの病理学的意義の解明. 日本学術振興会科学研究費補助金. 基盤研究(C), 24K12895, 2024年4月-2027年3月.
- 6) 田沼順一: 口腔癌関連悪液質の改善を目指した漢方薬の抗炎症作用実証 —モデル動物を用いた基礎研究—. ツムラ株式会社・受託研究費. 2024年4月-2026年3月.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) 田沼順一: 口腔扁平上皮癌の新規早期発見マーカーを用いた口腔細胞診の精度向上. 第65回日本臨床細胞学会, シンポジウム7, 2024年6月9日, 大阪. 日本臨床細胞学会雑誌: 63(補冊1), 127頁, 2024.
- 2) 田沼順一: 口腔上皮性異形成 (OED) のワーキンググループからの報告. 第35回日本臨床口腔病理学会総会・学術大会, 2024年7月30日-8月1日, 新潟. 同学会総会抄録集: 102頁, 2024.
- 3) 阿部達也: 口腔病理研究における情報科学の応用に向けて. 第35回日本臨床口腔病理学会総会・学術大会, 2024年7月30日-8月1日, 新潟. 同学会総会抄録集: 98-99頁, 2024.
- 4) 田沼順一: 頭頸部領域における病理診断と細胞診の基礎. 東北広域次世代がんプロ養成プラン 令和6年度がんプロセミナー, 2025年1月9日, 新潟. <https://www.med.niigata-u.ac.jp/gan/pdf/seminar/seminar77.pdf>

【学会発表】

- 1) Haga K, Funayama A, Saito N, Saito D, Sakuma H, Suda A, Yakeuchi R, Hayashi T, Tanuma J, Kobayashi T: Computer-assisted surgery in mandibular reconstruction and a patient-specific mandibular reconstruction plate. International Collaborative Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and

Treatment 2024. May 31- June 1, 2024, Bangkok, Thailand. Program Book: p.91, 2024.

- 2) Prakoeswa Beshlina, 池真樹子, 西山秀昌, 山崎 学, 田沼順一, 林 孝文: 上顎犬歯に関連した腺性歯源性腫瘍の1例. 第64回日本歯科放射線学会総会, 2024年5月24-26日, 新潟. 歯科放射線: 64 (増刊号): 64頁, 2024.
- 3) 阿部達也: 教育セミナー 病理解説. 第154回日本内科学会信越支部主催 信越地方会, 2024年6月1日, 上越, 同学会地方会抄録集: 16頁, 2024.
- 4) 須田大亮, 船山昭典, 竹内涼子, 齋藤大輔, 羽賀健太, 林 孝文, 丸山智, 田沼順一, 小林正治: 広範な骨膜反応を呈した非細菌性下顎骨骨髓炎の一例. 第62回日本口腔科学会北日本地方部会・第50回日本口腔外科学会北日本支部学術集会, 2024年7月6-7日, 旭川. 同学会総会抄録集: 67頁, 2024.
- 5) 高村真貴, 小林太一, 新國 農, 勝良剛詞, 山崎 学, 田沼順一, 林 孝文: 舌癌の発育様式が口腔内超音波診断に与える影響について. 第41回新潟県臨床細胞学会, 2024年7月6日, 新潟. 新潟県臨床細胞学会会報 39号: 17頁, 2024.
- 6) 高村真貴, 小林太一, 新國 農, 勝良剛詞, 山崎 学, 田沼順一, 林 孝文: 口腔内超音波診断における舌癌のDOI計測に影響を与える因子の検討(第2報). 第78回日本口腔科学会総会・学術大会, 2024年7月21日, 東京. 同学会総会抄録集: 228頁, 2024.
- 7) 金井爽海, 齋藤夕子, 山崎 学, 新國農, 林 文, 田沼順一, 富原 圭: 口蓋に生じた神経鞘腫の1例. 第78回日本口腔科学会総会・学術大会, 2024年7月20日, 第78回日本口腔科学会総会・学術大会, 2024年7月21日, 東京. 同学会総会抄録集: 190頁, 2024.
- 8) 船山昭典, 竹内涼子, 齋藤大輔, 須田大亮, 羽賀健太, 西山秀昌, 林 孝文, 山崎 学, 田沼順一, 小林正治: 下顎歯肉癌を発症したBloom症候群の1例. 第78回日本口腔科学会総会・学術大会, 2024年7月20日, 第78回日本口腔科学会総会・学術大会, 2024年7月21日, 東京. 同学会総会抄録集: 336頁, 2024.
- 9) 羽賀健太, 相澤有香, 山崎 学, 丸山 智, 阿部達也, 船山昭典, 小林正治, 田沼順一: 3次元培養技術を用いた口腔がん微小環境モデルの構築. 第35回日本臨床口腔病理学会総会・学術大会, 2024年7月30日-8月1日, 新潟. 同学会総会抄録集: 69頁, 2024.
- 10) 丸山 智, 阿部達也, 橋本和彦, 中島 啓, 辺見卓男, 柳下寿郎, 宇佐美 悠, 常松貴明, 河合穂高, 片瀬直樹, 石川文隆, 森 泰昌, 長塚 仁,

田沼順一(口腔上皮性異形成(OED)口腔上皮性異形成(OED)ワーキンググループメンバー): 口腔上皮性異形成(OED)ワーキンググループからの報告(第一報). 第35回日本臨床口腔病理学会総会・学術大会, 2024年7月30日-8月1日, 新潟. 同学会総会抄録集: 85頁, 2024.

- 11) 相澤有香, 羽賀健太, 吉羽永子, Witsanu Yortchan, 高田 翔, 田中凜太郎, 内藤絵里子, 阿部達也, 丸山智, 山崎 学, 田沼順一, 富原 圭, 泉 健次: 患者由来がん関連線維芽細胞を含む3次元口腔がんモデルの開発とその特徴解析. 令和6年度新潟歯学会第2回例会 2024年9月2日, 新潟. 新潟歯学会雑誌 54(2): 39頁, 2024.
- 12) 阿部達也, 凌 一葦, 奥田修二郎, 山崎 学, 丸山智, 田沼順一: 頭頸部扁平上皮癌における選択的スプライシングシグネチャーによる予後予測. 第83回日本癌学会総会 2024年9月19-21日, 福岡. 同学会総会抄録集: 69頁, 2024.

歯科薬理学分野

【原著論文】

- 1) Takajo Y, Sáez-Chandía J, Kakihara Y, Inamasu S: Forsythia viridissima Leaf Extract Inhibits Trabecular Bone Mineral Loss in Rats Induced by a Low-Calcium Diet. J Nutr Sci Vitaminol (Tokyo). 70 (6):503-507,2024.
- 2) Kawasaki M, Kawasaki K, Sari FT, Kudo T, Nihara J, Kitamura M, Nagai T, Utama V, Ishida Y, Meguro F, Kesuma A, Fujita A, Nishimura T, Kogure Y, Maruyama S, Tanuma JI, Kakihara Y, Maeda T, Ghafoor S, Khonsari RH, Corre P, Sharpe PT, Cobourne M, Franco B, Ohazama A: Cell-cell interaction determines cell fate of mesoderm-derived cell in tongue development through Hh signaling. Elife.13:e85042,2024
- 3) Piriyaprasath K, Kakihara Y, Hasegawa M, Iwamoto Y, Hasegawa Y, Fujii N, Yamamura K, Okamoto K. Nutritional Strategies for Chronic Craniofacial Pain and Temporomandibular Disorders: Current Clinical and Preclinical Insights. Nutrients.16(17):2868,2024

【研究費獲得】

- 1) 三亀啓吾, 柿原嘉人(分担)他: 生理活性発現に適したリグニンの分子設計と精密分解による機能化. 日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究(B), 24K01890, 2024.
- 2) 加来 賢, 柿原嘉人(分担)他: 細胞外マトリックスが

制御する幹細胞分化の解明と歯根膜再生への応用.
日本学術振興会科学研究費補助金,基盤研究
(B),24K02630,2024.

- 3) 長谷川真奈, 柿原嘉人(分担)他: ストレスによる高位脳の機能変調が顔面痛を増大させる中枢メカニズムの解明. 日本学術振興会科学研究費補助金,基盤研究(C),24K13111,2024.
- 4) 柿原嘉人(代表): 骨芽細胞のI型コラーゲンと基質小胞の分泌経路における Rab タンパク質の機能解明. 日本学術振興会科学研究費補助金,基盤研究(C),23K09117,2024.(継続)
- 5) 岡本圭一郎, 柿原嘉人(分担)他: トレッドミル走がストレス誘発性の顔面痛を軽減する脳メカニズム. 日本学術振興会科学研究費補助金,基盤研究(C),23K09391,2024.(継続)
- 6) 船山昭典, 柿原嘉人(分担)他: 口腔癌進展における癌関連線維芽細胞(CAFs)のTGF- β シグナルの解明. 日本学術振興会科学研究費補助金,基盤研究(C),22K10143,2024.(継続)
- 7) 大倉直人, 柿原嘉人(分担)他: アスコルビン酸輸送担体を介した象牙芽細胞分化を促進させる歯髄再生メカニズムの解明. 日本学術振興会科学研究費補助金,基盤研究(C),19K10147,2024.(継続)

【学会発表】

- 1) Stephanny Castillo-Quispe, Jorge Saez Chandia, Yoshito Kakihara, Keiichiro Okamoto, Miho Terunuma: Effect of sake lees (sake-kasu) on bone metabolism. 第44回日本歯科薬物療法学会学術大会, 新潟, 2024年7月13-14日.
- 2) 岩本佑耶, KajitaPiriyaprasath, Yusuf Andi sitti Hajrah1, 長谷川真奈, 柿原嘉人, 藤井規孝, 山村健介,1 岡本圭一郎: アグマチンは顎顔面部の持続性炎症によって低下した新規物体認識行動を改善する. 第102回日本生理学会, 千葉, 2025年3月17-19日.

【公開講演】

- 1) 柿原嘉人: 米発酵食品と健康効果. 放送大学新潟学習センター公開講演会, 新潟市, 2024年11月10日.
- 2) 柿原嘉人: 酒と酒粕と健康について. しばたミュージアム設立推進市民会議歴史文化講演会, 新発田, 2024年9月29日.

【受賞】

- 1) 坂井幸介, 西川眞生: 菌活バーガー! ~新潟の新・ご当地グルメをつくろう~. 「にいがた食と農の未来」学生ビジョンコンテスト2024準グランプリ受賞, 新潟市, 2024年11月9日.

包括歯科補綴学分野

【論文】

- 1) Watanabe Y, Otake M, Ono S, Ootake M, Murakami K, Kumagai K, Matsuzawa K, Kasahara H, Hori K, Someya T: Decreased oral function in Japanese inpatients with schizophrenia. *Neuropsychopharmacol Rep.* 2024 Jun;44(2):356-360.
- 2) Nagasaki T, Kurihara-Okawa K, Okawa J, Nihara J, Takahashi K, Hori K, Fukui T, Ono T, Saito I: Tongue pressure and maxillofacial muscle activities during swallowing in patients with mandibular prognathism. *J Oral Rehabil.* 2024 Aug;51(8):1413-1421.
- 3) Kurihara-Okawa K, Okawa J, Nihara J, Takahashi K, Hori K, Nagasaki T, Fukui T, Ono T, Saito I: Tongue pressure production and orofacial muscle activities during swallowing are related to palatal morphology in individuals with normal occlusion. *Clinical and Investigative Orthodontics* 83(2):61-69, 2024 Apr.
- 4) Suwanarpa K, Hasegawa Y, Paphangkorakit J, Pitiphat W, Hori K, Ono T: Development of the Food Acceptance Questionnaire for Thai Partial and Complete Edentulism. *Nutrients.* 2024 May 9;16(10):1432.
- 5) Sato R, Kodama S, Okawa J, Murakami K, Ono T, Hori K: Tongue and jaw movement assessed by 3D motion capture during gum chewing. *Front Physiol.* 2024 Aug 28;15:1409005.
- 6) Ujishashi T, Hori K, Izuno H, Fukuda M, Sawada M, Yoshimura S, Hori S, Uehara F, Takano H, Ono T: The Association of Walking Ability with Oral Function and Masticatory Behaviors in Community-Dwelling Older People: A Cross-Sectional Study. *Geriatrics (Basel).* 2024 Oct 9;9(5):131.
- 7) Thu Ya M, Hasegawa Y, Sta Maria MT, Hattori H, Kusunoki H, Nagai K, Tamaki K, Hori K, Kishimoto H, Shinmura K: Predicting cognitive function changes from oral health status: a longitudinal cohort study. *Sci Rep.* 2024 Oct 15;14(1):24153.
- 8) Gonda T, Togawa H, Ikebe K: Effects of denture use on occlusal force on abutment teeth in molar distal-extension edentulism. *J Prosthodont Res* 69(1):91-96, 2025 Jan.
- 9) Yoshimoto T, Hasegawa Y, Khaing AMM, Sta Maria MT, Hattori H, Kishimoto H, Shinmura K, Ono T: Effects of the shortened dental arch on oral function in

- older adults: A prospective cohort study. *Heliyon*. 2024 Dec 6;10(24):e40897.
- 10) Kusunoki H, Hasegawa Y, Nagasawa Y, Shojima K, Yamazaki H, Mori T, Tsuji S, Wada Y, Tamaki K, Nagai K, Matsuzawa R, Kishimoto H, Shimizu H, Shinmura K: Oral Frailty and Its Relationship with Physical Frailty in Older Adults: A Longitudinal Study Using the Oral Frailty Five-Item Checklist. *Nutrients*. 2024 Dec 24;17(1):17.
 - 11) Piriyaprasath K, Kakihara Y, Hasegawa M, Iwamoto Y, Hasegawa Y, Fujii N, Yamamura K, Okamoto K: Nutritional Strategies for Chronic Craniofacial Pain and Temporomandibular Disorders: Current Clinical and Preclinical Insights. *Nutrients*. 2024 Aug 27;16(17):2868.
 - 12) Kakimoto N, Wongratwanich P*, Shimamoto H, Kitisubkanchana J, Tsujimoto T, Shimabukuro K, Verdonschot G Rinus, Hasegawa Y, Murakami S: Comparison of T2 values of the displaced unilateral disc and retrodiscal tissue of temporomandibular joints and their implications. *Scientific Reports*. 2024;14: 1705.
 - 13) Ishimaru T, Yamaguchi T, Saito T, Hattori Y, Ono T, Arai Y, Hasegawa Y, Shiga H, Tamaki K, Tanaka J, Tsuga K, Abekura H, Miyawaki S, Maeda-Iino A, Mikami S, Gotouda A, Satoh K, Shimizu K, Kato Y, Namita T: Actual State of the Diurnal Masseteric Electromyogram: Differences between Awareness and Non-Awareness of Awake Bruxism. *Journal of Prosthodontic Research*. 2024; adv pub.
 - 14) Hasegawa Y: Clinical Guiding Principles for Denture Relining and Rebasing released in Japan. *J Prosthodont Res*. 2024;68(4):vi-viii.
 - 15) Hasegawa Y, Minakuchi H, Nishimura M, Nishio K, Yoshioka F, Ishii T, Watanabe T, Nishiyama Y, Sato Y, Yoshida K, Maria MTS, Iinuma T, Matsuka Y: Effect of soft denture liners on complete denture treatments: A systematic review. *J Prosthodont Res*. 16;68(4):493-510, 2024 Oct.
 - 16) 堀 一浩, 村上和裕, 大川純平, 吉村将悟: 口腔機能をスキャンする. *新潟歯学会雑誌*, 54(1), 1-8, 2024年7月
 - 17) 西成 勝好, Zhang Ke, Yang Nan, Gao Zhiming, Gamonpilas Chaiwut, Turcanu Bresson Mihaela, Peyron Marie-Agnes, Fang Yapeng, 新田 陽子, Yao Xiaolin, Zhao Meng, 石原 清香, 中馬 誠, 船見 孝博, 神山 かおる, 森高 初恵, 吉村 美紀, 長野 隆男, 平島 円, 筒井 和美, Pongsawatmanit Rungnaphar, Hu Bing, Han Lingyu, Mleko Stanislaw, Tomczynska-Mleko Marta, Su Lei, 武政 誠, 堀 一浩, 松尾 浩一郎, 道脇 幸博, Zhang Yin, Singh Narpinder, Goh Aaron, Dou Zuilin: 咀嚼・嚥下過程のバイオレオロジー. *日本バイオレオロジー学会*. 38巻1号, Page6-11, 2024.08.
 - 18) 堀 一浩, 村上和裕: 咀嚼嚥下連関 舌の機能. *MEDICAL REHABILITATION*. 303, Page6-11, 2024.08.
 - 19) 中西 尋子, 北村 真理, 堀 一浩: 咀嚼力アップメニューは普通メニューと比較して"ゆっくり,よく噛む"咀嚼行動に繋がるか. *日本咀嚼学会雑誌*. 34巻1号 Page10-16, 2024.05.
 - 20) 船見 孝博, 中馬 誠, 石原 清香, 神山 かおる, 小野 高裕, 堀 一浩, 西成 勝好: ヒトの摂食メカニズムを考慮した力学測定およびヒト生理計測による食品テクスチャーの評価と加工食品の製品デザイン. *日本食品科学工学会誌*, 71巻5号 Page139-157, 2024.05.
 - 21) 大川純平: すれ違い咬合に対して根面アタッチメントを用いた残根上義歯にて機能回復を行った症例. *日本補綴歯科学会誌*, 16巻1号, 107-110, 2024.
 - 22) 長谷川 陽子: 咀嚼と栄養の科学 ―歯科の視点から―. *日本補綴歯科学会誌*. 16巻1号, 406-412, 2024.
 - 23) 長谷川 陽子: 「軟質リライン材によるリラインのガイドライン2023」について. 特集/軟質リライン材の現状と展望. *日本歯科理工学会誌* 43巻3号 135-138, 2024.
- 【商業誌】**
- 1) 小野 高裕, 堀 一浩: 歯科から食品科学研究へ. *歯界展望(0011-8702)*144巻1号 Page5-8, 2024.07.
 - 2) 長谷川陽子, 松香芳三: 新たに策定された『リラインとリベースの臨床指針 2023』と『軟質リライン材によるリラインのガイドライン 2023』. *日本歯科評論*. 2024. 976: 64-68.
- 【研究費獲得】**
- 1) 村上和裕: 歯の喪失のリスクファクターとなる口腔状態と口腔機能の検討. 公益財団法人 8020 推進財団 令和6年度 8020 研究事業, 25-5-13, 2024.
 - 2) 村上 和裕: グミ食品を用いた段階的咀嚼機能改善プログラムの構築. 日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C), 23K09250, 2023年4月 - 2026年3月
 - 3) 大川純平: 舌苔の付着や舌の乾燥は口腔機能および身体機能と関連するか: 深層学習を用いた舌の画像解析. 公益財団法人 8020 推進財団 令和6年度 8020

研究事業, 2024.

- 4) 大川純平, 堀 一浩, 東森 充: スマートフォンへの深層学習実装による舌苔のセルフケア: 口臭と口腔内微生物数の推定. 日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C), 24K13041, 2024
- 5) 佐藤直子, 堀 一浩: 食事介助下での被介助者の姿勢が、摂食嚥下の先行期・準備期における挙動に与える影響. 日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C), 24K13042, 2024
- 6) 上原文子: 若年者における咀嚼行動と食嗜好の関連および親子間での関連の検討. 日本学術振興会 科学研究費助成事業 若手研究, 24K19961, 2024
- 7) 坂田政貴: 食生活改善が認知機能に及ぼす影響-食生活の積極的変容による脳機能への効果-. 2024 年度古泉財団研究費助成金, 2024
- 8) 堀一浩: ウェアラブルデバイスを用いた咀嚼行動変容と歯周病改善による糖尿病コントロール, 日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(B), 21H03129, 2024
- 9) 善本佑: 中高齢者のインターバル速歩による運動が口腔の健康に与える影響. 日本学術振興会 科学研究費助成事業 若手研究, 24K19944, 2024
- 10) 村上瞳 (戸川瞳): ウェアラブルデバイスによる要介護高齢者の食事見守り. 日本学術振興会 科学研究費補助金若手研究, 22K17108, 2022~2024 年度
- 11) 堀 頌子: 咀嚼行動は肥満発症と関連するか? -レトロスペクティブスタディー-. 日本学術振興会 科学研究費用補助金 研究活動スタート支援, 22K21035, 2022-2026 年度
- 12) 堀 頌子: 咀嚼特性から考える肥満リスクへプロスペクティブスタディー. 日本学術振興会 科学研究費用補助金 若手研究, 24K19943, 2024-2027 年度
- 13) 吉村 将悟: 咀嚼行動は筋肉量、栄養に関係するか? -自立高齢者における咀嚼、栄養、筋肉量の関連-. 若手研究, 23K16084, 2023-2025
- 14) 岸本奈月: 口腔機能とフレイルおよび全身の健康に関する縦断研究: 多職種連携による多角的評価. 日本学術振興会 科学研究費助成事業 若手研究, 24K19963, 2024
- 15) 長谷川 陽子, 小野 弓絵, 堀 一浩, 山村 健介, 小野 高裕: 食生活の変容が認知機能に与える影響 日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C) 2023 年 4 月 - 2026 年 3 月

【招待講演・シンポジウム】

- 1) Hori K: Mastication behaviours in older people. 34th

Annual Congress of the European College of Gerodontology, Belgrade, Jun6-7, 2024.

- 2) Hori K: Mastication performance and behaviours in older people. タイシンポジウム, Belgrade, Jun6-7, 2024.
- 3) Hori K: Oral hypofunction in older people, Lecture in University of Indonesia, Jakarta, 2025/2/18
- 4) Hori K: Oral hypofunction in older people, The 13th International Scientific Meeting in Dentistry/ The 9th International Conference on Biophysical Technology (ICoBTD) 2025, Makassar, 2025/2/20
- 5) Hori K: Maxillofacial Prosthodontics in Niigata university, The 13th International Scientific Meeting in Dentistry/ The 9th International Conference on Biophysical Technology (ICoBTD) 2025, Makassar, 2025/2/22
- 6) 堀 一浩: 口腔機能をスキャンする. 令和 6 年度新潟歯学会第 1 回例会, 新潟市, 2024/7/13, 2024
- 7) 堀 一浩: bitescan による“噛む”をはかり、気づき、行動を変える取り組み. 日本咀嚼学会第35回学術大会, 市川市, 2024/9/14, 2024
- 8) 吉村将悟, 杉本大輔: リアルワールドエビデンス生成のための合成患者データの可能性. 第72回顎口腔機能学会受賞者シンポジウム, 日本顎口腔機能学会第72回学術大会, 東京, 2024/12/14
- 9) 長谷川陽子: 「Minds診療ガイドライン作成マニュアル」を活用した歯科領域における診療ガイドライン作成の実際 -軟質リライン材によるリラインのガイドライン 2023-. 公益財団法人日本医療機能評価機構第26回診療ガイドライン作成に関する意見交換会, オンライン, 2024年2月.
- 10) 長谷川陽子: 咀嚼と栄養の科学: 歯科の視点から. 令和 5 年度日本補綴歯科学会関西支部学術大会生涯学習公開セミナー, 大阪, 2024 年 1 月.

【学会発表】

- 1) Takano H, Khaing AMM, Murakami K, Sato N, Hori K: Masticatory behaviours change after prosthodontic treatment with dentures: a pilot study. 34th Annual Congress of the European College of Gerodontology, Belgrade, Jun6-7, 2024, ABSTRACT BOOK:43-44, 2024.
- 2) Yasuno A, Murakami K, Okawa J, Hori K: The influence of the hardness of gummy jelly and the maximum occlusal force of the individuals on the muscle activity タイシンポジウム, Belgrade, Jun6-7, 2024.

- 3) Yamada K, Okawa J, Maria M T S, Khaing AMM, Thu Ya M, Ono T, Hori K: Effect of difference in aroma content of gummy jelly on swallowing threshold タイシンポジウム, Belgrade, Jun6-7, 2024.
- 4) Murakami K, Shirotori S, Yamada K, Werdiningsih M, Khaing AMM, Weng EC, Sakata M, Yasuno A, Thu Ya M, Maria M T S, Takano H, Hori K: High maximum occlusal force affects frequency of denture adjustment. 34th Annual Congress of the European College of Gerodontology, Belgrade, Jun 7, 2024.
- 5) Marito P, Murakami K, Werdiningsih M, Kusdhany L, Indrasari M, Ono T, Hori K: Improvement of Food Comminution at Swallowing Threshold after Prosthodontic Treatment. Joint 38th Annual Scientific Meeting IADR-SEA Division, Melaka, 2024/11/29.
- 6) Khaing AMM, Murakami K, Takano H, Hori K: Detailed evaluation of masticatory performance by photographic image analysis. Joint 38th Annual Scientific Meeting IADR-SEA Division, Melaka, 2024/11/29.
- 7) Werdiningsih M, Okawa J, Kishimoto N, Yoshimura S, Hori S, Khaing AMM, Yasuno A, Yamada K, Weng EnChih, Thu Ya M, Nakada H, Suganuma Y, Hori K: Relationship between masticatory function, nutritional status, and sarcopenia in community-dwelling older people, The 13th International Scientific Meeting in Dentistry/ The 9th International Conference on Biophysical Technology (ICoBTD) 2025, Makassar, 2025/2/21
- 8) Marito P, Murakami K, Werdiningsih M, Kusdhany L, Indrasari M, Ono T, Hori K: Improvement of Food Comminution at Swallowing Threshold after Prosthodontic Treatment. The 13th International Scientific Meeting in Dentistry/ The 9th International Conference on Biophysical Technology (ICoBTD) 2025, Makassar, 2025/2/21
- 9) Maria M T S, Hasegawa Y, Yoshimura S, Miyazaki Y, Takehara R, Suzuki T, Hori K, Ono Y, Yamamura K, Ono T: Cognitive Function-Related Changes Due to Masticatory Behavior Modification: Two Randomized Controlled Studies by Age. 102nd General Session & Exhibition of the IADR, New Orleans, USA, March 2024.
- 10) Maria M T S, Hasegawa Y, Yoshimura S, Miyazaki Y, Takehara R, Suzuki T, Hori K, Ono Y, Yamamura K, Ono T: Cognitive Function-Related Changes Due to Masticatory Behavior Modification: Two Randomized Controlled Studies by Age. Alzheimer's and Parkinson's Diseases conference 2024, Lisbon, Portugal, March 2024.
- 11) Hasegawa Y, Yoshimura S, Suzuki T, Shiramizu M, Maria M T S, Yamamura K, Ono Y, Ono T: Effects of Emotional Changes in Brain Neural Activity in Relation to Food Intake. Alzheimer's and Parkinson's Diseases conference 2024, Lisbon, Portugal, March 2024.
- 12) 翁 恩慈、善本 佑、長谷川 陽子、Ma. Therese Sta. Maria、佐藤 直子、徳本 佳奈、堀 一浩、新村 健：地域在住高齢者の嚥下機能低下がフレイルに及ぼす影響：前向きコホート研究，日本老年歯科医学会第35回学術大会，札幌市，2024年6月29日，2024.
- 13) 白鳥 昇，長谷川陽子，徳本佳奈，吉村将悟，堀 一浩，新村 健：高齢者の肥満関連疾患の発症に歯数は関連するのか？日本老年歯科医学会第35回学術大会，札幌市，2024年6月29日，2024.
- 14) 安野綾夏，村上和裕，大川純平，堀 一浩：グミの硬さと対象者の最大咬合力が咀嚼動態に与える影響，日本老年歯科医学会第35回学術大会，札幌市，2024年6月30日，2024.
- 15) 山田果歩，大川純平，Ma Therese Sta. Maria, Aye Mya Mya Khaing, Min Thu Ya, 小野高裕，堀 一浩：グミゼリー摂取時において香料含有量の違いが嚥下関に与える影響 日本顎口腔機能学会 第71回 学術大会，吹田市，2024年4月13日，2024
- 16) Maria M T S, Hasegawa Y, Yoshimura S, Sakata M, Hori K, Yamamura K, Ono T: 咀嚼行動の変化が認知機能と皮質活動に及ぼす影響の調査：年齢別の2つのランダム化比較試験. 第57回新潟歯学会総会，新潟市，2024年4月13日，2024
- 17) Marito P, Murakami K, Werdiningsih M, Ono T, Hori K: Improvement of oral functions and comminution of food at swallowing threshold due to newly removable denture fabrication. 新潟市，第57回新潟歯学会総会，2024年4月13日，2024
- 18) 坂田政貴，長谷川陽子，阪上 穰，白水雅子，堀 一浩，小野高裕 ガム咀嚼時における脳皮質血流量に香りが及ぼす影響. 日本補綴歯科学会第133回学術大会，千葉市，2024年7月7日，2024.
- 19) 岸本奈月，村上和裕，吉村将悟，上原文子，堀 頌子，善本 佑，翁 恩慈，白鳥 昇，安野綾夏，堀 一浩. CADを用いた排列シミュレーションが全部床義歯製作実習の技能教育に与える効果 日本補綴歯科学会第133回学術大会，千葉市，2024年7月7日，2024.
- 20) 善本 佑，長谷川陽子，兒玉匠平，大川純平，翁 恩慈，堀 頌子，高野日南子，岸本奈月，坂田政貴，山田果歩，Ma. Therese Sta. Maria, Min Thu Ya, 堀 一浩，部分床義歯実習の評価における3Dデー

タ活用についての検討. 日本補綴歯科学会第133回学術大会, 千葉市, 2024年7月7日, 2024.

- 21) 佐藤 理加子, 天埜皓太, 多田 瑛, 水谷早貴, 大塚あつ子, 木村将典, 松本恭一, 堀 一浩, 谷口裕重. 気泡含有とろみ液体が嚥下機能に与える影響. 第30回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 福岡市, 2024年8月30日
- 22) 重本心平, 堀 一浩, 大溝 裕, 遠藤克哉, 穴澤智恵, 大川純平, 小野高裕, 宮島 久: 大腿骨折術後高齢者における術後肺炎に関連する因子. 第30回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 福岡市, 2024年8月30日
- 23) 翁 恩慈, 佐藤直子, 高野日南子, 岸本奈月, 安野綾夏, 山田果歩, 堀 一浩: 食事介助時に食物を向ける方向が、食物取り込み時の被介助者の挙動と視線に与える影響. 日本咀嚼学会第35回学術大会, 市川市, 2024/9/14, 2024
- 24) Werdiningsih M, Okawa J, Kishimoto N, Yoshimura S, Hori S, Khaing AMM, Yasuno A, Yamada K, Weng EnChih, Thu Ya M, Nakada H, Suganuma Y, Hori K: Relationship between masticatory function, nutritional status, and sarcopenia in community-dwelling older people 日本咀嚼学会第35回学術大会, 市川市, 2024/9/14.
- 25) 中西尋子, 北村真理, 高野日南子, 谷村基樹, 堀一浩, 幼児の望ましい咀嚼行動の形成を目指した食育プログラムの有効, 日本咀嚼学会第35回学術大会, 市川市, 2024/9/14, 2024
- 26) 船見孝博, 中馬 誠, 石原清香, 神山かおる, 小野高裕, 堀 一浩, 西成 勝好. ヒトの摂食メカニズムを考慮した力学測定およびヒト生理計測による食品テクスチャーの評価と加工食品の製品デザイン. 日本食品科学工学会2024年度関西支部大会, 大阪市, 2024/11/16
- 27) Suzuki Y, Shibata A, Hori K, Higashimori M. Robotic Mastication Simulator That Can Reproduce Food Bolus Formation. 2024 SICE Festival 2024 with Annual Conference, 高知市, 2024年8月30日, 2024.
- 28) 児玉匠平: 上顎両側犬歯の2次齲蝕に対しアンテリアガイダンスを再構築し咬合回復を行った症例. 令和6年度 日本補綴歯科学会 関越支部学術大会, 宇都宮, 2024年12月15日, 日本補綴歯科学会誌 16巻 関越支部学術大会特別号: 11頁, 2024
- 29) 上原文子: 上口唇部分欠損による審美障害に対し, 顎義歯と連結するエビテーゼを製作した1例. 令和6年度 第41回一般社団法人日本顎顔面補綴学会総会・学術大会, 博多市, 2024年11月30

日, 12月1日

- 30) Thu Ya M, Hasegawa Y, Maria M T S, Tokumoto K, Hori K: Relationship between oral health and cognitive function in older adults: a longitudinal study. 日本補綴歯科学会第133回学術大会/The 14th Biennial Congress of the Asian Academy of Prosthodontics (AAP), 千葉市, 2024年7月7日, 2024.
- 31) Maria M T S, 長谷川陽子, 吉村将悟, 宮崎透奈, 鈴木達也, 堀一浩, 小野弓絵, 山村健介, 小野高裕: The influence of masticatory behavior on cognition. 第47回日本嚥下医学会総会, 新潟, 2024年2月.

【受賞】

- 1) 善本 佑: Effect of mandibular bilateral distal extension denture design on masticatory performance. 日本補綴歯科学会優秀論文賞「奨励論文賞」, 2024年7月5日.
- 2) 大川純平: Developing tongue coating status assessment using image recognition with deep learning, 日本補綴歯科学会優秀論文賞「奨励論文賞」, 2024年7月5日.
- 3) Takano H: Masticatory behaviours change after prosthodontic treatment with dentures: a pilot study. REWARD FOR THE BEST ORIGINAL RESEARCH, Jun6-7, 2024.
- 4) Thu Ya M, Hasegawa Y, Maria M T S, Tokumoto K, Hori K: Relationship between oral health and cognitive function in older adults: a longitudinal study. 公益社団法人 日本補綴歯科学会 Shiau-ROC TAIWAN AWARD 2024年7月6日.
- 5) 岸本奈月, 村上和裕, 吉村将悟, 上原文子, 堀 頌子, 善本 佑, 翁 恩慈, 白鳥 昇, 安野綾夏, 堀 一浩: CAD を用いた排列シミュレーションが全部床義歯製作実習の技能教育に与える効果, 公益社団法人 日本補綴歯科学会 優秀ポスター賞 (カボデンタル賞) 2024年7月7日.
- 6) Suzuki Y, Shibata A, Hori K, Higashimori M: Robotic Mastication Simulator That Can Reproduce Food Bolus Formation. SICE Annual Conference International Award, 2024 SICE Festival 2024 with Annual Conference, 2024年8月30日, 2024.
- 7) Werdiningsih M, Okawa J, Kishimoto N, Yoshimura S, Hori S, Khaing AMM, Yasuno A, Yamada K, Weng EnChih, Thu Ya M, Nakada H, Suganuma Y, Hori K: Relationship between masticatory function, nutritional status, and sarcopenia in community-dwelling older people, 1st winner of original research category, The 13th International Scientific Meeting in Dentistry/ The

9th International Conference on Biophysical Technology (ICoBTD) 2025, Makassar, 2025/2/21

- 8) Marito P, Murakami K, Werdiningsih M, Kusdhany L, Indrasari M, Ono T, Hori K: Improvement of Food Comminution at Swallowing Threshold after Prosthodontic Treatment. 4th winner of original research category, The 13th International Scientific Meeting in Dentistry/ The 9th International Conference on Biophysical Technology (ICoBTD) 2025, Makassar, 2025/2/21

【その他】

- 1) 村上和裕: 昭和大学学士会講演セミナー 2024年5月23日
- 2) 堀 一浩: 兵庫県歯科医師会 2024年7月21日
- 3) 大川純平: MATLAB って知ってる? -MATLAB を活用した研究事例 最前線-, MATLAB ユーザー交流会 (新潟大学. 2024年12月9日)
- 4) 大川純平: 第13回顎口腔機能セミナー, MATLAB から始めるプログラミング. 2024年9月20日
- 5) 長谷川陽子: お口から始めるフレイル予防 ~健康長寿への第一歩~. 2024年丹波篠山市 兵庫医科大学市民公開講座. 2025年3月20日

組織再建口腔外科学分野

【著 書】

- 1) 小林正治: 第8章顎関節 IV 臨床的考察. 口腔組織・発生学第3版(編集: 前田健康、網塚憲生、中村浩彰), 182-184, 医歯薬出版, 東京, 2024年1月10日.
- 2) 小林正治: 第6章炎症. 標準口腔外科学第5版(監修: 内山健志、近藤壽朗, 編集: 片倉朗・中嶋正博・里見貴史), 192-216, 医学書院, 東京, 2024年03月31日.

【論文】国際→国内 旧→新

- 1) Naito E, Igawa K, Takada S, Haga K, Yortchan W, Suebsamarn O, Kobayashi R, Yamazaki M, Tanuma J, Hamano T, Shimokawa T, Tomihara K, Izumi K: The effects of carbon-ion beam irradiation on three-dimensional in vitro models of normal oral mucosa and oral cancer: development of a novel tool to evaluate cancer therapy. *In Vitro Cellular & Developmental Biology – Animal*. 60, 10, 1184-1199, 2024.
- 2) Zheng Z, Hasebe D, Suda D, Saito N, Saito D, Nihara J,

Nohno K, Saito I, Kobayashi T. Investigation of orthognathic surgery indicators-combination with index of orthognathic functional treatment needs (IOFTN) and maxillofacial morphometric analysis. *Oral Maxillofac Surg*. 28(3):1189-1196, 2024.

- 3) Aizawa Y, Haga K, Yoshiba N, Yortchan W, Takada S, Tanaka R, Naito E, Abé T, Maruyama S, Yamazaki M, Tanuma J, Igawa K, Tomihara K, Togo S, Izumi K: Development and Characterization of a Three-Dimensional Organotypic In Vitro Oral Cancer Model with Four Co-Cultured Cell Types, Including Patient-Derived Cancer-Associated Fibroblasts. *Biomedicine* 12, 2373, 2024.
- 4) Haga K: Construction of oral cancer microenvironment model using 3D culture technology and search for new therapeutic targets. *Impact* 2, 20-21, 2024.
- 5) Zheng Z, Takeuchi R, Suda D, Saito D, Hasebe D, Kobayashi T. Dentoalveolar distraction osteogenesis combined with surgical orthodontic treatment for a patient with jaw deformity and ankylosed maxillary canine – A case report. *J Oral Maxillofac Surg Med Pathol*, 37(1): 130-134, 2025.
- 6) Maung MM, Hasebe D, Kasahara M, Zheng Z, Takeuchi R, Sakuma H, Saito D, Kobayashi T. Stability after maxillary setback by horseshoe Le Fort I osteotomy in skeletal class II cases. *Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology*, 37(1): 36-41, 2025.
- 7) Zheng Z, Saito D, Hasebe D, Funayama A, Nihara J, Kobayashi T. Three-dimensional evaluation of maxillofacial symmetry improvement following orthognathic surgery in patients with asymmetrical jaw deformities. *Oral Maxillofac Surg*. 29(1): 8, 2024.
- 8) Nozawa-Kobayashi M, Sakuma H, Kanemaru H, Kurokawa A, Soga M, Yamashita M, Niimi K, Kobayashi T: Survey of the association between tooth extraction and development of medication-related osteonecrosis of the jaw in patients undergoing cancer treatment with bone-modifying agents. *Oral maxillofacial surg*. 29(8), 2024.
- 9) Hayakawa R, Hasebe D, Kasahara M, Haga K, Asami E, Takeuchi R, Saito N, Saito D, Sakuma H, Kobayashi T. Satisfaction questionnaire survey after surgical orthodontic treatment in patients with jaw deformities. *J Oral Maxillofac Surg Med Pathol*. 37(3):420-426, 2025.
- 10) Kasahara M, Hasebe D, Suda D, Sakuma H, Saito N, Saito D, Nihara J, Kobayashi T. Stability of the maxilla and mandible in patients with dentofacial deformities after multi-segmental Le Fort I osteotomy combined

with sagittal split ramus osteotomy. J Oral Maxillofac Surg Med Pathol. 37(3):475-479, 2025.

- 11) 齋藤大輔, 須田大亮, 竹内涼子, 原 太一, 長谷部大地, 小林正治: 著明な下顎隆起が発症一因と考えられた重症閉塞性睡眠時無呼吸症の1例. 睡眠口腔医学 11(1):19-23, 2024.
- 12) 須田大亮, 船山昭典, 新美奏恵, 佐久間英伸, 齋藤大輔, 林 孝文, 丸山 智, 田沼順一, 小林正治: 下顎歯肉への転移を契機に診断に至った腭癌の1例. 日本口腔腫瘍学会誌 36 卷(4 号): 89-95, 2024.
- 13) 加納浩之, 加藤祐介, 小林正治, 丸山 智. メトトレキサート関連リンパ増殖性疾患により顎骨壊死をきたした関節リウマチ患者の1例. 新潟歯学会誌 54(2):15-21, 2024.

【商業誌】

- 1) 羽賀健太: 3次元培養モデルにおけるがん関連線維芽細胞の機能解析. Precision Medicine 7, 3, 76-78 2024.
- 2) 小林正治. 気道に配慮した外科的矯正治療. ザ・クインテッセンス別冊臨床科のための矯正 YEAR BOOK2024, 122-125, 2024.

【科研費獲得】

- 1) 葭原明弘, 杉田典子, 宮本 茜, 諏訪間加奈, 新美奏恵: 口腔および口蓋扁桃マイクロバイオームが慢性腎臓病に及ぼす包括的メカニズムの解明. 科学研究費助成事業「基金」 基盤研究 (C) , 22K10337, 2024.
- 2) 新美奏恵, 葭原明弘, 隅田好美: がん薬物療法を受ける患者の口腔環境, 口腔細菌叢と QOL の関連性の解明. 科学研究費助成事業「基金」 基盤研究 (C) , 23K09455, 2024.
- 3) 新美奏恵, 猪又孝元: 新潟市における病床機能、役割分担の解明と医療提供体制の検討. 令和6年度新潟市医師会地域医療研究助成, GC04520241, 2024.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) Haga K, Funayama A, Saito N, Hasebe D, Saito D, Sakuma H, Suda D, Takeuchi R, Hayashi T, Tanuma J, Kobayashi T: Computer-assisted surgery in mandibular reconstruction and a patient-specific mandibular reconstruction plate. International Collaborative Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment, Bangkok, June 1, 2024, Program book P1-12, p90, 2024.
- 2) Ryoko TAKEUCHI: Impact of velopharyngeal function and skeletal stability after orthognathic surgery in cleft

palate patients. International Collaborative Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment, Bangkok, 2024.5.31. Program p.41, 2024.

- 3) 齋藤大輔: 三次元シミュレーションと超音波骨切削機器を用いた顎矯正手術 (ビデオレクチャー). 第69回日本口腔外科学会総会・学術大会, 横浜, 2024年11月22日~2025年1月31日

【学会発表】

- 1) 船山昭典, 三上俊彦, 羽賀健太, 新美奏恵, 齋藤大輔, 須田大亮, 竹内涼子, 佐久間英伸, 小林正治: 75歳以上の後期高齢者口腔扁平上皮癌の臨床的検討. 第42回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会. 札幌, 2024年1月25, 26日.
- 2) 佐久間英伸, 金丸博子, 黒川亮, 曾我麻里恵, 山下萌, 新美奏恵, 小林正治: グルココルチコイド誘発性骨粗鬆症に対する骨修飾薬投与後の薬剤関連顎骨壊死の発症状況. 第33回日本有病者歯科医療学会 総会・学術大会, 新潟, 2024年3月8日-10日, 同学術集会プログラム, 2024
- 3) 黒川亮, 金丸博子, 曾我麻里恵, 山下萌, 新美奏, 田中恵子, 石山茉佑佳, 富原圭, 佐久間英伸, 小林正治: ステロイド療法中に象牙質知覚過敏様疼痛が出現した20例についての臨床的検討. 第33回日本有病者歯科医療学会 総会・学術大会, 新潟, 2024年3月8日-10日, 同学術集会プログラム, 2024
- 4) 加藤祐介, 加納浩之: 当科における周術期等口腔機能管理の臨床統計的検討. 第21回日本口腔ケア学会・学術大会, 東京, 2024年4月27-28日, 日本口腔ケア学会雑誌 18(3): 143 頁, 2024.
- 5) 市川佳弥, 丹原 惇, 寺田愛希, 井村真美, 宮田昌幸, 若槻華子, 大湊 麗, 児玉泰光, 小林亮太, 新美奏恵, 齋藤大輔, 小林正治, 齋藤 功: 片側性唇顎口蓋裂患者における上顎歯列弓形態への PNAM 治療の影響 5歳児を対象として. 第48回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 名古屋市, 2024年5月30-31日, 日本口蓋裂学会雑誌 49 (2) 138, 2024.
- 6) 竹内涼子, 須田大亮, 齋藤直朗, 齋藤大輔, 佐久間英伸, 長谷部大地, 竹山雅規, 小林正治: 骨性癒着した上顎犬歯を有する顎変形症患者に歯槽骨延長術を組み合わせた外科的矯正治療を施行した1例. 第34回日本顎変形症学会総会・学術大会, 東京, 2024年6月28日. 日本顎変形症学会雑誌 第34巻第2号 抄録号:116 頁, 2024.
- 7) ミョーマウンマウン, 齋藤大輔, 竹内涼子, 羽賀健太, 長谷部大地, 船山昭典, 丹原惇, 新美奏恵, 小林正治: Three-dimensional evaluation of cranio-

- maxillofacial morphological asymmetry in patients with jaw deformities. 第 34 回日本顎変形症学会総会・学術大会, 東京, 2024 年 6 月 27,28 日, 日変形誌 34(2),123 頁, 2024.
- 8) 大澤知朗、丹原 惇、西山秀昌、高橋功次朗、大森裕子、新 ちひろ、齋藤大輔、富原 圭、小林 正治、齋藤 功. 骨格性下顎前突症患者における下顎骨の偏位様相と上顎咬合平面傾斜との関係について. 顎変形症学会 2024
 - 9) 須田 大亮、船山 昭典、佐久間 英伸、齋藤 大輔、羽賀 健太、林 孝文、丸山 智、田沼 順一、小林 正治: 広範な骨膜反応を呈した非細菌性下顎骨骨髓炎の 1 例. 第 62 回日本口腔科学会北日本地方部会・第 50 回日本口腔外科学会北日本支部学術集会, 旭川, 2024 年 7 月 6 日-7 日, プログラム抄録集 63 頁, 2024.
 - 10) 早川里佳、長谷部大地、笠原公輝、羽賀健太、浅見栄里、竹内涼子、齋藤直朗、齋藤大輔、佐久間 英伸、小林正治: 当科における顎変形症患者に対する外科的矯正治療後のアンケート調査. 第 78 回日本口腔科学会学術集会, 東京, 2024 年 7 月 19-21 日, 日口科誌 73(1), 31 頁, 2024
 - 11) 船山昭典、竹内涼子、齋藤大輔、須田大亮、羽賀健太、西山秀昌、林孝文、山崎学、田沼順一、小林正治: 下顎歯肉癌を発症した Bloom 症候群の 1 例. 第 78 回 NPO 法人日本口腔科学会, 東京, 2024 年 7 月 19-21 日.
 - 12) ミョーマウンマウン、竹内涼子、羽賀健太、須田大亮、齋藤直朗、齋藤大輔、佐久間英伸、長谷部大地、小林正治: 咬合接触検査とウェアラブルデバイスによる咀嚼検査を活用した顎変形症患者における咀嚼行動の評価. 第 78 回日本口腔科学会学術集会, 東京, 2024 年 7 月 19-21 日, 日口科誌 73(1), 216 頁, 2024.
 - 13) 羽賀健太、相澤有香、山崎学、丸山智、阿部達也、船山昭典、小林正治、田沼順一: 3 次元培養技術を用いた口腔がん微小環境モデルの構築. 第 35 回日本臨床口腔病理学会総会・学術集会, 新潟, 2027 年 7 月 31 日, 抄録集 P-12, 69 項, 2024.
 - 14) 竹内涼子、竹山雅規、齋藤大輔、佐久間英伸、長谷部大地、小林正治: 骨性癒着した上顎犬歯を有する顎変形症患者に歯槽骨延長術と外科的矯正治療を施行した 1 例. 関東形成外科学会 第 116 回新潟地方会, 新潟, 2024 年 8 月 2 日. プログラム:2 頁, 2024.
 - 15) 小田島あゆ子、柴田由美、木村有子、船山昭典、新美奏恵、三上俊彦、原田由香、高橋浩二、小林正治、隅田好美: 高齢口腔がん患者における QOL およびフレイルの関連. 日本歯科衛生学会第 19 回学術大会, 新潟市, 2024 年 9 月 21-23 日、日本歯科衛生学会雑誌 19 (1) 66, 2024.
 - 16) 竹内涼子、羽賀健太、須田大亮、齋藤大輔、佐久間英伸、船山昭典、新美奏恵、小林正治: 根管充填剤の逸出が起因した上顎洞アスペルギルス症の 1 例. 第 37 回日本口腔診断学会 第 34 回日本口腔内科学会 合同学術集会, 長野, 2024 年 9 月 29 日. プログラム:26 頁, 2024.
 - 17) 青柳友美、井淵慎弥、加藤祐介、松原ちえみ、加納浩之: 当院における骨吸収抑制薬剤開始前の口腔内精査依頼について. 第 26 回日本骨粗鬆症学会, 石川, 2024 年 10 月 11-13 日, 日本骨粗鬆症学会雑誌 10: 690 頁, 2024.
 - 18) 笠原公輝、須田大亮、竹内涼子、齋藤直朗、船山昭典、小林正治: 副甲状腺ホルモン製剤間歇的投与はラット下顎骨延長モデルにおける下顎頭吸収を抑制する. 令和 6 年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟, 2024 年 11 月 2 日, 新潟歯学会雑誌 54(2): 40 頁, 2024.
 - 19) Myo Maung Maung, Ryoko Takeuchi, Kenta Haga, Daisuke Saito, Hidenobu Sakuma, Daichi Hasebe1, Jun Nihara and Tadaharu Kobayashi. Effects of surgical orthodontic treatment on masticatory behavior of patients with jaw deformities measured by wearable device. 令和 6 年度新潟歯学会第 2 回例会 令和 6 年 11 月 2 日
 - 20) 福井智子、加藤祐介、小林正治、丸山 智、加納浩之. 歯科インプラント治療のための上顎洞底挙上術術後に発症した surgical ciliated cyst の 1 例. 令和 6 年度新潟歯学会第 2 回例会 令和 6 年 11 月 2 日
 - 21) 加納浩之、加藤祐介、小林正治、丸山 智. メトトレキサート関連リンパ増殖性疾患により顎骨壊死をきたした関節リウマチ患者の 1 例. 令和 6 年度新潟歯学会第 2 回例会 令和 6 年 11 月 2 日
 - 22) 長谷部大地、須田大亮、齋藤大輔、岩崎智憲、小林正治: 上気道流体シミュレーションを用いた骨格性 III 級患者における顎矯正手術に伴う鼻咽腔気道の変化. 第 23 回日本睡眠歯科学会総会・学術集会, 徳島, 2024 年 11 月 3,4 日, 睡眠口腔医学 11, 90 頁, 2024.
 - 23) 長谷部大地、齋藤直朗、齋藤大輔、佐久間英伸、船山昭典、小林正治: 外科的矯正治療後の満足度アンケート調査. 関東形成外科学会第 117 回新潟地方会, 新潟, 2024 年 11 月 8 日.
 - 24) 浅見栄里、清水まや、倉部華奈、小島拓: 側頭隙まで波及し再燃を繰り返した下顎骨骨髓炎の 1 例. 第 41 回 2024 年度アルペン口腔科学フォーラム, 富山, 2024 年 11 月 16 日, 同学術集会プログラム・抄録集: 1 頁, 2024.

- 25) 齋藤直朗, 長谷部大地, 大澤知朗, 佐久間英伸, 須田大亮, 齋藤大輔, 丹原惇, 小林正治: 短根を伴う歯槽性上顎前突症に対して上顎中切歯部歯槽骨切り術を施行した1例: 第69回日本口腔外科学会学術大会, 横浜, 2024年11月22-24日, 日本口腔外科学会誌70(プログラム集): 95頁, 2024.
- 26) 竹内涼子, 羽賀健太, 須田大亮, 齋藤直朗, 齋藤大輔, 佐久間英伸, 長谷部大地, 船山昭典, 新美奏恵, 小林正治: 口蓋裂患者の顎矯正手術における手術計画立案と術後言語機能に及ぼす影響について. 第69回日本口腔外科学会総会・学術大会, 神奈川, 2024年11月22日. プログラム:95頁, 2024.
- 27) 笠原公輝, 須田大亮, 竹内涼子, 齋藤直朗, 船山昭典, 小林正治: ラット下顎骨延長モデルにおける副甲状腺ホルモン製剤間歇投与の下顎頭吸収抑制効果. 第69回日本口腔外科学会学術大会, 横浜, 2024年11月22-24日, 日本口腔外科学会誌70(プログラム集): 102頁, 2024.
- 28) Myo Maung Maung, Ryoko Takeuchi, Kenta Haga, Daisuke Suda, Naoaki Saito, Daisuke Saito, Hidenobu Sakuma, Daichi Hasebe, Tadaharu Kobayashi. Effect of Orthognathic Surgery on Masticatory Behavior using wearable device. IADR-SEA (Malaysia), Nov 28-30th 2024.

【研究会発表】

- 1) Ryoko TAKEUCHI: The overview of preoperative planning and postoperative evaluation for orthognathic surgery in our department Influence of orthognathic surgery on velopharyngeal function in patients with cleft palate. The 14th Joint Scientific Meeting of NAOMS and JSOMS and PG Convention, Nepal, 2024.2.3. Program p.1, 2024.
- 2) 小林正治: 顎変形症患者のクオリティ・オブ・ライフの向上を目指して. 第92回新潟口腔外科麻酔科集談会, 2024年5月23日.
- 3) 小林雅: 乳女兒に生じた先天性エプーリスの1例. 第93回新潟口腔外科・麻酔科集談会, 新潟, 2024年11月14日.
- 4) 羽賀健太: がん微小環境で生じる腫瘍と間質との相互作用および浸潤促進機構の解明. 歯学研究を明るく楽しむ交流会・歯科領域でのAI活用の検討会 静岡, 2024年12月1日, プログラム4項, 2024.

【特許出願・特許取得】

- 1) 井川和代, 泉 健次, 羽賀健太, 内藤絵里子. がん治療法の有効性を評価するための方法、キット、構造物及び使用. 特開 2024-016451

【受賞】

- 1) 早川里佳. 顎変形症患者に対する外科的矯正治療後のアンケート調査. 日本口腔科学会 2023 年新人賞, 2024 年 7 月 20 日
- 2) 羽賀健太: 3 次元培養技術を用いた口腔がん微小環境モデルの構築. 第 35 回日本臨床口腔病理学会総会・学術集会 優秀ポスター賞, 2024 年 7 月 31 日
- 3) Myo Maung Maung. Effect of Orthognathic Surgery on Masticatory Behavior using wearable device. IADR-SEA Research Category award for Oral Medicine and Maxillofacial Surgery Research, Nov 28-30th 2024.

【その他】

- 1) 齋藤大輔: 患者満足度の高い顎矯正手術を目指して. 第 34 回日本顎変形症学会 (ランチョンセミナー), 東京, 2024 年 6 月 27 日
- 2) 加藤祐介: 薬剤関連顎骨壊死を含む顎骨周囲の感染症に対する対応. 十日町中魚沼郡歯科医師会 講演会, 新潟, 2024 年 12 月 7 日

顎顔面放射線学分野

【著書】

- 1) 林 孝文: 超音波検査(超音波診断), 新編 顎関節症 第3版 (一般社団法人日本顎関節学会 [編]), 92-93 頁, 永末書店, 東京, 2024.
- 2) 林 孝文: 基礎編 頭頸部エコーの基礎知識 1 頭頸部の部位ごとの解剖とエコー像②口腔 (pp11-14), 2 頭頸部の部位ごとの主要な疾患②口腔 (pp25-26), 実践編 A 口腔の診療 4 歯肉がん (pp55-60) 5 歯原性良性腫瘍 (pp61-63). 頭頸部診療とことんエコー活用術 (古川まどか 編), 診断と治療社, 東京, 2025 年.
- 3) 林 孝文: 画像解剖学. 口腔解剖学第3版 (前田健康, 天野 修, 阿部伸一, 馬場麻人 編), 240-255, 医歯薬出版, 東京, 2025.

【論文】

- 1) Nikkuni Y, Nishiyama H, Hayashi T: Prediction of histological grade of oral squamous cell carcinoma using machine learning models applied to 18F-FDG-PET radiomics. Biomedicines 12(7):1411, 2024.
- 2) kamoto H, Sakuramachi M, Yatsuoka W, Ueno T, Katsura K, Murakami N, Nakamura S, Iijima K, Chiba T, Nakayama H: A novel method for determining dose distribution on panoramic reconstruction computed

tomography images from radiotherapy computed tomography. Imaging Sci Dent 54, 2024.

- 3) Hayashi-Sakai S, Nishiyama H, Hayashi T, Sakai J, Shimomura-Kuroki J: Deep learning with convolution neural network detecting mesiodens on panoramic radiographs: comparing four models. Odontology, 2024.
- 4) Sakai Y, Katsura K, Kotake M, Toyama A: A Cross-Sectional Survey of Oral Adverse Events and Oral Management Needs in Outpatients Receiving Cancer Drug Therapy. Cancers.cancer 17(4) 641, 2025
- 5) 吉田謙介, 渡邊真一, 星野直人, 朴 塵純, 飛鷹範明, 金野 昇, 中井昌紀, 安藤智七美, 矢吹 剛, 鈴木直人, 勝良剛詞, 富原 圭, 外山 聡: 頭頸部化学放射線療法の口腔粘膜炎対策における含嗽薬とジメチルイソプロピルアズレン軟膏の併用効果に関する検討ー多施設共同事後解析研究ー. 口腔ケア学会雑誌 19(1): 17-23, 2024.
- 6) 須田大亮, 船山昭典, 新美奏恵, 佐久間英伸, 齋藤大輔, 林 孝文, 丸山 智, 田沼順一, 小林正治: 下顎歯肉への転移を契機に診断に至った腭癌の1例. 口腔腫瘍 36(4):89-95, 2024
- 7) 林 孝文, 新國 農, 西山秀昌: 頸部リンパ節腫脹の画像診断: 超音波診断を中心として. 日口外誌 70(2):42-48, 2024.
- 8) 勝良剛詞: 放射線治療に用いる口腔内装置. 日本歯科技工学会雑誌 45(1):19-22, 2024
- 9) 林 孝文: 口腔内超音波診断トレーニングのための模擬舌癌ファントムの試作. 新潟歯学会誌 54(1):37-41, 2024.

【商業誌】

- 1) 勝良剛詞: 第3回 研究での連携を円滑にする3つの心得. 歯科放射線科医から見た「がん口腔支持療法」ー令和時代の病院歯科を考えるー. 新聞 QUINT 4月号, 2024年.
- 2) 勝良剛詞: 第4回 シンプルかつ効果的な医歯薬連携の取り組み. ー令和時代の病院歯科を考えるー. 新聞 QUINT 5月号, 2024年.
- 3) 勝良剛詞: 頭頸部放射線治療における口腔支持療法と顎骨壊死 「日本がん口腔支持療法学会からの提言 ②」. 日本歯科新聞, 2024年.
- 4) 勝良剛詞: 第5回 頭頸部放射線治療後のう蝕管理. ー令和時代の病院歯科を考えるー. 新聞 QUINT 6月号, 2024年.
- 5) 勝良剛詞: 第6回 小児がん診療の難しさと口腔管理 (前編). 歯科放射線科医から見た「がん口腔支持療法」ー令和時代の病院歯科を考えるー. 新聞 QUINT 7月号, 2024年.
- 6) 勝良剛詞: 第7回 小児がん診療の難しさと口腔管理 (後編). 歯科放射線科医から見た「がん口腔支持療法」ー令和時代の病院歯科を考えるー. 新聞 QUINT 8月号, 2024年.
- 7) 勝良剛詞: 第8回 がん口腔支持療法の世界の最新トピックス. 歯科放射線科医から見た「がん口腔支持療法」ー令和時代の病院歯科を考えるー. 新聞 QUINT 9月号, 2024年.
- 8) 勝良剛詞: 第9回 放射線治療の特殊性と口腔支持療法の展望. 歯科放射線科医から見た「がん口腔支持療法」ー令和時代の病院歯科を考えるー. 新聞 QUINT 10月号, 2024年.
- 9) 勝良剛詞: 第10回 放射線治療用口腔内装置の有用性. 歯科放射線科医から見た「がん口腔支持療法」ー令和時代の病院歯科を考えるー. 新聞 QUINT 11月号, 2024年.
- 10) 勝良剛詞. 第11回 (最終回) チーム医療としての口腔支持療法. 歯科放射線科医から見た「がん口腔支持療法」ー令和時代の病院歯科を考えるー. 新聞 QUINT 12月号, 2024年.

【研究費獲得】

- 1) 池真樹子, 林 孝文, 新國 農: 筋評価が口腔機能低下症の診断に果たす役割: 舌超音波画像特徴量の探索と筋構造. 学術研究助成基金助成金 (基盤(C)), 24K13211, 2024.
- 2) 曾我麻里恵: 放射線性う蝕の発生リスク因子の特定と適正な歯科管理方法の構築. 学術研究助成基金助成金 (若手研究), 23K16111, 2024.
- 3) 小林太一: アーチファクトを低減した口腔内超音波走査用音響カップリング材の開発. 学術研究助成基金助成金 (若手研究), 23K16112, 2024.
- 4) 勝良剛詞: 歯の線量に着目した放射線う蝕のリスク因子解析およびリスク予測モデルの確立. 学術研究助成基金助成金 (基盤(C)), 23K09454, 2024.
- 5) 林 孝文, 小林太一: モバイルオーラルエコーによる舌癌深達度診断精度の多施設共同研究. 学術研究助成基金助成金 (基盤(C)), 21K10064, 2024.
- 6) 清水真弓, 林 孝文: IgG4 関連涙腺・唾液腺炎の診断基準への超音波診断導入のための多施設共同研究. 学術研究助成基金助成金 (基盤(C)), 21K10075, 2024.
- 7) 勝良剛詞, 曾我麻里恵: 放射線治療後の歯槽骨密度変化と線量との関係ー硬組織定量解析による放射線顎骨壊死のリスク予測の創出を目指してー. 一般社団法人日本歯科医学会連合 令和4年度研究課題, JDSF-FPC1-2022-01. 2024.
- 8) 前田健康, 佐々木啓一, 中村誠司, 斎藤隆史, 林 孝

文：ICTを活用した歯学生の評価手法確立のための研究。令和5年度厚生労働科学研究費補助金（地域医療基盤開発推進研究事業），23IA1901，2024。

【招待講演・シンポジウム】

- 1) 林 孝文，高村真貴，小林太一，新國 農：ポケットオーラルエコー®の開発。第78回NPO法人日本口腔科学会学術集会，東京，2024年7月19-21日，シンポジウム4 口腔癌の診断最前線。
- 2) 山崎知子，森 毅彦，妻木浩美，勝良剛詞，丹田奈緒子，江戸美奈子，長縄弥生，松田悠平，上野尚雄，百合草健圭志，光永幸代，渡邊真一，曾我賢彦：がん患者に口腔管理を円滑に提供できるようにするには医療DXをどのように応用するか。第62回日本癌治療学会学術集会，2024年10月24-26日，福岡，領域横断シンポジウム11. がん薬物療法患者に対する多職種アプローチ—チームによる横断的管理とDX時代における情報ケアのあり方—。
- 3) 林 孝文：—今、診断に必要なモダリティと基本的な知識—。第43回一般社団法人口腔腫瘍学会総会・学術大会，東京，2025年2月28日，シンポジウムこれからの口腔癌エキスパート教育。
- 4) 新國 農：口腔内USへのradiomics解析の最適化の試み。第43回一般社団法人口腔腫瘍学会総会・学術大会，東京，2025年2月28日，シンポジウム口腔内US×Radiomics。
- 5) 高村真貴：口腔内USで診断困難な症例に対するradiomics解析の有用性の検討。第43回一般社団法人口腔腫瘍学会総会・学術大会，東京，2025年2月28日，シンポジウム口腔内US×Radiomics。東京（一橋大学一橋講堂）。

【学会発表】

- 1) Nikkuni Y, Nishiyama H, Hayashi T : Evaluation focusing on the margins of cervical lymph nodes in CT radiomics machine learning models for preoperative prediction of their metastasis in oral squamous cell carcinoma. The 14th Asian Congress of Oral and Maxillo-Facial Radiology, Kaohsiung, Taiwan, 2024.
- 2) Hayashi T, Prakoeswa B, Takamura M, Kobayashi T, Nikkuni Y, Ike M, Katsura K, Nishiyama H : A prototype of simulated tongue cancer phantom for training of intraoral sonography. The 14th Asian Congress of Oral and Maxillo-Facial Radiology, Kaohsiung, Taiwan, 2024.
- 3) Sakuramachi M, Yatsuoka W, Ueno T, Katsura K, Igaki H : Findings from a web-based questionnaire survey of dentists at cancer treatment hospitals across Japan about management for osteoradionecrosis (Part 1). The

MASCC/AFSOS/ISOO 2024 Annual Meeting on Supportive Care in Cancer, Lille, France, 2024.

- 4) Yatsuoka W, Sakuramachi M, Ueno T, Katsura K, Igaki H : Findings from a web-based questionnaire survey of dentists at cancer treatment hospitals across Japan about management for osteoradionecrosis (Part 2). The MASCC/AFSOS/ISOO 2024 Annual Meeting on Supportive Care in Cancer, Lille, France, 2024.
- 5) 高村真貴，小林太一，新國 農，勝良剛詞，山崎 学，田沼順一，林 孝文：舌癌の発育様式が口腔内超音波診断に与える影響について。第41回新潟県臨床細胞学会，新潟市，2024。
- 6) 須田大亮，船山昭典，佐久間英伸，齋藤大輔，羽賀健太，林 孝文，丸山 智，田沼順一，小林正治：広範な骨膜反応を呈した非細菌性下顎骨骨髓炎の一例。第62回日本口腔科学会北日本地方部会・第50回日本口腔外科学会北日本支部学術集会，旭川市，2024。
- 7) 笠原 映，齋藤夕子，池田順行，新國 農，林 孝文，富原 圭：下顎埋伏智歯抜歯時に出血し、止血に難渋した広範な静脈奇形の1例。第62回日本口腔科学会北日本地方部会・第50回日本口腔外科学会北日本支部学術集会，旭川市，2024。
- 8) 船山昭典，竹内涼子，齋藤大輔，須田大亮，羽賀健太，西山秀昌，林 孝文，山崎 学，田沼順一，小林正治：下顎歯肉癌を発症した Bloom 症候群の1例。第78回NPO法人日本口腔科学会学術集会，東京，2024。
- 9) 小林太一，高村真貴，新國 農，池真樹子，勝良剛詞，西山秀昌，林 孝文：Autoencoder (AE)を用いた頸部領域リンパ節転移の超音波画像診断精度に対する検討。第78回NPO法人日本口腔科学会学術集会，東京，2024。
- 10) 高村真貴，小林太一，新國 農，勝良剛詞，山崎 学，田沼順一，林 孝文：口腔内超音波診断における舌癌のDOI計測に影響を与える因子の検討(第2報)。第78回NPO法人日本口腔科学会学術集会，東京，2024。
- 11) 金井爽海，齋藤夕子，山崎 学，新國 農，林 孝文，田沼順一，富原 圭：口蓋に生じた神経鞘腫の1例。第78回NPO法人日本口腔科学会学術集会，東京，2024。
- 12) 林 孝文，Prakoeswa Beshlina，高村真貴，小林太一，新國 農，池真樹子，勝良剛詞，西山秀昌：模擬舌癌ファントムによるポケットオーラルエコー®の評価。NPO法人日本歯科放射線学会第238回関東地方会・第43回北日本地方会・第31回合同地方会，新潟市，2024。

- 13) 西山秀昌, 丹原 惇, 秋葉陽介, 斎藤有吾, 小野和宏, 濃野 要, 林 孝文: 歯科における AI 関連授業の位置付けと方向性について. NPO 法人日本歯科放射線学会第 238 回関東地方会・第 43 回北日本地方会・第 31 回合同地方会, 新潟市, 2024.
- 14) 曾我麻里恵, 金丸博子, 勝良剛詞, 高橋剛史, 黒川亮, 山下 萌, 笹川花梨, 善本 佑, 大内章嗣, 林孝文: 下顎骨放射線骨壊死部に下顎歯肉癌を生じた 1 症例. NPO 法人日本歯科放射線学会第 5 回秋季学術大会, 盛岡市, 2024.
- 15) 西山秀昌, 池 真樹子, 新國 農, 丹原 惇, 秋葉陽介, 斎藤有吾, 小野和宏, 濃野 要, 林 孝文: 歯学教育における AI 関連の諸問題をどのように扱うべきか? — 自動化バイアス、記号接地問題、ハルシネーションおよびアライメントの観点から—. NPO 法人日本歯科放射線学会第 5 回秋季学術大会, 盛岡市, 2024.
- 16) 新國 農, 西山秀昌, 林 孝文: 機械学習予測モデルを用いた PET radiomics による口腔扁平上皮癌組織型の術前予測. NPO 法人日本歯科放射線学会第 5 回秋季学術大会, 盛岡市, 2024.
- 17) 新國 農, 西山秀昌, 林 孝文: PET radiomics を用いた機械学習予測モデルと従来法との精度の比較による口腔扁平上皮癌リンパ節転移の術前鑑別. NPO 法人日本歯科放射線学会第 5 回秋季学術大会, 盛岡市, 2024.
- 18) 西山秀昌, Prakoeswa Beshlina, 小林太一, 池 真樹子, 新國 農, 高村真貴, 勝良剛詞, 林 孝文: 生成 AI のマルチモーダル機能にて、パノラマエックス線画像での舌骨の認識はどの程度行えるのか? NPO 法人日本歯科放射線学会第 43 回関西・九州合同地方会・第 66 回関西・第 62 回九州地方会, 箕面市, 2025.
- 19) 張 魯慶, 郭 奕含, 隅田賢正, 山崎 学, 平井秀明, 林 孝文, 田沼順一, 富原 圭: Effect of Chemotherapy on Survival in Patients with Jaw Osteosarcoma: A Systematic Review, 第 43 回一般社団法人口腔腫瘍学会総会・学術大会, 東京, 2025.
- 20) 勝良剛詞, 曾我麻里恵, 富原 圭, 平井秀明, 隅田賢正, 木口哲郎, 小林太一, 高村真貴, 林 孝文: 頭頸部放射線治療後の歯槽骨密度変化と線量との関係. 第 43 回一般社団法人口腔腫瘍学会総会・学術大会, 東京, 2025.
- 21) 田中恵子, 勝良剛詞, 正道隆介, 曾我麻里恵, 手嶋謡子, 金丸博子, 田中雄介, 後藤早苗. 頭頸部下顎放射線療法における口腔ケア用ジェル ヒノーラ®EN の有効性: 日本がん口腔支持療法学会第 10 回学術大会, 松山市, 2025

- 22) 竹内照美, 古川康平, 新垣理宣, 今待賢治, 曾我麻里恵, 大橋伸英, 小野龍太郎: オーラルサポータティブケア教育研修会の立ち上げと取り組み. 日本がん口腔支持療法学会第 10 回学術大会, 松山市, 2025.

【研究会発表】

- 1) 曾我麻里恵: 放射線性顎骨壊死の疼痛・感染管理に苦慮した症例. 第 1 回オーラルサポータティブケア教育研修会, 東京都, 2024.
- 2) 後藤 紫, 石川浩志, 谷 優佑, 海津 哉, 林 孝文: 上顎骨の砂粒腫様骨形成線維腫の一例. 第 35 回骨軟部放射線研究会, 久留米市, 2025.
- 3) 西山秀昌, Prakoeswa Beshlina, 小林太一, 池 真樹子, 新國 農, 高村真貴, 勝良剛詞, 林 孝文: コネクショニズムに基づく AI、特に生成 AI に対する歯科医学教育の問題点と対処方法についての考察. 第 9 回 歯科人工知能(AI)研究会, 東京, 2025.

【その他】

- 1) 林 孝文: 歯科衛生士が学ぶ臨床で役立つエックス線画像と CT のみかた. 新潟県歯科衛生士会研修会, 新潟市, 2024.
- 2) 林 孝文, 有地淑子, 小西 勝, 小林太一, 高村真貴: 口腔頸部超音波診断ハンズオン. 第 78 回 NPO 法人日本口腔科学会学術集会, 東京, 2024.
- 3) 勝良剛詞: 放射線口腔粘膜炎 RT 開始前の具体的な対応. MSD 製薬 医学教育事業助成 頭頸部がん患者の口腔有害事象に対する支持療法に関する研修会, 東京, 2024.
- 4) 勝良剛詞: 放射線顎骨壊死 根拠に基づいた予防と管理. MSD 製薬 医学教育事業助成 頭頸部がん患者の口腔有害事象に対する支持療法に関する研修会, 東京, 2024.
- 5) 西山秀昌: 臨床推論を重視する歯学教育の視点から、AI 側の記号接地問題と人間側の自動化バイアスを再考する. 数理・データサイエンス・AI 教育強化拠点コンソーシアム関東ブロック, 第 4 回ワークショップ「医療系データサイエンス教育ワークショップ」, Web 開催, 2024.
- 6) 堀ちえみ, 富原 圭, 田沼順一, 曾我麻里恵, 勝良剛詞, 伊勢みずほ: 舌がんステージ 4 から希望のステージへ. NPO 法人日本歯科放射線学会第 64 回学術大会併催市民公開講座, 新潟市, 2024.
- 7) 勝良剛詞: 頭頸部化学放射線療法における口腔粘膜炎症対策としてのシンプルかつ効果的な口腔ケア (口腔支持療法). 日本がん口腔支持療法学会第 10 回学術大会, 松山市, 2025.
- 8) 勝良剛詞. 研究開発のリアル-成功体験と苦労話か

らみる成功への道-. 第 11 回 I-DeA セミナー, 新潟市, 2024.

- 9) 勝良剛詞 : がん化学療法中の口腔有害事象とその管理. 新潟大学医歯学総合病院腫瘍センター主催薬薬連携研修会, 新潟市, 2025.

歯科麻酔学分野

【論文】

- 1) Toru Yamamoto, Shigenobu Kurata, Tomoaki Ujita, Naotaka Kishimoto, Yuzo Imai, Emi Sawada, Hiroko Kanemaru, Yutaka Tanaka, Kenji Seo. Anesthetic Management of a Patient with a Giant Hemangioma Who Required Urgent Embolization for Bleeding during Third Molar Extractions. *Anesthesia Progress*, 71(4), 183-187, 2024.
- 2) Takutoshi Inoue, Toru Yamamoto. Tracheal Deviation and Airway Management: Clinical Considerations From a Cadaver. *The Cureus Journal of Medical Science*, 5;16(3):e55546, 2024.
- 3) Takutoshi Inoue, Toru Yamamoto. Adrenaline Dilution in Dental Local Anesthesia for Patients with Underlying Disease. *Journal of Dental Anesthesia and Pain Medicine*, 24(4):297-299, 2024.
- 4) Toru Yamamoto, Takutoshi Inoue, Naotaka Kishimoto, Kenji Seo. Safety and usefulness of remimazolam in sedation dentistry: A scoping review. *Journal of Dental Anesthesia and Pain Medicine*, 25(1), 15-22, 2025.
- 5) Chi Li, Toru Yamamoto, Hiroko Kanemaru, Naotaka Kishimoto, Kenji Seo. Effects of Sphingosine-1-phosphate on the Facilitation of Peripheral Nerve Regeneration. *The Cureus Journal of Medical Science*, 16(11): e73784, 2024.
- 6) Takutoshi Inoue, Toru Yamamoto. Adrenaline Dilution in Dental Local Anesthetic: A preliminary study to prevent coring in cartridges. *Journal of Dental Anesthesia and Pain Medicine*, 24(6):410-415, 2024.
- 7) Takutoshi Inoue, Toru Yamamoto. Adrenaline Dilution in Dental Local Anesthetic Cartridges: A Practical Method Using the Inner Needle of Intravenous Catheter. *The Cureus Journal of Medical Science*, 16(12): e76122, 2024. DOI 10.7759/cureus.76122)
- 8) Toru Yamamoto, Mitsuhiro Yoshida, Yuhei Koyama, Yatendra Mulpuri, Eiji Imado, Kana Oue, Mitsuru Doi, Yoshitaka Shimizu, Naotaka Kishimoto, Hiroshi Hanamoto, Kenji Seo. Early prevention of carrageenan-induced peripheral/spinal inflammation suppresses microglial hyperactivity in the trigeminal spinal subnucleus caudalis and alleviates chronic facial nociception. *Heliyon (Cell Press)*, 11(2), e41602, 2025.
- 9) Takutoshi Inoue, Toru Yamamoto, Naotaka Kishimoto, Kenji Seo. Comparison of Anesthetic Features in Diazepam and Midazolam for Sedation Dentistry: A Scoping Review. *The Cureus Journal of Medical Science*, 17(2), e79079, 2025.
- 10) Toru Yamamoto, Takutoshi Inoue, Mitsuhiro Yoshida, Soju Seki, Naotaka Kishimoto. Articaine as a potential alternative to lidocaine in Japanese dental practice. *Journal of Dental Anesthesia and Pain Medicine*, 25(3), 2025.
- 11) Toru Yamamoto, Naotaka Kishimoto, Shigenobu Kurata, Yutaka Tanaka, Kenji Seo. Kampo medicine in dental anesthesia: a promising adjunct for perioperative management. *Journal of Dental Anesthesia and Pain Medicine*, 25(3), 2025.
- 12) Yoshihiro Kitaoka, Toshihiro Uchihashi, So Kawata, Akira Nishiura, Toru Yamamoto, Shin-ichiro Hiraoka, Yusuke Yokota, Emiko Tanaka Isomura, Mikihiko Kogo, Susumu Tanaka, Igor Spigelman, Soju Seki. Role and Potential of Artificial Intelligence in Biomarker Discovery and Development of Treatment Strategies for Amyotrophic Lateral Sclerosis. *International Journal of Molecular Sciences*, in press, 2025.
- 13) Takuro Sanuki, Shota Tsukimoto, Hidetaka Kuroda, Uno Imaizumi, Naotaka Kishimoto. How Safe Is Anesthesia Management by Dentist Anesthesiologists? The Need for an International Collaborative Study on the Safety of Anesthesia Management by Dentist Anesthesiologists. *Anesthesia Progress*. 71 (1): 42-24, 2024.
- 14) Misaki Fujimoto, Hidetaka Kuroda, Tomomi. Katayama, Atsuki Yamaguchi, Norika Katagiri, Keita Kagawa, Shota Tsukimoto, Akito Nakano, Uno Imaizumi, Aiji Sato-Boku, Naotaka Kishimoto, Tomoki Itamiya, Kanta Kido, Takuro Sanuki. Evaluating Large Language Models in Dental Anesthesiology: A Comparative Analysis of ChatGPT-4, Claude 3 Opus, and Gemini 1.0 on the Japanese Dental Society of Anesthesiology Board Certification Exam. *Cureus*. 16 (9): e70302, 2024.
- 15) Naotaka Kishimoto, Toru Yamamoto, Simon D. Tran, Takuro Sanuki, Kenji Seo. Screen-based telesimulation training for medical emergencies in dental clinics. *Journal of Dental Anesthesia and Pain Medicine*. 24 (6): 427-430, 2024.
- 16) Naotaka Kishimoto, Tomoaki Ujita, Simon D. Tran, Takuro Sanuki, Kenji Seo. Simulation training for medical emergencies: Evaluation of dentists learning

skills and confidence, *European Journal of Dental Education*, 28:689-697, 2024.

- 17) Nozawa-Kobayashi M, Sakuma H, Kanemaru H, Kurokawa A, Soga M, Yamashita M, Niimi K, Kobayashi T. *Oral Maxillofac Surg.* 28(2):849-857. 2024 Jun
- 18) Yoshida K, Kiyomi A, Kurokawa A, Hoshino N, Saito C, Koga M, Oonuki M, Kanemaru H, Pak K, Tomihara K, Sugiura M. Association between salivary inflammatory mediators and oral mucositis in patients with cancer undergoing chemotherapy. *Support Care Cancer.*32(9):625.2024 Sep 2
- 19) Yoshida K, Kurokawa A, Hoshino N, Saito C, Koga M, Soga M, Yamashita M, Tanaka K, Ishiyama M, Kanemaru H, Pak K, Tomihara K, Sugiura M. Association of leukopenia in the development of cancer chemotherapy - induced oral mucositis and its severity. *Oral Science International.* 20:1-7 ,2024
- 20) Yuzo Imai, Toru Yamamoto, Naotaka Kishimoto, Kenji Seo: Perioperative management of a patient with hereditary angioedema undergoing oral surgery. *J Dent Anesth Pain Med*, 24(4), 301-303, 2024.
- 21) Tomoaki Ujita, Toru Yamamoto, Yurie. Sato-Yamada, Naotaka Kishimoto, Takeyasu Maeda, Kenji Seo. Optical Imaging of Trigeminal Ganglion Excitation Evoked by Electrical Stimulation of the Trigeminal Nerve. *Cureus* 16(12): e75522.
- 22) Emi Sawada, Toru Yamamoto, Naotaka Kishimoto, Dai Ooishi, Hiroyuki Sasakura, Kosei Takeuchi, Kenji Seo. Creating Other Afferent Input Can Facilitate Regeneration of Injured Primary Afferent Neurons. *The Cureus Journal of Medical Science*, 17(2): e78708, 2025.
- 23) 岸本直隆：歯科麻酔における遠隔医療の可能性. *日本歯科麻酔学会雑誌.* 52 (3):166-172, 2024.
- 24) 田中 裕, 岸本直隆, 倉田行伸, 山本 徹, 金 丸博子, 今井有蔵, 氏田倫章, 沢田詠見, 瀬尾憲司：歯科用局所麻酔薬のⅠ型アレルギー診断における白血球遊走試験（LMT-chamber 法）の有用性の検討, *新潟歯学会雑誌*, 54（2）:1-7, 2024.

【研究費】

- 1) 山本徹: 科学研究費 基盤研究 (C), 令和 5~7 年度, 課題番号 23K09350, 研究代表者 山本徹, 神経障害性疼痛における過分極活性化サイクリックヌクレオチド依存チャネルの機能検索
- 2) 山本徹: 科学研究費 基盤研究 (C), 令和 5~7 年度, 課題番号 23K09353, 研究代表者

吉田充広, 慢性咀嚼筋痛発症過程での BDNF-TrkB 経路と下行性疼痛制御系の関係性の解明

- 3) 山本徹: 科学研究費 基盤研究 (C), 令和 6~8 年度, 課題番号 24K13154, 研究代表者 関壮樹, 口腔から全身へ、一次感覚ニューロンを標的とした ALS 新規治療戦略の開発
- 4) 山本徹: 日本歯科麻酔学会 国際学術研究奨励金; The 14th Annual Meeting of the Federation of Asian Dental Anesthesiology Societies, 2023
- 5) 佐藤由美子: シグナル抑制機構から解明するシュワン細胞機能の調節メカニズム. 日本学術振興会科学研究補助金, 基盤研究(C), 22K10116. 2022-2024.
- 6) 金丸博子: 科学研究費 若手研究, 令和 3 年~5 年度, 21K17109 末梢組織損傷部位のスフィンゴシン 1 リン酸は神経障害性疼痛の発生に関与するか
- 7) 沢田詠見: 科学研究費 研究活動スタート支援, 2024~2026 年度, 課題番号 24K23543, 研究代表者 沢田詠見, 人工的シナプス形成による顎顔面の感覚回復機構の解明.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) Kenji Seo: Educating Japanese Dentists on Medical Emergencies, Asian Association of Japan Dental Alumni (AJDA), 2024.08.1-3, Bangkok.
- 2) 岸本直隆: 令和 6 年度こうべ市歯科センターBLS 講習会, 2024 年 8 月 4 日, 神戸市
- 3) 金丸博子: 「あなたの施設ではこの加算はどうしていますか?」-歯科口腔管理加算- 第 33 回手術室セミナー, 2024 年 9 月 7 日, 新潟市.

【学会発表】

- 1) Toru Yamamoto, Mitsuhiro Yoshida, Yuhei Koyama, Eiji Imado, Naotaka Kishimoto, Kenji Seo. Correlation of chronic pain related behavior and microglia in trigeminal spinal subnucleus caudalis. *Oral Neuroscience* 2023, April 21st, 2024, Osaka.
- 2) Yoshihiro Kitaoka, Kyotaro Koshika, Zhiwei Li, Toru Yamamoto, Yatendra Mulpuri, Kyle L. Whyland, Fidencio E. Vasquez-Dominguez, Rithvik Murali, Prarthna Chabria, Phi Long Le, Parsa Ahmadi, Justin Shafa, Lynette Andreasyan, Herbert H. Seltzman, Igor Spigelman. Peripherally-restricted cannabinoid actions on sensitized dural nociceptors in a mouse migraine model. *The American Association for Dental, Oral, and Craniofacial Research 54th Annual Meeting*, March 2025.
- 3) 古賀 雅良, 吉田 謙介, 黒川 亮, 星野 直人, 齋藤 千愛, 田中 恵子, 石山 茉佑佳, 曾我 麻理恵, 山下

- 萌, 金丸 博子, 朴 慶純, 富原 圭, 外山 聡, 後向き研究によるがん化学療法患者の口腔粘膜炎症及び重症度と血液検査値との関連性の調査, 日本臨床腫瘍学会雑誌, 36, 252, 2024 年 5 月
- 4) 宮川義基, 田中裕, 倉田行伸, 今井有蔵, 山本徹, 岸本直隆, 氏田倫章, 沢田詠見, 瀬尾憲司: 遺伝性血管性浮腫が疑われた患者の全身麻酔経験, 2024年6月15日, 東京, 第40回関東臨床歯科麻酔懇話会学術集会, 抄録集, 7, 2024.
 - 5) 井上卓俊, 山本 徹: 解剖体にみられた気道管理困難にさせうる一例—高度な気管偏位—, 2024年6月15日, 東京, 第40回関東臨床歯科麻酔懇話会学術集会, 抄録集, 8, 2024.
 - 6) Chi Li, Toru Yamamoto, Hiroko Kanemaru, Naotaka Kishimoto, Kenji Seo: Investigation the effect of sphingosine lipids on the promotion of peripheral nerve regeneration, 新潟歯学会第一回例会, 2024年7月13日, 新潟市.
 - 7) 田中 裕, 村松芳幸, 村松公美子, 真島一郎, 藤村健夫, 清水夏恵, 清野 洋, 吉嶺文俊, 片桐敦子, 櫻井浩治, 瀬尾憲司: 口腔異常感症患者の心身医学的検証, 第 65 回日本心身医学会総会・学術集会, 2024 年 6 月 29-30 日, 東京, 抄録集, 162, 2024.
 - 8) 田中 裕, 村松芳幸, 村松公美子, 真島一郎, 瀬尾憲司: 口腔顔面痛患者における破局化思考の調査, 第 39 回日本歯科心身医学会総会・学術集会, 2024 年 7 月 18-19 日, 松本市, 抄録集, 26, 2024.
 - 9) 岸本直隆, 瀬尾憲司, 藤井規孝, 前田健康: 全身の偶発症対応シミュレーションと教育効果の評価システム開発, 第43回日本歯科医学教育学会学術大会, 2024年9月6-7日, 名古屋市, 抄録集; 81, 2024.
 - 10) 沢田 詠見, 山本 徹, 岸本 直隆, 小山 祐平, 今井有蔵, 氏田 倫章, 瀬尾 憲司: 損傷した末梢神経の軸索再生にはニューロン中枢側への信号付加が有効である, 第 52 回日本歯科麻酔学会総会・学術集会, 2024 年 10 月 25 日 (金) ~27 日, 新潟市. 抄録集, 100, 2024.
 - 11) 曾我麻里恵, 金丸博子, 勝良剛詞, 高橋剛史, 黒川 亮, 山下萌, 笹川花梨, 善本佑, 大内章嗣, 林 孝文, 下顎骨放射線骨壊死部に下顎歯肉癌を生じた 1 症例, 日本歯科放射線学会 第 5 回秋季学術大会, 2024 年 10 月 25-27 日, 盛岡市
 - 12) 井上卓俊, 山本徹: 歯科麻酔, 救急医療時の器材を用いた歯科用局所麻酔製剤のアドレナリン倍希釈法の考案. 第 52 回日本歯科麻酔学会総会・学術集会, 2024 年 10 月 26 日, 日本歯科麻酔学会雑誌, 第 52 巻抄録号, 154, 2024.
 - 13) 田中 裕, 村松芳幸, 村松公美子, 真島一郎, 藤村健夫, 清水夏恵, 清野 洋, 吉嶺文俊, 片桐敦子, 櫻井浩治, 瀬尾憲司: 口腔顔面痛患者の破局的思考に関する心身医学的検証, 第 28 回日本心療内科学会総会・学術大会, 2024 年 12 月 7-8 日, 東京, 抄録集, 114, 2024.
 - 14) 真島一郎, 清野 洋, 藤村健夫, 清水夏恵, 片桐敦子, 吉嶺文俊, 村松芳幸, 菊地利明, 田中 裕, 内山徹, 村松公美子, 星野笑美, 大森 豪: 大学生アスリートの睡眠と抑うつに影響する要因について, 第 28 回日本心療内科学会総会・学術大会, 2024 年 12 月 7-8 日, 東京, 抄録集, 131, 2024.
 - 15) 岸本直隆, 田中 裕, 倉田行伸, 金丸博子, 瀬尾憲司: 全身麻酔中の予期せぬ気道異物により呼吸管理に難渋した症例, 第 41 回日本障害者歯科学会総会・学術大会, 2024 年 12 月 13-15 日, 沖縄, 日本障害者歯科学会雑誌, 第 41 巻抄録号, 147, 2024.
 - 16) 倉田行伸, 田中 裕, 金丸博子, 岸本直隆: 当院における障害者・非協力児の全身麻酔下歯科治療に対する新型コロナウイルス感染症拡大による影響. 第 41 回日本障害者歯科学会, 沖縄, 2024 年 12 月 13 日-12 月 15 日, 日本障害者歯科学会雑誌, 第 41 巻抄録号, 202, 2024.
 - 17) 金丸 博子, 築野 沙絵子, 倉田 行伸, 山本 徹, 田中裕, 岸本 直隆. 亜酸化窒素吸入鎮静法が奏功した洞不全症候群を有する Down 症候群患者の管理経験, 第 41 回日本障害者歯科学会, 2024 年 12 月 13-15 日, 沖縄, 日本障害者歯科学会雑誌, 第 41 巻抄録号, 220, 2024.
 - 18) 田中 裕, 岸本直隆, 倉田行伸, 金丸博子: 診断と治療に苦慮した奇形症候群疑いを有する若年者三叉神経痛患者の 1 例, 第 41 回日本障害者歯科学会, 2024 年 12 月 13-15 日, 沖縄, 日本障害者歯科学会雑誌, 第 41 巻抄録号, 236, 2024.
 - 19) 岸本直隆, 氏田倫章, 瀬尾憲司: 歯科治療時の全身の偶発症対応シミュレーションの長期的な教育効果, 第 20 回日本医学シミュレーション学会学術集会, 2025 年 2 月 15 日, 新潟市, 第 20 回日本医学シミュレーション学会学術集会抄録集, 33, 2025.
 - 20) 田中 裕, 村松芳幸, 村松公美子, 瀬尾憲司: PHQ-15 を用いた口腔顔面痛に合併する身体症状の心身医学的検証 (第二報), 第 54 回日本慢性疼痛学会, 2025 年 2 月 22-23 日, 仙台市, 抄録集, 88, 2025.
 - 21) 田中恵子, 勝良剛詞, 正道隆介, 曾我麻里恵, 手嶋謡子, 金丸博子, 田中雄介, 後藤早苗. 頭頸部下顎放射線療法における口腔ケア用ジェル ヒノール®EN の有効性. 日本がん口腔支持療法学会第 10 回学術大会, 2025 年 3 月 1-2 日, 松山市

- 22) 黒川 亮,吉田謙介,清海杏奈,杉浦宗敏,金丸博子,曾我麻里恵,船山さおり,善本 佑,笹川花梨,那須優介,田中恵子,中村夢衣,穴戸 香,星野直人,齋藤千愛,古賀雅良,大内章嗣: 薬科と歯科における多職種連携の教育に関する東京薬科大学での取り組みについて,日本がん口腔支持療法学会第 10 回学術大会,2025 年 3 月 1-2 日,松山市.
- 23) 岡本奈々,吉田謙介,清海杏奈,黒川 亮,星野直人,齋藤千愛,古賀雅良,金丸博子,杉浦宗敏: がん患者の口腔粘膜炎における関連因子の探索～口腔乾燥と唾液中炎症性メディエーターに着目した解析～,日本薬学会 145 年会,2024 年 3 月 26-29 日,福岡市.

【研究会発表】

- 1) 田中 裕,倉田行伸,瀬尾憲司: 下顎骨の慢性骨髓炎に対して漢方薬が奏効したと考えられた 2 症例,第 36 回日本疼痛漢方研究会学術集会,2024 年 7 月 6 日,抄録集,2024.
- 2) 岸本直隆: 歯科治療時の急変対応シミュレーションとその教育効果,歯学研究を明るく楽しむ交流会・歯科領域での AI 活用の検討会,2024 年 11 月 30 日-12 月 1 日,伊豆市,プログラム; 4, 2024.
- 3) 沢田詠見: 術中にパルスオキシメータプローブの過圧迫により手指が虚血になったと思われた小児の 1 症例. 第 99 回新潟口腔外科麻酔科集談会,WEB 開催,2024 年 11 月 14 日.
- 4) 山本徹: Chronic Pain and Microglia in Trigeminal. Spinal Subnucleus Caudalis, 新潟大学麻酔科金曜の会,2024 年 12 月 6 日,新潟市.

【社会貢献、教育活動、など】

- 1) 瀬尾憲司: 学外講義(歯科麻酔学), (北海道医療大学歯学部), 2024 年 4 月 15 日.
- 2) 瀬尾憲司: 学外講義(歯科麻酔学), (鹿児島大学歯学部), 2024 年 5 月 20-21 日.
- 3) 瀬尾憲司: 学外講義(歯科麻酔学), (九州大学歯学部), 2024 年 12 月.
- 4) 瀬尾憲司, 岸本直隆, 田中 裕, 倉田行伸, 山本 徹, 氏田倫章, 宮川義基: 令和 6 年度徳真会主催救急蘇生講習会, 2024 年 8 月 10 日, 新潟市.
- 5) 瀬尾憲司, 岸本直隆, 田中 裕, 倉田行伸, 山本 徹, 金丸博子, 今井有蔵, 沢田詠見: 新潟県歯科医師会主催救急蘇生実技講習会, 2024 年 9 月 1 日, 新潟市.
- 6) 瀬尾憲司, 岸本直隆, 倉田行伸: 見附市歯科医師会救急講習会, 2025 年 3 月 8 日, 見附市
- 7) 岸本直隆: (バイタルサインセミナー), 2024 年 7 月

7 日

- 8) 田中 裕: 学外講義(リスク管理学), (北都健勝リハビリ大学大学院), 2024 年 5 月～7 月.
- 9) Toru Yamamoto : Editorial Board in *Scientific Reports* (Chief Editor: Rafal Marszalek)
- 10) Toru Yamamoto : Editorial Board in *Journal of. Oral and Maxillofacial Anesthesia* (Editor-in-Chief: Hong Jiang)
- 11) Toru Yamamoto : Topic Editor (Oral Cancer Pain). in *Frontiers in Pain Research* (Editor-in-Chief: Tony L Yaksh)
- 12) 山本 徹 :日本歯科麻酔学会 診療 statement 作業部会部員

【学会賞受賞、資格取得、その他】

- 1) 岸本直隆: 令和 6 年度新潟大学優秀論文表彰 受賞, 2024 年 7 月
- 2) 岸本直隆: 日本歯科医学教育学会 優秀論文賞. 受賞, 2024 年 9 月 6 日
- 3) 田中 裕: 日本歯科心身医学会認定医取得 (第 154 号), 2024 年 5 月 7 日.
- 4) 倉田行伸: 日本歯科麻酔学会認定医更新(第 1183 号), 2024 年 8 月 30 日.
- 5) 山本徹: Cureus Laureate, The Cureus Journal of. Medical Science, Springer Nature, Awarded to Toru Yamamoto
- 6) 今井有蔵: 日本再生医療学会認定更新 (MI-2022-00123), 2024 年 12 月 31 日
- 7) 沢田詠見: 日本歯科麻酔学会認定医取得(第 1877 号), 2024 年 8 月 25 日.
- 8) 沢田詠見: AHA ACLS Provider 取得, 2024 年 10 月 15 日.
- 9) 沢田詠見: 令和 6 年度日本歯科麻酔学会最優秀賞受賞, 第 52 回日本歯科麻酔学会総会・学術総会, 2024 年 10 月 26 日.
- 10) 宮川義基: AHA BLS provider(2020) 取得, 2024. 年 7 月 28 日
- 11) 宮川義基: AHA PEARS provider(2015) 取得, 2024 年 9 月 15 日
- 12) 宮川義基: AHA ACLS provider(2020) 取得, 2024 年 11 月 10 日
- 13) 宮川義基: AHA HS ファーストエイド(2020) CPR. AED 取得, 2024 年 11 月 24 日
- 14) 宮川義基: AHA PALS provider(G2020) 取得, 2024 年 12 月 22 日
- 15) 金丸博子: 日本歯科麻酔学会認定医更新(第 1184 号), 2024 年 8 月 30 日

高度口腔機能教育研究センター・歯学教育開発室

【著 書】

- 1) 前田健康：歯科衛生士になるためのオリエンテーション 2024（一般社団法人全国歯科衛生士教育協議会監修），5-6 頁，医歯薬出版，東京，2024 年。
- 2) 前田健康：第 7 章 軟骨，ジュンケイラ組織学 第 6 版（原書 16 版）（監訳 坂井建雄，川上速人），141-150 頁，丸善，東京，2024 年。
- 3) 前田健康：第 8 章 骨，ジュンケイラ組織学 第 6 版（原書 16 版）（監訳 坂井建雄，川上速人），151-174 頁，丸善，東京，2024 年。
- 4) 前田健康：第 1 章 解剖学の基礎，口腔解剖学 第 3 版（前田健康，阿部伸一，天野修，馬場麻人編），1-6 頁，医歯薬出版，東京，2024 年印刷中。
- 5) 前田健康：第 5 章 循環器学総論（脈管学総論）I 循環器系の概説 8. 全身の血管系の概略，口腔解剖学 第 3 版（前田健康，阿部伸一，天野修，馬場麻人編），46-52 頁，医歯薬出版，東京，2024 年印刷中。
- 6) 前田健康：第 5 章 循環器学総論（脈管学総論）I 循環器系の概説 9. 心臓，口腔解剖学 第 3 版（前田健康，阿部伸一，天野修，馬場麻人編），52-60 頁，医歯薬出版，東京，2024 年印刷中。
- 7) 前田健康：第 6 章 神経学総論 V 末梢神経系 5. 主な末梢神経，86-88 頁，口腔解剖学 第 3 版（前田健康，阿部伸一，天野修，馬場麻人編），86-88 頁，医歯薬出版，東京，2024 年印刷中。
- 8) 前田健康：第 7 章 感覚器学総論，89-96 頁，口腔解剖学 第 3 版（前田健康，阿部伸一，天野修，馬場麻人編），医歯薬出版，東京，2024 年印刷中。
- 9) 前田健康，佐藤友里恵：第 14 章 頭頸部の神経系 II 末梢神経系，178-195 頁，口腔解剖学 第 3 版（前田健康，阿部伸一，天野修，馬場麻人編），医歯薬出版，東京，2024 年印刷中。
- 10) 前田健康，佐藤友里恵：第 15 章 頭頸部の感覚器系，196-207 頁，口腔解剖学 第 3 版（前田健康，阿部伸一，天野修，馬場麻人編），医歯薬出版，東京，2024 年印刷中。
- 11) 富原圭，前田健康：第 23 章 骨折の解剖学，281-288 頁，口腔解剖学 第 3 版（前田健康，阿部伸一，天野修，馬場麻人編），医歯薬出版，東京，2024 年印刷中。
- 12) 前田健康，田沼順一，崎山浩治，山本信治：第

27 章 口腔がんとリンパ，304-308 頁，口腔解剖学 第 3 版（前田健康，阿部伸一，天野修，馬場麻人編），医歯薬出版，東京，2024 年印刷中

【論 文】

- 1) Arai M, Kaku M, Thant L, Kitami M, Ono Y, Dobashi A, Iwama H, Mizukoshi M, Kitami K, Matsumoto M, Saito I, Uoshima K: Effect of Sparc knockout on the extracellular matrix of mouse periodontal ligament cells. *Biochem Biophys Res Commun*. 692:149364, 2024. doi: 10.1016/j.bbrc.2023.149364.
- 2) Kaku M, Thant L, Dobashi A, Ono Y, Kitami M, Mizukoshi M, Arai M, Iwama H, Kitami K, Kakihara Y, Matsumoto M, Saito I, Uoshima K: Multiomics analysis of cultured mouse periodontal ligament cell-derived extracellular matrix. *Sci Rep*. 14(1):354, 2024. doi: 10.1038/s41598-023-51054-8.
- 3) Kantaputra P, Daroontum T, Kitiyamas K, Piyakhunakorn P, Kawasaki K, Sathienkijkanchai A, Wasant P, Vatanavicharn N, Yasanga T, Kaewgahya M, Tongsimas S, Cox TC, Arold ST, Ohazama A, Ngamphiw C: Homozygosity for a rare plec variant suggests a contributory role in congenital insensitivity to pain. *Int J Mol Sci*. 25(12):6358, 2024. doi: 10.3390/ijms25126358.
- 4) Kawasaki M, Kawasaki K, Sari FT, Kudo T, Nihara J, Kitamura M, Nagai T, Utama V, Ishida Y, Meguro F, Kesuma A, Fujita A, Nishimura T, Kogure Y, Maruyama S, Tanuma J, Kakihara Y, Maeda T, Ghafoor S, Khonsari RH, Corre P, Sharpe PT, Cobourne M, Franco B, Ohazama A: Cell-cell interaction determines cell fate of mesoderm-derived cell in tongue development through Hh signaling. *Elife* 13:e85042, 2024. doi: 10.7554/eLife.85042.
- 5) Kitami M, Kaku M, Thant L, Maeda T: A loss of primary cilia by a reduction in mTOR signaling correlates with age-related deteriorations in condylar cartilage. *Geroscience*. 2024 Dec;46(6):5995-6007. doi: 10.1007/s11357-024-01143-x. Epub 2024 Mar 25.
- 6) Kiyokawa Y, Terajima M, Sato M, Inada E, Hori Y, Bando R, Iwase Y, Kubota N, Murakami T, Tsugane H, Watanabe S, Sonomura T, Terunuma M, Maeda T, Noguchi H, Saitoh I: Scratch-Based Isolation of Primary Cells (SCIP): A novel method to obtain a large number of human dental pulp cells through one-step cultivation. *J Clin Med*. 13(23):7058, 2024. doi: 10.3390/jcm13237058.
- 7) Nagoya K, Tsujimura T, Yoshihara M, Watanabe M, Magara J, Kawasaki K, Inoue M: Physiological analyses

- of swallowing changes due to chronic obstructive pulmonary disease in anesthetized male rats. *Front Physiol.* 15:1445336, 2024. doi: 10.3389/fphys.2024.1445336.
- 8) Ruangchan C, Ngamphiw C, Krasaesin A, Intarak N, Tongsima S, Kaewgahya M, Kawasaki K, Mahawong P, Paripurana K, Sookawat B, Jatoorattawichot P, Cox TC, Ohazama A, Ketudat Cairns JR, Porntaveetus T, Kantaputra P: Genetic variants in KCTD1 are associated with isolated dental anomalies. *Int J Mol Sci.* 25(10):5179, 2024. doi: 10.3390/ijms25105179.
 - 9) Saito R, Domon H, Hiyoshi T, Hirayama S, Maekawa T, Takenaka S, Noiri Y, Ikeda A, Hirose T, Sunazuka T, Terao Y: A novel 12-membered ring non-antibiotic macrolide EM982 attenuates cytokine production by inhibiting IKK β and I κ B α phosphorylation. *J Biol Chem.* 300 (6): 107384, 2024.
 - 10) Sirisereephap K, Surboy MDC, Rosenkranz AL, Terao Y, Tabeta K, Maeda T, Hajishengallis G, Maekawa T: Protocols for collecting mouse PDL cells and bone marrow cells, differentiation, and data analysis. *STAR Protoc.* 5 (3): 103162, 2024.
 - 11) Sirisereephap K, Tamura H, Lim JH, Surboy MDC, Isono T, Hiyoshi T, Rosenkranz AL, Sato-Yamada Y, Domon H, Ikeda A, Hirose T, Sunazuka T, Yoshida N, Okada H, Terao Y, Maeda T, Tabeta K, Chavakis T, Hajishengallis G, Maekawa T: A novel macrolide-Del-1 axis to regenerate bone in old age. *iScience.* 27 (2): 108798, 2024.
 - 12) Ujita T, Yamamoto T, Sato-Yamada Y, Kishimoto N, Maeda T, Seo K: Optical Imaging of Trigeminal Ganglion Excitation Evoked by Electrical Stimulation of the Trigeminal Nerve. *Cureus* 16(12), 2024 :e75522. doi:10.7759/cureus.75522
 - 13) Y Ono 1, M Kaku 1, L Thant 2 3 4, H Iwama 2, M Arai 2, M Mizukoshi 2, A Dobashi 2, M Kitami 3 4, M M Taketo 5, A Ohazama 6, I Saito 2, K Uoshima: Wnt/ β -catenin Promotes Cementum Apposition in Periodontal Regeneration. *J Dent Res.* 220345241286490, 2024. doi: 10.1177/00220345241286490.
 - 14) Yamada-Hara M, Takahashi N, Byun JW, Zeng L, Wang Z, Tanaka A, Malakoutikhah Z, Hayashi T, Webster NJG, Raz E, Bertin S: In Vivo Bioluminescence Imaging of Tumor Progression in the Lewis Lung Carcinoma Orthotopic Mouse Model – A Comparison Between the Tail Vein Injection and Intranasal Instillation Methods. *Curr Protoc.* 4(12):e70071, 2024. doi: 10.1002/cpz1.70071.
 - 15) Yamaguchi H, Kitami M, Li M, Swaminathan S, Darabi R, Takemaru KI, Komatsu Y: Disruption of distal appendage protein CEP164 causes skeletal malformation in mice. *Biochem Biophys Res Commun.* 741:151063, 2024. doi: 10.1016/j.bbrc.2024.151063.
 - 16) 前川知樹：歯周病と全身疾患～訓練された免疫とクローン性造血～．炎症と免疫．先端医学社，vol133, no.1, 2024.
 - 17) 前川知樹：歯科医学の分野でトピックとなっている論文のレビュー，日本骨粗鬆症学会雑誌，2024 年 11 月 Vol. 10, No. 4.
- 【研究費獲得】**
- 1) 前田健康（研究代表者）：ICT を活用した歯学生の評価手法確立のための研究．令和 6 年度厚生労働科学研究費補助金（地域医療基盤開発推進研究事業），160.3 万（うち直接経費 17 万），課題番号 23IA017
 - 2) 前田健康（研究代表者）：新たに同定した線維芽細胞様細胞の末梢神経再生における役割．令和 4 年度（継続）日本学術振興会科学研究費助成事業（基盤(B)），309 万円（うち直接経費 300 万），課題番号 22H03287
 - 3) 前田健康（研究分担者）：末梢神経損傷により途切れた神経回路の人工シナプスコネクタによる感覚再生への挑戦．令和 4 年度（継続）日本学術振興会科学研究費助成事業（挑戦的(萌芽)），（研究代表者：瀬尾憲司），286 万円（うち直接経費 220 万，うち分担金 5 万），課題番号 23K19615
 - 4) 前田健康（研究分担者）：マクロファージの表現型に影響する細胞外基質ラミニンの機能解析．令和 4 年度（継続）日本学術振興会科学研究費助成事業（基盤(B)「一般」），（研究代表者：吉羽永子），360 万円（うち直接経費 280 万，うち分担金 10 万），課題番号 22H03259
 - 5) 前田健康（研究分担者）：シグナル抑制機構から解明するシュワン細胞機能の調節メカニズム研究課題．令和 4 年度（継続）日本学術振興会科学研究費助成事業（基盤(C)「一般」），（研究代表者：佐藤由美子），78 万円（うち直接経費 60 万，うち分担金 20 万），課題番号 22K10116
 - 6) 前川知樹（研究代表者）：口腔細菌叢再構築による時代共通細菌と因子の同定．令和 6 年度（新規）日本学術振興会科学研究費助成事業（挑戦的(萌芽)），270 万円（うち直接経費 210 万），課題番号 24K22180
 - 7) 前川知樹（研究代表者）：口腔幹細胞ニッチに着

- 目した口腔老化メカニズム解明. 令和5年度(継続)日本学術振興会科学研究費助成事業(国際共同研究加速基金(海外連携研究)), 429万円(うち直接経費330万), 課題番号23KK0160
- 8) 前川知樹(研究代表者): 骨再生および骨粗鬆症治療を目的としたDEL-1誘導薬剤開発. 令和6年度(新規)AMED-橋渡し研究プログラム・シリーズA, 400万円(うち直接経費360万), 課題番号JP24ym0126801j
- 9) 前川知樹(研究代表者): 老化幹細胞の制御機構解明と再生能力賦活化創薬. 令和6年度(新規)アステラス病態代謝研究会研究助成金, 200万円.
- 10) 前川知樹(研究代表者): DEL-1誘導薬開発支援費. 令和6年度(新規)SENTANファーマ社, 150万(うち直接経費100万)
- 11) 前川知樹(研究代表者): 口腔幹細胞ニッチに着目した再生能力賦活化機構の解明. 令和5年度(継続)持田記念医薬学振興財団研究助成, 300万円.
- 12) 前川知樹(研究代表者): DEL-1による口腔組織修復および再生機構の解明. 令和4年度(継続)日本学術振興会科学研究費助成事業(基盤(B)), 429万円(うち直接経費330万), 課題番号23K24525
- 13) 前川知樹(研究代表者): DEL-1による口腔の組織修復と再生機構解明. 令和4年度(継続)内藤記念科学振興財団次世代育成支援研究助成金, 600万円.
- 14) 前川知樹(研究分担者): インフラマエイジングによる骨再生ニッチ破綻機構の解明と老化骨組織再生法の開発. 日本学術振興会科学研究費助成事業(基盤(A)), (研究代表者: 小林泰浩), 1508万円(うち直接経費1160万, うち分担金50万) 課題番号24H00653
- 15) 前川知樹(研究分担者): 歯周炎併発BRONJモデルの作成とその治療法展開. 日本学術振興会科学研究費助成事業(基盤(C)), (研究代表者: 石田陽子), 169万円(うち直接経費130万, うち分担金30万) 課題番号24K13065
- 16) 前川知樹(研究分担者): 実証的研究で明らかにする江戸の歯科学. 日本学術振興会科学研究費助成事業(挑戦的(萌芽)), (研究代表者: 佐宗亜衣子), 234万円(うち直接経費180万, うち分担金30万) 課題番号24K21381
- 17) 前川知樹(研究分担者): 肺炎球菌性肺炎の統合的な検査/予防/治療に向けた開発研究. 令和5年度(継続)日本学術振興会科学研究費助成事業(基盤(A)), (研究代表者: 寺尾 豊), 1183万円(うち直接経費910万, うち分担金30万), 課題番号23H00445
- 18) 前川知樹(研究分担者): 好中球老化マーカーの同定と抗加齢研究への挑戦. 令和5年度(継続)日本学術振興会科学研究費助成事業(挑戦的(萌芽)), (研究代表者: 土門久哲), 325万円(うち直接経費250万, うち分担金10万), 課題番号23K018355
- 19) 前川知樹(研究分担者): マクロファージの表現型に影響する細胞外基質ラミニンの機能解析. 令和4年度(継続)日本学術振興会科学研究費助成事業(基盤(B)「一般」), (研究代表者: 吉羽永子), 416万円(うち直接経費320万, うち分担金20万), 課題番号22H03259
- 20) 佐藤友里恵(研究代表者): 口腔顔面痛発生メカニズムにおける軸索変性誘導因子SARM1の役割. 令和6年度(新規)日本学術振興会科学研究費助成事業(若手)(研究代表者: 佐藤友里恵), 182万円(うち直接経費140万), 課題番号24K19989
- 21) 佐藤友里恵(研究代表者): 口腔顔面痛発生メカニズムにおける軸索変性誘導因子SARM1の役割. 令和6年度(新規)日本学術振興会科学研究費助成事業(若手)(研究代表者: 佐藤友里恵), 286万円(うち直接経費220万), 課題番号24K19989
- 22) 佐藤友里恵(研究分担者): 新たに同定した線維芽細胞様細胞の末梢神経再生における役割. 令和5年度(継続)日本学術振興会科学研究費助成事業(基盤(B))(研究代表者: 前田健康), 507万円(うち直接経費390万, うち分担金65万円), 課題番号22H03287
- 23) 佐藤友里恵(研究分担者): シグナル抑制機構から解明するシュワン細胞機能の調節メカニズム. 令和5年度(継続)日本学術振興会科学研究費助成事業(基盤(C))(研究代表者: 佐藤由美子) 78万円(うち直接経費60万円, うち分担金61万) 課題番号22K10116
- 24) 佐藤友里恵(研究代表者): 神経変性に着目した下歯槽神経障害性疼痛の発症メカニズムの解明 西山デンタルアカデミー研究助成 50万円
- 25) 佐藤友里恵(研究代表者): 神経筋接合部再生における終末シュワン細胞を中心とした多細胞間ネットワークの解明 中富健康科学振興財団研究助成 150万円
- 26) 石田陽子(研究代表者): 歯周炎併発BRONJモデルの作成とその治療展開. 令和6年度(新

規) 日本学術振興会科学研究費助成事業 (基盤 (C)), 169 万円 (うち直接経費 130 万), 課題番号 24K13065

- 27) 原実生 (研究代表者): 歯周病原細菌による呼吸器上皮バリア機能破綻と肺がん発症機構を解明する. 令和 6 年度 (新規) 日本学術振興会科学研究費助成事業 (若手) (研究代表者: 原実生), 208 万円 (うち直接経費 160 万), 課題番号 24K19892
- 28) 原実生 (研究分担者): 口腔幹細胞ニッチに着目した口腔老化メカニズム解明. 令和 5 年度 (継続) 日本学術振興会科学研究費助成事業 (国際共同研究加速基金 (海外連携研究)), 429 万円 (うち直接経費 330 万, うち分担金 30 万), 課題番号 23KK0160
- 29) 北見恩美 (研究代表者): 歯根膜恒常性維持メカニズムの理解にもとづく予知性の高い自家歯牙移植術の開発. 令和 5 年度 (継続) 日本学術振興会科学研究費助成事業 (基盤 (C)), 91 万円 (うち直接経費 70 万円), 課題番号 23K09293

【招待講演・シンポジウム】

- 1) Maeda T: Introduction of NUFD at the viewpoint of global strategy. 1st joint conference of Niigata University and University of Hasanuddin. University of Hasanuddin, Makassar, Indonesia, 2024.4.19.
- 2) Maeda T, Maekawa T, Sato Y: Bone quality is a key factor to successful dental implantation. 13th International Scientific Meeting in Dentistry9th International Conference on Biophysical Technology in Dentistry (ICoBTD), Makassar, Indonesia, 2025.2.20-22.
- 3) Maekawa T: Regulation of the stem cell niche in oral aging and its development in bone regeneration, 14th International Conference on Dental Science and Education, Quang Ninh, Viet Nam, 2024.10.24.
- 4) Maekawa T: Elucidation of Oral Aging Mechanisms and Development of Bone Regeneration Reagent, The 72nd Annual Meeting of Japanese Association for Dental, Oral, and Craniofacial Research, Kagoshima, 2024.11.16.
- 5) Maekawa T: Elucidation of Oral Aging Mechanisms and Development of Bone Regeneration Reagent. 13th International Scientific Meeting in Dentistry9th International Conference on Biophysical Technology in Dentistry (ICoBTD), Makassar, Indonesia, 2025.2.20-22.
- 6) 前川知樹: 老化幹細胞制御による再生能力賦活化

機構解明と創薬展開, 千里ライフサイエンス産学術交流会, 大阪, 2024.12.19.

【学会発表】

- 1) Surboy M, Sireserephap K, Rosenkranz A, Maeda T, Maekawa T: Novel macrolides enhance bone regeneration in periodontitis. The FDCU International Symposium 2024, Chularongkon University, Bangkok, Thailand, 2024.5.20.
- 2) 佐藤友里恵、前川知樹、前田健康: 軸索変性分子 SARM1 活性はシャルコー・マリー・トゥース病の病態を悪化させる, 第 129 回日本解剖学会総会・全国学術集会, 那覇, 2024.3.21-23.
- 3) 前川知樹: 老化に伴う幹細胞ニッチの制御と骨再生治療展開. 第 42 回日本骨代謝学会学術集会, 那覇文化芸術劇場, 那覇市, 2024.6.30. 抄録集 p.60.
- 4) 岸本直隆、瀬尾憲司、藤井規孝、前田健康: 全身的偶発症対応シミュレーションと教育効果の評価システム開発. 第 43 回日本歯科医学教育学会学術大会. 愛知学院大学, 名古屋市, 2024.9.6-7, 抄録集 p.81.
- 5) 黒川孝一、林孝文、前田健康: ICT を活用した歯学生の評価法確立のための研究 コンテンツ作成における CBT プラットホームの現状と課題. 第 43 回日本歯科医学教育学会学術大会. 愛知学院大学, 名古屋市, 2024.9.6-7, 抄録集 p.104.
- 6) Surboy M, Sireserephap K, Rosenkranz A, Maeda T, Maekawa T: Single intrapalatal injection erythromycin-loaded microparticle mitigate alveolar bone loss and enhances bone regeneration in periodontitis, The 72nd Annual Meeting of Japanese Association for Dental, Oral, and Craniofacial Research, Kagoshima, 2024.11.16. 抄録集 p.52.
- 7) Fadhlallah P, Surboy M, Kesuma A, Koga M, Rosenkranz A, Maeda T, Kawasaki M, Tomihara K, Maekawa T: Comparative Analysis of Zoledronic Acid Administration Routes and Periodontitis on The Development and Severity Of Bisphosphonate-Related Osteonecrosis of The Jaw in Mice, The 72nd Annual Meeting of Japanese Association for Dental, Oral, and Craniofacial Research, Kagoshima, 2024.11.16. 抄録集 p.61.
- 8) 佐藤友里恵、前田健康: 末梢神経障害後の脱神経骨格筋における微小血管リモデリング. 第 47 回日本分子生物学会年会, 福岡市, 2024.11.26-28
- 9) 吉羽永子、前川知樹、関口清俊、加来賢、佐藤友里恵、Rosenkranz Andrea、前田健康、吉羽邦彦:

インテグリン $\alpha 7$ は THP-1 マクロファージの樹状細胞への分化を制御する. 第 56 回日本結合組織学会学術大会, つくば市, 2024.11.26-28,抄録集 p.133.

【研究会発表】

- 1) 前川知樹: 老化による幹細胞ニッチ変容機構解明と骨再生への展開, MBD-21 研究会, 名古屋, 2024. 11.9.
- 2) 川崎 勝盛: 表皮発生における Reptin と一次繊毛の関連性について. 第 44 回 峠の会 形態科学セミナー, 阿賀野市, 2024.8.1.

【その他】

- 1) 前田健康: 令和 6 年度医学/歯学教育指導者のためのワークショップコーディネーター. 文部科学省.
- 2) 前田健康: 医道審議会歯科医師分科会共用試験部会委員. 厚生労働省.
- 3) 前田健康: 歯科医療提供体制等に関する検討会構成員. 厚生労働省.
- 4) 前田健康: 科学技術政策研究所専門調査委員. 文部科学省科学技術政策研究所.
- 5) 前田健康: 研究支援事業事前評価外部専門家, 科学技術振興機構.
- 6) 前田健康: 日本学術会議第 26 期連携会員 (基礎系歯学分科会) .
- 7) 前川知樹: 日本学術会議第 26 期連携会員 (基礎系歯学分科会) .
- 8) 前川知樹: 日本学術会議第 26 期連携会員 (臨床系歯学分科会) .
- 9) 前川知樹: 日本学術会議第 26 期連携会員 (病態系歯学分科会) .
- 10) 前川知樹: 日本学術会議第 25, 26 期連携会員 (若手アカデミー) .
- 11) 前川知樹: 日本学術会議第 26 期連携会員 (科学者委員会 学術研究振興分科会) .
- 12) Maeda T: Archives of Histology and Cytology
- 13) Maeda T: Anatomical Science International
- 14) Maeda T: Biomedical Research
- 15) Maeda T: Journal of Oral Tissue Engineering
- 16) Maeda T: Journal of Clinical Medicine
- 17) Maeda T: Frontiers in Dental Medicine
- 18) Maekawa T: Frontiers in Oral Health

【著 書】

- 1) 中村健: 研修教材活用 BOOK(中村健 他), 「生活保護ケースワーカー等の研修のあり方に関する調査研究事業」検討委員会編, 一般財団法人日本総合研究所, 東京, 2025.

【論 文】

- 1) Sakai A, Matsuo K, Sekimoto Y, Hidaka R, Yoshihara A: Changes in oral health status with dental intervention during the acute to subacute stages of stroke. Gerodontology, 41(2):276-282, 2024.
- 2) Tsuji T, Shimoyama A, Kamiyama S, Tamura A, Yoshihara A: The Tenderizing Effect of Low-Temperature Long-Time Cooking Under Vacuum on Pork Meat. Journal of Cookery Science of Japan, 57: 166-174, 2024.
- 3) NCD Risk Factor Collaboration: Worldwide trends in underweight and obesity from 1990 to 2022: a pooled analysis of 3663 population-representative studies with 222 million children, adolescents, and adults. Lancet, 16;403(10431):1027-1050, 2024.
- 4) Thwin KM, Kaneko N, Okubo H, Yamaga T, Suwama K, Yoshihara A, Iwasaki M, Ito Y, Tanaka J, Narita I, Ogawa H: Association between dry eye and periodontal disease in community-dwelling Japanese adults: data from the Uonoma cohort study. BMC Oral Health, 8;24(1):47, 2024.
- 5) Yoshihara A, Iwasaki M, Suwama K, Nakamura K: Association between low kidney function and excess weight concerning unfavorable periodontal health among community-dwelling older Japanese women. Oral Health and Preventive Dentistry, 23:22:293-300, 2024.
- 6) Ho DSM, Zaitzu T, Ihira H, Iwasaki M, Yoshihara A, Suzuki S, Inoue M, Yamagishi K, Yasuda N, Aida J, Shinozaki T, Goto A, Tsugane S, Sawada N: Association Between Oral Malodor and Dementia: An 11-year Follow-Up Study in Japan. the Journal of Alzheimer's Disease Reports, 17;8(1):805-816, 2024.
- 7) Lyu H, Sugita N, Komatsu S, Wakasugi M, Yokoseki A, Yoshihara A, Kobayashi T, Sato K, Kawashima H, Onodera O, Narita H, Tabeta K: UCP2 polymorphisms, daily step count, and number of teeth associated with all-cause mortality risk in Sado City: A hospital-based cohort study. Heliyon, 8;10(12):e32512, 2024.
- 8) NCD Risk Factor Collaboration: General and abdominal adiposity and hypertension in eight world regions: a pooled analysis of 837 population-based studies with 7.5 million participants. Lancet, 404: 851-63, 2024.
- 9) Nursari EM, Kiswanjaya B, Wijanarko AP, Priaminiarti M, Iskandar HHB, Yoshihara A: The relationship between radiomorphometric indices and fractal dimension analysis through cone-beam computed tomography. Scientific Report, 8;14(1):23440, 2024.
- 10) Takehara S, Ueno M, Yoshihara A, Iwasaki M, Suwama K, Narita I, Tanaka J, Ogawa H, Ito Y: Weight Loss and Number of Present Teeth in Community-dwelling Japanese Older Adults: A Cross-sectional Study in Niigata. J Oral Rehabil, 52(2):169-180, 2024.
- 11) NCD Risk Factor Collaboration: Worldwide trends in diabetes prevalence and treatment from 1990 to 2022: a

- pooled analysis of 1108 population-representative studies with 141 million participants. *Lancet*, 23;404(10467):2077-2093, 2024.
- 12) Goto R, Ochiai M, Takei E, Ita R, Ono K, Takei R, Washio H, Takahashi H, Tsujimura T, Magara J, Inoue M: Impact of salivary flow inhibition on masticatory behaviours in healthy individuals. *J Oral Rehabil*, 51(9): 1759-1769, 2024.
 - 13) Takebe H, Kishimoto Y, Noguchi Y, Ninomiya T, Yukita A, Yoshida N, Washio A, Iijima M, Morotomi T, Kitamura C, Nakamura H, Hosoya A: Polycomb protein Bmi1 promotes odontoblast differentiation by accelerating Wnt and BMP signaling pathways. *Histochem Cell Biol*, 163 (1), 2024.
 - 14) Aizawa Y, Haga K, Yoshida N, Yortchan W, Takada S, Tanaka R, Naito E, Abé T, Maruyama S, Yamazaki M, Tanuma J, Igawa K, Tomihara K, Togo S, Izumi K: Development and characterization of a three-dimensional organotypic in vitro oral cancer model with four co-cultured cell types, including patient-derived cancer-associated fibroblasts. *Biomedicines*, 12(10),2373, 2024.
 - 15) Zheng Z, Hasebe D, Suda D, Saito N, Saito D, Nihara J, Nohno K, Saito I, Kobayashi T: Investigation of orthognathic surgery indicators-combination with index of orthognathic functional treatment needs (IOFTN) and maxillofacial morphometric analysis. *Oral and maxillofacial surgery*, 28(3):1189-1196, 2024.
 - 16) Ichikawa Y, Kaneko N, Thwin KM, Senpuku H, Nohno K, Ogawa H: Low Salivary IgA Levels Against PAC (361-386) as a Risk Factor for Root Caries in Older Adults. *Clinical and Experimental Dental Research*, 10(4):e945, 2024.
 - 17) Chairunisa F, Widita E, Thwin KM, Takehara S, Nohno K, Hanindriyo L, Miyazaki H, Ogawa H: Ten years' evaluation of periodontal status and its changes among Japanese older adults. *Special Care in Dentistry*, 44(6):1731-1741, 2024.
 - 18) Takahara S, Edanami N, Baldeon-Gutierrez R, Yoshida K, Takenaka S, Ohkura N, Yoshida N, Gomez-Kashimoto S, Noiri Y: An Evaluation of the Biocompatibility and Chemical Properties of Two Bioceramic Root Canal Sealers in a Sealer Extrusion Model of Rat Molars. *J. Funct. Biomater*. 16(1): 14, 2025.
 - 19) Akter T, Takashima M, Arai Y, Matsuzaki N, Yamazaki Y, Nohno K: Gonial angle and late implant loss: A retrospective clinical study. *Journal of Prosthodontic Research*, 10;69(1):120-126, 2025.
 - 20) Takahara S, Ohkura N, Yoshida N, Baldeon-Gutierrez R, Gomez-Kashimoto S, Edanami N, Ida T, Takenaka S, Yoshida K, Noiri Y: Influence of Tooth Maturity on Healing Outcomes in Regenerative Endodontics. *J Dent Res*, 2025, in press.
 - 21) Yoshihara A, Iwasaki M, Suwama K, Odajima A, Kabasawa K, Ito Y, Tanaka J: Dietary n-6 and n-3 polyunsaturated fatty acids and tooth loss in community-dwelling older Japanese people. *Gerodontology*, 2025, in press
 - 22) 鈴鹿祐子, 大川由一, 諏訪間加奈, 黒川孝一, 葭原明弘: 歯科衛生士養成校学生の臨床実習におけるストレス反応の実態と関連要因. *歯科衛生学会誌*, 18: 26-37, 2024.
 - 23) 諏訪間加奈, 藤井香那, 高橋純子, 葭原明弘: 標準的な成人歯科健診プログラムに準じた個別指導による歯科保健行動変容への影響. *口腔衛生学会誌*, 74: 99-107, 2024.
 - 24) 高野綾子, 柴田佐都子, 沖津佳子, 濃野 要, 葭原明弘: 病院歯科の歯科衛生士による定期的な口腔衛生管理の各手順時間および処置時間の関連要因, *口腔衛生学会誌*, 74: 92-98, 2024.
 - 25) 皆川久美子, 葭原明弘, 宮本茜, 諏訪間加奈, 岩崎正則, 竹原祥子, 小川祐司: 腎機能と自己申告による現在歯数との関連 (魚沼コホート調査ベースラインデータより). *口腔衛生学会誌*, 74: 125-134, 2024.
 - 26) 新井 恵, 葭原明弘: 透析患者に対して歯科衛生士が行う口腔健康教育の有用性. *新潟歯学会誌*, 54(1): 21-27, 2024.
 - 27) 辻友美, 田村朝子, 井上 誠, 葭原明弘: 介護保険施設における嚥下調整食提供の課題についての実態調査. *日本家政学会誌*, 75(10):500-509, 2024.
 - 28) 小田島あゆ子, 葭原明弘, 久保雅義, 石上和男: 地域在住高齢者における咬合と頭部を含む身体動揺との関連. *老年歯科医学*, 39 (1) 57-64, 2024.
 - 29) 大倉直人, Baldeon Gutierrez Rosa Edith, 高原信太郎, Gomez Kasimoto Susan Kiara, 枝並直樹, 井田貴子, 外園真規, 永田量子, 竹中彰治, 吉羽邦彦, 吉羽永子, 野村由一郎: 歯髄創傷治療および歯髄再生過程におけるリン酸トランスポーター(Pit-1)の免疫組織学的解析. *日本歯科保存学会雑誌*, 165-173, 2024.
 - 30) 齋藤夕子, 黒川亮, 永井孝宏, 上野山敦士, 池田順行, 児玉泰光, 濃野 要, 富原圭: 当科における入院加療を要した歯科領域の重症炎症症例の臨床的検討, *有病者医療*, 3(2): 66-71, 2024.
 - 31) 吉田歩未, 中村由紀, 大島邦子, 中島努, 笹川祐輝, 濃野要, 早崎治明: 定期的歯科介入が行われている施設利用知的障害者の支援必要度と口腔保健支援状況との関連性, *口腔衛生学会雑誌*, 73 (4):260-269, 2024.
 - 32) 渡辺真光, 濃野要, 高昇将, 星野剛志, 田村浩平, 岩崎正則, 小 祐司: 地域在住後期高齢者の転倒予測因子としての残存歯数 1 年間のコホート研究, *新潟歯学会雑誌*, 54(1):9-19, 2024.
- 【商業誌その他】**
- 1) 中村健: 居住支援における生活保護制度の活用, 財団ニュース Vol.167(中村健 他), 23-32 頁, 一般財団法人高齢者住宅財団, 東京, 2024.
- 【研究費獲得】**
- 1) 葭原明弘、宮本茜、諏訪間加奈 他: 口腔および口蓋扁桃マイクロバイオームが慢性腎臓病に及ぼす包括的メカニズムの解明, 日本学術振興会科学研究補助金, 基盤研究(C), 22K10337, 2024.
 - 2) 小坂健、葭原明弘 他: 成人期における口腔の健康と

- 全身の健康の関係性の解明のための研究、厚生労働科学研究費補助金(循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業) 21FA1013, 2024.
- 3) 新美奏恵、葭原明弘 他：がん薬物療法を受ける患者の口腔環境、口腔細菌叢と QOL の関連性の解明、日本学術振興会科学研究補助金、基盤研究(C), 2024.
 - 4) 葭原明弘：新潟県(受託研究障害児者歯科保健医療実態調査の集計・分析 新潟県, 2024.
 - 5) 葭原明弘：新潟県(受託研究要介護者歯科保健医療実態調査の集計・分析 新潟県, 2024.
 - 6) 葭原明弘：新潟市(受託研究歯周病の見えるか事業の集計・分析 新潟市, 2024.
 - 7) 小田島あゆ子：高齢者における頭頸部の機能維持による平衡機能低下の抑制効果. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究, 19K19327, 2024.
 - 8) 小田島あゆ子：独居高齢者の栄養状態と口腔健康状態の関連 一地域社会における孤立防止を目指して一. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究, 24K20100, 2024.
 - 9) 小田島あゆ子：独居高齢者における栄養摂取状況および口腔健康状態の実態調査. 令和 6 年度新潟市医師会地域医療研究助成, GC04320232, 2024.
 - 10) 小野和宏, 井上 誠, 真柄 仁, 伊藤加代子: 生体と食品の併行アプローチによる新たな咀嚼嚥下機能の理解. 日本学術振興会科学研究補助金 基盤研究 (C) , 22K10073, 2024.
 - 11) 松下佳代, 小野和宏, 斎藤有吾, 伊藤通子, 平山朋子, 丹原 惇: コンピテンシーの形成・評価の検討ー統合性・分野固有性・エージェンシーに着目してー. 日本学術振興会科学研究補助金 基盤研究 (B) , 22H00965, 2024.
 - 12) 大湊 麗, 小野和宏, 佐藤真由美: 二段階口蓋形成手術法における硬口蓋閉鎖時期の検討: 鼻腔共鳴の定量評価の確立. 日本学術振興会科学研究補助金 基盤研究 (C) , 23K10517, 2024.
 - 13) 柴田佐都子(代表), Roxana Stegaroiu (分担), 大内章嗣(分担) 他: 知的障害者の口腔保健行動を支援する包括的アセスメントツールの開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C) , 22K10288, 2024.
 - 14) 諏訪間 加奈: 大規模前向き調査によるアルコール摂取と歯科疾患・口腔健康状態との関連の解明, 日本学術振興会科学研究基金, 若手研究, 22K17286, 2024.
 - 15) 米澤大輔, 濃野要: 医療人材不足のへき地における少人数で実践可能な地域包括ケアシステムモデルの構築, 日本学術振興会科学研究補助金, 基盤研究(C), 23K01871, 2024.
 - 16) 米澤大輔: 過疎地域在住高齢者における健康行動の効果的な自己管理および記録情報活用の検討, SOMPO 福祉財団, 2024 年度 ジェロントロジー研究助成, 2024.
 - 17) 吉羽永子, 前川知樹, 前田健康, 大倉直人: マクロファージの表現型に影響する細胞外基質ラミニンの機能解析, 日本学術振興会科学研究補助金, 基盤研究 (B) , 23K24517, 2024.
 - 18) 大倉直人, 吉羽永子, 柿原嘉人, 大島勇人: アスコルビン酸輸送担体を介した象牙芽細胞分化を促進させる歯髄再生メカニズムの解明, 日本学術振興会科学研究費助成金, 基盤研究 (C) , 19K10147, 2024.
 - 19) Roxana Stegaroiu, 荒井良明, 黒川孝一, 田中茂雄□: 骨梁三次元有限要素モデルの応力からインプラント過重負担と辺縁骨吸収との関連を探索, 日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究 (C) , 20K10031, 2024.
 - 20) 濃野要, 金子昇, 島田美恵子: 超高齢期における口腔機能低下を栄養摂取と身体的フレイルから考える, 日本学術振興会科学研究費助成金, 基盤研究(C), 22K10287, 2024.
 - 21) 船山 さおり, 伊藤加代子, 任智美, 濃野要, 藤村忍, 山崎学, 井上誠: 嗅覚と唾液は自発性異常味覚の苦味を説明できるか? 日本学術振興会科学研究費助成金, 基盤研究(C), 24K13258, 2024
 - 22) 吉武裕, 山本直史, 東恩納玲代, 島田美恵子, 綾部誠也, 濃野要: 1 日の総歩数と総死亡の関連-70 歳から 100 歳までの 30 年間にわたる長期縦断的研究, 日本学術振興会科学研究費助成金, 基盤研究(C), 24K14703, 2024.
 - 23) 小川祐司, 山田貴穂, 皆川久美子, 濃野要, 金子昇: 糖尿病の心筋梗塞リスクに対する抗菌的歯周治療の有用性に関するランダム化比較試験, 日本学術振興会科学研究費助成金, 基盤研究(C), 23K09478, 2024.
 - 24) 伊藤加代子, 井上誠, 高松潔, 船山 さおり, 本川佳子, 泉健次, 濃野要: エクオールは口腔乾燥症, 味覚障害, 舌痛症の新たな治療法となりうるか?, 基盤研究(C), 22K10310, 2024.
 - 25) 金子昇, 濃野要: 口腔細菌叢のメタゲノム解析による口臭症の病態解明, 基盤研究(C), 22K10338, 2024.
 - 26) 小澤薫, 中村健, 小池由佳: 低所得世帯の子どもに対する子育て支援環境の整備に関する実証的研究. 基盤研究 (C) , 21K01976, 2024
 - 27) 中村健, 米澤大輔, 小澤薫: 生活保護利用をためらわない政策モデルの開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C) , 22K01973, 2024.
 - 28) 脇山園恵, 中村健, 下村幸仁: 生存権保障と生存権保障を底上げする生活困窮者支援 3 制度の運用モデルの開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C) , 24K05265, 2024.
- 【招待講演・シンポジウム】
- 1) 米澤大輔: 歯科衛生士卒前教育の現在地, 第 39 回 甲北信越矯正歯科学会学術大会 , 新潟市, 2024 年 6 月 23 日.
 - 2) 吉羽永子: ラミニンアイソフォームとそのインテグリンの親和性の違いはマクロファージの表現型に影響する. 第 97 回日本生化学会大会, 横浜市, 2024 年 11 月 8 日.

【学会発表】

- 1) Yortchan W, Yamada Y, Yoshiba N, Takada S, Aizawa Y, Tanaka R, Suzuki A, Izumi K: Engineering epithelial basement membrane in a tissue-engineered oral mucosa: a preliminary study. Mahidol-Niigata University International Collaborative Symposium, Bangkok, Thailand, 2024 年 5 月 31 日.
- 2) Kasimoto SG, Ohkura N, Gutierrez RB, Takahara S, Edanami N, Ida T, Takenaka S, Yoshiba N, Noiri Y: The role of glutamine transporters in the dental pulp and periodontal ligament. Mahidol-Niigata University International Collaborative Symposium, Bangkok, Thailand, 2024 年 5 月 31 日.
- 3) Baldeon-Gutierrez R, Ohkura N, Takahara S, Gomez-Kasimoto S, Ida T, Edanami N, Takenaka S, Yoshiba N, Noiri Y: Wound healing mechanism after pulpotomy in type 2 Diabetes Mellitus Rats. Mahidol-Niigata University International Collaborative Symposium, Bangkok, Thailand, 2024 年 5 月 31 日.
- 4) Ominato R, Nakano H, Kodama Y, Kobayashi R, Sato M, Tani A, Ishimoto G, Kuwahara K, Yoshioka Y, Tomihara K, Ono K: Questionnaire surveys of resource room teacher at elementary school on cooperation with the external speech therapist in cleft speech. CLEFT TOKYO 2024: The 16th world congress of the international cleft lip and palate foundation, 東京, 2024 年 7 月 17-19 日.
- 5) Stegaroiu R, Kurokawa K, Arai Y, Yamazaki Y, Tanaka S. Principal Strains in the Bone around an Implant Supporting a Restoration Fabricated Using a Fully Digital Workflow: a 3D Finite Element Analysis. The 133rd Annual Meeting of the Japan Prosthodontic Society / The 14th Biennial Congress of the Asian Academy of Prosthodontics (AAP), Makuhari (Chiba), 2024.7.7.
- 6) Baldeon-Gutierrez R, Ohkura N, Yoshiba N, Takahara S, Gomez-Kasimoto S, Edanami N, Ida T, Takenaka S, Yoshiba K, Noiri Y: Wound healing process after pulpotomy in the pulp tissue of Diabetes Mellitus model rats. 令和 6 年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟, 2024 年 11 月 2 日.
- 7) Baldeon-Gutierrez R, Ohkura N, Yoshiba, Takahara S, Gomez-Kasimoto S, Edanami N, Ida T, Takenaka S, Noiri Y: TRPV1 and ANO1 involved in the acute pain during orthodontic treatment. The 26th JSCD/KACD Joint Scientific Meeting, Himeji, 2024 年 11 月 21, 22 日.
- 8) Ishiguro-Matsumoto A, Shibata S, Stegaroiu R, Ogawa Y, Ikeda Y, Ohuchi A : The Effective Toothbrushing Support Frequency for People with Intellectual Disability. 2025 AADOCR/CADR Annual Meeting & Exhibition, New York, NY, USA, 2025 年 3 月 12-15 日.
- 9) Shibata S, Ogawa Y, Ishiguro-Matsumoto A, Ikeda Y, Stegaroiu R, Nohno K, Ohuchi A: Factors affecting toothbrushing instruction effectiveness for adults with intellectual disabilities. 2025 AADOCR/CADR, New York, USA, 2025 年 3 月 12-15 日.
- 10) Suwama K, Iwasaki M, Ito Y, Tanaka J, Kabasawa K, Yoshihara A: Drinking Habits and Tooth Loss: A Five-Year Cohort Study. AADOCR2025 ANNUAL MEETING, New York, USA, 2025 年 3 月 12-15 日.
- 11) Odajima A, Yoshihara A, Kubo M, Ishigami K: Relationships between the Number of Remaining Teeth and the Occlusal Force Balance in Older Adults. 2025 American Association for Dental, Oral, and Craniofacial Research(AADOCR/CADR) Annual Meeting & Exhibition, New York City, May 15, 2025.
- 12) 角田衣里理加、大島朋子、小川祐司、金子昇、濃野要、野村義明、花田信弘、葭原明弘：高齢者の認知検査に栄養を与える因子についての疫学的探索、第 73 回、日本口腔衛生学会・総会、盛岡市、トーサイクラシックホール岩手、口腔衛生学会誌 74 (Suppl) :139, 2024. 2024 年 5 月 10 日～5 月 12 日.
- 13) 枝並直樹, 高原晋太郎, 大倉直人, 吉羽邦彦, 吉羽永子, 野杻由一郎: 断髄後の創面における異栄養性石灰化と非コラーゲン性タンパク質の集積. 日本歯科保存学会 2024 年度春期学術大会(160 回), 仙台, 2024 年 5 月 16 日.
- 14) 大倉直人, Rosa Edith Baldeon Gutierrez, 高原信太郎, 井田貴子, Gomez Kashimoto Susan Kiara, 枝並直樹, 外園真規, 永田量子, 竹中彰治, 吉羽邦彦, 吉羽永子, 野杻由一郎: 歯髄創傷治癒および歯髄再生時でのリン酸トランスポーター(Pit-1)の機能解析. 日本歯科保存学会 2024 年度春期学術大会(160 回), 仙台, 2024 年 5 月 16 日.
- 15) 保苅崇大, 両角俊哉, 野中由香莉, 濃野要, 小松康高, 杉原俊太郎, 山本裕子, 宮沢春菜, 鎗田将史, 新井恭子, 佐藤友則, 高橋直紀, 小牧基浩, 多部田康一: 歯周炎患者における SRP および Er:YAG レーザー応用による歯石除去時の生体応答の検討, 第 67 回春季日本歯周病学会学術大会, 福島県郡山市, ビッグパレットふくしま 2024 年 5 月 24 日～5 月 25 日.
- 16) 大湊麗, 宮田昌幸, 若槻華子, 児玉泰光, 市川佳弥, 佐藤真由美, 濃野要, 齋藤功, 小野和宏: 鼻内手術の評価: ナゾメーターによる分析. 第 48 回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 名古屋市, 2024 年 5 月 30-31 日.
- 17) 小野和宏, 斎藤有吾, 上畠洋佑, 丹原惇, 秋葉陽介, 秋葉奈美, 松下佳代: コンビテンシーを育成する効果的なカリキュラムのデザインーPEPA を軸とする歯学教育プログラムを履修した卒業生の語りにもとづいてー. 大学教育学会第 46 回大会, 神戸市, 2024 年 6 月 8-9 日.
- 18) 吉羽永子, 前川知樹, 関口清俊, 加来賢, 佐藤友里恵, Rosenkranz Andrea, 前田健康, 吉羽邦彦: インテグリン $\alpha 7$ は THP-1 マクロファージの樹状細胞への分化を制御する. 第 56 回日本結合組織学会学術大会, つくば市, 2024 年 6 月 15, 16 日.
- 19) 大西愛、頭山高子、葭原明弘：地域在住高齢者を対象とした口腔機能低下症とソーシャル・キャピタルおよび主観的幸福感の関連性、日本老年歯科医学会第 35 回学術大会、札幌市、札幌コンベンションセンター、2024 年 6 月 28 日～30 日.
- 20) 島村陽南子、小田島あゆ子、中村健、松田正史、松

- 田浩一郎、石上和男、葭原明弘：独居高齢者における栄養摂取状況および口腔健康状態の実態調査、日本老年歯科医学会第 35 回学術大会、札幌市、札幌コンベンションセンター、2024 年 6 月 28 日～30 日。
- 21) 大西愛、頭山高子、柴田佐都子、諏訪間加奈、葭原明弘：地域在住高齢者を対象とした主観的幸福感と口腔機能低下症検査項目との関連、令和 6 年度新潟歯学会第 1 回例会、新潟市、2024 年 7 月 13 日。
 - 22) 西山秀昌、丹原惇、秋葉陽介、斎藤有吾、小野和宏、濃野要、林孝文：歯科における AI 関連授業の位置付けと方向性について、日本歯科放射線学会 第 238 回関東地方会・第 43 回北日本地方会 第 31 回合同地方会、新潟市、2024 年 8 月 31 日。
 - 23) 黒川孝一、林孝文、前田健康：ICT を活用した歯学生の評価法確立のための研究 コンテンツ作成における CBT プラットホームの現状と課題、第 24 回日本歯科医学教育学会総会・学術大会、名古屋市、2024 年 9 月 6-7 日。
 - 24) 室橋波菜、米澤大輔、柴田佐都子、葭原明弘、濃野要：地域在住高齢者における動脈硬化マーカーとしての脈圧と刺激時唾液量の関連、日本歯科衛生学会、朱鷺メッセ、新潟、2024 年 9 月 21-23 日。
 - 25) 桜井花菜、柴田佐都子、米澤大輔、葭原明弘、濃野要：高齢者における歯数および咬合支持数と身体機能低下との関連から見た口腔評価方法の検討、日本歯科衛生学会、朱鷺メッセ、新潟、2024 年 9 月 21-23 日。
 - 26) 小田島あゆ子、柴田由美、木村有子、船山昭典、新美奏恵、三上俊彦、原田由香、小林正治、隅田好美：高齢口腔がん患者における QOL およびフレイルの関連、日本歯科衛生学会第 19 回学術大会、新潟市、2024 年 9 月 22 日。
 - 27) 松本明日香、柴田佐都子、ステガロユ ロクサーナ、小川友里奈、池田吉史、大内章嗣：障害福祉施設通所成人知的障害者を対象とした実行機能と関連する歯磨き行動質問紙の検証ー日本歯科衛生学会第 19 回学術大会、新潟市、2024 年 9 月 22 日。
 - 28) 柴田佐都子、小川友里奈、松本明日香、ステガロユ ロクサーナ、池田吉史、濃野 要、大内章嗣：福祉施設通所知的障害者への介入による口腔衛生状態の改善とその関連因子、日本歯科衛生学会第 19 回学術大会、新潟県、2024 年 9 月 21-23 日、日本歯科衛生学会雑誌、19 (1): 67 頁、2024。
 - 29) 佐々木史佳、小田島あゆ子、葭原明弘：通所介護を利用する高齢者におけるムセまたは咀嚼の問題と ADL の関連、甲信越北陸口腔保健研究会、第 35 回総会・学術大会、新潟大学駅南キャンパスときめいと、2024 年 10 月 26 日。
 - 30) 永島和裕、高昇将、濃野要、小川祐司：シクロデキストリンと活性炭によるアセトン濃度の減少、甲信越北陸口腔保健研究会、第 35 回総会・学術大会、新潟大学駅南キャンパスときめいと、2024 年 10 月 26 日。
 - 31) 西山秀昌、池真樹子、新國農、丹原惇、秋葉陽介、斎藤有吾、小野和宏、濃野要、林孝文：歯学教育における AI 関連の諸問題をどのように扱うべきか？ー自動化バイアス、記号接地問題、ハルシネーションおよびアライメントの観点からー、日本歯科放射線学会 2024 年 第 5 回秋季学術大会および教育研修会、盛岡市、2024 年 10 月 25-27 日。
 - 32) 高原信太郎、大倉直人、吉羽永子、バルディオオン-グティエレスローサ、ゴメス-カシモトスサン、枝並直樹、井田貴子、竹中彰治、野杵由一郎：再生歯内療法モデルラットにおける歯根の成長段階に応じた治療の変化と間葉系幹細胞の挙動との関係性、令和 6 年度新潟歯学会第 2 回例会、新潟、2024 年 11 月 2 日。
 - 33) 相澤有香、羽賀健太、吉羽永子、Witsanu Yortchan、高田 翔、田中凜太郎、内藤絵里子、阿部達也、丸山智、山崎 学、田沼順一、富原 圭、泉 健次：患者由来がん関連線維芽細胞を含む 3 次元口腔がんモデルの開発とその特徴解析、令和 6 年度新潟歯学会第 2 回例会、新潟、2024 年 11 月 2 日。
 - 34) 大倉直人、吉羽永子、立川正憲、中馬吉郎、Rosa Edith Baldeon Gutierrez、高原信太郎、Susan Gomez Kasimoto、井田貴子、枝並直樹、竹中彰治、野杵由一郎：各種受容細胞における P.gingivalis 由来外膜小胞の取り込み動態解析、日本歯科保存学会 2024 年度秋期学術大会(161 回)、姫路市、2024 年 11 月 21、22 日。
 - 35) 中村健・小澤薫・米澤大輔：生活保護申請をためらう要因の探索、貧困研究会 第 17 回研究大会、那覇市、2025 年 1 月 12 日。
 - 36) 相澤有香、羽賀健太、吉羽永子、Witsanu Yortchan、高田 翔、田中凜太郎、内藤絵里子、井川和代、富原圭、泉 健次：口腔がんを模倣した 3 次元インビトロモデルの開発とその特徴、第 24 回日本再生医療学会総会、横浜、2025 年 3 月 21 日。
- 【受 賞】
- 1) 葭原明弘：令和 6 年度新潟県健康づくり功労者県知事表彰
 - 2) 諏訪間加奈：アルコール摂取状況と歯の喪失との関連についての研究 魚沼コホート研究ベースライン調査、第 73 回日本口腔衛生学会 2024 年度論文奨励賞。
- 【その他】
- 1) 中村健：令和 6 年度生活保護就労支援員全国研修会、厚生労働省、2024。
 - 2) 中村健：厚生労働省令和 6 年度社会福祉推進事業「生活保護ケースワーカー等の研修のあり方に関する調査研究事業」委員、一般財団法人日本総合研究所、2024-2025。
 - 3) 中村健：生活保護における 3 つの自立支援とその推進に向けた研修、国立保健医療科学院、2024。
 - 4) 中村健：令和 6 年度江戸川区生活保護業務適正実施検証委員会、江戸川区、2024-2025。

- 5) 中村健：新潟県子ども計画有識者会議，新潟県，2024-2025.
- 6) 中村健：新潟県ヤングケアラー支援検討会議，新潟県，2025.
- 7) 中村健：新潟県新任ケースワーカー研修会，新潟県，2024.
- 8) 中村健：新潟県新任査察指導員研修会，新潟県，2024.
- 9) 中村健：新潟県生活困窮者自立支援事業委託業務プロポーザル審査委員会，新潟市，2024.
- 10) 中村健：新潟市老人憩指定管理者申請者評価会議，新潟市，2024.
- 11) 中村健：重層的支援体制整備事業実施についての研修会，新潟市，2024-2025
- 12) 中村健：新発田市教育委員会学校教育課サポートチームスーパーバイザー，新発田市，2025.
- 13) 中村健：関川村ひきこもりフォーラム，関川村，2025.
- 14) 中村健：千葉県新任ケースワーカー研修会，社会福祉法人千葉県社会福祉協議会，2024.
- 15) 中村健，令和6年度日常生活自立支援事業専門員・福祉事務所職員研修会，社会福祉法人新潟県社会福祉協議会，2024.
- 16) 中村健：新潟市市民後見人養成研修，社会福祉法人新潟市社会福祉協議会，2024.
- 17) 中村健：村上市生活困窮者自立支援事業全体会議，社会福祉法人村上市社会福祉協議会，2025.
- 18) 中村健：ソーシャルワーカーデイにいがた2024，公益社団法人新潟県社会福祉士会，2023.
- 19) 中村健：生活・更生保護・児童家庭支援班研修会，公益社団法人新潟県社会福祉士会，2025
- 20) 中村健：令和6年度中堅民生委員児童委員研修会，一般財団法人新潟県民生委員児童委員協議会，2024.
- 21) 中村健：第2回生活保護業務の現状と在り方を考える研究会，明治学院大学，2024.
- 22) 中村健：生活保護行政 いのちを守る組織に，新潟日報 風の案内人，2024年6月3日
- 23) 中村健：文化的な生活 我慢を強くない制度に，新潟日報 風の案内人，2024年12月2日
- 3) Piriaprasath K, Kakihara Y, Hasegawa M, Iwamoto Y, Hasegawa Y, Fujii N, Yamamura K, Okamoto K: Nutritional Strategies for Chronic Craniofacial Pain and Temporomandibular Disorders: Current Clinical and Preclinical Insights. *Nutrients* 16(17): Doi: 10.3390/nu16172868, 2024.
- 4) 佐藤 拓実，長澤 伶，中村 太，長谷川 真奈，野村 みずき，藤井 規孝：ミラーテクニックを用いた切削技能に影響を与える因子の検討(第1報) 研修歯科医の上顎中切歯口蓋側切削時のデンタルミラーの近遠心位置設定による比較検討. *日本歯科医学教育学会雑誌* 40(3) 100-9 2024.
- 5) 長澤 伶，佐藤 拓実，中村 太，長谷川 真奈，野村 みずき，藤井 規孝：ミラーテクニックを用いた切削技能に影響を与える因子の検討(第2報) 研修歯科医の上顎中切歯口蓋側切削時のフィンガーレストの位置と術者の手長による比較検討. *日本歯科医学教育学会雑誌* 40(3) 110-8 2024.
- 6) 野村 みずき，宮本 茜，田島 稜子，長谷川 真奈，佐藤 拓実，中村 太，都野 さやか，長澤 伶，岩本 佑耶，藤井 規孝：器械結びにおける動画の教育効果に関する検討. *日本総合歯科学会雑誌* 16 29-38 2024.
- 7) 中村 太，長谷川 真奈，佐藤 拓実，都野 さやか，野村 みずき，長澤 伶，藤井 規孝：研修歯科医に対する臨床研修における臨床教育効果についてのアンケート調査報告. *日本歯科医学教育学会雑誌* 40(3) 135-43 2024.

【研究費獲得】

- 1) 長谷川 真奈：ストレスによる高位脳の機能変調が顔面痛を増大させる中枢メカニズムの解明. *日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C)*, 24K13111, 2024.
- 2) 中村 太：モーションキャプチャ・システムを用いた歯科臨床教育の検討. *日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究*, 23K16219, 2023.
- 3) 都野 さやか：Tacit Mannersの解明がもたらす技能教育の効率化. *日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究*, 23K12823, 2023.
- 4) 藤井 規孝：“視野の共有＝プロの目の借用”が歯科治療技術向上に与える影響の解明. *日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C)*, 22K02281, 2022.
- 5) 岩本 佑耶：米発酵エキス“酒粕”によるストレス解消戦略. *新潟大学未来のライフ・イノベーションを創出するフロンティア育成プロジェクト(次世代プロジェクト) 研究費*, 2023.
- 6) 長澤 伶：革新的な歯科臨床技能システム開発. *新潟*

歯科臨床教育学/歯科総合診療科

【論文】

- 1) Tsuzuno S, Sato T, Nakamura F, Nomura M, Hasegawa M, Fujii N: Quantitative analysis of impression-taking performance - a pilot study to visualize invisible technical steps in dental procedures. *J Dent Sci Educ* 2024;2(3): 59-63, 2024.
- 2) Piriaprasath K, Hasegawa M, Iwamoto Y, Kamimura R, Hajrah A, Fujii N, Yamamura K, Okamoto K: Effects of treadmill running on anxiety- and craniofacial pain-like behaviors with histone H3 acetylation in the brain of mice subjected to social defeat stress. *PLoS One* 20(1): Doi: 10.1371/journal.pone.0318292, 2024.

大学未来のライフ・イノベーションを創出するフロンランナー育成プロジェクト（次世代プロジェクト）研究費, 2022.

【学会発表】

- 1) Yuya Iwaoto, Kajita Piriyaarasath, Andi Sitti Hajrah Yusuf, Mana Hasegawa, Yoshito Kakihara, Noritaka Fujii, Kensuke Yamamura, Keiichiro Okamoto: Agmatine improves impaired object recognition behaviors. APPW2025, 千葉, 2025.3.14.
- 2) 佐藤 耕作, 今村 孝, 佐藤 拓実, 長澤 伶, 藤井 規孝: 光学式モーションキャプチャを用いた熟練歯科医と歯科学士のタービン先端姿勢の定量比較. 第 25 回計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会, 岩手, 2024.12.19.
- 3) 野村 みずき, 田島 稜子, 長谷川 真奈, 佐藤 拓実, 中村 太, 都野 さやか, 宮本 茜, 長澤 伶, 岩本 佑耶, 藤井 規孝: 口腔内カメラを治療に利用するために必要な準備に関する検討. 第 17 回日本総合歯科学会学術大会, 長崎, 2024.11.2.
- 4) 後藤 崇, 宮本 茜, 都野 さやか, 長谷川 真奈, 中村 太, 佐藤 拓実, 藤井 規孝: フラビーガムを有する患者に無圧印象を用いて義歯製作を行い、適合同上を図った症例. 第 17 回日本総合歯科学会学術大会, 長崎, 2024.11.2.
- 5) 小泉 瑠果, 中村 太, 長谷川 真奈, 佐藤 拓実, 宮本 茜, 藤井 規孝: 前歯部ブリッジ製作にあたりテンポラリークラウンにて咬合状態を検討した症例. 第 17 回日本総合歯科学会学術大会, 長崎, 2024.11.2.
- 6) 森田 小径, 長谷川 真奈, 中村 太, 佐藤 拓実, 都野 さやか, 藤井 規孝: 未処置根管を原因とする急性化膿性根尖性歯周炎に対し、感染根管治療と歯冠修復を行った症例. 第 17 回日本総合歯科学会学術大会, 長崎, 2024.11.2.
- 7) 早川 杏梨, 長谷川 真奈, 中村 太, 佐藤 拓実, 宮本 茜, 藤井 規孝: 低位咬合と咬合平面の乱れを有する患者に対して新義歯製作を行った症例. 第 17 回日本総合歯科学会学術大会, 長崎, 2024.11.2.
- 8) 山内 瑞起, 佐藤 拓実, 長谷川 真奈, 中村 太, 都野 さやか, 宮本 茜, 藤井 規孝: 補綴装置に起因する咬合平面の不正、及び歯周状態の悪化を再歯冠補綴によって修正した症例. 第 17 回日本総合歯科学会学術大会, 長崎, 2024.11.2.
- 9) 佐藤 拓実, 長澤 伶, 中村 太, 長谷川 真奈, 野村 みずき, 藤井 規孝: 各種映像媒体における支台歯形態判別の長所と短所の検討. 第 43 回日本歯科医学教育学会総会・学術大会, 名古屋, 2024.9.6.
- 10) 長澤 伶, 佐藤 拓実, 中村 太, 長谷川 真奈, 野村

みずき, 藤井 規孝: ミラーテクニック教育のための動画教材における着目点の調査. 第 43 回日本歯科医学教育学会総会・学術大会, 名古屋, 2024.9.6.

- 11) 長谷川 真奈, 柿原 嘉人, 岡本 圭一郎: アグマチンが顎顔面痛誘発性の不安行動に及ぼす影響. 第 24 回日本歯科薬物療法学会学術大会, 新潟, 2024.7.13
- 12) 岩本 佑耶, 長谷川 真奈, 山村 健介, 藤井 規孝: アグマチンはマウスの咬筋部の持続性炎症が誘発する不安行動を軽減する. 日本補綴歯科学会第 133 回学術大会, 千葉, 2024.7.6.

【研究会発表】

- 1) 長谷川 真奈: ジョギングは顎顔面痛を軽減できるのか? 歯学研究を明るく楽しむ交流会・歯科領域での AI 活用の検討会, 静岡, 2024.12.1.

【受賞】

- 1) 野村 みずき, 田島 稜子, 長谷川 真奈, 佐藤 拓実, 中村 太, 都野 さやか, 宮本 茜, 長澤 伶, 岩本 佑耶, 藤井 規孝: 口腔内カメラを治療に利用するために必要な準備に関する検討. 優秀口演賞. 第 17 回日本総合歯科学会学術大会, 長崎, 2024.11.2.
- 2) 早川 杏梨, 長谷川 真奈, 中村 太, 佐藤 拓実, 宮本 茜, 藤井 規孝: 低位咬合と咬合平面の乱れを有する患者に対して新義歯製作を行った症例. 若手ポスター発表優秀賞. 第 17 回日本総合歯科学会学術大会, 長崎, 2024.11.2.
- 3) 岩本 佑耶, 長谷川 真奈, 山村 健介, 藤井 規孝: アグマチンはマウスの咬筋部の持続性炎症が誘発する不安行動を軽減する. 日本補綴歯科学会第 133 回学術大会 課題口演賞, 千葉, 2024.7.6.

顎口腔インプラント治療部

【著書】

- 1) 林 孝文: 超音波検査 (超音波診断), 新編 顎関節症 第 3 版 (一般社団法人日本顎関節学会 [編]), 92-93 頁, 永末書店, 東京, 2024.

【論文】

- 1) 荒井良明. 顎関節障害に起因する咬合機能障害患者の補綴治療. 日補綴会誌, 2024; 16:245-250. doi.org/10.2186/ajps.16.245
- 2) Yoshiaki Arai, Makiko Takashima, Nanaka Matsuzaki, Sho Takada. Marginal bone loss in dental implants: A literature review of risk factors and treatment strategies

- for prevention. J Prosthodont Res. 2025;69:12-20.
doi.org/10.2186/jpr.JPR_D_23_00223
- 3) Tahrim Akter, Makiko Takashima, Yoshiaki Arai, Nanaka Matsuzaki, Yuta Yamazaki, Kaname Nohno. Gonial angle and late implant failure: A retrospective clinical study. J Prosthodont Res. 2025;69:120-126.
doi.org/10.2186/jpr.JPR_D_23_00267
 - 4) 上野山敦士, 安島久雄, 池田順行, 大貫尚志, 齋藤太郎, 荒井良明, 西山秀昌, 高木律男: 両側顎関節の偽痛風が疑われた1例. 日顎誌 36(3): 20-26, 2024.
 - 5) 松崎奈々香. 下顎右側第一大臼歯欠損に対しインプラント治療を行った1症例. 日本口腔インプラント学会誌, 2025; 38(1): in press.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) 秋葉陽介: How can basic research solve clinical problems? -Dental implant-related research-. Innovative Dentistry Seminar in Okayama University, 岡山, 2025 年 2 月 10 日.

【学会発表】

- 1) 荒井良明 松崎奈々香, 高嶋真樹子, 荒井良明, 小林正治. MPC ポリマーコーティングによるインプラントブリッジのバイオフィルム形成抑制効果: ランダム化二重盲検スプリットマウス臨床試験. 令和 6 年度新潟歯学会総会, 新潟, 2024 年 4 月 13 日, 同学術集会プログラム・予稿集: 2024.
- 2) 高田 翔, 内藤絵里子, 相澤有香, Yortchan Witsanu, 田中凜太郎, 荒井良明, 泉 健次. 化学療法誘発性口内炎の病態評価に対する 3 次元インビトロモデルの有用性について. 令和 6 年度新潟歯学会第 2 回例会, 2024 年 11 月 2 日 新潟市.
- 3) 秋葉 陽介, 秋葉 奈美, 江口 香里. 無構造ナノレベル超平滑チタン表面を使用した血中チタン接着タンパク質探索を基点としたオッセオインテグレーション機構解明. 第 54 回日本口腔インプラント学会学術大会. 37 巻特別号, 182 項. 2024 年 1 月 1 ~3 日 京都府.
- 4) 高田翔, 田中凜太郎, 松崎奈々香, 山崎裕太, 高嶋真樹子, 荒井良明. 顎関節学会オールアプライアンス製作のフルデジタルワークフローの検証. 第 37 回日本顎関節学会学術大会. 2024 年 7 月 13~14 日 徳島市
- 5) 高田翔. フルデジタルワークフローもよるオールアプライアンス製作の検証 令和 6 年度日本補綴歯科学会関越支部学術大会. 2024.12.15 宇都宮市

- 6) Roxana Stegaroiu, Koichi Kurokawa, Yoshiaki Arai, Yuta Yamazaki, Shigeo Tanaka. Principal Strains in the Bone around an Implant Supporting a Restoration Fabricated Using a Fully Digital Workflow: a 3D Finite Element Analysis. The 133rd Annual Meeting of the Japan Prosthodontic Society / The 14th Biennial Congress of the Asian Academy of Prosthodontics (AAP), Makuhari (Chiba), 2024.7.5-7 (oral presentation on July
- 7) Zhang T, Nagasawa M, Yamamoto Y, Koide H, Kooanatkul C, Nila T and Uoshima K: インプラント埋入直後にインプラント表面に遊走する骨髄由来細胞の組織学的観察. 第 57 回新潟歯学会総会, 新潟, 2024 年 4 月 13 日, 同学術集会プログラム・予稿集: 2024.
- 8) 相澤有香, 羽賀健太, 吉羽永子, Yortchan Witsanu, 高田 翔, 田中凜太郎, 内藤絵里子, 井川 和代, 富原 圭, 泉 健次: 口腔がんを模倣した 3 次元インビトロモデルの開発とその特徴. 2025 年 3 月 20 日-22 日. 横浜市. 第 24 回日本再生医療学会総会 516 頁. 2025 年

【研究会発表】

- 1) 磯野俊仁, 上野山敦士, 木口哲郎, 富原 圭: 術後に呼吸不全を認めた陳旧性顎関節脱臼の1例. 第93 回新潟口腔外科麻酔科集談会, 新潟市, 2024年11 月14日.

【研究費獲得】

- 1) 荒井良明: 日本学術振興会科学研究費補助金研究, 基盤研究(C), 2022-2024 年度, 計 650 千円. 課題番号 22K10097
- 2) 荒井良明: 顎口腔インプラント治療に関する研究助成. サンメディカル(株) 寄付金 2024 年 5 月 300 千円.

医療連携口腔管理治療部

【研究費】

- 1) 金丸博子: 科学研究費 若手研究, 令和 3 年~5 年度, 課題番号 21K17109, 研究代表者 金丸博子, 末梢組織損傷部位のスフィンゴシン 1 リン酸は神経障害性疼痛の発生に関与するか.
- 2) 曾我麻里恵: 科学研究費 若手研究 令和 4 年度~6 年度, 課題番号 23K1611, 研究代表者 曾我麻里恵, 放射線性う蝕の発生リスク因子の特定と適正な歯科管理方法の構築.

- 3) 善本佑：科学研究費 若手研究，令和 6 年～令和 8 年度，課題番号 24K19944，中高年齢者のインターバル速歩による運動が口腔の健康に与える影響。
- 4) 那須優介：科学研究費 研究活動スタート支援 令和 6 年度～令和 7 年度，課題番号 24K23544，歯周病原細菌による菌血症がもたらす精神疾患発症機構の解明。
- 5) 笹川花梨：科学研究費 研究活動スタート支援 令和 6 年度～令和 7 年度，課題番号 24K23614，NF- κ B を介した再生ニッチ制御による骨再生迅速化技術の開発。
- 6) 笹川花梨：科学研究費 若手研究，令和 7 年～令和 8 年度，課題番号 25K20265，ロイコトリエン拮抗剤の炎症制御・骨代謝促進に着目した新規骨再生療法の開発。

【論文】

- 1) Nozawa-Kobayashi M, Sakuma H, Kanemaru H, Kurokawa A, Soga M, Yamashita M, Niimi K, Kobayashi T. Oral Maxillofac Surg. 28(2):849-857. Jun, 2024.
- 2) Yoshida K, Kiyomi A, Kurokawa A, Hoshino N, Saito C, Koga M, Oonuki M, Kanemaru H, Pak K, Tomihara K, Sugiura M. Association between salivary inflammatory mediators and oral mucositis in patients with cancer undergoing chemotherapy. Support Care Cancer.32(9):625. Sep2,2024
- 3) Yoshida K, Kurokawa A, Hoshino N, Saito C, Koga M, Soga M, Yamashita M, Tanaka K, Ishiyama M, Kanemaru H, Pak K, Tomihara K, Sugiura M. Association of leukopenia in the development of cancer chemotherapy-induced oral mucositis and its severity. Oral Science International. 20:1-7,2024
- 4) Toru Yamamoto, Shigenobu Kurata, Tomoaki Ujita, Naotaka Kishimoto, Yuzo Imai, Emi Sawada, Hiroko Kanemaru, Yutaka Tanaka, Kenji Seo. Anesthetic Management of a Patient with a Giant Hemangioma Who Required Urgent Embolization for Bleeding during Third Molar Extractions. Anesthesia Progress, 71(4):183-187.Dec 4 2024.
- 5) Chi Li, Toru Yamamoto, Hiroko Kanemaru, Naotaka Kishimoto, Kenji Seo. Effects of Sphingosine-1-phosphate on the Facilitation of Peripheral Nerve Regeneration. The Cureus Journal of Medical Science, 16(11): e73784, 2024.
- 6) 田中 裕，岸本直隆，倉田行伸，山本 徹，金丸博子，今井有蔵，氏田倫章，沢田詠見，瀬尾憲司：歯科用局所麻酔薬の I 型アレルギー診断における白血球遊走試験 (LMT-chamber 法) の有用性の検討，新潟歯学会雑誌，54 (2) :1-7, 2024.
- 7) Yoshimoto T, Hasegawa Y, Khaing AMM, Sta Maria MT, Hattori H, Kishimoto H, Shinmura K, Ono T: Effects of the shortened dental arch on oral function in older adults: A prospective cohort study. Heliyon. 2024 Dec 6;10(24):e40897.
- 8) Sasagawa, K., Domon, H., Hirayama, S. et al. Secretory leucocyte protease inhibitor regulates bone metabolism and inflammation in experimental mouse periodontitis. Commun Biol 8, 760 (2025).

【学会発表】

- 1) 那須優介，岸川咲史，照沼美穂：Hippo—YAP 経路によるアストロサイトのグルタミン合成酵素発現制御. 第 54 回日本神経精神薬理学会／第 34 回日本臨床神経精神薬理学会合同大会，東京，2024 年 5 月 24 日，プログラムおよび講演抄録集：50 頁，2024.
- 2) Yusuke Nasu, Koichi Tabeta, Miho Terunuma: Astrocytes as Potential Therapeutic Target for Epilepsy, International Collaborative Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment, Bangkok, Thailand, Jun 1, 2024.
- 3) 善本 佑，長谷川陽子，兒玉匠平，大川純平，翁 恩慈，堀 頌子，高野日南子，岸本奈月，坂田政貴，山田果歩，Ma. Therese Sta. Maria, Min Thu Ya, 堀 一浩，部分床義歯実習の評価における 3D データ活用についての検討. 日本補綴歯科学会第 133 回学術大会，千葉市，2024 年 7 月 7 日，2024.
- 4) 那須優介，多部田康一，照沼美穂：歯周病原細菌性菌血症による精神疾患発症機構の解析. 第 64 回新潟生化学懇話会，新潟，2024 年 7 月 13 日，プログラムおよび講演抄録集：43 頁，2024.
- 5) 那須優介，岸川咲史，照沼美穂：YAP によるアストロサイトのグルタミン合成酵素発現制御機構. 第 47 回日本神経科学大会／第 67 回日本神経化学学会大会／第 46 回日本生物学的精神医学会合同大会，福岡，2024 年 7 月 26 日，プログラムおよび講演抄録集：2096 頁，2024.
- 6) 曾我麻里恵，金丸博子，勝良剛詞，高橋剛史，黒川亮，山下 萌，笹川花梨，善本 佑，大内章嗣，林孝文. 下顎骨放射線骨壊死部に下顎歯肉癌を生じた 1 症例. NPO 法人日本歯科放射線学会第 5 回秋季学術大会，2024 年 10 月 25 日-27 日，盛岡市.
- 7) 勝良剛詞，曾我麻里恵，富原 圭，平井秀明，隅田賢正，木口哲郎，小林太一，高村真貴，林 孝文. 頭頸部放射線治療後の歯槽骨密度変化と線量との関係. 第 43 回一般社団法人口腔腫瘍学会総会・学術大会，2025 年 2 月 27-28 日，東京.

- 8) 田中恵子, 勝良剛詞, 正道隆介, 曾我麻里恵, 手嶋謡子, 金丸博子, 田中雄介, 後藤早苗. 頭頸部下顎放射線療法における口腔ケア用ジェル ヒノーラ®ENの有効性. 日本がん口腔支持療法学会第10回学術大会, 2025年3月1-2日, 松山市.
- 9) 竹内照美, 古川康平, 新垣理宣, 今待賢治, 曾我麻里恵, 大橋伸英, 小野龍太郎. オーラルサポーターブケア教育研修会の立ち上げと取り組み. 日本がん口腔支持療法学会第10回学術大会, 2025年3月1-2日, 松山市.
- 10) 黒川 亮, 吉田謙介, 清海杏奈, 杉浦宗敏, 金丸博子, 曾我麻里恵, 船山さおり, 善本 佑, 笹川花梨, 那須優介, 田中恵子, 中村夢衣, 宍戸 香, 星野直人, 齋藤千愛, 古賀雅良, 大内章嗣: 薬科と歯科における多職種連携の教育に関する東京薬科大学での取り組みについて, 日本がん口腔支持療法学会第10回学術大会, 2025年3月1-2日, 松山市.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) 黒川 亮: 歯科と口腔支持療法の実際と用語について-病院・薬局・歯科連携を目指すにあたり-, 第17回日本緩和医療薬学会年会 シンポジウム8 地域における口腔支持療法に薬剤師としてできること-病院・薬局・歯科連携を目指して-, 2024年5月25日.
- 2) 金丸博子: 「あなたの施設ではこの加算はどうしていますか?」-歯科口腔管理加算- 第33回手術室セミナー, 2024年9月7日, 新潟市.

【研究会発表】

- 1) 曾我麻里恵. 放射線性顎骨壊死の疼痛・感染管理に苦慮した症例. 第1回オーラルサポーターブケア教育研修会, 2024年12月14日, 東京都.

【公開講座】

- 1) 堀ちえみ, 富原 圭, 田沼順一, 曾我麻里恵, 勝良剛詞, 伊勢みずほ. 舌がんステージ4から希望のステージへ. NPO 法人日本歯科放射線学会第64回学術大会併催. 2024年5月26日, 新潟市.

【資格取得・受賞】

- 1) 金丸博子: 日本歯科麻酔学会認定医更新(第1184号), 2024年8月30日.
- 2) 善本 佑: Effect of mandibular bilateral distal extension denture design on masticatory performance. 日本補綴歯科学会優秀論文賞「奨励論文賞」, 2024年7月5日.